

Lenovo System x3250 M6

インストールとサービスのガイド



マシン・タイプ: 3633 および 3943

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、Lenovo Web サイトの683 ページの 付録 D「ヘルプお よび技術サポートの入手」に記載されている一般情報、687 ページの 付録 E「注記」、安全情報、保証、 およびライセンス情報をお読みください。 https://support.lenovo.com/documents/LNVO-DOCS

第8版(2018年7月)

© Copyright Lenovo 2016, 2018.

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが GSA (米国一般調達局)契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

注

目次

目次	. i
安全について	. V
トレーニングを受けたサービス技術員同けのカイドライン	
「ノーマ	V
ためないれの検査 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	vi
电気候品の体力のパートノーン・・・・・・	v1
	VIII
第1章.資料と注意の種類	. 1
関連資料	. 1
本書で使用される注記	. 1
第2章. Lenovo System x3250 M6 サー	
バーについて	. 3
サーバーの機能および仕様	5
サーバーが提供する機能	. 8
信頼性、可用性、および保守容易性.....	11
サーバーの電源オン/オフ	12
サーバーの電源をオンにする......	13
サーバーの電源をオフにする......	13
第3音 コンポーネントの位置	15
	15
的四〇	13
月回口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
オペレジード報告マント	19
y = 7 $z = 1$	21
シフテム・ボードのフィッチトジャンパー	21
	22
\mathcal{F}	24
第4章.構成情報	25
ファームウェアの更新	25
サーバーの構成	26
ServerGuide セットアップとインストール CD	
	28
Setup Utility プログラムの使用	29
Boot Manager プログラムの使用	35
サーバー・ファームウェアのバックアップの	2.5
	35
UEFI のアノオルトをロートした俊の Power Policy オプシュンのデフォルトの設定値への	
変更	35
Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) の 毎田	24
以川・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
クリーン・キャプチャー機能の使用	37
組み込みハイパーバイザーの使用	39
イーサネット・コントローラーの情報	39

Features on Demand Ethernet および Demand RAID ソフトウェアの有効化	39
RAID 構成フーティリティーへのアクセス	40
Lenovo XClarity Essentials OneCLI	40
Lenovo XClarity Administrator の使用	40
羽田固有 ID (IIIID) の更新	40 //1
11.5m回行 ID (00ID) の文約	41
DWI/SWIDIOS) つの文利	42
Aンか「SATA DAID 燃給の右効化	44
Oliooald SATA RAID 機能の有効化	45
	45
KAID ホリユームの削除	45
ティスクをスペチとしてマーク村り・・・・	46
第5章.トラブルシューティング	47
ここから開始します	47
問題の診断...............	47
オンライン・サービス要求を開く.....	50
Service Bulletin	50
チェックアウト手順	50
チェックアウト手順を実行する前の予防措	
置	50
チェックアウト手順の実行.......	51
診断ツール	52
Light path 診断	53
エラー LED	54
パワー・サプライ LED	55
システム・パルス LED	56
イベント・ログ	56
POST	59
Dvnamic System Analysis	59
自動サービス要求 (コール・ホーム)	61
Electronic Service Agent	61
エラー・メッセージ	62
症状別トラブルシューティング	62
一般的な問題	63
光学式ドライブの問題	63
ハードディスク・ドライブの問題	64
ハイパーバイザーの問題	66
正現性の低い問題	66
日光にの風い向医 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	00
イ ホート、、シハ、よには USB ノハーハ の問題	66
メモリーの問題	67
モニターの問題	68
ネットワーク接続の問題	69
オプションのデバイスの問題	70
オペレーティング・システムのブートの問	, 0
題	70

電源問題................	70
シリアル・ポートの問題	72
ServerGuide の問題	72
ソフトウェアの問題	73
USB コネクターの問題	73
チップ・セット・ドライバーの取り付けの問	
題	74
	74
1ーサイット・コントローフーの向起の解決	74
	/5
问惑刊別のCノト	/6
リーハー・ファームりェアのリカハリー (UEFI 更新の失敗)	77
インバンドの手動リカバリー方式	78
インバンドの自動ブート・リカバリー方式	79
アウト・オブ・バンド方式	79
自動ブート・リカバリー (ABR)	79
Nx 回ブート失敗	79
第6章. 部品リスト、Lenovo System	
$x3250 \text{ M6} \dots \dots \dots \dots \dots \dots \dots \dots \dots \dots$	81
交換可能なサーバー・コンポーネント....	81
構成部品	93
電源コード................	94
第7章 サーバー・コンポーネントの	
取り外しと取り付け	97
サーバー・コンポーネントの取り外しまたは取り	51
付け前に	97
システムの信頼性に関するガイドライン..	97
電源オンされているサーバーの内部での作 業	97
静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱	
<i>د</i>	98
サーバー・コンポーネントの取り外しと取り付	
	98
構成部品の取り外しと取り付け	98
Tier 1 CRU の取り外しと取り付け	106
Ther 2 CRU の取り外しと取り付け	159
	173
	189
ビジネス・パートナー用の手順	190
Lenovo への DSA テーダの送信	190
テバイスまたはコンホーネントの返却	191
付録 A. Integrated Management Module	
2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ	193
自動的にサポートに通知する IMM イベント	194
IMM イベントのリスト	197
付録 B. UEFI (POST) エラー・コー	
$ \Gamma \dots \dots \dots \dots \dots \dots \dots \dots \dots $	513

UEFIイベントのリスト	513
付録 C. DSA 診断テスト結果	525
DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果	525
DSA Broadcom ネットワーク・テストのテス ト結果	525
DSA Brocade テスト結果	535
DSA Brocade テストのテスト結果	535
DSA チェックポイント・パネル・テスト結果	544
DSA チェックポイント・パネル・テストの テスト結果	544
DSA CPU ストレス・テスト結果	546
DSA CPU ストレス・テストのテスト結果	546
DSA Emulex アダプター・テスト結果	549
DSA Emulex アダプター・テストのテスト結 里	549
DSA FXA ポート ning テスト結果	553
DSA EXA ポート ning テストのテスト結果	553
DSA ハードディスク・ドライブ・テスト結果	556
DSA ハードディスク・ドライブ・テストの	
テスト結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	556
DSA Intel ネットワーク・テスト結果	557
DSA Intel ネットワーク・テストのテスト結	
	557
DSA LSI ハートティスク・トライフ・テスト結 果	564
DSA LSI ハードディスク・ドライブ・テスト	
のテスト結果	564
DSA Mellanox アダプター・テスト結果	565
DSA Mellanox アダプター・テストのテスト結	566
本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	560
DSA メモリー分離テストのテスト結果	568
DSA A C り 力離り A F のり A F 柏木	500 645
DSA メモリー・ストレス・テストのテスト	045
結果	646
DSA Nvidia GPU テスト結果	649
DSA Nvidia GPU テストのテスト結果	649
DSA 光学式ドライブ・テスト結果	656
DSA 光学式ドライブ・テストのテスト結	
果	656
DSA システム管理テスト結果	660
DSA ン人ナム官埋ナ人トのナ人ト結果	661
DSA テーノ・ドフイノ・テスト結果	677
DSA テーフ・ドフイフ・テストのテスト結 果	677
//	0//
付録 D. ヘルプおよび技術サポートの	600

1.1.2.1	• / •	-		9.	-			_				•		
入手				•			•							683
依頼する前	に.													683
資料の使用														684
ヘルプおよ	び情	報	をヽ	NW	W	から	37	∖手	きす	-3	۰.			684
DSA データ	の送	信	方》	去										684

個別設定したサポート Web ページの作成.				685
ソフトウェアのサービスとサポート				685
ハードウェアのサービスとサポート				685
台湾の製品サービス			•	685
付録 E.注記		•		687
商標				688
重要事項				688
リサイクル情報				688
粒子汚染				689
通信規制の注記				689
電波障害自主規制特記事項				689
連邦通信委員会 (FCC) 宣言書....				689
カナダ工業規格クラス A 排出量適合性	ŧć	í		
言			•	690

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada	690
オーストフリアおよびニューシーフンド Class A 宣言書	600
Class A 旦口音	600
	601
「 ノ Class A 旦日音	(02
	692
 	692
ロシア電磁妨害 (EMI) Class A 宣言書	693
中華人民共和国 Class A 電子放出宣言書	693
台湾 Class A 適合性宣言書	693
台湾 BSMI RoHS 宣言	694
索引	695

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前, 请仔细阅读 Safety Information (安全信息)。

安裝本產品之前,請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας (safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.

J.	छरहर	्रेष	更寶	Ł	ま	đ	fien	Ter M	and a
	იილი	- http://www.	ંક્ર	Ł		えの	むろ	THO T	2:

Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítaje Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

مەزكۇر مەھسۇلاتنى ئورنىتىشتىن بۇرۇن بىخەتەرلىك ئۇچۇرلىرىنى ئوقۇپ چىقىڭ.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン

このセクションには、トレーニングを受けたサービス技術員向けの情報が記載されています。

危険な状況の検査

この情報は、作業対象のデバイスでの潜在的に危険な状態の識別に役立ててください。

各デバイスには、設計され製造された時点で、ユーザーとサービス技術員を障害から保護するための安全 項目が義務付けられています。このセクションは、こうした項目のみを取り扱います。このセクショ ンに記されていない、サポート対象外の改造個所またはサポート対象外の機構やオプションのデバイ スの接続によって起こりうる潜在的に危険な状態は、適切な判断によって識別してください。危険な 状態を識別した場合、危険の重大度、および製品の作業を進める前に問題を解決する必要があるかど うかを判別してください。

以下の状態とそれがもたらす安全上の問題について考慮してください。

- 電気的な危険。特に、1次側電源(フレームの1次電圧が、重大または致命的な感電事故の原因にな る場合があります。)
- 爆発の危険。たとえば、損傷を受けた CRT 表面またはコンデンサーの膨らみ。
- 機械的な危険。たとえば、ハードウェアのゆるみまたは脱落。

危険な可能性がある製品を検査する場合は、以下のステップを実行してください。

- 1. 電源がオフになっていて、電源コードが切り離されていることを確認します。
- 2. 外部カバーに損傷、ゆるみ、または切れ目がないことを確認し、鋭くとがった個所の有無を調べます。
- 3. 以下について電源コードをチェックします。
 - 接地線を含む3線式の電源コードのコネクターが良好な状態であるかどうか。3線式接地線の 導通が、外部接地ピンとフレーム・アース間を計器で測定して、0.1オーム以下であること を確認します。
 - 電源コードのタイプは正しいか。
 - 絶縁体が擦り切れたり摩耗していないか。

- 4. カバーを取り外します。
- 5. 明らかにサポート対象外の改造個所がないか確認します。サポート対象外の改造個所の安全について は、適切な判断を行ってください。
- 6. 金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災や煙による損傷の兆候など、明らかに危険な状況でないか、システムの内部をチェックします。
- 7. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルがないかをチェックします。
- 8. パワー・サプライ・カバーの留め金具 (ねじまたはリベット) が取り外されたり、不正な変更がされて いないことを確認します。

電気機器の保守のガイドライン

電気機器を扱うときにこれらのガイドラインを遵守してください。

- 作業域に電気的危険がないかどうかをチェックしてください。こうした危険とは、たとえば、濡れたフロア、接地されていない電源延長コード、安全保護用のアースがないことなどです。
- 承認済みのツールおよびテスト装置を使用してください。工具の中には、握りや柄の部分のソフト・ カバーが感電防止のための絶縁性を持たないものがあります。
- 安全な操作状態のために電気ハンド・ツールを規則的に検査および保守してください。
 たツールやテスターは使用しないでください。
- デンタル・ミラーの反射面で、通電中の電気回路に触れないでください。この表面は導電性のため、これに触れた場合、人体の傷害や機械の損傷を起こす可能性があります。
- ゴム製のフロア・マットの中には、静電気の放電を減少させるために、小さい導電ファイバーを含むものがあります。このタイプのマットを感電の保護として使用しないでください。
- 危険な状態、または危険な電圧を持つ装置のそばで、1人で作業しないでください。
- 電気事故が発生した場合に、すぐに電源をオフにできるよう、非常電源切断 (EPO) スイッチ、切断ス イッチ、あるいは電源コンセントの場所を確認してください。
- 機械的な点検、パワー・サプライ近くでの作業、またはメイン・ユニットの取り外しや取り付けを行う 前には、すべての電源を切り離してください。
- 機器での作業を開始する前に、電源コードを抜いておきます。電源コードを抜くことができない場合は、この機器に電力を供給している配電盤の電源をオフにし、そのままの状態に保つようにお客様に依頼してください。
- 電源と回路が切断されていることを前提にしないでください。まず、電源がオフになっていることを 確認してください。
- 電気回路がむき出しの状態である機器で作業する必要がある場合、次の予防手段に従ってください。
 - 必要に応じて、すぐに電源スイッチを切れるように、電源オフ制御機構を理解している別の 人物に立ち会ってもらう。
 - 電源がオンになっている電気装置の作業を行う際は、片手のみを使用する。もう一方の手は、ポ ケットの中に入れておくか、背中に回しておきます。こうすることで、感電の原因となる完全な 回路が形成されるのを防ぐことができます。
 - テスターを使用する時は、制御を正しく設定し、テスター用の承認済みプローブ・リードおよび 付属品を使用する。
 - 適切なゴム製マットの上に立ち、床の金属部分や機器の枠などのアースと自分の身体とを絶縁する。
- 高電圧の測定時には、細心の注意を払ってください。
- パワー・サプライ、ポンプ、ブロワー、ファン、電動発電機などのコンポーネントの正しい接地状態を確保するために、これらのコンポーネントの保守は、その通常の作動位置以外の場所では行わないでください。

• 電気的事故が発生した場合は、十分に用心し、電源をオフにして、別の人物に医療援助を求めに 行かせてください。

安全について

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

重要:本書の「注意」と「危険」の各注意事項には番号が付いています。この番号は、「*Safety Information*」の英語の Caution と Danger に対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するの に使用します。

たとえば、「Caution」の注意事項に Statement 1 が付いていた場合、Statement 1の「*安全情報*」を見れば その注意事項に対応した翻訳文が見つかります。

本書で述べられている手順を実行する前に「注意」と「危険」の注意事項をすべてお読みください。 もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はそのデバイスの取り付けを開始 する前にお読みください。





電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- ・ 雷雨中にケーブルの接続および切り離し、本製品の設置、保守、再構成は行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、デバイスのカバーを開く場合は その前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切 り離してください。
- ご使用の製品または接続されたデバイスの取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケー	-ブルの接続手順:	ケーブルの切り離し手順:	
1.	すべての電源をオフにします。	1. すべての電源をオフにします。	
2.	最初に、すべてのケーブルをデバイスに接続しま す。	2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外しま す。	
3.	信号ケーブルをコネクターに接続します。	3. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。	
4.	電源コードを電源コンセントに接続します。	4. すべてのケーブルをデバイスから取り外します。	
5.	デバイスの電源をオンにします。		



警告:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプの バッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場 合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッ テリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがありま す。次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212°F) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。



警告:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー・デバイス、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。このデバイスの内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。





ー部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれていま す。次のことに注意してください。 カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見た り、光線を直接浴びることは避けてください。

Class 1 Laser Product Laser Klasse 1 Laser Klass 1 Luokan 1 Laserlaite Appareil À Laser de Classe 1



注意:装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。



≥ 18 kg (39.7 lb)





≥ 32 kg (70.5 lb)



≥ 55 kg (121.2 lb)

警告:

デバイスの電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、デバイスに供給されている電流を オフにするものではありません。デバイスには2本以上の電源コードが使われている場合があります。デ バイスから完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。







警告:

もし電源コードをデバイス側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの電源 側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。



警告:

パワー・サプライまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これら のコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われ る場合はサービス技術員に連絡してください。

UPS 装置のシャーシまたは他の部品を開かないでください。開くと装置の保証が無効になります。保 守が可能な部品が存在する部品のみ交換してください。つまり、UPS 装置の保守は FRU/CRU 交換 部品のみに限定されます。

安全 12



警告: このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



安全 26



警告: ラックに装着されたデバイスの上には物を置かないでください。





警告: 近くに動く部品が存在します。



ラック安全情報、注記2



- ラック・キャビネットのレベル・パッドは、必ず下げてください。
- ラック・キャビネットには、必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。
- 必ず、ラック・キャビネットの最下部からサーバーおよびオプションのデバイスを取り付けます。
- 最も重量のあるデバイスは、必ずラック・キャビネットの下部に搭載してください。





警告:

鉛酸バッテリーは、高短絡電流による電気熱傷の危険を生じさせるおそれがあります。金属性の物質 とバッテリーを接触させないでください。腕時計、指輪などの金属製の物質を取り外し、絶縁された 握りや柄の部分を持ってツールを使用してください。爆発の可能性を避けるために、バッテリーを焼 却しないでください。

バッテリーは、Lenovo により推奨されたものとのみ交換してください。バッテリーをリサイクルまたは 廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。米国では、Lenovo にはこのバッテリーを回収す るプロセスがあります。詳しくは、1-800-426-4333 にお問い合わせください。電話を掛ける際には、 バッテリー・ユニットの Lenovo 部品番号を手元に用意してください。

無停電電源装置に古いバッテリーと新しいバッテリーを混在させないでください。

無停電電源装置から取り出したバッテリー・パックを開かないでください。

無停電電源装置のバッテリーを交換するときは、保護用の安全メガネを着用してください。(C004)

第1章 資料と注意の種類

ここでは、サーバーに付属の各種資料に関する一般的な内容と注意事項、およびこれらの資料の入手 方法について説明します。

関連資料

このトピックの資料を参照して、サーバーの使用と保守にお役立てください。

この「インストールとサービスのガイド」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされる オプション・デバイスの取り付け方法、サーバーの構成方法を含め、サーバーに関する一般情報が記載さ れています。また、ユーザーが自分自身で問題を解決するのに役立つ情報や、サービス技術員向けの情報 も記載されています。「インストールとサービスのガイド」の最新バージョンは、以下で常に入手できま す。

http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/ systemx/documentation/index.jsp

安全情報、保証、ライセンス、および製品資料は、以下にアクセスしてください。 https://support.lenovo.com/documents/LNVO-DOCS

保証の検索 (タイプ、期間、ステータス) は、以下にアクセスしてください。 http://www.lenovo.com/warranty

Lenovo XClarity Essentials (LXCE) は、ファームウェア、デバイス・ドライバー、およびオペレーティング・システムの更新、管理、および展開用のツールに関する情報を記載しているオンライン・インフォメーション・センターです。Lenovo XClarity Essentials (LXCE) の場所は http://sysmgt.lenovofiles.com/help/index.jsp です。

サーバーは、サーバー付属の資料では説明されていないフィーチャーを備えていることがあります。それらの機能に関する情報を記載するために資料が更新されていたり、ご使用のサーバーの資料に記載されていない追加情報を提供する技術更新が入手可能になる場合があります。これらの更新情報は、Lenovo Webサイトから入手できます。更新を確認するには、http://www.lenovo.com/support にアクセスしてください。

本書で使用される注記

本書の注意および危険に関する注記は、https://support.lenovo.com/documents/LNVO-DOCS に掲載されている複 数言語による「Safety Information」資料にも記載されています。それぞれの注記には番号が付けられてお り、「Safety Information」資料で対応する注記を自国語で参照できます。

本書では、次の注記が使用されます。

- 注: これらの注記には、注意事項、説明、助言が書かれています。
- 重要:この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。
- 重要: また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- 注意: この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。「注意」の注記は、 危険となりうる手順、ステップ、または状態の記述の直前に書かれています。
- 危険: これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。
 「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順、ステップ、または状態の記述の直前に書かれています。

第2章 Lenovo System x3250 M6 サーバーについて

この章では、サーバー機能の要約、サーバーが提供するテクノロジー、およびサーバーの電源オンと電源オフの手順について説明します。

一般情報

Lenovo System x3250 M6 サーバーは、高さ 1U です。1ハイ・ラック・モデル・サーバーで、高ボリュームのネットワーク・トランザクション処理に適しています。この高性能なマルチコア・サーバーは、高度なマイクロプロセッサー性能、柔軟性のある入出力 (I/O)、および高い管理能力を必要とするネットワーク環境に最適です。

ホット・スワップ・サーバー・モデルは、最大8個の2.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライ ブ、または4個の3.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブをサポートします。シンプル・ス ワップ・サーバー・モデルは、最大8個の2.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ、また は4個の3.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブをサポートします。Lenovo System x3250 M6 サーバーは、2.5型ホット・スワップまたはシンプル・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) または SATA ハードディスク・ドライブ、あるいは3.5型ホット・スワップ SAS または SATA ハードディスク・ ドライブ、あるいは3.5型シンプル・スワップ SATA ハードディスク・ドライブをサポートします。

サーバーでサポートされるオプション・デバイスのリストについては、以下を参照してください。 http://www.lenovo.com/ serverproven/

サーバーに関するデータを次の表に記録してください。

表 1. システム情報の記録

製品名	マシン・タイプ	モデル番号	シリアル番号
Lenovo System x3250 M6 サーバー	タイプ 3633 および 3943		

モデル番号とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバーのラック・リリース・ラッチ上にある ID ラベルに記載してあります。



図1. サーバー前面の ID ラベル

^{1.} ラックは縦に 4.45 cm (1.75 インチ) ごとの区切りで測定されています。各区切りは「U」と表されます。1U の高 さのデバイスは、4.45 cm (1.75 インチ) の高さになります。

MAC アドレス・ラベルは、次の図に示すように、ユーザー情報タグの上面にあります。

注:本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。



図2. MAC アドレス・ラベル

サーバーの設計においては、パフォーマンス、使いやすさ、信頼性、および拡張機能などが重要な考慮事 項でした。これらの設計機能を用いることで、現在のニーズに応じてシステム・ハードウェアをカスタマ イズしたり、将来に備えて柔軟性の高い機能拡張を準備したりすることができます。

ビジネス・パートナーは、190ページの「ビジネス・パートナー用の手順」のステップを実行する必要があります。

保証およびサービス情報

このサーバーには限定保証が適用されます。保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「Lenovo 保証情報」を参照してください。

サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルには、サービス情報にモバイル・アクセスするためのQRコードもあります。モバイル・デバイスのQRコード・リーダーとスキャナーを使用してQRコードをスキャンし、Lenovo Service Information Webサイトにすぐにアクセスすることができます。Lenovo Service Information Webサイトにすいの取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

ファームウェアと資料の更新情報が使用可能な場合は、Lenovo Web サイトからダウンロードできます。 このサーバーには、サーバー付属資料に記載されていない機能が備わっている場合があります。そのよう な機能に関する情報を組み込むために、資料は随時更新される可能性があります。また、サーバーの資料 に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。更新を確認 するには、http://www.lenovo.com/support にアクセスしてください。

ご使用のサーバーおよびその他の Lenovo サーバー製品に関する最新の情報は、http://shop.lenovo.com/us/ en/systems/から入手できます。http://www.lenovo.com/support では、目的の Lenovo 製品を特定して、個別設定 したサポート・ページを作成することができます。この個別設定したページから、最新の技術文書に関す る E メール通知を毎週購読したり、情報やダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにア クセスしたりすることができます。

技術およびソフトウェア情報

サーバーには、パフォーマンスと信頼性の向上に役立つ X-Architecture 次世代テクノロジーが搭載されています。詳しくは、8ページの「サーバーが提供する機能」および11ページの「信頼性、可用性、および保守容易性」を参照してください。

Lenovo クライアント・リファレンス・プログラムに参加すると、ご使用になっているテクノロジー、ベスト・プラクティス、および革新的ソリューションに関する情報を共用できるほか、業界ネットワークを構築し、お客様の業務の認知度を上げることができます。Lenovo クライアント・リファレンス・プログラムについて詳しくは、http://www.ibm.com/ibm/clientreference/を参照してください。

サーバーの機能および仕様

以下は、ご使用のサーバーの機能と仕様を要約したものです。ご使用のモデルによっては、使用できない 機能があったり、一部の仕様が異なる場合があります。

マイクロプロセッサー (モデルによって異なる):

- Intel[®] クアッド・コア (Xeon[®] E3-1200 v5 または v6 シリーズ) またはデュアル・コア (Pentium[®] シ リーズ、Celeron[®] シリーズ、または Core[™] i3 シリーズ) マイクロプロセッサー1つ
- Multi-chip package プロセッサー・アーキテクチャー
- Land Grid Array (LGA) 1151 ソケット対応設計
- 最大4コアまで拡張可能
- Intel Flex Memory Technology をサポート

注:以下のマイクロプロセッサーの場合、BIOS で「Choose Operating Mode」を「Efficiency -Favor Performance」に設定すると、周波数がわずかに減少します。これは、Intelの熱設計電源 (TDP)機能の想定済みの動作です。マイクロプロセッサーを最大周波数で稼働させる場合は、BIOS で 「Choose Operating Mode」を「Maximum Performance」に設定します。

- Intel Core-i3 7300T
- Intel Core-i3 7100T
- Intel Pentium G4600T
- Intel Pentium G4560T
- Intel Celeron G3930T

サーバーのマイクロプロセッサーの特定のタイプおよび速度については、Setup Utility プログラムの情報を参照してください。29ページの「Setup Utility プログラムの使用」を参照してください。

サポートされるマイクロプロセッサーのリストについては、以下を参照してください。 http://www.lenovo.com/ serverproven/

メモリー:

- 最小: 4 GB
- 最大: 64 GB
- タイプ: PC4-17000 (dual-rank)、2133 MHz または 2400 MHz、ECC (エラー訂正コード) DDR4 (double-data-rate 4) unbuffered DIMM (デュアル・インライン・メモリー・モジュール)のみ
- スロット: 4 つの DIMM スロット、2-way インターリーブ

注:

- サーバーに 2400 MHz メモリー・モジュールおよび最大 2133 MHz のメモリーをサポートするマイ クロプロセッサーが付属している場合、メモリー・モジュールのデータ・レートは 2133 MHz に 制限されます。
- 周波数の異なるメモリー・モジュールを同じサーバーで混用する場合、すべてのメモリー・モジュールが最も低い周波数で動作します。
- 4 GB 以上の(物理または論理)メモリーを取り付けると、メモリーの一部は、さまざまなシステム・リソース用に予約され、オペレーティング・システムでは使用不可になります。システム・リソース用に予約されるメモリーの量は、オペレーティング・システム、サーバー構成、構成済みのPCIオプションなどによって異なります。

光学式ドライブ:

- UltraSlim DVD-ROM コンボ
- マルチバーナー

ハードディスク・ドライブ拡張ベイ (モデルにより異なる):

- 4 個の 2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハードディスク・ドライブ・ベイ
- 4 個の 2.5 型シンプル・スワップ SAS/SATA ハードディスク・ドライブ・ベイ
- 8 個の 2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハードディスク・ドライブ・ベイ
- 8 個の 2.5 型シンプル・スワップ SAS/SATA ハードディスク・ドライブ・ベイ
- 4 個の 3.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハードディスク・ドライブ・ベイ
- 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハードディスク・ドライブ・ベイ

注意:原則として、512 バイトの標準ドライブと4 KB の拡張ドライブを同一の RAID (Redundant Array of Independent Disks) アレイで混用しないでください。このような構成にすると、パフォーマンスの問題が生じる可能性があります。

PCI Express 拡張スロット:

サーバーはライザー・カードで2つの PCIe ライザー・スロットをサポートします:

- スロット 1: ServeRAID M1210 SAS/SATA コントローラー専用
- スロット 2:1 つの PCI Express Gen3 x8 ハーフサイズ、フルハイトのアダプターをサポート

パワー・サプライ (モデルにより異なる):

- 1 個の 300 ワット固定パワー・サプライ
- 460 ワット・パワー・サプライ1つまたは2つ(2つ取り付けられている場合はホット・スワップ)

RAID コントローラー:

RAID レベル 0、1、5、および 10 をサポートする ServeRAID-C110 機能

内蔵機能:

- Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) (複数の管理機能を単一のチップに統合)
- Intel i350-AM2 ギガビット・イーサネット・コントローラーおよび Wake on LAN をサポート
- USB (Universal Serial Bus):
 - 前面に USB 3.0 コネクター 2 つ

注:USB 3.0 コネクターの制限によって、前面 USB コネクターを VMware ESXi 5.5 ハイパーバイ ザーで使用することはできません。

- 背面に USB 3.0 コネクター 2 つ
- システム・ボードに内部 USB 3.0 コネクター1つ (USB ハイパーバイザー・キー用)
- 4 ポート内蔵 SATA コントローラー
- 光学式ドライブ用ポート内蔵 SATA ポート1つ(オプション)
- シリアル・ポート・ヘッダー1つ(シリアル・ポート・アップグレード・キットがインストー ル済みの場合に機能)
- 背面に VGA (Video Graphics Array) コネクター1つ

ビデオ・コントローラー (IMM2.1 に内蔵):

- Matrox G200eR2
- SVGA 互換ビデオ・コントローラー
- AAVICA ハードウェア・ビデオ圧縮

- ビデオ・メモリー拡張不可
- 最大ビデオ解像度: 75 Hz で 1600 x 1200

サイズ:

- 1U
- 高さ: 43 mm (1.69 インチ)
- 奥行き: 576 mm (22.68 インチ)
- 幅:
 - 米国電子工業会 (EIA) ブラケットなし: 434.6 mm (17.11 インチ)
 - EIA ブラケット付き: 482 mm (18.98 インチ)
- 最大重量: 13.8 kg (30.36 ポンド)

放出音響ノイズ:

音響パワー:アイドル時および稼働環境ともに 5.4 ベル

アイドル時の環境では、サーバーはオペレーティング・システムのみを実行しています。稼働環境では、マイクロプロセッサーはアクティブであり、TDPは50%占有されます。

放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたマシンの公称上限音響出力レベル(ベル 単位)です。すべての測定は、ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠して報告されています。

環境:

- 室温:
 - サーバー電源オン時:
 - 55 W CPU 未満のサーバー・モデル:
 5°C から 40°C (41.0°F から 104.0°F)、高度: 0 m から 950 m (0 フィートから 3117 フィート)
 950 m を超える高度では、175 m (574 フィート)上がるごとに、最大システム温度が 1°C (1.8°F) 減少。
 - 55 W CPU を超えるサーバー・モデル: 10℃から 35℃ (50.0℃ から 95.0℃)、高度: 0 m から 950 m (0 フィートから 3117 フィート) 950 m を超える高度では、175 m (574 フィート)上がるごとに、最大システム温度が 1℃ (1.8℃)減少。
 - サーバー電源オフ時: 5℃から 43℃ (41°F から 109.4°F)
 - 出荷時: -40°C から 60°C (-40°F から 140°F)
- 最大高度: 3,050 m (10,000 フィート)
- 湿度:
 - サーバー電源オン時:8%から85%、最大露点:24°C(75.2°F)、最大変化率:5°C(9°F)/時間
 - サーバー電源オフ時:8%から85%、最大露点:27℃(80.6°F)
- 粒子汚染:

浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、サーバーにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限に関する情報は、689ページの「粒子汚染」を参照してください。

作動温度の機能拡張キットが取り付けられている場合、ファン速度制御に対する温度応答がより 正確です。

発熱量 (消費電力):

• 最小構成:時間当たり 143 BTU (42 ワット)

• 最大構成:時間当たり 710 BTU (208 ワット)

電源入力:

- 正弦波入力 (50 Hz から 60 Hz) 必須
- 低電圧入力
 - 最低: 100 V AC
 - 最高: 127 V AC
- 高電圧入力レンジ:
 - 最低: 200 V AC
 - 最高: 240 V AC
- 入力電力 (kVA):
 - 最小: 0.042 kVA
 - 最大: 0.508 kVA

注:電力消費量および発熱量は、取り付けたオプション機構の数とタイプ、および使用する電源管理オ プション機構によって異なります。

サーバーが提供する機能

サーバーは、次の機能とテクノロジーを提供します。

• Dynamic System Analysis (DSA)

このサーバーは、サーバー上の内蔵 USB メモリーに Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プロ グラムが格納されています。DSA は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収 集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。 DSA は DSA ログを作成します。DSA ログは、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログと して)、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、お よびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログ をファイルとして Lenovo サポートに送信するか、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとし て情報を表示することができます。

• Features on Demand

サーバーまたはサーバー内に取り付けたオプション・デバイスに Features on Demand 機能が組み込まれ ている場合、アクティベーション・キーを注文して機能をアクティブ化することができます。Features on Demand について詳しくは、https://fod.lenovo.com/lkms を参照してください。

• ServerGuide セットアップとインストールCD

Web サイトから CD の ISO イメージをダウンロードできます。ユーザーがサーバーをセットアップし、 Windows オペレーティング・システムをインストールするのに役立つプログラムが提供されています。 ServerGuide プログラムは、取り付け済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、適切な構成 プログラムとデバイス・ドライバーを提供します。*ServerGuide セットアップとインストール* CD につい ての詳細は、28 ページの「ServerGuide セットアップとインストール CD の使用」を参照してください。

Lenovo XClarity Administrator

Lenovo XClarity Administrators は、管理者がより速く手間をかけずにインフラストラクチャーをデプロ イできるリソース集中管理ソリューションです。このソリューションは、Flex System が統合された インフラストラクチャー・プラットフォームに加え、System x、ThinkServer、NeXtScale サーバーに シームレスに統合されます。

Lenovo XClarity Administrator には以下の機能があります。

- 直感的に使用できるグラフィカル・ユーザー・インターフェース
- 自動検出およびインベントリー

- ファームウェア更新とコンプライアンス
- 構成パターン
- ベアメタル・デプロイメント
- セキュリティー管理
- Upward Integration
- Representational State Transfer (REST) アプリケーション・プログラミング・インターフェース、 および Windows PowerShell
- 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP)、システム・ログ、および電子メールの転送

詳しくは、40ページの「Lenovo XClarity Administrator の使用」を参照してください。

• Lenovo XClarity Energy Manager

Lenovo XClarity Energy Manager は、データ・センターの電源管理で使用するツールです。データ・セン ターの物理階層をモデル化して、電源および温度をサーバー・レベルおよびグループ・レベルで監視し ます。Lenovo XClarity Energy Manager を使用して電源と温度のデータを分析することで、ビジネス継続 性を向上させ電源の効率を高めます。詳しくは、以下にアクセスしてください。 https://datacentersupport.lenovo.com/us/en/solutions/Invo-Ixem

• Lenovo ThinkServer Power Planner

Lenovo ThinkServer Power Planner プログラムは、サーバーおよびそのほかのデバイスのさまざまな構成 に基づいて、電源消費量についての情報および電流の計算を提供します。また、サーバーやデバイスの 効率的なデプロイ方法の立案に役立ちます。

Lenovo ThinkServer Power Planner プログラムについての詳細情報は、プログラムのヘルプ・システムを 参照してください。

• Lenovo XClarity Essentials OneCLI

Lenovo XClarity Essentials (LXCE) は、お客様が Lenovo ThinkSystem、System x、および ThinkServer サーバーをより効率的に、コスト効率よく、簡単に管理できるようにする、サーバー管理ユーティリティーのコレクションです。

- Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator (BoMC) は、ブート可能メディアを作成するために使用 するソフトウェア・アプリケーションです。ブート可能メディアは、ファームウェア更新の適用、 プリブート診断の実行、サポートされている ThinkSystem、System x、および BladeCenter システムへ の Microsoft Windows オペレーティング・システムのデプロイに使用できます。
- Lenovo XClarity Essentials OneCLI はいくつかのコマンドライン・アプリケーションのコレクションです。サーバーの構成、サーバーのサービス・データの収集、ファームウェアとデバイス・ドライバーの更新、サーバーの電源管理機能の実行に使用することができます。
- XClarity Essentials UpdateXpress は、UpdateXpress System Packs (UXSP)や個別更新を取得し、ご使用のローカル・システムまたはリモート・システムに適用できる、ソフトウェア・アプリケーションです。詳細については、https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-CENTER にアクセスしてください。

• Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) では、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントロー ラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が1つのチップ に組み合わせられています。IMM2.1 は、高度なサービス・プロセッサーの制御、監視、およびア ラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が発生 すると、IMM2.1は問題の診断に役立つ LED を点灯し、IMM2.1 イベント・ログにエラーを記録し、 さらにユーザーに対してアラートを発行します。オプションで、IMM2.1 はリモート・サーバー管 理のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM2.1 は、以下の業界標準インターフェースを 通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) 2.0
- シンプル・ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 3.0

– 共通情報モデル (CIM)

- Web ブラウザー

詳細については、以下に掲載されている 36 ページの「Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)の使用」および「*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*」を参照してください。 http://www.lenovo.com/support

• 内蔵ネットワーク・サポート

このサーバーには、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps のネットワークへの接続をサポートする内 蔵デュアル・ポート Intel Gigabit Ethernet コントローラーが組み込まれています。詳しくは、39ページ の「イーサネット・コントローラーの情報」を参照してください。

• 内蔵 Trusted Platform Module (TPM)

この内蔵セキュリティー・チップは、暗号機能を実行し、セキュアな秘密鍵と公開鍵を保管します。これは Trusted Computing Group (TCG) 仕様に対するハードウェア・サポートを提供します。TCG 仕様をサポートするためのソフトウェアをダウンロードできます。

トラステッド・プラットフォーム・モジュール (TPM) には、TPM 1.2 と TPM 2.0 の 2 つのバージョンがあ ります。サーバーには、TPM 1.2 デバイスがデフォルトでインストールされています。一部のサーバー は TPM 2.0 に更新されている場合があります。TPM バージョンを 1.2 から 2.0 に変更、または元に戻す ことができます。TPM 構成は、Setup Utility プログラムの「System Settings」→「Security」メニュー からアクセスできます。詳しくは、29 ページの「Setup Utility プログラム使用」を参照してください。

• 大規模データ・ストレージ容量およびホット・スワップ機能

このサーバーは、サーバー・モデルに応じて最大8つの2.5型ホット・スワップまたはシンプル・ スワップ Serial Attached SCSI (SAS) ハードディスク・ドライブまたは Serial ATA (SATA) ハードディ スク・ドライブ、あるいは4つの3.5型ホット・スワップまたはシンプル・スワップ SAS/SATA ハードディスク・ドライブをサポートします。

• 大容量のシステム・メモリー

このサーバーは、最大 64 GB のシステム・メモリーをサポートします。メモリー・コントローラー は、最大 4 個の業界標準 PC4-17000 (DDR4-2133) UDIMM に対応したエラー訂正コード (ECC) をサ ポートします。

• Lenovo Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス

サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルには、QR コードがあります。モバイル・デ バイスのQR コード・リーダーとスキャナーを使用してQR コードをスキャンし、Lenovo Service Information Web サイトにすぐにアクセスできます。Lenovo Service Information Web サイトでは、サー バー・サポートの追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートの ためのエラー・コードなどが提供されます。

次の図はQRコードを示しています。 http://support.lenovo.com/us/en/products/servers/lenovo-x86-servers/lenovo-system-x3250-m6



図3. QR コード

• マルチコア・プロセッシング

このサーバーは、Intel Pentium、Celeron、Core i3、または Xeon E3-1200 v5 シリーズ・マルチコア・マイ クロプロセッサーをサポートします。

• PCIe アダプター機能

サーバーには、2 つの PCIe インターフェース・スロットがあります。いずれのスロットも、PCI Express アダプターをサポートします。詳しくは、123 ページの「アダプターの取り付け」を参照 してください。

• 冷却およびオプションの電源機能

サーバーは最大構成で、4つの速度制御機能付きシンプル・スワップ・ファンをサポートします。この サーバーには、300 ワットの固定パワー・サプライ、または460 ワットのホット・スワップ・パワー・ サプライが標準装備されています。ご使用のサーバーは、最大2つの460 ワットのホット・スワップ・ パワー・サプライをサポートします。ホット・スワップ・モデルの冗長性をサポートするためには、2 つのパワー・サプライをサーバーに取り付ける必要があります。2個のパワー・サプライにより、どち らかのパワー・サプライに障害が起きても、操作を続行できます。

• ServeRAID サポート

標準 RAID アダプターは RAID レベル 0、1、および 10 を提供します。RAID レベル 5 を提供する追加オ プションの RAID アダプターを購入することもできます。ServeRAID M5200 シリーズ・アダプターは、 RAID 用の Features on Demand アップグレード・キーがあれば RAID レベル 6 を提供します。

システム管理機能

このサーバーには、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)が付属しています。サーバーに付属のシ ステム管理ソフトウェアと一緒に IMM2.1 を使用すると、サーバーの機能をローカルでもリモート側で も管理できます。IMM2.1 は、システム監視、イベント記録、およびネットワーク・アラート機能も提 供します。IMM2.1 のシステム管理コネクターは、サーバー背面にあります。

• UEFI 準拠のサーバー・ファームウェア

Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) ファームウェアには、UEFI バージョン 2.1 準拠、信頼性、可 用性、および保守性 (RAS) 拡張機能、基本入出力システム (BIOS) 互換性のサポートを含むいくつかの 機能があります。UEFI は、従来の BIOS インターフェースに代わる、より優れた BIOS であり、オペ レーティング・システム、プラットフォーム・ファームウェア、外部デバイス間の標準インターフェー スを定義します。サーバーは、UEFI 準拠オペレーティング・システム、BIOS ベースのオペレーティン グ・システム、および BIOS ベースのアダプターのほか、UEFI 準拠アダプターをブートすることがで きます。UEFI 準拠のファームウェアについて詳しくは、以下にアクセスしてください。 http://www.ibm.com/support/entry/ portal/docdisplay?Indocid=MIGR-5083207

注:このサーバーでは、ディスク・オペレーティング・システム (DOS) はサポートされていません。

• VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイ スを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが1つのホ スト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。詳しくは、39ページ の「組み込みハイパーバイザーの使用」を参照してください。

信頼性、可用性、および保守容易性

コンピューターの設計上で、最も重要な要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守性 (serviceability) (RAS) です。RAS 機能によって、サーバーに保管されているデータの保全性を保ち、サーバーが必要なときに使用できるようにし、問題を容易に診断して修理することができます。

ご使用のサーバーには、次の RAS 機能があります。

- 部品および作業ともに3年間の限定保証(マシンタイプ3633)
- 部品および作業ともに1年間の限定保証(マシンタイプ 3943)
- Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) 制御のバックアップ BIOS 切り替え
- 24時間サポート・センター
- コール・ホーム・サービス
- 障害の根本的原因を判別するための First Failure Data Capture (FFDC)
- PCIe ホストおよびルート複合体、PCIe リンク、PCIe アダプターの障害の拡張エラー処理 (EEH)

- パワー・サプライ・エラー検出
- VRD 障害検出
- I/O 障害処理
- マイクロプロセッサー内部エラー検出
- マイクロプロセッサー内部サーマル・トリップ
- エラー修正コード (ECC) L2 キャッシュおよびシステム・メモリー
- 冗長ホット・スワップ・パワー・サプライ
- ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ
- 拡張メモリー機能:
 シングル・ビット・メモリー・エラーの検出
 シングル・ビット・メモリー・エラーのハードウェア修正
- マルチ・シングル・ビット・メモリー・エラー検出
- マイクロプロセッサー・スロットル
- メモリー・サーマル・スロットル
- 障害予知機能 (PFA) アラート
- Integrated Management Module (IMM)
- Inter-Integrated Circuit (IC) プロトコル・バスを通したシステム管理モニター
- システム管理機能およびモニター用待機電圧
- 電源管理機能と拡張構成および電力インターフェース (ACPI) に準拠
- パワーオン・セルフテスト (POST)
- システム・エラー・ログ (POST および IMM)
- エラー・コードとメッセージ
- 通知および light path 診断 LED パネル
- メモリー SPD および TruDDR4 インタラクティブ
- NIC フェイルオーバーのサポート
- マスク不可割り込み (NMI) 時の自動再起動
- 強制 O/S ダンプ (NMI ボタン)
- USB デバイスからのブート
- リモート・システムリブート
- 自動エラー再試行およびリカバリー
- 過度な温度上昇のリカバリー
- CMOS デフォルト設定を復元するボタン
- ブレード・サーバーの重要プロダクト・データ (VPD) 固有 ID およびリモート表示のために不揮発性メ モリーに情報が保存されているすべての主要な電子コンポーネント
- 周囲温度の監視とアラート
- メモリー温度の監視とアラート
- プロセッサー温度の監視とアラート
- ローカル側またはLAN 経由でアップグレード可能な POST、UEFI、診断、IMM ファームウェア、および読み取り専用メモリー (ROM) 常駐コード
- オンボード・プリブート診断
- イーサネット診断
- RAID 診断
- インストールとサービスのガイド

サーバーの電源オン/オフ

サーバーを AC 電源に接続しても、電源をオンにしなければオペレーティング・システムは稼働せず、 Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) を除くすべてのコア・ロジックはシャットダウンされています。

ただしサーバーは、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)からの要求 (例えば、サーバーの電源をオン にするリモート要求など)には応答できます。電源 LED が点滅しているときは、 サーバーが AC 電源に接 続されてはいるが、電源がオンになっていないことを示します。

サーバーの電源をオンにする

サーバーが AC 電源に接続されてから約 20 秒すると、冷却のために1つ以上のファンが稼働し始め、電源 オン LED が高速で点滅し始めます。サーバーが AC 電源に接続されてから約1分から3分後に、電源制御 ボタンがアクティブになりパワーオン・ボタン LED の点滅がゆっくりになります。

電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。

オペレーティング・システムでサポートされている場合は、Wake on LAN 機能を使用してサーバーの電 源をオンにすることもできます。Wake on LAN 機能を使用して要求を送信し、サーバーをの電源をオ ンにできます。

さらに、サーバーの電源がオンのときに電源障害が発生した場合は、電源が復元したときに、サーバー は自動的に再起動します。

サーバーの電源をオフにする

サーバーの電源をオフにするには、この情報を使用します。

サーバーの電源をオフにしても、AC電源を接続したままにしておくと、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)からサーバーの電源をオンにするリモート要求などがあれば、サーバーはこれに応答できます。 サーバーが AC電源に接続されたままになっていると、1つ以上のファンが回転を続行することがありま す。サーバーからすべての電源を除去するには、電源とサーバーの接続を切り離す必要があります。

オペレーティング・システムによっては、サーバーの電源をオフにする前に、正しくシャットダウンする 必要があるものもあります。オペレーティング・システムのシャットダウンについては、オペレーティン グ・システムの資料またはヘルプ・システムを参照してください。



警告:

デバイスの電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、デバイスに供給されている電流を オフにするものではありません。デバイスには2本以上の電源コードが使われている場合があります。デ バイスから完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。



次のいずれの方法でも、サーバーの電源をオフにすることができます。

- オペレーティング・システムからサーバーの電源をオフにできます(オペレーティング・システムがこの機能をサポートしている場合)。オペレーティング・システムの正常シャットダウンの後、サーバーは自動的にオフになります。
- ご使用のオペレーティング・システムがこの機能をサポートしている場合、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムの正常シャットダウンを開始し、サーバーをオフにすることができます。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源制御ボタンを4秒間を超えて押し続けると サーバーの電源をオフにできます。
- Wake on LAN 機能を使用してサーバーの電源をオフにできます。

注:どの PCIe アダプターを取り付ける場合でも、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外 す前に、電源コードを電源から切り離す必要があります。これを行わない場合、Wake on LAN 機 能が作動しない可能性があります。

• Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) は、重大なシステム障害への自動的な応答としてサーバーの 電源をオフにすることができます。

第3章 コンポーネントの位置

この章では、サーバーのコンポーネントの位置を確認するために役立つ情報について説明します。 注:本書に示す図は、ご使用のサーバーと多少異なる場合があります。

前面図

次の図は、サーバーの前面にあるコントロール、LED、およびコネクターを示したものです。 注:*ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブを搭載したサーバー・モデルで使用可能



図4.4個の3.5型ハードディスク・ドライブを搭載したサーバー・モデルの前面図

1 ラック・リリース・ラッチ(左)	2 オペレーター情報パネル
3 USB コネクター1	4 USB コネクター 2
5 光学式ドライブ・ベイ	6 光学式ドライブ活動 LED
7 光学式ドライブ・イジェクト・ボタン	8 ラック・リリース・ラッチ(右)
9 ハードディスク・ドライブ状況 LED* (黄色)	10 ハードディスク・ドライブ活動 LED* (緑色)
11 ハードディスク・ドライブ・ベイ3	12 ハードディスク・ドライブ・ベイ2
13 ハードディスク・ドライブ・ベイ1	14 ハードディスク・ドライブ・ベイ0



図5.4個の2.5型ハードディスク・ドライブを搭載したサーバー・モデルの前面図

1 ラック・リリース・ラッチ(左)	2 オペレーター情報パネル
3 USB コネクター 1	4 USB コネクター 2
5 ハードディスク・ドライブ・ベイ 0	6 ハードディスク・ドライブ・ベイ 2
7 ハードディスク・ドライブ・ベイ 4	8 ハードディスク・ドライブ・ベイ6
9 ラック・リリース・ラッチ(右)	10 ハードディスク・ドライブ・ベイ 7
11 ハードディスク・ドライブ・ベイ 5	12 ハードディスク・ドライブ・ベイ 3
13 ハードディスク・ドライブ・ベイ1	14 ハードディスク・ドライブ状況 LED* (黄色)
15 ハードディスク・ドライブ活動 LED* (緑色)	16 光学式ドライブ・イジェクト・ボタン
17 光学式ドライブ活動 LED	18 光学式ドライブ・ベイ



図6.8個の2.5型ハードディスク・ドライブを搭載したサーバー・モデルの前面図

1 ラック・リリース・ラッチ(左)	2 オペレーター情報パネル
3 USB コネクター1	4 USB コネクター 2
5 ハードディスク・ドライブ・ベイ0	6 ハードディスク・ドライブ・ベイ 2
7 ハードディスク・ドライブ・ベイ4	8 ハードディスク・ドライブ・ベイ6
9 ラック・リリース・ラッチ(右)	10 ハードディスク・ドライブ・ベイ 7
11 ハードディスク・ドライブ・ベイ 5	12 ハードディスク・ドライブ・ベイ 3
13 ハードディスク・ドライブ・ベイ1	14 ハードディスク・ドライブ状況 LED* (黄色)
15 ハードディスク・ドライブ活動 LED* (緑色)	16 光学式ドライブ・イジェクト・ボタン
17 光学式ドライブ活動 LED	18 光学式ドライブ・ベイ

ラック・リリース・ラッチ:

サーバーをラックから取り出すには、サーバー前面の両側にあるこのラッチを押します。

- ハードディスク・ドライブ活動 LED:
 この LED はホット・スワップ SAS または SATA ハードディスク・ドライブ上で使用されます。この LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示します。
- ハードディスク・ドライブ状況 LED:
 この LED はホット・スワップ SAS または SATA ハードディスク・ドライブ上で使用されます。この LED が点灯しているときは、ドライブに障害があることを示します。オプションの ServeRAID コント ローラーがサーバーに取り付けられており、この LED が長い間隔で (1 秒に 1 回) 点滅している場合、 ドライブが再構築中であることを示します。この LED が素早く (1 秒に 3 回) 点滅するときは、コント ローラーがドライブを識別していることを示します。
- USB コネクター:
 USB マウス、キーボード、その他のデバイスなどの USB デバイスは、これらのコネクターのいず れかに接続します。
- 光学式ドライブ・イジェクト・ボタン:
 光学式ドライブからディスク・トレイをイジェクトするには、このボタンを押します。
- 光学式ドライブ活動 LED: この LED が点灯している場合、光学式ドライブが使用中であることを示します。
- オペレーター情報パネル:
 このパネルには、コントロール部と、サーバー状況に関する情報を提供する LED が装備されています。

背面図

次の図は、サーバーの背面にあるコネクターおよび LED を示しています。



図7. 固定パワー・サプライを搭載したサーバーの背面

1 電源コード・コネクター	2 イーサネット・コネクター2
3 PCI スロット 1	4 PCI スロット 2
5 NMI ボタン	6 システム管理用イーサネット・コネクター1
7 USB コネクター	8 VGA コネクター



図8. 冗長パワー・サプライ・モデルのサーバー背面

1 電源コード・コネクター	2 イーサネット・コネクター2
3 PCI スロット 1	4 PCI スロット 2
5 NMI ボタン	6 システム管理用イーサネット・コネクター1
7 USB コネクター	8 ビデオ・コネクター
9 AC 電源 LED (緑色)	10 DC 電源 LED (緑色)
11 パワー・サプライ・エラー LED (黄色)	



1 イーサネット・リンク LED

2 イーサネット活動 LED

- イーサネット・リンク LED: この LED が点灯している場合、イーサネット・コネクター用の 10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-TX インターフェース上にアクティブなリンク接続が 存在することを示します。
- イーサネット活動 LED これらの LED が点灯している場合、サーバーとネットワーク間に活動があることを示します。
- AC 電源 LED
- DC 電源 LED これらの LED はパワー・サプライの状態を示します。通常の動作時には、両方が緑色に点灯しま す。パワー・サプライの状態の情報について詳しくは、55 ページの「パワー・サプライ LED」を 参照してください。
- パワー・サプライ・エラー LED: この黄色の LED が点灯しているときは、パワー・サプライに障害が 起こったことを示します。
- 電源コード・コネクター: このコネクターには、電源コードを接続します。
- VGA コネクター: モニターをこのコネクターに接続します。
- USB コネクター: USB マウス、キーボード、その他のデバイスなどの USB デバイスをこのコネクター のいずれかに接続します。
- イーサネット・コネクター: このコネクターのいずれかを使用して、サーバーをネットワークに接続します。イーサネット1コネクターを使用する場合、単一のネットワーク・ケーブルを使用してネットワークを IMM2.1 と共用できます。
- NMI ボタン: このボタンを押すと、マイクロプロセッサーにマスク不能割り込み (NMI) を強制します。こうすることで、サーバーをブルー・スクリーンにしてメモリー・ダンプを取ることができます。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。

注:このボタンは、Lenovo サービス・サポートから指示があった場合にのみ使用してください。

- PCI スロット 1: このスロットは ServeRAID M1210 SAS/SATA コントローラー専用です。
- PCI スロット 2: このスロットは1つの PCI Express Gen3 x8 ハーフサイズ、フルハイトのアダプター をサポートします。

オペレーター情報パネル

次の図は、オペレーター情報パネル上のコントロールと LED を示しています。



図9. オペレーター情報パネル

1 電源制御ボタンとパワーオン LED	このボタンを押すと、サーバーを手動で電源オンまたは電源オフにできま す。パワーオン LED の状態は次のとおりです。
	• オフ:
	電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体に障害が あります。
	• 高速で点滅 (1 秒あたり 4 回):
	サーバーの電源がオフになっていて、オンにする準備ができていませ ん。電源制御ボタンは無効です。この状態は約 20 秒続きます。
	• 低速で点滅 (1 秒間に 1 回):
	サーバーの電源がオフですが、すぐにオンにできる状態です。電源制御 ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。
	 オン:サーバーの電源がオンになっています。
2 リセット・ボタン	このボタンを押すと、サーバーがリセットされ、パワーオン・セルフテス ト (POST) が実行されます。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ば したペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。
<mark>3</mark> ハードディスク・ドライブ活動 LED	この LED が点滅しているときは、そのハードディスク・ドライブが使用 中であることを示します。
4 システム・ロケーター LED	この青色の LED は、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見 付けるのに使用します。この LED はプレゼンス検出ボタンとしても使用 されます。Lenovo XClarity Administrator を使用して、この LED をリモー トで点灯させることができます。
5 チェック・ログ LED	この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示 しています。イベント・ログを調べて、追加情報があるかどうか確認してく ださい。詳しくは、56ページの「イベント・ログ」を参照してください。
6 システム・エラー LED	この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したこと を示しています。詳しくは、56 ページの「イベント・ログ」を参照して ください。
7 USB コネクター 1 8 USB コネクター 2	USB マウス、キーボード、その他のデバイスなどの USB デバイスは、これ らのコネクターのいずれかに接続します。

サーバー・コンポーネント

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。



図 10. サーバー・コンポーネント

1 サーバー・カバー 4	2 エアー・バッフル ⁴
3 ヒートシンク ²	4 メモリー・モジュール ¹
5 固定パワー・サプライ* ²	6 ホット・スワップ・パワー・サプライ* 1
7 3.5型ハードディスク・ドライブ・モデルのシャーシ (ホット・スワップ・パワー・サプライ付き)* ⁴	8 分電盤カバー*4
9 分電盤* 2	10 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドラ イブ・バックプレート・アセンブリー* ²
11 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドラ イブ・バックプレート・アセンブリー* ²	<u>12</u> 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドラ イブ・バックプレーン* ¹
13 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドラ イブ・バックプレーン* ¹	14 セキュリティー・ベゼル3

15 2.5型ハードディスク・ドライブ・モデルのシャーシ(固定パワー・サプライ付き)*4	16 光学式ドライブ ¹
17 3.5 型ハードディスク・ドライブ・フィラー* ⁴	18 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドラ イブ* ¹
19 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ド ライブ* ¹	20 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドラ イブ* ¹
21 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ド ライブ* ¹	22 2.5型ハードディスク・ドライブ・フィラー(ハード ディスク・ドライブ2台用)* ³
23 2.5型ハードディスク・ドライブ・フィラー(ハード ディスク・ドライブ1台用)*1	24 前面 I/O 部品 ¹
<u>25</u> システム・ボード ²	26 RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電 源モジュール・ホルダー* ⁴
27 システム・ファン1	28 マイクロプロセッサー ²
29 PCI ライザー・カード・アセンブリー*1	30 RAID カード* ¹

コンポーネント上の青色は、コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたり、あるいはラッ チの開閉などを行う際につかむことができるタッチ・ポイントを示します。

コンポーネントのオレンジ色、またはコンポーネント上またはその近くのオレンジ色のラベルは、そのコ ンポーネントがホット・スワップ対応であることを示しています。つまり、サーバーおよびオペレーティ ング・システムがホット・スワップ機能をサポートしている場合は、サーバーの稼働中にコンポーネ ントの取り外しや取り付けが可能です。オレンジのラベルは、ホット・スワップ・コンポーネントの タッチ・ポイントも示しています。

注:

- * 一部のモデルで使用可能
- ¹ Tier 1 の、お客様での取替え可能部品 (CRU): Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の 責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- ² Tier 2 の、お客様での取替え可能部品 (CRU): Lenovo が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り 付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加 料金なしで Lenovo に取り付け作業を依頼することもできます。
- ³構造部品:構造部品(シャーシ・アセンブリー、カバー、ベゼルなどのコンポーネント)の購入および 交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が構造部品の入手または取り 付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- 4 消耗部品は別売りであり、「Lenovo 保証の内容と制限」の対象外です。

Lenovo 製品の保守を行う前に、vページの「安全について」を必ず読んで理解してください。交換には、 Lenovo が提供している部品のみを使用してください。FRU 部品番号やサポートされるサーバー・モデル など、FRU 情報の完全なリストについては、以下を参照してください。 http://www.lenovo.com/serviceparts-lookup

システム・ボード・コネクター

次の図は、システム・ボード上のコネクターを示しています。



図 11. システム・ボード上のコネクター

1 PCI ライザー・カード・コネクター	2 マイクロプロセッサー電源コネクター
3 パワー・サプライ・コネクター	4 バックプレーン電源コネクター
5 DIMM スロット 1	6 DIMM スロット 2
7 DIMM スロット 3	8 DIMM スロット 4
9 分電盤コネクター	10 システム・ファン1コネクター
11 システム・ファン2コネクター	12 システム・ファン3コネクター
13 システム・ファン4コネクター	14 Mini SAS コネクター
15 SATA 光学式ドライブ・コネクター	16 オペレーション情報パネル・コネクター
17 コイン型電池コネクター	18 前面 USB コネクター
19 USB ハイパーバイザー・キー・コネクター	20 作動温度の機能拡張キット・コネクター

システム・ボードのスイッチとジャンパー

このトピックは、システム・ボードにあるジャンパーおよびスイッチの位置を確認し、その機能についての理解を深める役に立ちます。

重要:

- スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにしてください。次に、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。vページの「安全について」、97ページの「サーバー・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に」、および13ページの「サーバーの電源をオフにする」に記載されている情報を確認します。
- システム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。
スイッチ・ブロックに透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにス テッカーを取り除いて廃棄する必要があります。



図 12. システム・ボードのスイッチおよびジャンパー

1 CMOS クリア・ジャンパー	2 UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP24)
3 TPM 物理プレゼンス・ジャンパー (JP39)	4 共有 NIC ジャンパー
5 SW1 スイッチ・ブロック	

以下の表は、システム・ボード上のジャンパーについて説明しています。

表 2. ジャンパーの定義

ジャンパー名	説明
CMOS クリア・ジャン パー	 ・ ピン1と2: (デフォルト): CMOS データを保持します。 ・ ピン2と3: CMOS データをクリアします。
UEFI ブート・バック アップ・ジャンパー	 ピン1と2: (デフォルト): プライマリー・サーバー・ファームウェア ROM ページをロードします。
	 ピン2と3: バックアップからブートし2次(バックアップ)サーバー・ファーム ウェア ROM ページをロードします。
TPM 物理プレゼンス・ ジャンパー	 ピン1と2: デフォルトでオフ ピン2と3: システム TPM に物理プレゼンスを通知します。
共有 NIC ジャンパー	 ピン1と2: デフォルトでオン。LAN を共有します。 ピン2と3: IMM 専用管理ポートとしてイーサネット・コネクター1を設定します。

ジャンパーがない場合、サーバーはピンがデフォルトに設定されているものとして対応します。

注:サーバーの電源をオンにする前に UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーの位置をピン1と2から ピン2と3に変更すると、どちらのフラッシュ ROM ページがロードされるかを通知するアラートが出さ れます。サーバーの電源をオンにした後は、ジャンパーのピン位置を変更しないでください。これを行う と、予測不能な問題が発生する可能性があります。

デフォルト位置 スイッチ番号 説明 1, 3, 4, 5, 6, 7, 8 オフ 予約済み 2 オフ 始動パスワードのオーバーライド。このスイッチの位置を変更する と、次回にサーバーの電源を入れたときに始動パスワード検査をバ イパスして、Setup Utility を開始するため、始動パスワードを変更 または削除できるようになります。始動パスワードのオーバーラ イド後に、スイッチをデフォルト位置に戻す必要はありません。 管理者パスワードが設定されている場合、このスイッチの位置を変 更しても管理者パスワード検査に影響を及ぼすことはありません。 パスワードに関する追加情報については、33ページの「パス ワード」を参照してください。

表 3. SW1 スイッチ・ブロックの定義

システム・ボード LED

次の図は、システム・ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。



図13. システム・ボード上の LED

1 コンプレックス・プログラマブル・ロジック・デバ イス (CPLD) ハートビート LED	2 電源 LED
3 IMM ハートビート LED	4 システム・エラー LED
5 システム・ロケーター LED	6 フィールド・プログラマブル・ゲート・アレイ (FPGA) エラー LED

第4章 構成情報

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティーの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

重要:

- 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
- Trusted Platform Module (TPM)の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、 ファームウェアを更新する前に、必ずTPMに格納されているすべてのデータをバックアップしてくだ さい。手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。
- 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの 誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストー ルする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みく ださい。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載さ れています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから 最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

• Lenovo XClarity Essentials OneCLI

Lenovo XClarity Essentials OneCLI は、Lenovo サーバーの管理に使用できる複数のコマンド・ライン・ア プリケーションのコレクションです。これの更新アプリケーションを使用して、サーバーのファーム ウェアおよびデバイス・ドライバーを更新できます。更新は、サーバー(インバンド)のホスト・オペ レーティング・システム内で、またはサーバー(アウト・オブ・バンド)の BMC を介してリモートで実 行できます。Lenovo XClarity Essentials OneCLI を使用したファームウェア更新に関する特定の詳細は http://sysmgt.lenovofiles.com/help/topic/toolsctr_cli_lenovo/onecli_c_update.html で入手できます。

Lenovo XClarity Essentials UpdateXpress

Lenovo XClarity Essentials UpdateXpress は、グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を介して OneCLI のほとんどの更新機能を提供します。これを使用して、UpdateXpress System Pack (UXSP) 更新パッケージおよび個別の更新を取得してデプロイします。UpdateXpress システ ム・パックには、Microsoft Windows と Linux のファームウェアおよびデバイス・ドライバーの 更新が含まれます。Lenovo XClarity Essentials UpdateXpress は、以下の場所から入手できます。 https://support.lenovo.com/uu/en/solutions/Invo-xpress

Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator

さらに、Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用および プリブート診断の実行に適したブート可能メディアを作成し、Microsoft Windows オペレーティング・ システムをデプロイすることができます。Lenovo XClarity Essentials BoMC は、以下の場所から入手 できます。https://datacentersupport.lenovo.com/uu/en/solutions/Invo-bomc

サーバーのファームウェアは定期的に更新され、Lenovo Web サイト上でダウンロードできます。UEFI ファームウェア、デバイス・ドライバー、および Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) ファームウェ アなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、以下にアクセスしてください。 https://datacentersupport.lenovo.com

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、次に、ダウンロード・ファイルに含まれている説明 を使用して、ファームウェアをインストールします。

サーバー内のデバイスを交換した場合、そのデバイスのメモリーに保管されているファームウェアを更新 するか、CDまたはDVDイメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。 以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- IMM2.1ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に保管されています。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーおよびシステム・ボード上の ROM に保管されています。
- ServeRAID ファームウェアは、RAID アダプター (取り付けられている場合) 上の ROM に保存されています。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボード上の UEFI ROM に保存されます。

サーバーの構成

サーバーを構成するには、以下のさまざまな要素を考慮してください。

• Setup Utility

Setup Utility は、UEFI ファームウェアの一部です。Setup Utility を使用して、起動デバイスのシーケンスの変更、日付と時刻の設定、およびパスワードの設定などの構成タスクを実行します。詳しくは、29ページの「Setup Utility プログラムの使用」を参照してください。

• Boot Manager

Boot Manager は、UEFIファームウェアの一部です。Boot Manager を使用して、Setup Utility で設定された起動シーケンスをオーバーライドし、先頭になる起動デバイスを一時的に割り当てます。詳しくは、35ページの「Boot Manager プログラムの使用」を参照してください。

• Lenovo ServerGuide セットアップとインストール CD

ServerGuide プログラムは、*ServerGuide セットアップとインストール*CD に収録されています。このプ ログラムは、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ ツールを備えています。RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本のハード ウェア機能を構成し、オペレーティング・システムを簡単にインストールするには、サーバーの取り 付け時にこの CD を使用してください。詳しくは、28 ページの「ServerGuide セットアップとイン ストール CD の使用」を参照してください。

• Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) は、サーバーの構成、ファームウェアの更新、SDR/FRU (センサー・データ・レコード/現場交換可能ユニット) データの更新、リモート側でのネットワーク管理に使用します。IMM2.1 の使用について詳しくは、36ページの「Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) の使用」を参照してください。

• VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイ スを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが1つのホス ト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。組み込みハイパーバイザーの 使用法について詳しくは、39 ページの「組み込みハイパーバイザーの使用」を参照してください。

• リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能

リモート・プレゼンスおよびブルー・スクリーン・キャプチャーは、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)の内蔵機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート 側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッ ピングし、また、ISO イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで 使用できるようにします。

- ディスケット・イメージを IMM2.1 メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサー バーにマッピングします。

IMM2.1 がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM2.1 がサーバーを再起動 する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。シ ステム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役 立ちます。詳しくは、37ページの「リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャ プチャー機能の使用」を参照してください。

• イーサネット・コントローラーの構成

イーサネット・コントローラーの構成については、39 ページの「イーサネット・コントローラーの情報」を参照してください。

• Features on Demand

このサーバーは、Features on Demand (FoD) ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の FoD ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、39 ページの「Features on Demand Ethernet および Demand RAID ソフトウェアの有効化」を参照してください。

• Lenovo XClarity Essentials OneCLI

構成アプリケーションおよびコマンドを使用して現在のシステム構成設定を表示し、Lenovo XClarity Controller と UEFI に変更を加えることができます。保存された構成情報は、他のシステムを複製または リストアするために使用できます。Lenovo XClarity Essentials OneCLI を使用したサーバーの構成につい て詳しくは、http://sysmgt.lenovofiles.com/help/topic/toolsctr_cli_lenovo/onecli_c_settings_info_commands.html を 参照してください。

• RAID 構成

RAID の構成については、40 ページの「RAID 構成ユーティリティーへのアクセス」を参照して ください。

次の表は、RAIDの構成と管理に使用できるアプリケーションをリストしています。

サーバー構成	RAID 構成 (オペレーティング・シ ステムのインストール前)	RAID の管理 (オペレーティング・ システムのインストール後)
ServeRAID M1210 SAS/SATA $\exists \succ \land$ $\Box - \overleftarrow{\neg} -$ ServeRAID M1215 SAS/SATA $\exists \succ \land$ $\Box - \overleftarrow{\neg} -$ ServeRAID M5210 SAS/SATA $\exists \succ \land$ $\Box - \overleftarrow{\neg} -$ ServeRAID M5225-2 GB SAS/SATA $\exists \lor \land \Box - \overleftarrow{\neg} -$	 LSIユーティリティー: (レガシー BIOS ブート時に Setup Utility で Ctrl + C を押します。) ServerGuide ヒューマン・インターフェース・ インフラストラクチャー (HII) 	 MegaRAID Storage Manager (MSM)、 ストレージ管理用 StorCLI (コマ ンド・ライン) ユーティリティー
ソフトウェア RAID	 Intel ユーティリティー: (レガシー BIOS ブート時に Setup Utility で Ctrl + I を押します) ServerGuide ヒューマン・インターフェース・ インフラストラクチャー (HII) 	 グラフィカル・ユーティリティー (Windows のみ) コマンド・ライン: ストレージ 管理用 rsteli (Windows) および mdadm (Linux) ユーティリティー

表 4. RAID の構成および管理用のサーバー構成とアプリケーション

ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII) および StorCLI について詳しくは、以下にアクセスしてください。

http://public.dhe.ibm.com/systems/support/ system_x_pdf/ ibm_doc_mpt2sas_hiic-2011-09_user-guide.pdf

MegaRAID について詳しくは、以下にアクセスしてください。

http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=MIGR-5073015

ServerGuide セットアップとインストール CD の使用

以下の情報は、*ServerGuide セットアップとインストール* CD の使用についての概要として使用することができます。

ServerGuide セットアップとインストールCD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアッ プ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。ServerGuide プログラムは、サーバーのモデルと インストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用し てハードウェアを構成します。ServerGuide は、更新済みデバイス・ドライバーを提供し、場合によっては 自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

ServerGuide を使用して Windows 2008 シリーズをデプロイする場合は、ServeRAID C110 が有効でも無効でも、システムでブルー・スクリーンが発生する場合があります。この問題を回避するには、以下を行います。

- 1. UEFI 設定を設定します。
- 2. 「Device and I/O Ports」設定を表示します。
- 3. 以下のいずれかを行って変更を保存します。
 - ServeRAID C110 が有効になっている場合は、「onboard SATA ports as」を「RAID」または 「IDE」に変更します。
 - ServeRAID C110 が有効になっていない場合、「onboard SATA ports as」を IDE に変更します。

設定を保存した後、ServerGuideからリブートすると正常に戻ります。

ServerGuide セットアップとインストール *CD*のイメージを https://support.lenovo.com/solutions/Invo-toolkit から無料でダウンロードできます。

ServerGuide セットアップとインストールCD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム・ディスクが必要です。

ServerGuide の機能

ServerGuide プログラムのバージョンにより、使用できる機能が若干異なる場合があります。ご使用の バージョンについて確認するには、ServerGuide セットアップとインストールCD を開始して、オンラ インで概要を確認してください。すべてのサーバー・モデルにおいてすべての機能がサポートされて いるわけではありません。

ServerGuide プログラムは、以下の特長を備えています。

- 使いやすいインターフェース
- ディスケットを使用しないセットアップ、および検出したハードウェアに基づく構成プログラム
- サーバーのモデルと検出されたハードウェア用のデバイス・ドライバーの提供
- セットアップ中に選択可能なオペレーティング・システムの区画サイズとファイル・システムのタイプ
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストールに関するヒントへのリン クが記載されたオンライン README ファイル
- システムの日付と時刻の設定

セットアップおよび構成の概要

ServerGuide セットアップとインストールCD を使用して、サポートされている Lenovo サーバー・モデ ルを構成できます。セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするの に必要なタスクのリストを提供します。ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コン トローラーを使用するサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して、論理ドライブを 作成することができます。

ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストール

このセクションでは、ServerGuideを使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて詳しく説明します。

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムのインストール所要時間を削減できます。このプ ログラムは、ハードウェアやインストールしようとするオペレーティング・システムに必要なデバイス・ ドライバーを提供します。ServerGuideを使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールに ついては、以下のリストを参照してください。

- セットアップ処理が完了すると、オペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。(インストールを完了するために、ご使用のオペレーティング・システム・ディスクが必要になります。)
- ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサー、ハードディスク・ドライブ・コントローラー、およびネイーサネット・コントローラーに関する情報を保管します。次に、プログラムは更新されたデバイス・ドライバーがあるか CD を調べます。この情報は保管された後、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
- 3. ServerGuide プログラムは、選択されたオペレーティング・システムとインストール済みハードディス ク・ドライブに基づき、オペレーティング・システム区画のオプションを表示します。
- ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再起動するようにプロンプトを出します。この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、https://datacentersupport.lenovo.com/us/en/solutions/server-os からこのサーバー用 の最新のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Setup Utility プログラムの使用

以下の作業を実行するには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Setup Utility プログラムを使用します。

- 構成情報の表示。
- デバイスおよび I/O ポートの割り当ての表示および変更。
- 日時の設定
- パスワードの設定と変更。
- サーバーの起動特性および起動デバイス順位の設定。
- 拡張ハードウェア機構の設定と変更。
- 省電力機能の設定値の表示、設定、および変更。
- エラー・ログの表示および消去。
- 構成競合の解決。

Setup Utility プログラムの開始

Setup Utility プログラムを開始するには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源をオンにします。

注:サーバーが電源に接続されてから約5秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。 ステップ2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1を押します。管理者パスワードが設定されて いる場合、Setup Utility の完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力し なければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup Utilityの限定メニューし か利用できません。

ステップ3. 必要に応じて、表示または変更する設定を選択します。

Setup Utility のメニュー選択項目

サーバー設定を表示または構成するには、Setup Utility メイン・メニューを使用します。

UEFIの Setup Utilityのメイン・メニューには、次の選択項目が表示されています。ファームウェアのバージョンによっては、メニュー選択がここでの説明と少し異なる場合があります。

• System Information (Setup Utility の完全メニューでのみ使用可能)

サーバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。Setup Utility の他の選択項目 を通じて変更を行うと、「System Information」にそれらの変更の一部が反映されます。「System Information」の設定値を直接変更することはできません。

- System Summary

マイクロプロセッサーの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、およびインストール済みのメモリー容量など、構成 情報を表示する場合、この項目を選択します。Setup Utility の他のオプションを使用して構成の 変更を行った場合、その変更はシステム・サマリーに反映されますが、システム・サマリー から直接設定を変更することはできません。

- Product Data (Setup Utility の完全メニューでのみ使用可能)

システム・ボード ID、ファームウェアとIntegrated Management Module 2.1 (IMM2.1) と診断コードの改 訂レベルまたは発行日、およびバージョンと日付を表示するには、この選択項目を選択します。

• System Settings

サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- Adapters and UEFI Drivers

サーバーに取り付けられた UEFI 1.10 準拠のアダプターとドライバーおよび UEFI 2.0 準拠のアダプ ターとドライバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。

- Processors

プロセッサーの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- Memory

メモリーの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- Devices and I/O Ports

デバイスや入出力(I/O)ポートの割り当てを表示または変更するには、この選択項目を選択します。 シリアル・ポートおよびリモート・コンソール・リダイレクトを構成できます。内蔵イーサネッ ト・コントローラー、SAS/SATAコントローラー、SATA光学式ドライブ・チャネル、PCIスロッ ト、およびビデオ・コントローラーの有効化または無効化を行うことができます。デバイスを無効 にすると、そのデバイスは構成することができず、オペレーティング・システムはそのデバイスを 検出できません(これは、デバイスを切り離すことと同じです)。

- Operating Modes

オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します(パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。

- Legacy Support

レガシー・サポートを表示または設定する場合、この項目を選択します。

- Force Legacy Video on Boot

この選択項目を選択して、INT ビデオ・サポートを強制します(オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合)。

- Rehook INT 19h

デバイスがブート処理を制御することを有効または無効に設定するには、この項目を選択します。デフォルト設定は「Disable」です。

- Legacy Thunk Support

UEFIがUEFI未対応のPCI大容量ストレージ・デバイスと相互作用することを有効または無効にするには、この項目を選択します。デフォルト設定は「Enable」です。

- Infinite Boot Retry

この選択項目を選択して、UEFIによるレガシー・ブート順序の無限再試行を有効または無効にできます。デフォルト設定は「Disable」です。

Non-Planar PXE

レガシー・モードでの非システム・ボード Preboot Execution Environment (PXE) を有効または 無効にするには、この項目を選択します。

BBS Boot

BIOS Boot Specification (BBS) 方法のレガシー・ブートを有効または無効にするには、この項目を 選択します。デフォルトは「Enable」です。

- Security

Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成するには、この選択項目を選択します。

- Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)の設定を表示または変更する場合、この項目を選択します。

- 電源復元ポリシー

電源喪失後の動作のモードを設定するには、この項目を選択します。

- Commands on USB Interface

この選択項目は、IMM2.1の Ethernet over USB インターフェースを有効または無効にする場合に選択します。デフォルト設定は「Enable」です。

- ネットワーク構成

この選択項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM2.1 MAC アドレス、現行 IMM2.1 IP アドレス、およびホスト名の表示。 静的 IMM2.1 IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。静的 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM2.1 IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク 変更の保存。IMM2.1 のリセット。

- デフォルトにIMM2.1をリセット

この選択項目を選択して、IMM2.1を表示あるいはデフォルト設定にリセットします。

- IMM2.1をリセット

この選択項目を選択して、IMM2.1をリセットします。

- Recovery and RAS

POST Attempts およびシステム・リカバリー設定を表示または変更するには、この項目を選択します。

- Backup Bank Management

バックアップ・バンク管理設定を表示または変更するには、この項目を選択します。

- Disk GPT Recovery

ディスク GPT リカバリー・オプションを表示または変更するには、この項目を選択します。

- POST Attempts

POST に対する試行の回数値を表示または変更するには、この項目を選択します。

• POST Attempts Limit

Nx回ブート失敗パラメーターを表示または変更するには、この項目を選択します。

- System Recovery

システム・リカバリー設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

• POST Watchdog Timer

POST ウォッチドッグ・タイマーを表示する、または有効に設定する場合、この項目を選択します。

- POST Watchdog Timer Value
 POST ローダー・ウォッチドッグ・タイマーの値を表示または設定するには、この選択項目を 選択します。
- Reboot System on NMI

この選択項目を選択し、マスク不可割り込み (NMI) が発生するたびにシステムを再起動させる 機能を有効または無効にします。デフォルト設定は「Enable」です。

- Storage

この選択項目を選択し、ストレージ・デバイス設定を表示あるいは変更します。

Network

この選択項目を選択し、ネットワーク・デバイス・オプション (iSCSI など) を表示あるいは変更 します。

- Drive Health ブレード・サーバーに取り付け

ブレード・サーバーに取り付けられているコントローラーの状況を表示するには、この項目 を選択します。

• Date and Time (Setup Utility の完全メニューでのみ使用可能)

この項目を選択して、サーバーの日時を24時間形式(時:分:秒)で設定します。

• Start Options (Setup Utility の完全メニューでのみ使用可能)

始動シーケンス、PXE ブート・オプション、PCI 装置のブート優先順位などの始動オプションを表示または変更するには、この項目を選択します。起動オプションの変更は、サーバーを起動すると有効になります。

起動シーケンスは、サーバーがブート・レコードを検出するためにデバイスをチェックする順序を指定 します。サーバーは、最初に検出したブート・レコードから起動します。サーバーに Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアがあり、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポー トしている場合には、Wake on LAN 機能の起動シーケンスを指定できます。たとえば、CD-RW/DVD ド ライブにディスクが入っているかどうかをチェックしてから、ハードディスク・ドライブをチェック し、その後、イーサネット・コントローラーをチェックする起動シーケンスを定義できます。

Boot Manager

デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りの ブート方法の選択、ブート・モードの変更、またはシステムの再起動を行うには、この選択項目 を選択します。

• System Event Log (Setup Utility の完全メニューでのみ使用可能)

この選択項目は、POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・ イベント・マネージャーに入る場合に選択します。矢印キーを使用して、エラー・ログ内のページ 間を移動できます。

POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

システム・イベント・ログには、POST イベントおよびシステム管理割り込み (SMI) イベントと、 Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成し たすべてのイベントが含まれます。

重要:サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログをクリアしてください。また、修復を完了するかエラーを修正した後も、システム・イベント・ログを消去して、サーバー前面のシステム・エラー LED をオフにしてください。

- POST Event Viewer

POST イベント・ビューアーに入って POST エラー・メッセージを表示するには、この選択項目 を選択します。

System Event Log

この選択項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

- Clear System Event Log

この選択項目は、システム・イベント・ログを消去する場合に選択します。

• User Security

パスワードを設定、変更、または削除する場合、この項目を選択します。詳しくは、33ページの 「パスワード」を参照してください。

- Set Power-on Password

始動パスワードを設定または変更する場合、この項目を選択します。詳しくは、34ページの「始動 パスワード」を参照してください。

- Clear Power-on Password

始動パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、34ページの「始動パ スワード」を参照してください。

- Set Administrator Password

管理者パスワードを設定または変更する場合、この項目を選択します。管理者パスワードは、シス テム管理者が使用するためのものであり、Setup Utilityの完全メニューへのアクセスを制限します。 管理者パスワードを設定している場合、パスワード・プロンプトが出されたときに管理者パスワー ドを入力したときにのみ、Setup Utilityの完全メニューを使用できます。詳しくは、34ページの 「管理者パスワード」を参照してください。

- Clear Administrator Password

管理者パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、34ページの「管理者パ スワード」を参照してください。

• Save Settings

Setup Utility で行った変更を保存する場合、この項目を選択します。

• Restore Settings

この選択項目を選択し、Setup Utility で行った変更をキャンセルし、前の設定値に戻します。

• Load Default Settings

この選択項目を選択し、Setup Utility で行った変更をキャンセルし、工場出荷時の設定に戻します。

• Exit Setup

この項目を選択し、Setup Utility を終了します。Setup Utility で行った変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

パスワード

「User Security」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワードを設定、変更、 削除できます。 「User Security」メニュー選択項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

始動パスワードのみを設定している場合、システム起動を完了するため、および Setup Utility の完全メ ニューにアクセスするために、始動パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのものであり、Setup Utility の完全メニューへの アクセスを制限します。管理者パスワードのみを設定している場合、システムの起動を完了するため にパスワードを入力する必要はありませんが、Setup Utility メニューにアクセスするには、管理者パス ワードを入力する必要があります。

ユーザーの始動パスワードおよびシステム管理者の管理者パスワードを設定した場合、システム起動を完 了するには始動パスワードを入力する必要があります。システム管理者は、管理者パスワードを入力する と、Setup Utility の完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、 および削除するためのユーザー権限を与えることができます。始動パスワードを入力したユーザーは、 Setup Utility の限定メニューにのみアクセスできます。ユーザーは、システム管理者から権限が与えられて いる場合、始動パスワードの設定、変更、および削除を行うことができます。

始動パスワード

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまで はシステムの起動は完了しません。パスワードには、6文字から20文字までの印刷可能なASCII文字を 任意に組み合わせて使用できます。

始動パスワードを設定すると、Unattended Start モードを有効にできます。このモードでは、キーボードとマウスはロックしたままでオペレーティング・システムを起動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

• 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力しま す。Setup Utility を開始して、始動パスワードをリセットします。

注意:管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバー ライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

- サーバーからバッテリーを取り外し、30秒待ってから、再度取り付けます。
- システム・ボード・スイッチ・ブロック (SW1)のスイッチ2を有効にして始動パスワードのスイッチの位置を変更し、パスワード検査をバイパスします(詳しくは、22ページの「システム・ボードのスイッチとジャンパー」を参照)。

注意:スイッチの設定を変更する、あるいはジャンパーを移動する前にはサーバーの電源をオフにしてください。次に、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してください。安全についての情報は、vページの「安全について」を参照してください。本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

スイッチ・ブロック SW1 上のすべてのスイッチのデフォルト位置は、「オフ」です。

サーバーの電源がオフの間に、スイッチ・ブロック (SW1)のスイッチ2を「オン」位置に移動して、 始動パスワード・オーバーライドを有効にします。Setup Utility を開始して、始動パスワードをリ セットできます。スイッチを前の位置に戻す必要はありません。

始動パスワード・オーバーライド・スイッチは、管理者パスワードには影響しません。

管理者パスワード

管理者パスワードを設定している場合、Setup Utility の完全メニューにアクセスするには、管理者パス ワードを入力する必要があります。パスワードには、6文字から 20文字までの印刷可能な ASCII 文字を 任意に組み合わせて使用できます。 注意:管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーラ イド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

Boot Manager プログラムの使用

Boot Manager は標準装備されたメニュー方式の構成プログラムであり、Setup Utility の設定を変更することなく、一時的に最初の起動デバイスを再定義するために使用できます。

Boot Manager プログラムを使用するには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。

ステップ2. サーバーを再起動します。

ステップ 3. プロンプト「<F12> Select Boot Device」が表示されたら、F12を押します。

ステップ4. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメニューから項目を選択し、Enterを押します。

次回にサーバーが起動するときには、Setup Utility で設定された起動シーケンスに戻ります。

サーバー・ファームウェアのバックアップの開始

システム・ボードには、サーバー・ファームウェアのバックアップ・コピー・エリアが入っています。 サーバー・ファームウェアの更新処理中にサーバー・ファームウェアの1次コピーが損傷した場合は、 バックアップ・コピーを使用します。

サーバーを強制的にバックアップ・コピーから起動するには、サーバーの電源をオフにして、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーをバックアップ位置 (ピン2と3)に設定して、UEFI リカバリー・モードを 有効にします。UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーの位置については、22ページの「システム・ ボードのスイッチとジャンパー」を参照してください。

サーバー・ファームウェアの1次コピーがリストアされるまでは、バックアップ・コピーを使用してくだ さい。1次コピーが復元されたら、サーバーの電源をオフにして、UEFI ブート・バックアップ・ジャ ンパーを1次の位置 (ピン1と2)に戻します。

UEFI のデフォルトをロードした後の Power Policy オプションのデフォル トの設定値への変更

電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値はIMM2.1によって設定されます。

電源ポリシー・オプションをデフォルト設定に変更するには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源をオンにします。

注:サーバーが AC 電源に接続されてから約 20 秒後に、電源制御ボタンがアクティブ になります。

- ステップ2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードを設定してい る場合、Setup Utility の完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する 必要があります。管理者パスワードを入力しない場合は、Setup Utility の限定メニューし か使用できません。
- ステップ 3. 「System Settings」→「Integrated Management Module」を選択してから、「Power Restore Policy」の設定を「Restore」に設定します。
- ステップ4. 「System Configuration and Boot Management」 \rightarrow 「Save Settings」に戻ります。
- ステップ 5. 戻って、「Power Policy」(デフォルト)の設定値をチェックし、これが「Restore」に設定 されていることを確認します。

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)の使用

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで 提供されていた機能の第2世代です。これは、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、 およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにまとめています。

IMM2.1 は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートしています。

- アラート(インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PETトラップ-IPMIスタイル、 SNMP、Eメール)
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)
- POST が完了しなかった場合、またはオペレーティング・システムが停止してオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の、自動サーバー再起動(ASR)。
- 仮想メディア・キー。これにより、リモート・プレゼンス・サポート(リモート・ビデオ、リモート・ キーボード/マウス、およびリモート・ストレージ)が可能になります。
- ブート・シーケンス操作
- コマンド・ライン・インターフェース
- 構成の保存とリストア
- DIMM エラー・アシスタンス。UEFI は、POST 中に検出された障害のある DIMM を無効にし、IMM2.1 は、関連したシステム・エラー LED を点灯します
- 温度、電圧、ファン障害、パワー・サプライ障害、および電源バックプレーン障害用のファン速度 制御を備えた環境モニター
- ・ Intelligent Platform Management Interface (IPMI) Specification V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート
- 無効システム構成 (CONFIG) LED サポート
- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新。
- マスク不可能割り込み (NMI)の検出および報告
- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー
- PCI 構成データ
- 電源/リセット制御(電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)
- パワー・サプライの入力電力の照会
- ROM ベースの IMM2.1 ファームウェアのフラッシュ更新
- Serial over LAN (SOL)
- Telnet または SSH プロトコルを介したシリアル・ポート・リダイレクト
- SMI 処理。
- システム・イベント・ログ (SEL) ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ

IMM2.1は、管理ユーティリティー・プログラムである ipmitool を使用して、以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

• コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)

コマンド・ライン・インターフェースにより、IPMI 2.0 プロトコルを介してサーバー管理機能に直接ア クセスできます。コマンド・ライン・インターフェースを使用し、サーバーの電源の制御、システム情 報の表示、およびサーバーの識別を行うコマンドを発行します。1つ以上のコマンドをテキスト・ファ イルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

• Serial over LAN

リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再起動、サーバーの識別、およびその他の管理機能を実 行することができます。すべての標準 Telnet クライアント・アプリケーションは、SOL 接続へのア クセスが可能です。

IMM2.1 についての詳細は、以下に掲載されている「*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*」を参照してください。

http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/ product_page.html

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー 機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) に組み込まれています。

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート 側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピ ングし、また、ISO イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用で きるようにします。

IMM2.1 がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM2.1 がサーバーを再起動する前 に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者 は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用できます。

IMM2.1ホスト名の取得

インストール後初めてIMM2.1にログオンする場合、IMM2.1のデフォルトは DHCP になっています。 DHCP サーバーが利用不能の場合、IMM2.1は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を使用します。デフォルトの IPv4 ホスト名は「IMM-」(IMM2.1MAC アドレスの最後の 12 文字を追加)です。デフォルトのホスト名 は、サーバーの背面にあるパワー・サプライについている IMM2.1 ネットワーク・アクセス・タグにも示 されています。サーバーを起動しないでホスト名を取得できます。

IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) は、IMM2.1のデフォルトのホスト名から導き出されます。リン ク・ローカル・アドレスを導き出すには、以下を行います。

- ステップ1. IMM2.1MAC アドレスの最後の12 文字をとります(たとえば、5CF3FC5EAAD0)。
- ステップ2. この番号を16進文字のペアに分けます(たとえば、5C:F3:FC:5E:AA:D0)。
- ステップ3.16進文字を最初の6文字と最後の6文字に分けます。
- ステップ4.12文字の中央に「FF」と「FE」を追加します(たとえば、5CF3FCFFFE5EAAD0)。
- ステップ 5. 最初の 16 進文字のペアを 2 進数に変換します (たとえば 5=0101、C=1100 で、結果は 01011100 F3 FC FF FE 5E AA D0)。
- ステップ 6. 左から 7 番目の 2 進文字数を (0 なら 1 に、1 なら 0 に) 反転させます。結果は 01011110 F3 FF FE 5E AA D0 となります。
- ステップ 7.2 進数を 16 進数に戻します (たとえば、5E F3FCFFFE5EAAD0)。

IMM2.1用の IP アドレスの取得

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM2.1 の IP アドレスまたはホスト名が必要です。IMM2.1 の IP アドレスは、Setup Utility を使用して取得できます。ま

た、IMM2.1 のホスト名は、IMM2.1 ネットワーク・アクセス・タグから取得できます。サーバーには、 IMM2.1 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。

IP アドレスを取得するには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源をオンにします。

注:サーバーが電源に接続されてから約5秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

- ステップ2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1を押します。(このプロンプトは、数秒間しか 画面に表示されません。素早くF1を押してください)。始動パスワードと管理者パスワー ドの両方を設定している場合、Setup Utilityの完全メニューにアクセスするには、管理者 パスワードを入力する必要があります。
- ステップ 3. Setup Utility のメイン・メニューから「System Settings」を選択します。
- ステップ4. 「Integrated Management Module」を選択します。
- ステップ 5. 「Network Configuration」を選択します。
- ステップ6. IP アドレスを見つけ、書き留めます。

ステップ7. Setup Utility を終了します。

Web インターフェースへのログイン

IMM2.1 Web インターフェースにログインするには、以下を行います。

ステップ1. サーバーに接続されているシステムで、Web ブラウザーを開きます。「Address」または「URL」フィールドに、接続する IMM2.1 の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

注:インストール後初めてIMM2.1にログオンする場合、IMM2.1のデフォルトは DHCP に なっています。DHCP ホストが利用不能の場合、IMM2.1は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を 割り当てます。IMM2.1ネットワーク・アクセス・タグはIMM2.1のデフォルトのホスト名 を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

ステップ2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。IMM2.1 を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。ログインの試行はシステム・イベント・ログにすべて記録されます。

注:IMM2.1 は、最初はユーザー名 USERID とパスワード PASSWORD (英字の O でなくゼロ) を使用して設定されます。読み取りおよび書き込み権限が付与されています。このデフォル トのパスワードは、初回ログイン時に変更する必要があります。

ステップ3. 「**ログイン**」をクリックしてセッションを開始します。「システムの状況とヘルス」ページ にシステム・ステータスのクイック・ビューが表示されます。

注:IMM2.1 GUI を使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「システム・ステータス」→「システムの状態」でメッセージ「Booting OS or in unsupported OS」が表示される場合は、Windows Server[®] 2008 または 2012 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 または 2012 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与える場合があります。

netsh advfirewall firewall set icmpsetting type=8 mode=ENABLE

デフォルトで、icmp パケットは Windows Server ファイアウォールによってブロックされます。Web イン ターフェースと CLI インターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM2.1 GUI は 「「OS booted」」状況に変わります。

組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの Lenovo USB フラッシュ・ デバイスで使用可能です。

USB フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクターに接続できます。コネクター の位置を確認するには、21 ページの「システム・ボード・コネクター」を参照してください。ハイ パーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが1つのホスト・システム上で同時に稼働でき るようにするソフトウェアの一種です。USB フラッシュ・デバイスは、ハイパーバイザーをアクティ ブにするために必要です。

組み込みハイパーバイザーの使用を開始するには、Setup Utility の起動シーケンスに USB フラッシュ・デ バイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを起動シーケンスに追加するには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源をオンにします。

注: サーバーが電源に接続されてから約5秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。 ステップ2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1を押します。

- ステップ 3. Setup Utility のメイン・メニューから「Boot Manager」を選択します。
- ステップ4. 「Add Boot Option」を選択し、次に「Generic Boot Option」→「Embedded Hypervisor」 を選択します。Enter キーを押してから、Esc を押します。
- ステップ 5. 「Change Boot Order」→「Change the order」を選択します。上下矢印キーを使用して 「Embedded Hypervisor」を選択し、プラス (+) キーとマイナス (-) キーを使用して、ブー ト順序内で「Embedded Hypervisor」を移動します。「Embedded Hypervisor」がブート 順序内の正しい位置になったら、Enter キーを押します。「Commit Changes」を選択し て Enter キーを押します。

ステップ 6. 「Save Settings」を選択し、次に「Exit Setup」を選択します。

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、 http://www-03.ibm.com/systems/x/os/vmware/esxi/からイメージをダウンロードすることができます。

追加情報と手順については、「VMware vSphere documentation」(http://www.vmware.com/support/pubs/)を参照 してください。

イーサネット・コントローラーの情報

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。このコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または1 Gbps ネットワークへの接続インターフェースと、ネットワーク上でデータの 送受信を同時に行うことができる全二重 (FDX) 機能を提供します。サーバーのイーサネット・コネク ターがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ 転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出 し、自動的にその速度とモードで稼働します。

ジャンパーの設定やコントローラーの構成は必要ありません。ただし、デバイス・ドライバーをインストー ルして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。

デバイス・ドライバーを見つけるには、http://www.lenovo.com/support にアクセスします。

Features on Demand Ethernet および Demand RAID ソフトウェアの有効化

以下の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにできます。

• Fibre Channel over Ethernet (FCoE)

- iSCSI ストレージ・プロトコル
- RAID

FCoE および iSCSI ストレージ・プロトコルおよび RAID は、IMM2.1 に統合されています。

詳しくは、「*Lenovo Features on Demand* ユーザーズ・ガイド」を参照してください。資料をダウンロード するには、https://fod.lenovo.com/lkms にアクセスしてログインし、「Help (ヘルプ)」をクリックします。

RAID 構成ユーティリティーへのアクセス

Setup Utility を使用して、RAID アレイを構成するユーティリティーにアクセスすることができます。

アレイを構成する特定の手順は、ご使用の RAID カードによって異なります。詳しくは、ご使用の RAID カード用の説明書を参照してください。ご使用の RAID カード用のユーティリティーにアクセスするには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源をオンにします。

注:サーバーが電源に接続されてから約5秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

- ステップ2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードが設定されて いる場合、Setup Utility の完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力し なければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup Utility の限定メニューし か利用できません。
- ステップ3. 「System Settings」→「Storage」を選択します。
- ステップ4. ご使用の RAID カードに適したデバイス・ドライバーを選択し、Enter キーを押します。次に、ご使用の RAID カードの説明書にある指示に従います。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI

Lenovo XClarity Essentials (LXCE) は、お客様が Lenovo ThinkSystem、System x、および ThinkServer サー バーをより効率的に、コスト効率よく、簡単に管理できるようにする、サーバー管理ユーティリティー のコレクションです。

- Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator (BoMC) は、ブート可能メディアを作成するために使用するソフトウェア・アプリケーションです。ブート可能メディアは、ファームウェア更新の適用、プリブート診断の実行、サポートされている ThinkSystem、System x、および BladeCenter システムへのMicrosoft Windows オペレーティング・システムのデプロイに使用できます。
- Lenovo XClarity Essentials OneCLI はいくつかのコマンドライン・アプリケーションのコレクションです。 サーバーの構成、サーバーのサービス・データの収集、ファームウェアとデバイス・ドライバーの更 新、サーバーの電源管理機能の実行に使用することができます。
- XClarity Essentials UpdateXpress は、UpdateXpress System Packs (UXSP) や個別更新を取得し、ご使用のローカル・システムまたはリモート・システムに適用できる、ソフトウェア・アプリケーションです。詳細については、https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-CENTER にアクセスしてください。

Lenovo XClarity Administrator の使用

Lenovo XClarity Administratorの初期セットアップには以下が含まれています。

- ネットワークの準備
- Lenovo XClarity Administrator 仮想アプライアンスのインストールおよび構成
- システムの管理
- 自動問題通知のセットアップ(オプション)

ご使用の環境に実装されたネットワーク・トポロジーに応じてシステムを管理するために、管理可能なシ ステムをネットワークに接続し、Lenovo XClarity Administrator 仮想アプライアンスを設定する方法には、 さまざまなものがあります。サーバーの管理に Lenovo XClarity Administrator を使用する予定がある場合 は、Lenovo XClarity Administrator に適用可能な最新の更新と暫定修正があるかどうかを確認する必要があ ります。VMware ESXi ベースおよび Hyper-V 環境への Lenovo XClarity Administrator のインストールおよび Lenovo XClarity Administrator の更新のダウンロードについては、 https://support.lenovo.com/us/en/ documents/LNVO-XCLARIT

Lenovo XClarity Administrator には 90 日間の試用ライセンスがあり、限定された期間、すべての機能 (オペレーティング・システム・デプロイメント、ファームウェアの保守および構成管理を含む)を使用できます。90 日の試用期間終了後に引き続き Lenovo XClarity Administrator を使用するには、Lenovo XClarity Administrator それぞれの全機能有効化ライセンスを購入する必要があります。ライセンスは、以下から購入してダウンロードできます。

https://support.lenovo.com/us/en/documents/lnvo-lxcaupd

汎用固有 ID (UUID) の更新

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID)を更新する必要があります。Lenovo XClarity Essentials OneCLI を使用して、UEFI ベースのソリューションで UUID を更新します。Lenovo XClarity Essentials OneCLI は、ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンを確実にダウンロードできる ようにする、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。

注: Lenovo XClarity Provisioning Manager を使用して、ソリューションの UUID を更新できます。

- 1. ソリューションを起動し、F1 を押して Lenovo XClarity Provisioning Manager システム・セットアップ・インターフェースを表示します。
- 2. 「システムの要約」ページで「VPD の更新」をクリックします。
- 3. UUID を更新します。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI をダウンロードするには、次のサイトにアクセスしてください。

https://datacentersupport.lenovo.com/us/en/solutions/HT116433

Lenovo XClarity Essentials OneCLI は、Lenovo XClarity Controller に UUID を設定します。以下のいずれかの 方法を選択して Lenovo XClarity Controller にアクセスし、UUID を設定します。

- ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセスなど)
- ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
- ステップ1. OneCLI パッケージ(他の必要なファイルも含まれています)をソリューションにコピーし、解 凍します。OneCLI と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。
- ステップ2. OneCLI をインストールした後、次のコマンド構文を使用して UUID を設定します。

onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]

ここで、それぞれ以下の意味があります。

<uuid_value>

ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

[access_method]

以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

• オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例: onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoUUID <uuid_value> --user <user_id> --password <password> ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

- onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き)の場合:
 このアクセス方式を使用する場合は、access_methodの値を指定する必要はありません。

例:

onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>

注:KCS アクセス方式では、IPMI/KCS インターフェースを使用します。これには IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。

リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注:リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して Lenovo XClarity Controller にアクセスする場合、「*host*」および「*xcc_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

[--imm xcc_user_id:xcc_password@xcc_external_ip]

または

[--bmc xcc_user_id:xcc_password@xcc_external_ip]

ここで、それぞれ以下の意味があります。

xcc_external_ip

BMC/IMM/XCC 外部 LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラ メーターは必須です。

xcc_user_id

BMC/IMM/XCC アカウント名 (12 アカウントのうちの1つ)。デフォルト値は USERID です。

xcc_password

BMC/IMM/XCC アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの1つ)。デフォル ト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注:BMC、IMM、または XCC の外部 LAN IP アドレス、アカウント名、およびパス ワードは、すべてこのコマンドで有効です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例: onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>

ステップ3. Lenovo XClarity Controller を再起動します。

ステップ4. ソリューションを再起動します。

DMI/SMBIOS データの更新

システム・ボードを交換した場合、デスクトップ管理インターフェース (DMI) を更新する必要がありま す。Lenovo XClarity Essentials OneCLI を使用して、UEFI ベースのソリューションで DMI を更新します。 Lenovo XClarity Essentials OneCLI は、ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンを確実にダウン ロードできるようにする、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。

注: Lenovo XClarity Provisioning Manager を使用して、ソリューションの資産タグを更新できます。

- 1. ソリューションを起動し、F1 を押して Lenovo XClarity Provisioning Manager システム・セットアップ・インターフェースを表示します。
- 2. 「システムの要約」ページで「VPD の更新」をクリックします。

3. 資産タグ情報を更新します。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI をダウンロードするには、次のサイトにアクセスしてください。

https://datacentersupport.lenovo.com/us/en/solutions/HT116433

Lenovo XClarity Essentials OneCLI は、Lenovo XClarity Controller に DMI を設定します。以下のいずれかの方 法を選択して Lenovo XClarity Controller にアクセスし、DMI を設定します。

- ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセスなど)
- ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)

ステップ 1. Lenovo XClarity Essentials OneCLI をインストールした後、次のコマンドを入力して DMI を 設定します。 onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>[access_method]

onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> [access_method] onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]

ここで、それぞれ以下の意味があります。

<m/t_model>

ソリューションのマシン・タイプおよび型式番号。mtm xxxxyyy と入力してください。 ここで、xxxx はマシン・タイプ、yyy はソリューション・モデルの番号です。

<s/n>

ソリューションのシリアル番号。sn zzzzzz と入力します。ここで、zzzzzzz はシリア ル番号です。

<asset_method>

[access_method]

以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。

• オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

[--imm xcc_user_id:xcc_password@xcc_internal_ip]

または

[--bmc xcc_user_id:xcc_password@xcc_internal_ip]

ここで、それぞれ以下の意味があります。

xcc_internal_ip

BMC/IMM/XCC 内部 LAN/USB IP アドレス。デフォルト値は 169.254.95.118 です。

xcc_user_id

BMC/IMM/XCC アカウント名 (12 アカウントのうちの1つ)。デフォルト値は USERID です。

xcc_password

BMC/IMM/XCC アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの1つ)。デフォル ト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

- 注:
- 1. BMC、IMM、または XCC の内部 LAN/USB IP アドレス、アカウント名、およびパスワードは、すべてこのコマンドで有効です。

 いずれのパラメーターも指定しない場合、OneCLIはデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、オンライン認証のLANアクセス方式を使用して OneCLIがLenovo XClarity Controllerにアクセスできない場合は、OneCLIは自動的 に認定されていないKCSアクセス方式を使用します。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例: onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>

 オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き)の場合:このアクセス方式 を使用する場合は、access methodの値を指定する必要はありません。

注:KCS アクセス方式では、IPMI/KCS インターフェースを使用します。これには IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。 以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない 例です。

onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>

リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注:リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して Lenovo XClarity Controller にアクセスする場合、「*host*」および「*xcc_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

[--imm xcc_user_id:xcc_password@xcc_external_ip] または [--bmc xcc_user_id:xcc_password@xcc_external_ip] ここで、それぞれ以下の意味があります。

ここし、てれてれ以下の息味がめりま

xcc_external_ip

BMC/IMM/XCC LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

xcc_user_id

BMC/IMM/XCC アカウント (12 アカウントのうちの1つ)。デフォルト値は USERID です。

xcc_password

BMC/IMM/XCC アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの1つ)。デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ0を使用)です。

注:BMC、IMM、または XCC の内部 LAN/USB IP アドレス、アカウント名、およびパ スワードは、すべてこのコマンドで有効です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例: onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <xcc_ip> onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <xcc_ip> onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <xcc_ip>

ステップ2. ソリューションを再起動します。

_____ オンボード SATA ソフトウェア RAID の構成

オンボード SATA RAID 機能の有効化、RAID ボリュームの作成、RAID ボリュームの削除、スペアとして マークを行って、オンボード SATA ソフトウェア RAID を構成できます。

Onboard SATA RAID 機能の有効化

注:選択は、キーボードの矢印キーを使用して行います。

Onboard SATA RAID 機能を有効にするには、次のようにします。

- 1. Setup Utility プログラムを起動します。29 ページの「Setup Utility プログラムの開始」を参照して ください。
- 2. 「System settings」 → 「Devices and I/O ports」を選択します。
- 3. 「Onboard SATA mode」を選択し、Enter キーを押します。
- 4. 「RAID」を選択して Enter キーを押します。
- 5. ESC を 2 回押して、Setup Utility プログラムのメインメニューに戻ります。
- 6. 「Save Settings」を選択して、Enter キーを押します。
- 7. Setup Utility プログラムを修了します。

RAID ボリュームの作成

このセクションでは、Intel Rapid Storage Technology エンタープライズ UEFI HII を使用して、RAID ボ リュームを作成する方法について説明します。

RAID ボリュームを作成するには、以下を行います。

- 1. Setup Utility プログラムを起動します。29 ページの「Setup Utility プログラムの開始」を参照して ください。
- 2. 「System settings」 → 「Storage」 を選択して Enter キーを押します。
- 3. 「Intel RSTe SATA コントローラー」を選択して Enter キーを押します。
- 4. 「Create RAID Volume」を選択し、Enter キーを押します。
- 5. 「Name」フィールドに適切な RAID ボリュームの名前を入力し、Enter キーを押します。
- 6. 「RAID Level」フィールドで、矢印キーを使用して RAID レベルを選択し、Enter キーを押します。
- 7. 矢印キーを使用して「Select Disk」フィールドでハードディスク・ドライブを選択し、Enter キーを 押します。
- 8. 必要に応じて、ステップ7を繰り返して複数のハードディスク・ドライブを選択します。
- 9. 「Stripe Size」フィールドで、矢印キーを使用してストライプ・サイズを選択し、Enter キーを 押します。
- 10. 「Capacity (MB)」フィールドにボリューム・サイズを入力し、Enter キーを押します。
- 11. 「Create Volume」を選択し、Enter キーを押します。
- 12. 確認を求められたら、「Y」を押して警告メッセージを受け入れ、ボリュームを作成します。
- 13. 必要に応じてステップ4に戻り、さらに RAID ボリュームを作成します。

RAID ボリュームの削除

このセクションでは、Intel Rapid Storage Technology エンタープライズ UEFI HII を使用して、RAID ボ リュームを削除する方法について説明します。

RAID ボリュームを削除するには、以下を行います。

- 1. Setup Utility プログラムを起動します。29 ページの「Setup Utility プログラムの開始」を参照して ください。
- 2. 「System settings」 → 「Storage」 を選択して Enter キーを押します。
- 3. 「Intel RSTe SATA コントローラー」を選択して Enter キーを押します。
- 4. 「RAID Volume」フィールドで、矢印キーを使用して削除する RAID ボリュームを選択し、Enter キーを押します。

- 5. 「Delete」を選択し、Enter キーを押します。
- 6. 確認を求められたら「Y」を押して、選択した RAID ボリュームの削除を確定します。RAID ボリュー ムを削除すると、ハードディスク・ドライブは非 RAID の状態にリセットされます。
- 7. RAID ボリュームの削除後、次のことを行うことができます。
 - ステップ4に戻って、さらに RAID ボリュームを削除します。
 - RAID ボリュームの作成については、45ページの「RAID ボリュームの作成」を参照してください。
 - Setup Utility プログラムを修了します。

ディスクをスペアとしてマーク付け

スペア・ドライブとしてハードディスク・ドライブにマークを付けるには、次のようにします。

- 1. Setup Utility プログラムを起動します。29 ページの「Setup Utility プログラムの開始」を参照して ください。
- 2. 「System settings」 → 「Storage」 を選択して Enter キーを押します。
- 3. 「Intel RSTe SATA コントローラー」を選択して Enter キーを押します。
- 4. 上下の矢印キーを使用して「Non-RAID Physical Disks」フィールドで非 RAID 物理ディスクを選択し、Enter キーを押します。
- 5. 「Mark as Spare」を選択し、Enter キーを押します。
- 6. 確認を求められたら「Y」を押して操作を確定します。

注:スペア・ドライブとしてハードディスク・ドライブにマークを付けると、ドライブのすべて のデータは削除されます。

注:ご使用のサーバーに以下の Linux オペレーティング・システムのいずれかがインストールされている 場合、対応する処置に従って続行してください。

- Redhat Enterprise Linux 6.7 オペレーティング・システムの場合は、次の行を /etc/mdadm.conf ファイルの最後に追加して、オペレーティング・システムを再起動します。
 POLICY domain=DOMAIN path=* metadata=imsm action=spare-same-slot
- SUSE Linux Enterprise Server 11.4 オペレーティング・システムの場合は、次のようにします。
 - 1. /etc/mdadm.conf ファイルの最後に次の行を追加します。 POLICY domain=DOMAIN path=* metadata=imsm action=spare-same-slot
 - ルート・ユーザーとして次のコマンドを実行します。 # chkconfig -s mdadmd on # /etc/init.d/mdadmd start

第5章 トラブルシューティング

この章では、サーバーで発生した問題を解決するために役立つ診断ツールとトラブルシューティング 情報について説明します。

この章の情報を使用しても問題の診断や訂正ができない場合は、683 ページの付録D「ヘルプおよび技術サポートの入手」を参照してください。

ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW)にあるトラブルシューティング手順に従う ことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージと エラー・コードが記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付 属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

IBM または Lenovo 認定保証サービス・プロバイダーに連絡する前に、以下の手順をここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

ステップ1. 問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。

問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがあ る場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。この操作を行う対象には、以下 の項目があります。

- ハードウェア・コンポーネント
- デバイス・ドライバーおよびファームウェア
- システム・ソフトウェア
- UEFI ファームウェア
- システム入力電力またはネットワーク接続

ステップ 2. Light path 診断 LED、イベント・ログ、およびエラー・コードを確認します。

次の項目は、ハードウェアおよびソフトウェアの問題を簡単に診断する役に立ちます。

- Light path 診断 LED (53 ページの「Light path 診断」を参照)
- **イベント・ログ** (56 ページの「イベント・ログ」を参照)
- ソフトウェアまたはオペレーティング・システム・エラー・コード (製造メーカーの Web サイトの資料またはヒントを参照)
- ステップ 3. LXCE OneCLI を実行して、システム・データを収集します。

ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについ ての情報を収集するには LXCE OneCLI を実行します。IBM または認定保証サービス提供者 に連絡する際に、この情報を提供してください。OneCLI の実行方法の手順については、 「*LXCE OneCLI ユーザー・ガイド*」を参照してください。

OneCLIコードの最新バージョンおよび「*LXCE OneCLIユーザー・ガイド*」をダウンロードするには、https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-DSA にアクセスします。

ステップ4. コードの更新を確認して、適用します。

多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みのUEFIファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバーで使用可能である場合があります。サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、以下にアクセスしてください。 https://datacentersupport.lenovo.com

注意:誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールすると、 サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライ バーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な 情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファーム ウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特 殊な手順も含まれます。

重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整された コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コー ドを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされて いることを確認してください。

a. UpdateXpress システム更新をインストールします。

UpdateXpress システム・パックまたは UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされて いるコード更新をインストールできます。UpdateXpress System Pack には、サーバー用のオ ンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが 収録されています。さらに、Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator を使用して、 ファームウェア更新の適用およびプリブート診断の実行に適したブート可能メディアを作 成することができます。UpdateXpress System Packs について詳しくは、以下を参照してく ださい。

https://datacentersupport.lenovo.com

Bootable Media Creator プログラムについて詳しくは、以下を参照してください。 https://support.lenovo.com/ us/en/documents/LNVO-BOMC

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress システム・パックあ るいは UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストー ルしてください。手動でシステム更新をインストールするには、以下の2つのステッ プを参照してください。

b. 手動のシステム更新をインストールします。

1. 既存のコード・レベルを判別します。

*OneCLI インベントリー・レポート*で、「**ファームウェア**/VPD」をクリックしてシス テム・ファームウェア・レベルを表示するか、「**ソフトウェア**」をクリックして オペレーティング・システム・レベルを表示します。

2. 最新レベルではないコードがあれば、更新をダウンロードしてインストールします。 サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、以下にアクセスしてください。

https://datacentersupport.lenovo.com

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリス トが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてくださ い。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールする と問題が解決される場合があります。

ステップ 5. 構成の誤りを確認して、訂正します。

サーバーが誤って構成されている場合、それを有効にするとシステム機能に障害が起きるこ とがあります。サーバー構成を誤って変更した場合、有効だったシステム機能が作動を停 止することがあります。

a. インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされているこ とを確認します。

・サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプションのデ バイス、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認するには、 http://www.lenovo.com/serverproven/を参照してください。サポートされていないハードウェ アまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、そのハードウェアを取り外すかそ のソフトウェアをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別 します。IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポート されていないハードウェアを取り外す必要があります。

 b. サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成 が正しく行われていることを確認します。

多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。チェックアウト手順の実行については、50ページの「チェックアウト手順を実行する前の予防措置」を参照してください。サーバーの構成については、25ページの第4章「構成情報」を参照してください。

ステップ6. コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。

問題が特定の機能に関連している場合(たとえば、RAIDハードディスク・ドライブが RAIDアレイにオフラインとしてマークされる場合)には、関連のコントローラーと管理 または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されているこ とを確認してください。

RAID やイーサネット・コントローラーなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

オペレーティング・システム、IBM ソフトウェア、デバイスに関する問題については、 http://www.lenovo.com/support にアクセスしてください。

ステップ7. トラブルシューティング手順および retain のヒントを確認します。

トラブルシューティング手順および retain のヒントには、既知の問題および推奨される解決策 が文書化されています。トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するに は、http://www.lenovo.com/support にアクセスしてください。

ステップ 8. トラブルシューティング表を使用します。

識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、62ページの「症状別トラブ ルシューティング」を参照してください。

単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。最も顕著な現象のトラブル シューティング手順に従ってください。その手順で問題を解決できない場合は、可能であれ ば、別の現象に関する手順を使用してください。

問題が残る場合は、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を得てください。オンライン・サービス要求を 開くには、http://www.ibm.com/support/ entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。 エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

オンライン・サービス要求を開く

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに IBM によって確認されていない可能性が あります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効 であり、どの light path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していない ことを確認した後で、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/ entry/portal/Open_service_requestにアクセス してください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提 供できるように準備してください。

Service Bulletin

Lenovoでは、サポートのWebサイトで常時更新し、Lenovo System x3250 M6 サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントとテクニックを提供しています。

Lenovo System x3250 M6 サーバーに使用可能な Service Bulletin を検索するには、http://www.lenovo.com/support にアクセスして、3633 および 3943 と retain を検索してください。

チェックアウト手順

このセクションでは、問題を診断するための追加情報を提供します。

チェックアウト手順を実行する前の予防措置

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- 安全上の注意をお読みください。vページの「安全について」を参照してください。
- Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (システム・ボード、イーサネット・ コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハード ディスク・ドライブなど)の基本テスト方式を提供します。DSA を使用して、一部の外部デバイスをテ ストすることもできます。問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合 は、DSA を使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

重要:複数のエラー・コードあるいは複数の light path 診断 LED が1つのマイクロプロセッサー・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサーまたはマイクロプロセッサー・ソケットに関係している可能性があります。

- DSA を実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハードディスク・ドライブ・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム)の一部であるかどうかを判別する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置(つまり、記憶装置内のハードディスク・ドライブ)または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合は、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
 - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー)の一部であると確認した場合。
 - 1つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも1つは別のサーバーまたは未確認デバイスにも接続されている場合。
 - 1つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

重要:サーバーが共用 HDD クラスターの一部である場合は、一度に1つだけテストを実行してください。「クイック」テストや「通常」テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。 これを行うと、一連のハードディスク・ドライブ診断テストが有効にされることがあります。

- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は、513ページの付録 B「UEFI (POST) エラー・コード」を参照してください。サーバーが停止されるが、エラー・メッセージが表示され ない場合は、62ページの「症状別トラブルシューティング」および 75ページの「未解決問題の解 決」を参照してください。
- パワー・サプライの問題については、74ページの「電源の問題の解決」、70ページの「電源問題」、 および 55ページの「パワー・サプライ LED」を参照してください。
- 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、56ページの「イベント・ログ」および525ページの付録C「DSA診断テスト結果」を参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順を実行するには、以下を行います。

ステップ1. サーバーはクラスターの一部ですか。

- いいえ: 51 ページの ステップ 2 に進みます。
- はい: クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。51 ページのステップ3に進みます。
- ステップ2.以下を実行します。
 - a. パワー・サプライ LED を確認します。55 ページの「パワー・サプライ LED」を参照してください。
 - b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
 - c. すべての内蔵デバイスおよび外付けデバイスの互換性を http://www.lenovo.com/ serverproven/ でチェックします。
 - d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
 - e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
 - f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
 - g. サーバーの電源をオンにします。サーバーが起動しない場合は、62ページの「症状別ト ラブルシューティング」を参照してください。
 - h. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点灯してい る場合は、light path 診断 LED をチェックします。53 ページの 「Light path 診断」を参 照してください。
 - i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
 - POST の正常終了 (59 ページの「POST」を参照)
 - 起動の正常終了(オペレーティング・システム・デスクトップの読み取り可能な表示によって示されます)
- ステップ3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。
 - いいえ: 62 ページの「症状別トラブルシューティング」で障害の徴候を見つけ出します。 必要があれば、75 ページの「未解決問題の解決」を参照してください。
 - はい: DSA を実行します。60ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照してください。
 - DSA がエラーを報告する場合は、525 ページの 付録 C「DSA 診断テスト結果」 の指示に従ってください。
 - DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、75ページの「未 解決問題の解決」を参照してください。

診断ツール

次のツールは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立ちます。

• Light path 診断

Light path 診断を使用して、システム・エラーを迅速に診断します。詳しくは、53 ページの「Light path 診断」を参照してください。

イベント・ログ

イベント・ログでは、エラーが検出された場合に生成されるエラー・コードとメッセージをリストしています。詳しくは、56ページの「イベント・ログ」を参照してください。

• Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) では、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントロー ラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が1つのチップに組 み合わせられています。IMM2.1 は、高度なサービス・プロセッサーの制御、監視、およびアラー ト機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が発生す ると、IMM2.1は問題の診断に役立つ LED を点灯し、IMM2.1 イベント・ログにエラーを記録し、さ らにユーザーに対してアラートを発行します。オプションで、IMM2.1 はリモート・サーバー管理 機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM2.1 は、以下の業界標準インターフェースを 通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) $\cancel{N} \cancel{2} \equiv 2.0$
- Simple Network Management Protocol (SNMP) $/(- \vec{y} \equiv 2)$
- 共通情報モデル (CIM)
- Web ブラウザー

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) について詳しくは、36 ページの「Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)の使用」, 193 ページの付録 A「Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)のエラー・メッセージ」および「*Integrated Management Module II User's Guide*」(http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/ product_page.html) を参照してください。

• Dynamic System Analysis Preboot (DSA Preboot)

DSA Preboot 診断プログラムは、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されます。DSA Preboot は、サー バーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーの主要コンポーネントの診 断テストの豊富なセットを提供します。DSA Preboot は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- Drive Health 情報
- IMM2.1構成情報
- IMM2.1環境情報
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- Light path 診断の状況
- マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1))の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント(取り付け済みの場合)の診断も提供します。

- Emulex イーサネット・コントローラー
- IMM2.1 I2C バス
- Light path 診断パネル
- メモリー・モジュール
- マイクロプロセッサー
- 光ディスク・デバイス (CD または DVD)
- SAS または SATA ドライブ
- LSI コントローラー
- Broadcom イーサネット・コントローラー
- FusionIO ストレージ
- Intel GPU
- NVIDIA GPU

DSA Preboot のサーバーでの実行について詳しくは、60ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照してください。

また、現象の問題を診断して解決できます。詳しくは、62ページの「症状別トラブルシューティン グ」を参照してください。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- Lenovo サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

Light path 診断

Light path 診断は、サーバーの各種外部コンポーネントおよび内部コンポーネント上にある LED のシステムで、これを使用して障害のあるコンポーネントを特定することができます。エラーが発生すると、フロント・パネル、オペレーター情報パネルのパスに沿って、次に障害が起こったコンポーネント上で、LED が点灯します。特定の順序で LED を確認することにより、多くの場合、エラーの原因を確認できます。

エラーを示す LED が点灯すると、サーバーが電源に接続されたままであり、パワー・サプライが正しく 作動していれば、それらの LED はサーバーの電源がオフになってもそのまま点灯しています。

サーバーの内部の light path 診断 LED を確認する前に、「安全について」(vページの「安全について」) および 98 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」をお読みください。

エラーが発生したら、サーバー前面の light path 診断 LED を見て、オペレーター情報パネルを確認します。

次の表では、オペレーター情報パネル上の LED および検出された問題を修正するための推奨アクションについて説明します。

表 5. Light path 診断 LED のステータスと操作

LED	説明	操作
シス <u>テム</u> ・ロケーター LED (青色)	この LED はプレゼンス検出 LED とし て使用されます。Systems Director または IMM2.1 を使用して、この LED をリモート で点灯させることができます。	この LED は、複数のサーバーの中から該 当のサーバーを視覚的に見付けるのに使 用します。
チェック・ログ LED▲三 (オレンジ色)	LED がオン: エラーが発生し、特定の手順 を実行しなければ切り分けを行えません。	 IMM2.1 イベント・ログおよびシステム・エラー・ログで、このエラーに関する情報を確認してください。 必要に応じてログを保存した後、そのログをクリアします。
システム・エラー LED (オレンジ色)	LED がオン: エラーが発生しました。	 システム・ロケーター LED を確認 し、ログ LED を確認して、指示に従 います。 IMM2.1 イベント・ログおよびシステ ム・エラー・ログで、このエラーに 関する情報を確認してください。 必要に応じてログを保存した後、そ のログをクリアします。

エラー LED

このセクションでは、システム・ボードのエラー LED と、検出された問題を修正するための推奨ア クションについて説明しています。

システム・ボードにはエラー LED があり、エラーの発生源を特定する役に立ちます。診断プログラムを 実行して、エラーの原因を検出します。59ページの「Dynamic System Analysis」を参照してください。

このサーバーが AC 電源に接続されていて、パワー・サプライが正常に作動していれば、サーバーがオン になっていなくても、LED は点灯したままになっているように設計されています。この機能は、オペレー ティング・システムがシャットダウンされているときに問題を特定するのに役立ちます。

注:サーバーから電源を切り離す際、電源が取り外されると LED が点灯しないため、LED を見ることが できません。電源を切り離す前に、オペレーション情報パネルで点灯している LED、システム・ボード上 のサーバー内部の LED を含めて、どの LED が点灯しているか書き留めておきます。

ほとんどのエラーは、最初にサーバーのオペレーター情報パネルのシステム・エラー LED の点灯によって示されます。この LED が点灯した場合は、サーバー内の別の場所にある1つ以上の LED も点灯していることがあり、そこからエラーの原因を突き止めることができます。

LED を確認するためにサーバーの内部で作業するときは、事前に v ページの「安全について」と 98 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」をお読みください。

エラーが発生した場合またはシステム・エラーがあると思われる場合は、以下を行ってください。

- 1. サーバー前面のオペレーター情報パネルをチェックします。システム・エラー LED が点灯している ときは、エラーが発生したことを確認します。
- 2. IMM2.1 イベント・ログおよびシステム・エラー・ログで、このエラーに関する情報を確認して ください。
- 3. サーバー・カバーの内側にあるシステム・サービス・ラベルを見ると、内部コンポーネントの概要が 分かります。このラベルには通常、エラーを修正するため必要な手順も記載されています。

エラー LED の位置については、24ページの「システム・ボード LED」を参照してください。

次の表では、システム・ボードの LED および検出された問題を修正するための推奨操作について説明します。

 IMM2.1 ハートビート LED: サーバーが電源に接続されている場合、この LED は短い間隔で点滅して、IMM2.1 コードがロード中であることを示します。ロードが完了すると、LED は一時的に短い 点滅を停止してから、長い間隔で点滅して、IMM2.1 が完全に作動可能であることを示します。こうなると、電源制御ボタンを押してサーバーを起動できます。

サーバーが電源に接続されてから 30 秒以内に LED が点滅を開始しない場合は、以下を行います。

- 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) ファームウェアをリカバリーします。77 ページの「サーバー・ファームウェアのリカバリー(UEFI更新の失敗)」を参照してください。
- 2. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。
- システム・エラー LED: LED が点灯している場合、マイクロプロセッサー VRD または電源電圧調節 装置で障害が発生したことを示しています。この場合、トレーニングを受けた技術員に依頼してシ ステム・ボードを交換する必要があります。
- CPLD ハートビート LED: この LED が1Hz で点滅する場合は、正常に機能しており操作は必要ありません。LED が点滅していない場合は、システム・ボードを交換します(トレーニングを受けた技術員のみ)。

パワー・サプライ LED

このセクションでは、サーバーの背面にあるパワー・サプライ LED、および検出された問題を修正す るための推奨アクションについて説明します。

サーバーを起動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- マイクロプロセッサー1個
- 4 GB DIMM 1 個
- 電源
- 電源コード
- 冷却ファン4つ

サーバーの背面にある LED およびコネクターの位置については、17 ページの「背面図」を参照して ください。

次の表では、パワー・サプライの LED の各種の組み合わせが示す問題と、検出された問題を修正するための推奨処置について説明します。

AC 電 源 LED	DC 電源 LED	パワー・サプラ イ・エラー LED	説明	操作
オン	オン	オフ	正常に作動	操作は必要はありません。
オフ	オフ	オフ	サーバーへの AC 電 源供給がないか、 AC 電源の問題。 AC 電源を接続し ていないときは、 この現象は正常で す。	 サーバーへの AC 電源をチェックします。 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 サーバーを再起動します。エラーが解決されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 問題が解決しない場合は、パワー・サプライを交換します。

表 6. パワー・サプライ LED

表 6. パワー・サプライ LED (続き)

AC 電 源 LED	DC 電源 LED	パワー・サプラ イ・エラー LED	説明	操作
オン	オフ	オフ	障よい 障子の現 です です です で し し ま で し 、 た で し 、 た の で し 、 た の 、 の の で の の れ 、 の の で の の れ 、 の の で の の れ 、 の の の の れ 、 の の の の れ い つ 一 能 む い の の に い つ の れ 、 の が れ て 一 般 い で た し 一 般 い で え た い た い た い た い た い た い た い た い た い た い た い た い た い た に い た に い た に い た 、 の の て こ た い た い た っ の て こ た う ん の の て こ た う ん の て こ た う ん の の て こ た う ん の の て 、 む む む た 、 た つ る て む む む む む た 、 の る て で 、 で る の の て 、 、 、 、 の の て 、 、 、 、 、 の の 、 、 、 の の 、 、 、 、 、 、 、 の の 、 、 、 、 、	 サーバーの電源をオフにし、サーバーの電源 コードを切り離し、電源コードを再接続しま す。 システム・ボード・エラー(障害)LEDが点 灯していない場合は、パワー・サプライを交 換します。 (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ ボード・エラー LED が点灯している場合は、 システム・ボードを交換します。
オン	オフまた は点滅	オン	パワー・サプライ に障害がある	パワー・サプライを交換してください。
オン	オン	オン	パワー・サプライ に障害があるが、 作動可能である。	パワー・サプライを交換してください。

システム・パルス LED

このセクションでは、システムの電源オンと電源オフおよびブート進行をモニターする、システム・ボード上のシステム・パルス LED について説明します。

以下の LED はシステム・ボードにあり、システムの電源オンと電源オフの順序付けおよびブート進行を監視します。これらの LED の場所については、24 ページの「システム・ボード LED」を参照してください。

CPLD ハートビート LED: この LED が1Hz で点滅する場合は、正常に機能しており操作は必要ありません。LED が点滅していない場合は、システム・ボードを交換します(トレーニングを受けた技術員のみ)。

IMM2.1 ハートビート LED: LED のステータスは以下の IMM2.1 ハートビート順序付けプロセスの各種ステージを説明しています。

- 1. この LED が高速で点滅している場合 (約 4 Hz)、IMM2.1 コードがロード・プロセス中であることを示します。
- 2. この LED が一時的にオフになるときは、IMM2.1コードのロードが完了したことを示します。
- 3. この LED が一時的にオフになってから低速で点滅し始める場合(約1Hz)、IMM2.1 が完全に作動可能 であることを示します。この時点で、電源制御ボタンを押してサーバーを電源オンできます。
- 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 給電部をサーバーに接続してから 30 秒以内にこの LED が点滅し ない場合は、システム・ボードを交換します。

イベント・ログ

エラー・コードとメッセージは、POST イベント・ログ、システム・イベント・ログ、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) イベント・ログ、および DSA イベント・ログなどのさまざまなイベン ト・ログに記録されます。

• POST イベント・ログ: このログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードとメッセージが入っています。POST イベント・ログの内容は、Setup Utility から表示できます。29 ページの「Setup

Utility プログラムの開始」を参照してください。POST エラー・コードについて詳しくは、513 ページの付録 B「UEFI (POST) エラー・コード」を参照してください。

 システム・イベント・ログ: このログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、 Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成した すべてのイベントが入っています。システム・イベント・ログの内容は、Setup Utility および Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (IPMI イベント・ログとして) 表示できます。システム・イベン ト・ログにはサイズの制限があります。ログがフルになっても、新しい項目が既存の項目を上書き しません。したがって、Setup Utility を使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する 必要があります。エラーのトラブルシューティング中に最新のイベントを分析できるようにするに は、システム・イベント・ログを保管してからクリアする必要がある場合があります。システム・イ ベント・ログについて詳しくは、193 ページの 付録 A 「Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) の エラー・メッセージ」を参照してください。

メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細は画面の右側に表示されます。1 つの項目から次の項目に移動するには、上下の矢印キーを使用します。

一部のIMM2.1センサーでは、それぞれの設定値に達すると、表明イベントがログに記録されます。設 定値の条件がなくなると、対応するイベントがログに記録されます。ただし、すべてのイベントが検出 タイプのイベントというわけではありません。

- Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)イベント・ログ: このログには、すべてのIMM2.1イベント、POST イベント、およびシステム管理割り込み (SMI) イベントのフィルタリングされたサブセットが含まれます。IMM2.1 Web インターフェースから IMM2.1 イベント・ログを表示することができます。詳しくは、38ページの「Web インターフェースへのログイン」を参照してください。IMM2.1イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) Preboot プログラムから (ASM イベント・ログとして)表示することもできます。IMM2.1エラー・メッセージについて詳しくは、193ページの付録 A 「Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ」を参照してください。
- DSA イベント・ログ: このログは、Dynamic System Analysis (DSA) Preboot プログラムによって生成され、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM2.1 シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして) を時系列でまとめたものです。DSA および DSA メッセージについて詳しくは、59 ページの「Dynamic System Analysis」および 525 ページの 付録 C「DSA 診断テスト結果」を参照してください。

Setup Utility からのイベント・ログの表示

サーバー起動後に POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、以下を 行います。

ステップ1. サーバーの電源をオンにします。

- ステップ2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。始動パスワードと管理者パス ワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入 力する必要があります。
- ステップ 3. 「System Event Log」を選択し、以下のいずれかを行います。
 - POST イベント・ログを表示するには、「POST Event Viewer」を選択します。
 - システム・イベント・ログを表示するには、「System Event Log」を選択します。

サーバーを再起動せずにイベント・ログの表示

サーバーがハングしていない状態でIMM2.1がネットワークに接続されているときは、サーバーを再起動しないで1つ以上のイベント・ログを表示するいくつかの方式があります。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI をすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベ ント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、または IMM2.1 イベント・ログ (シャーシ・イベント・ログとし て)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた OneCLI ログを表示することが できます。また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、サーバーを再起動 する必要があります。OneCLIのインストール、またはDSA PrebootのCDイメージのより新しいバージョンの確認とダウンロードは、https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-DSA にアクセスしてください。

IPMItool がサーバーにインストール済みの場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示でき ます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、最新バージョンの IPMItool が付属して います。IPMI の概要については、http://www.ibm.com/developerworks/linux/blueprints/ にアクセスして「Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on Lenovo Linux platforms (Lenovo Linux プラットフォー ムでの Intelligent Platform Management Interface (IPMI) の使用)」をクリックします。

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) Web インターフェースにある「イベント・ログ」リンクから IMM2.1 イベント・ログを表示できます。詳しくは、38 ページの「Web インターフェースへのログイ ン」を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。 最初の3つの状態では、サーバーの再起動は通常必要ありません。

状態	操作
サーバーは停止しておらず、(オペ レーティング・システムが制御する ネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されて いる。	 以下の方法のいずれかを使用します。 Lenovo XClarity Essentials OneCLI を実行してシステム・イベント・ログを 表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または Lenovo サービスおよび サポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力 ファイルを作成します。 IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ド ライバーが必要)。 IMM2.1 に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、シス テム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ド ライバーが必要)。
サーバーは停止しておらず、(オペ レーティング・システムが制御する ネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されて いない。	 Lenovo XClarity Essentials OneCLI を実行してシステム・イベント・ログを 表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または Lenovo サービスおよび サポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力 ファイルを作成します。 IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ド ライバーが必要)。 IMM2.1 に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、シス テム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ド ライバーが必要)。
サーバーは停止しておらず、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) は ネットワークに接続されています。	Web ブラウザーで IMM2.1 の IP アドレスを入力し、「 イベント・ログ 」ページに進みます。詳しくは、37 ページの「IMM2.1ホスト名の取得」、および 38 ページの「Web インターフェースへのログイン」を参照してください。
サーバーは停止しており、IMM2.1 との間で通信を行うことができませ ん。	 DSA Preboot がインストールされている場合は、サーバーを再起動して F2 を押し、DSA Preboot を起動して、イベント・ログを表示します。 詳しくは、60ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照 してください。 代わりに、サーバーを再起動し、F1 を押して Setup Utility を開始して、 POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示すること もできます。詳しくは、57ページの「Setup Utility からのイベント・ロ グの表示」を参照してください。

表 7. イベント・ログを表示する方法

イベント・ログの消去

イベント・ログを消去するには、以下を行います。

注:サーバーが再起動されるたびに、POST エラー・ログが自動的に消去されます。
ステップ1. サーバーの電源をオンにします。

- ステップ2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。始動パスワードと管理者パス ワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入 力する必要があります。
- ステップ 3. IMM2.1 システム・イベント・ログを消去するには、「System Event Log」→「Clear System Event Log」を選択してから、Enter キーを 2 回押します。

POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション・デバイスの動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストをパワーオン・セルフテストまたは POST と呼びます。

注:ビープ・コードではサーバーの状況を表示することはできません。

始動パスワードが設定されている場合、要求されたときにパスワードを入力する必要があります。その後 「Enter」を押して POST の実行を開始します。

POST 中に問題が検出された場合、エラー・メッセージが画面に表示され、POST イベント・ログにも送信 されます。詳しくは、513 ページの 付録 B「UEFI (POST) エラー・コード」を参照してください。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが POST イベント・ログに送信されます。詳しくは、56ページの「イベント・ログ」を参照してください。

Dynamic System Analysis

Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題の診断に役立つシステム情報を収集し、分析します。 Lenovo はユーザーに DSA Preboot 版を提供します。

LXCE OneCLIは、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。OneCLIは、サーバーのオペレーティング・システム上で稼働し、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- Drive Health 情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリー情報 (PCI および USB 情報を含む)
- Light path 診断の状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1))の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、525ページの付録C「DSA 診断テスト結果」を参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、75 ページの「未解決問題の解決」を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注:DSA Prebootは、プログラムを起動した際、応答しないように見える場合があります。これは、プロ グラムのロード中は正常な現象です。

DSA Preboot

DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再起 動する必要があります。DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD や DVD などのブート可能メディアを作成 することができます。詳細については、BoMC ユーザーズ・ガイドを参照してください。ユーザー・ガイ ドは、次の Web サイトからダウンロードできます。 https://support.lenovo.com/ us/en/documents/LNVO-BOMC

DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で 実行するとサーバーが停止する場合があります (デバイスのリセットなど)。このエディションのグラ フィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集 の結果を表示することができます。

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント(取り付けられている場合)に対する診断を行います。

- Emulex イーサネット・コントローラー
- 光ディスク・デバイス (CD または DVD)
- テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
- メモリー
- マイクロプロセッサー
- チェックポイント・パネル
- I2C バス
- SAS ドライブおよび SATA ドライブ

サーバーを再起動できる場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

DSA Preboot プログラムの詳細とダウンロードについては、以下にアクセスしてください。 https://support.lenovo.com/us/ en/documents/LNVO-DSA

DSA Preboot 診断プログラムの実行

注:DSA メモリー・テストは、終了までに最大 30 分かかります。問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべてのデバイスの電源をオフにします。
- ステップ2. すべての接続されているデバイスの電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。

ステップ3. プロンプト「<F2> Diagnostics」が表示されたら、F2 を押します。

注:DSA Preboot 診断プログラムは、プログラムを起動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な現象です。ロード・プロセスには、最大10分かかります。

ステップ4. オプションで、スタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了する場合は「Quit to DSA」 を選択します。

> 注:スタンドアロン・メモリー診断環境を終了した後、再びスタンドアロン・メモリー診断 環境にアクセスするためにはサーバーを再起動する必要があります。

- ステップ 5. 「gui」と入力するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。 または、「cmd」と入力して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。
- ステップ6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

診断プログラムでハードウェアのエラーが検出されないのに、通常のサーバー操作時に問題が続く場合 は、診断プログラムのエラーが原因である場合があります。診断プログラムのエラーと思われる場合は、 プログラムに付属の情報を参照してください。

1つの問題で複数のエラー・メッセージが出ることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に診断プログラムを実行するときは、他のエラー・メッ セージは出なくなります。

テストの途中でサーバーがハングし、続行できなくなった場合には、サーバーを再起動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。問題が解決しない場合は、サーバーのハング時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

パス: テストはエラーなしに完了しました。

失敗: テストでエラーが検出されました。

異常終了: サーバー構成が原因で、テストを進めることができませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送

テストの完了後テスト・ログを表示して結果を見るには、以下を行います。

- DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は、「Status」列で「Success」 リンクをクリックします。
- DSA 対話式メニューを使用している場合は、:x と入力して「Execute Test」メニューを終了します。次に、「completed tests」を選択して結果を表示します。
- グラフィカル・ユーザー・インターフェース内の「Diagnostic Event Log」を選択します。

DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで copy コマンド を入力します。

サーバーの問題の診断に役立てるために、DSA エラー・ログを Lenovo サービスおよびサポートに 送信することもできます。

自動サービス要求 (コール・ホーム)

Lenovoは、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に Lenovo サポートをコールできるツールを提供しています。

このツールは、Lenovo サポートによる問題診断処理の迅速化に役立ちます。

Electronic Service Agent

Electronic Service Agent[™]は、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリー情報の監視、追跡、取り込みを行います。また、Lenovo サポートに保守可能な問題を直接報告します。

これらのシステム・データは手動でも収集できますが、Electronic Service Agent は、最小のシステム・リ ソースしか使用せず、またhttp://www-01.ibm.com/support/esa/から容易にダウンロードできるため、代替 手段として適しています。

エラー・メッセージ

Lenovo は Web サイトおよび PDF ファイルでエラー・メッセージを提供しています。Web サイトを参照する場合は、問題の検出時に生成される UEFI/POST、IMM2.1、および DSA のエラー・コードとメッセージが表示されます。

PDF ファイルを表示する場合は、以下のトピックを参照してください。

- 193 ページの 付録 A 「Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ」
- 513 ページの 付録 B「UEFI (POST) エラー・コード」
- 525 ページの 付録 C「DSA 診断テスト結果」

症状別トラブルシューティング

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

これらの表の中に該当の問題に対する解決策が見つからない場合、サーバーのテストについては 525 ページの 付録 C「DSA 診断テスト結果」を、DSA Preboot プログラムの実行に関する追加情報は 60 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照してください。問題の解決に役立つ追加情報については、47 ページの「ここから開始します」を参照してください。

注:

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- Lenovo サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デ バイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

新しいソフトウェアまたは新しいオプションのデバイスを追加した後にサーバーが作動しなくなった場合 は、トラブルシューティング表を使用する前に、以下を行います。

- ステップ1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している 場合は、light path 診断 LED (53 ページの「Light path 診断」を参照) をチェックします。
- ステップ2. 追加したソフトウェアを除去、または追加したデバイスを取り外します。
- ステップ 3. Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します (525 ページの 付録 C「DSA 診断テスト結果」を参照)。
- ステップ4.新しいソフトウェアをインストールまたは新しいデバイスを取り付け直します。

一般的な問題

表 8. 一般的な現象と処置

現象	操作
カバー・ラッチが破損してい る、LEDが機能しない、ある いはこれと類似の問題が発生 した。	部品が CRU であれば、交換してください。その部品がマイクロプロセッサー またはシステム・ボードの場合は、トレーニングを受けた技術員が部品を交換 する必要があります。
画面はオンになっているが、 サーバーが停止している。F1 を押しても Setup Utility を開始 できない。	79 ページの「Nx 回ブート失敗」、および 77 ページの「サーバー・ファームウェ アのリカバリー (UEFI 更新の失敗)」を参照してください。

光学式ドライブの問題

表 9. 光学式ドライブの現象と処置

現象	操作
光学式ドライブが認識されな い。	1. 次の点を確認します。
	 光学式ドライブが接続されている(1次または2次)SATAコネクターが、 Setup Utility で有効になっている。
	 ケーブルおよびジャンパーがすべて正しく取り付けられている。
	 光学式ドライブ用の正しいデバイス・ドライバーがインストールされて いる。
	2. 光学式ドライブの診断プログラムを実行します。
	3. 以下のコンポーネントを取り付け直します。
	a. 光学式ドライブこうがくしき
	b. 光学式ドライブ・ケーブル
	 ステップ3にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に1つずつ交換し、そのつどサーバーを再起動します。
	5. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。
CD または DVD が正しく作動	1. CD または DVD をクリーニングします。
しない。	2. CD または DVD を新規 CD または DVD メディアと取り替えます。
	3. 光学式ドライブの診断プログラムを実行します。
	4. コネクターと信号ケーブルのピンに曲がりや損傷がないことを確認します。
	5. 光学式ドライブを取り付け直します。
	6. 光学式ドライブを交換します。
光学式ドライブ・トレイが正 常に作動しない。	1. サーバーの電源がオンになっていることを確認します。
	2. まっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先をトレイ解放穴に差し込みます。
	3. 光学式ドライブを取り付け直します。
	4. 光学式ドライブを交換します。

ハードディスク・ドライブの問題

表 10. ハードディスク・ドライブの現象と処置

現象	操作
ハードディスク・ドライブ診 断テストで認識されないドラ イブがある。	診断テストで示されたドライブを取り外し、再度ハードディスク・ドライブ診 断テストを実行します。残りのドライブが認識された場合、取り外したドライ ブを新しいドライブと交換します。
ハードディスク・ドライブ診 断テスト中にサーバーが応答 しなくなる。	サーバーが応答を停止したときにテストしていたハードディスク・ドライブを取 り外し、再度診断テストを実行します。ハードディスク・ドライブの診断テスト が正常に実行される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
オペレーティング・システム の起動中にハードディスク・ ドライブが検出されない。	すべてのハードディスク・ドライブとケーブルを付け直してから、ハードディス ク・ドライブ診断テストを実行してください。
ハードディスク・ドライブが ハードディスク・ドライブ診 断テストにパスしたが、問題 は継続する。	SCSI ハードディスク診断テストを実行します。60 ページの「DSA Preboot 診断プ ログラムの実行」を参照してください。 注:このテストは、RAID アレイを備えるサーバー、または SATA ハードディス ク・ドライブを備えるサーバーでは使用できません。
ハードディスク・ドライブの 障害が発生し、関連する黄色 のハードディスク・ドライ ブ状況 LED が点灯している (ホット・スワップ・ハード ディスク・ドライブ)。	 RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーと、そのコントローラー に接続されたデバイスを再構成します。 DSA ディスク・ドライブ・テストを実行します。59 ページの「Dynamic System Analysis」を参照してください。 ドライブがテストを失敗する場合、ドライブを交換します。
新たに取り付けたハードディ スク・ドライブが認識されな い。	 関連する黄色のハードディスク・ドライブ状況 LED を確認します。LED が点 灯している場合、ドライブに障害があることを示します。 LED が点灯している場合、ベイからドライブを外し、45 秒間待ちます。その 後ドライブ・アセンブリーがハードディスク・ドライブ・バックプレーンに 接続していることを確認して、ドライブを再度取り付けます。 関連する緑色のハードディスク・ドライブ活動 LED および黄色のステータス LED を確認します。 緑色の活動 LED が点減していて、黄色の状況 LED が点灯していない場 合、コントローラーがドライブを認識し、正常に作動していることを示し ます。DSA ハードディスク・ドライブ・テストを実行して、ドライブが 検出されているかどうかを判別してください。 緑色の活動 LED が点減していて、黄色の状況 LED がゆっくり点減して いる場合、コントローラーがドライブを認識し、再作成していることを示します。 緑色の活動 LED が点減していて、黄色の状況 LED がゆっくり点減して いる場合、コントローラーがドライブを認識し、再作成していることを 示します。 いずれの LED も点灯または点滅していない場合は、ハードディスク・ドラ イブ・バックプレーンを確認します (ステップ4に進む)。 緑色の活動 LED が点減していて、黄色の状況 LED が点灯している場合、 ドライブを交換します。LED の活動状況が変わらない場合は、ステップ4 に進みます。LED の活動に変化がある場合は、ステッブ1に戻ります。 ハードディスク・ドライブ・バックプレーンが正しく取り付けられている ことを確認します。正しく取り付けられている場合、バックプレーンを曲 げたり、動かすことなく、ドライブ・アセンブリーをバックプレーンに 正常に接続することができます。 パックプレーン電源ケーブルを取り付け直し、ステップ1から3までを 繰り返します。 バックプレーン信号ケーブルを取り付け直し、ステップ1から3までを 繰り返します。 バックプレーン信号ケーブルまたはバックプレーンに問題がある可能性が

表 10. ハードディスク・ドライブの現象と処置 (続き)

現象	操作
	 ・影響を受けたバックプレーン信号ケーブルを交換します。 ・影響を受けたバックプレーンを交換します。
	8. SAS/SATA アダプターおよびハードディスク・ドライブに対して DSA テスト を実行します。59 ページの「Dynamic System Analysis」を参照してください。
	 アダプターがテストに合格したがドライブが認識されない場合は、バック プレーン信号ケーブルを交換してテストを再度実行します。
	• バックプレーンを交換します。
	 アダプターがテストに失敗する場合は、バックプレーン信号ケーブルをア ダプターから切り離してから再度テストを実行します。
	 アダプターがこのテストに失敗する場合は、アダプターを交換します。
	9.76ページの「問題判別のヒント」を参照してください。
複数のハードディスク・ドラ イブに障害が発生した。	ハードディスク・ドライブ、RAID カード、およびサーバーのデバイス・ドライ バーとファームウェアが最新レベルになっていることを確認します。
	重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部 である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラス ター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
複数のハードディスク・ドラ イブがオフラインである。	 ストレージ・サブシステム・ログを検討して、バックプレーンやケーブルなどの問題が、ストレージ・サブシステム内で起きていないか確認します。 76ページの「問題判別のヒント」を参照してください。
交換したハードディスク・ド ライブが再ビルドされない。	 ハードディスク・ドライブがアダプターに認識されているか (緑色のハード ディスク・ドライブ活動 LED が点滅しているか) 確認します。
	2. SAS/SATA RAID アダプターの資料を検討して、正しい構成パラメーターお よび設定値か判別します。
緑色のハードディスク・ドラ イブ活動 LED が、関連するド ライブの実際の状態を正確に まテしない、(ナット・フロッ	 ドライブを使用しているときに緑色のハードディスク・ドライブ活動 LED が点滅しない場合は、DSA ディスク・ドライブ・テストを実行してください。59 ページの「Dynamic System Analysis」を参照してください。
プ・ハードディスク・ドライ	2. 以下の手順のいずれかを使用してください。
ブ)	 ドライブがテストをパスする場合、バックブレーンを交換します。 ドライブがテストを失敗する場合、ドライブを交換します。
黄色のハードディスク・ドラ イブ状況 LED が、関連するド ライブの実際の状態を正確に	 1. 黄色のハードディスク・ドライブ LED と RAID カード・ソフトウェアが示す ドライブのステータスが同じではない場合は、以下を行います。 a. サーバーの電源を切ります。
表示しない。(ホット・スワッ プ・ハードディスク・ドライ	b. SAS/SATA アダプターを取り付け直します。
ブ)	c. バックプレーン信号ケーブルおよび電源ケーブルを取り付け直します。
	d. ハードディスク・ドライブを取り付け直します。
	e. サーバーの電源を入れ、ハードディスク・ドライブ LED の活動を確認し ます。
	2. 76ページの「問題判別のヒント」を参照してください。

ハイパーバイザーの問題

表 11. ハイパーバイザーの現象と処置

現象	操作
オプションの組み込みハイ パーバイザー・フラッシュ・ デバイスが予期したプート順 序にリストされない、ブー ト・デバイスのリストに表示	 オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、起動時 にブート・マネージャーの「<f12> Select Boot Device」で選択されている ことを確認します。</f12> 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがコネクターに正しく 取り付けられていることを確認します。120 ページの「USP 組み込みハイ
されない、または類似の問題 が発生した。	RUSE 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し」、および 130 ページの 「USE 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け」を 参照してください。
	 オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。
	4. 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。

再現性の低い問題

表 12. 再現性の低い問題と処置

現象	操作
時々起こる問題、または診断 が困難な問題。	 次の点を確認します。 すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続されたデバイ スにしっかりと接続されている。 サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れてい る。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。これにより、 サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。
	 システム・エラー・ログまたは IMM2.1 イベント・ログをチェックします。56 ページの「イベント・ログ」を参照してください。

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題

表 13. キーボード、マウス、または USB デバイスの現象と処置

現象	操作
キーボードのすべてのキーま たは一部のキーが機能しな い。	 次の点を確認します。 キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 サーバーとモニターの電源がオンになっている。
	2. Setup Utility を実行して USB デバイス・オプションを有効にします。
	3. キーボードが USB ハブに接続されている場合は、キーボードをハブから取り 外してサーバーに直接接続します。
	4. キーボードを交換します。
マウスまたは USB デバイスが 機能しない。	1. 次の点を確認します。
	 マウスまたは USB デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されている。
	 マウスまたは USB デバイスのドライバーが正しくインストールされて いる。
	 サーバーとモニターの電源がオンになっている。
	 マウス・オプションが Setup Utility で有効にされている。
	 USB マウスまたは USB デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたは USB デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。
	3. マウスまたは USB デバイスを交換します。

メモリーの問題

注:DIMMの取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10秒間待ってから行ってください。

現象	操作
Setup Utility に表示されるシス テム・メモリーの量が、取り 付けられている物理メモリー の量より少ない。	1. 次の点を確認します。
	 オペレーター情報パネル上のエラー LED がどれも点灯していない。
	● システム・ボードの DIMM エラー LED が何も点灯していない。
	 メモリー・モジュールが正しく取り付けられている。
	 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。
	• メモリーを変更した場合には、Setup Utility でメモリー構成を更新したか。
	 すべてのメモリー・バンクが有効になっている。サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に無効にしたか、メモリー・バンクが手動で無効にされた可能性があります。
	 サーバーを最小メモリー構成にしたときに、メモリー・ミスマッチがない。
	2. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
	3. 以下のようにして、POST エラー・ログをチェックします。
	 DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって無効にされていた場合は、 その DIMM を交換します。
	 DIMM がユーザーまたは POST によって無効にされた場合は、DIMM を取り 付け直します。その後、Setup Utility を実行して、DIMM を有効にします。
	 Setup Utility ですべての DIMM が初期化されていることを確認し、次にメモリー診断を実行します。60 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照してください。
	5. DIMM を一度に 1 ペアずつ追加し、各ペアごとに DIMM が一致している ことを確認します。
	6. DIMM を取り付け直します。
	7. Setup Utility を使用してすべての DIMM を再度有効にし、サーバーを再起 動します。
	 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。
	a. DIMM
	b. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボード
あるブランチ内の複数行の	1. 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再起動します。
DIMM に障害があることが確 認されている。	2. 障害のある DIMM を交換します。
	3. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。
メモリー・エラーは、チャネ ル内の1つのメモリー・モ ジュールに障害がある場合に が発生します。	たとえば、スロット1またはスロット2のメモリー・モジュールに障害があると 思われる場合は、以下を行ってください。
	 スロット1のメモリー・モジュールをスロット3のメモリー・モジュール と交換します。
	2. サーバーを再起動します。
	3. このエラーが引き続き発生するかどうかを確認します。
	 a. 発生する場合は、スロット2のメモリー・モジュールが故障していることを意味します。その場合、スロット2のメモリー・モジュールを新しいメモリー・モジュールに交換します。

表 14. メモリーの問題と処置 (続き)

現象	操作
	 b. 発生しない場合は、スロット1のメモリー・モジュールが故障していることを意味します。その場合、スロット1のメモリー・モジュールを新しいメモリー・モジュールに交換します。
	詳細については、以下のヒントのファイルを参照してください。 http://www.lenovo.com/support

モニターの問題

Lenovo モニターの中には、セルフテスト機能を備えているものがあります。モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属している資料を参照して、モニターをテストおよび調整します。 問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

表 15. モニターおよびビデオの現象と処置

現象	操作
モニターのテスト。	1. モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。
	 サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサー バーでテストしてみます。
	 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした 場合は、ビデオ・デバイス・ドライバーに原因があることが考えられます。
	4. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。
画面に何も表示されない。	 サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクターに直接接続してみます。
	 次の点を確認します。 サーバーの電源がオンになっている。サーバーの電源がオフの場合は、70ページの「電源問題」を参照してください。 モニター・ケーブルが正しく接続されている。 モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。 サーバーの電源をオンにしたときに、POSTエラーが生成されない。 モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します(該当する)
	場合)。 4. 損傷したサーバー・ファームウェアがビデオに影響を及ぼしていないことを 変想します。 な ページの「フェーノ」ウースの再変した合知してくざさい
	確認しま9。25 ペーシの「ファームりますの更新」を参照してくたさい。 5. システム・ボードのチェックポイント LED を監視し、コードが変化する場合は、次のステップに進みます。
	 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。
	a. モニター
	b. ビデオ・アダプター(取り付けられている場合)
	c. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボード

表 15. モニターおよびビデオの現象と処置 (続き)

現象	操作
サーバーの電源をオンにした 時点ではモニターが作動する が、一部のアプリケーショ ン・プログラムを開始すると 画面がブランクになる。	1. 次の点を確認します。
	 アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モード を設定していない。
	 アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされて いる。
	 ビデオ診断を実行します。60 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照してください。
	 サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。この場合は、75ページの「未解決問題の解決」を参照してください。
	 (トレーニングを受けた技術員のみ)サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。
モニターに画面ジッターがあ るか、または画面イメージが 波打つ、読めない、ローリン グする、またはゆがむ。	 モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された 場合は、モニターの位置を検討してください。その他のデバイス(変圧器、電 気製品、蛍光灯、および他のモニターなど)の周囲の磁界が、画面のジッター や波打ち、判読不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能 性があります。そのような場合は、モニターの電源をオフにしてください。
	注意: 電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノク ロになることがあります。
	デバイスとモニターの間を 305 mm 以上離し、モニターをオンにします。
	注:Lenovo 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測不能な問題が 発生することがあります。
	2. モニターとケーブルを取り付け直します。
	 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。
	a. モニター
	b. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボード
画面に誤った文字が表示され る。	 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の 最新レベルに更新します(25ページの「ファームウェアの更新」を参照)。
	2. モニターとケーブルを取り付け直します。
	 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。
	a. モニター
	b. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボード

ネットワーク接続の問題

表 16. ネットワーク接続の問題と処置

現象	操作
SSL が有効にされた状態で LDAP アカウントを使用した ログインが失敗する。	 ライセンス・キーが有効であることを確認します。 新規のライセンス・キーを生成して、再度ログインします。

オプションのデバイスの問題

表 17. オプション・デバイスの問題と処置

現象	操作
取り付けた Lenovo オプショ	 次の点を確認します。 デバイスがサーバーで使用できるように設計されている。以下に進みます:
ン・デバイスが作動しない。	http://www.lenovo.com/ serverproven/ デバイスに付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 取り付けた他のデバイスやケーブルを外していない。 Setup Utility で構成情報を更新した。メモリーまたは他のデバイスを変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 取り付けたデバイスを取り付け直します。 取り付けたデバイスを交換します。
前に動作していた Lenovo オプ	 デバイスのケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認して
ション・デバイスが動作しな	ください。 デバイスにテスト手順が付属している場合は、その手順を使用してデバイ
くなった。	スをテストします。 障害のあるデバイスを取り付け直します。 障害のあるデバイスを交換します。

オペレーティング・システムのブートの問題

表 18. オペレーティング・システムのブートの問題と処置

現象	操作		
以下のオペレーティング・シ ステムでは、自動ブートはで きません。 • SUSE Linux [®] Enterprise Server 11 (Service Pack 1 適用済み) • Red Hat [®] Enterprise Linux 6	 ブート項目を手動で作成するには、以下を行います。 1. サーバーの電源をオンにして、F1キーを押して Setup Utility に入ります。 2. 「Boot Manager」を選択します。 3. 「Add Boot Option」を選択します。 4. ストリング「*.efi」が付いたブート項目を選択します。 5. 「OS_Install」などの説明を入力します。その後、「Commit Changes」を選択します。 詳細については、以下のヒントのファイルを参照してください。 http://www.lenovo.com/support 		

電源問題

表 19. 電源の問題と処置

現象	操作	
電源制御ボタンが作動せず、 リセット・ボタンも作動しない い(サーバーは起動しない)。 注:電源制御ボタンは、サー バーを電源に接続した直後の 約20秒間は機能しません。	1. サーバーの電源コードを切り離します。	
	2. 電源コードを再接続します。	
	 (トレーニングを受けた技術員のみ)オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ la および lb を繰り返します。 	
	 (トレーニングを受けた技術員のみ)サーバーが起動する場合は、オペレー ター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペ レーター情報パネルを交換します。 	
	 サーバーが始動しない場合は、強制パワーオン・ジャンパーを使用して電源制御ボタンをバイパスします。22ページの「システム・ボードのスイッチとジャンパー」を参照してください。サーバーが起動する場合は、オペ 	

表 19. 電源の問題と処置 (続き)

現象	操作			
	レーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペ レーター情報パネルを交換します。			
	4. 次の点を確認します。			
	a. 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。			
	b. 取り付けたメモリーのタイプが正しい。			
	c. DIMM が完全に取り付けられているか。			
	d.パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。			
	5. 以下のコンポーネントを取り付け直します。			
	a. DIMM			
	 b. (トレーニングを受けた技術員のみ)内部コンポーネントへ行くすべてのパワー・サプライ・ケーブル 			
	c. (トレーニングを受けた技術員のみ)電源スイッチ・コネクター			
	 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。 			
	a. DIMM			
	b. 電源			
	c. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボード			
	 オプションのデバイスを取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再起動してください。これでサーバーが起動する場合は、パワー・サプライがサポートできるデバイスの合計数を超えるデバイスが取り付けられていることが考えられます。 			
	8. 55 ページの「パワー・サプライ LED」を参照してください。			
サーバーの電源がオフになら ない。	 拡張構成と電力インターフェース (ACPI) オペレーティング・システムを使用 しているか、非 ACPI オペレーティング・システムかを調べます。非 ACPI オ ペレーティング・システムを使用している場合は、以下を行います。 			
	a. Ctrl + Alt + Delete を押します。			
	b. 電源制御ボタンを5秒以上押してサーバーの電源をオフにします。			
	c. サーバーを再起動します。			
	d. もしサーバーが POST で障害を起こし電源制御ボタンが働かない場合は、 電源コードを5秒間外してから、電源コードを再接続してサーバーを再 起動してください。			
	2. それでも問題が続くか、ACPI対応のオペレーティング・システムを使用して いる場合は、システム・ボードが原因の可能性があります。			
サーバーが予期せずにシャッ トダウンし、オペレーター情 報パネル上の LED が点灯して いない。	75 ページの「未解決問題の解決」を参照してください。			

シリアル・ポートの問題

表 20. シリアル・ポートの問題と処置

現象	操作
オペレーティング・システム によって識別されたシリア ル・ポートの数が、取り付け られたシリアル・ポートの数 より少ない。	 次の点を確認します。 Setup Utility で各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも無効にされていない。 シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。 シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。
	3. シリアル・ホード・アダノダーを交換します。
シリアル・デバイスが動作しない。	 次の点を確認します。 デバイスはサーバーと互換性がある。 シリアル・ポートは有効になっており、固有のアドレスが割り当てられている。 デバイスが正しいコネクターに接続されている。 以下のコンポーネントを取り付け直します。 障害を起こしているシリアル・デバイス シリアル・ケーブル 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。 障害を起こしているシリアル・デバイス シリアル・ケーブル シリアル・ケーブル

ServerGuide の問題

表 21. ServerGuide の問題と処置

現象	操作
ServerGuide Setup and Installation CD が起動しない。	 サーバーが ServerGuide プログラムをサポートしており、起動可能 (ブート可能) な DVD ドライブを備えていることを確認します。 起動 (ブート) シーケンスの設定が変更された場合は、DVD ドライブがその起動シーケンスの最初になっていることを確認します。 複数の DVD ドライブが取り付けられている場合は、1次ドライブとして1つのビライブがはが設定されていることを確認します。
	のトライノたりか設定されていることを確認してください。その1次トラ イブから CD を起動してください。
ServeRAID マネージャー・プ ログラムが、取り付けられて いるすべてのドライブを認識 できないか、またはオペレー ティング・システムをインス トールできません。	 ハードディスク・ドライブが正しく接続されていることを確認します。 SAS ハードディスク・ドライブのケーブルがしっかりと接続されている ことを確認します。
オペレーティング・システム のインストール・プログラム がよくループする。	ハードディスク上でさらに多くのスペースを使用可能にしてください。

表 21. ServerGuide の問題と処置 (続き)

現象	操作
ServerGuide プログラムがオペ レーティング・システムの CD を起動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートさ れていることを確認してください。サポートされるオペレーティング・システ ムのバージョンのリストについては、https://support.lenovo.com/solutions/Invo-toolkit にアクセスし、ご使用の ServerGuide バージョン用のリンクをクリックして、サ ポートされる Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスク ロールダウンします。
オペレーティング・システム をインストールできない(オプ ションが選択不可能)。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認し ます。サポートしている場合は、論理ドライブが定義されていないか (SCSI RAID サーバーの場合)、または ServerGuide システム区画が存在していません。 ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認 します。

ソフトウェアの問題

表 22. ソフトウェアの問題と処置

現象	操作
ソフトウェアが原因と思われ る問題	 その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。メモリー所要量については、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。アダプターまたはメモリー・モジュールを取り付けた場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。 このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。 ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。
	3. ソノトリエナ・ハンターに理給してくたさい。

USB コネクターの問題

表 23. USB コネクターの問題と処置

現象	操作
USB デバイスが機能しない。	 次の点を確認します。 正しい USB デバイス・ドライバーがインストールされている。 オペレーティング・システムが USB デバイスをサポートしている。
	 Setup Utility プログラムで USB 構成オプションが正しく設定されていることを 確認します。詳しくは、29 ページの「Setup Utility プログラムの使用」を 参照してください。
	3. USB ハブを使用している場合は、USB デバイスをハブから切り離しサー バーに直接接続してみます。

チップ・セット・ドライバーの取り付けの問題

表 24. チップ・セット・ドライバーの取り付けの問題と処置

現象	操作
Windows オペレーティング・ システムがインストールされ エいるサーバーで、オペエ・	Intel Rapid Storage Technology enterprise (RSTe) NVMe ドライバー用のドライバーを インストールします。
チップ・ドライバーをインス トールした後、黄色の感嘆符 がデバイス・マネージャー・	ドライバーをダウンロードするには、以下にアクセスします。 http://support.lenovo.com/us/en/products/Servers/Lenovo-x86-servers/ Lenovo-System-x3250-M6/3633/downloads/DS120488
表示される。	注:このドライバーをインストールしなくても、サーバーの機能に影響はあり ません。

電源の問題の解決

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。たとえば、短絡がいずれかの配電バスのどこか に存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャッ トダウンします。電源の問題を診断するために使用する一般的な手順は、次のとおりです。

- ステップ1. サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。
- ステップ2. 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。また、短絡があるかどうか(たと えば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか)を調べます。
- ステップ3. サーバーの電源をオンにし、システム・ボード上の点灯している LED を確認します。24 ページの「システム・ボード LED」を参照してください。
- ステップ4. サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。
- ステップ5. サーバーがサーバーの起動に必要な最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての 内部デバイスおよび外部デバイスへのケーブルおよび電源コードを切り離します。75ページ の「未解決問題の解決」を参照してください。
- ステップ6. すべての AC 電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。サーバーが正常に起動する場合は、サーバーの電源をオフにしてアダプターを取り付け直してから、サーバー をオンにします。問題が特定されるまで、他のデバイスを1つずつ再取り付けする操作 を繰り返してください。

サーバーが最小構成でも起動しない場合は、55ページの「パワー・サプライ LED」を参照して、問題が 特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に1つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。イーサネット・コントローラーに関する情報を参照するには、イーサネット・コントローラーのデバイス・ドライバーの readme ファイルおよびオペレーティング・システムの資料を参照してください。

以下の手順を試してみてください。

- ステップ1. サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバーがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
- ステップ2. イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
 - ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されていることが必要です。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。

- イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するよう設定した場合は、カテゴ リー 5 の配線を使用する必要があります。
- 2つのサーバーを(ハブを使用せずに)直接接続する場合、またはXポートを備えるハブを 使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブがXポート を備えているかどうか判別するには、ポートのラベルを調べてください。ラベルにXが記 載されている場合は、ハブはXポートを備えています。
- ステップ3. ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。
- ステップ4. サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクター、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。
 - イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・ リンク・状況 LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクターまたはケーブルに欠陥 があるか、またはハブに問題がある可能性があります。
 - イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信また は受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信 活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイ ス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
- ステップ 5. サーバー背面の LAN 活動 LED をチェックしてください。LAN 活動 LED は、イーサネット・ ネットワークでデータがアクティブであるときに点灯します。LAN 活動 LED がオフの場合 は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインス トールされていることを確認してください。
- ステップ6. 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェック します。
- ステップ7. クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを 確認します。

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワー クに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調 べる必要があります。

未解決問題の解決

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できない場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用して未解決問題を解決してください。

ソフトウェア問題が障害(連続的または断続的)の原因であると思われる場合は、73ページの「ソフトウェアの問題」を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの破損または UEFI ファームウェアの破損が、未解決問題の原因となる場合が あります。CMOS データをリセットするには、CMOS クリア・ジャンパー (JP1)を使用して CMOS メモ リーを消去し、始動パスワードをオーバーライドします。詳しくは、21 ページの「システム・ボード・ コネクター」を参照してください。UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、77 ページの 「サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)」を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。

- ステップ2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- ステップ3. 障害を特定できるまで、以下のデバイスを一度に1つずつ、取り外すかまたは切り離しま す。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。

- 外付けデバイス (プリンター、マウス、Lenovo 製以外のデバイスなど)。
- サージ抑制デバイス(サーバー上)
- 各アダプター
- ハードディスク・ドライブ

注:サーバーの起動に必要な最小構成は、1つのマイクロプロセッサーと1つの4GB DIMMです。

- ステップ4. サーバーの電源をオンにします。問題が解決しない場合は、次のコンポーネントを次の順 序で確かめてください。
 - 1. パワー・サプライ
 - 2. メモリー
 - 3. マイクロプロセッサー
 - 4. システム・ボード

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再 発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換し ても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

ネットワーキングの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストに合格した場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。可能であれば、Lenovoに支援を要求するときはこれらの情報を準備しておいてください。

サーバーのモデル番号とシリアル番号は、前面ベゼルに貼付されている ID ラベルに記載してあります。

図14. サーバー前面の ID ラベル

- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサーまたはハードディスク・ドライブのアップグレード
- 障害の現象
 - サーバーは診断テストに失敗しますか?
 - 起こったことは何ですか?いつ?どこで?
 - 障害は単一のサーバーで起きましたか、それとも複数のサーバーで起きましたか?
 - その障害は再現可能ですか?
 - この構成が正常に作動したことがありましたか?
 - 構成が失敗する前に何か変更を行いましたか?
 - これは、元々報告されていた障害ですか?
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- ハードウェア構成(システム・サマリーの画面印刷)
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップ を比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべて のサーバーにおいて以下の要素が同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- UEFIファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- 構成オプションの設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

Lenovo に保守を依頼する方法については、683ページの付録D「ヘルプおよび技術サポートの入手」を参照してください。

サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)

重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの 最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- インバンド方式: ブート・ブロック・ジャンパーを使用する (自動ブート・リカバリー) か、サーバー・ファームウェア更新パッケージを使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーします。
- アウト・オブ・バンド方式: IMM2.1 Web インターフェースを使用して、ファームウェアと最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを更新します。

注:サーバー・ファームウェア更新パッケージは、以下のいずれかの方法で入手できます。

- http://www.lenovo.com/support で更新パッケージを検索してダウンロードする。
- Lenovo サービス技術員に連絡する。電話番号は、http://www.ibm.com/services または http://www.ibm.com/planetwide に記載されています。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、1次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。UEFI ファームウェアのブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。1 次バンクのサーバー・ファームウェアが破損した場合、手動でUEFIブート・バックアップ・ジャン パー(JP16)のバックアップ・バンクをブートできます。イメージが破損している場合は、自動ブー ト・リカバリー機能で自動的に実行されます。

インバンドの手動リカバリー方式

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を1次バンクに復元するには、以下を行います。

- ステップ1. v ページの「安全について」および 97 ページの「サーバー・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に」をお読みください。
- ステップ2. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
- ステップ3. サーバー・カバーをロック解除し取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. システム・ボード上の UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーを見つけます。22 ページの 「システム・ボードのスイッチとジャンパー」を参照してください。
- ステップ 5. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーをピン1 および2 からピン2 および3 に移動して、 UEFI リカバリー・モードを有効にします。
- ステップ6. サーバーのカバーを取り付け直し、電源コードをすべて再接続します。
- ステップ7. サーバーを再起動します。システムは電源オン・セルフテスト (POST) を開始します。
- ステップ8. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージがサポートするオペレーティング・システ ムにサーバーをブートします。
- ステップ9.ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従って、ファームウェア 更新を実行します。
- ステップ10.サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外してから、サー バーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ11.UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーをピン2および3からプライマリー位置(ピン 1および2)に戻します。
- ステップ12.カバーを再び取り付けます。99ページの「サーバー・カバーの取り付け」を参照してく ださい。
- ステップ13.取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ14.サーバーの電源をオンにします。システムは電源オン・セルフテスト (POST) を開始します。 これによって1次バンクがリカバリーされない場合、引き続き次のステップを実行します。
- ステップ15.サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ16.コイン型電池を取り外すことにより、CMOS をリセットします。139 ページの「コイン型 電池の取り外し」を参照してください。
- ステップ17.コイン型電池をサーバーから約5分から15分間取り外したままにします。
- ステップ18.コイン型電池を再び取り付けます。140ページの「コイン型電池の取り付け」を参照し てください。

- ステップ 19.カバーを再び取り付けます。99 ページの「サーバー・カバーの取り付け」を参照してく ださい。
- ステップ20.取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ21.サーバーの電源をオンにします。システムは電源オン・セルフテスト (POST)を開始します。

ステップ22.これらのリカバリー作業で問題が解決しない場合は、Lenovo サービス技術員に連絡して サポートを依頼してください。

インバンドの自動ブート・リカバリー方式

注:ログ項目が表示される場合、または Booting Backup Image がファームウェア・スプラッシュ画面に 表示される場合は、この方式を使用します。それ以外の場合はインバンド手動リカバリー方式を使用 してください。

自動ブート・リカバリー・プロセスが開始される前に、以下を確認してください。

- ダウンロードしたファームウェア更新パッケージがサポートするオペレーティング・システムに サーバーをブートします。
- ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従って、ファームウェア更新を実行します。

アウト・オブ・バンド方式

http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/ product_page.htmlで IMM2.1 資料 (「*Integrated Management Module II* ユーザーズ・ガイド」) を参照してください。

自動ブート・リカバリー (ABR)

サーバーが起動するときに、Integrated Management Module II が1次バンクのサーバー・ファームウェアに 問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユー ザーに1次バンクのファームウェアを回復する機会を与えます。UEFIファームウェアを回復する手順に ついては、77ページの「サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)」を参照してくださ い。1次バンクのファームウェアを回復したら、以下を行います。

ステップ1. サーバーを再起動します。

ステップ2. 「Press F3 to restore to primary」のプロンプトが表示されたら、F3 を押して1次バン クからサーバーを起動します。

Nx 回ブート失敗

デバイスの追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更、およびファームウェアまたはアプリ ケーションのコードの問題により、サーバーの POST (電源オン・セルフテスト)が失敗することがありま す。これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーは自動的に再起動し、POSTを再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再起動す る必要があります。

指定された回数の連続試行(自動でも手動でも)の後、Nx回ブート失敗機能により、サーバーはデフォルトのUEFI構成に復帰し、Setup Utilityが開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再起動できるようにします。サーバーがデフォルト構成でPOSTを正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Setup Utility で Nx 回ブート失敗機能を起動させる連続再起動試行の回数を設定できます。回数を指定するには、「System Settings」→「Recovery」→「POST Attempts」→「POST Attempts Limit」をク

リックします。その後、次の使用可能なオプションから項目を選択します。「3」、「6」、「9」、 および「Disable Nx-boot failure」。

第6章 部品リスト、Lenovo System x3250 M6

この章で説明する交換可能なコンポーネントは、81ページの「交換可能なサーバー・コンポーネント」 で特に指定されている場合を除き、Lenovo System x3250 M6 サーバーで利用が可能です。更新された部品 リストについては、http://www.lenovo.com/support にアクセスしてください。

交換可能なサーバー・コンポーネント

このトピックでは、Lenovo System x3250 M6 の交換可能なサーバー・コンポーネントについて説明します。

交換可能なコンポーネントは、構造部品と現場交換可能ユニット (FRU) から構成されます。

- 構造部品:構造部品(シャーシ・アセンブリー、カバー、ベゼルなどのコンポーネント)の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請によりLenovoが構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。構造部品のリストについては、93ページの「構成部品」を参照してください。
- Tier 1 の、お客様での取替え可能部品 (CRU): Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の 責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、そ の料金を請求させていただきます。
- Tier 2 の、お客様での取替え可能部品 (CRU): Lenovo が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り 付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加 料金なしで Lenovo に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「*保証情報*」資料を参照してく ださい。サービスと支援を受ける方法について詳しくは、683 ページの付録D「ヘルプおよび技術サ ポートの入手」を参照してください。

最新のオプション・サポート計画については、http://www.lenovo.com/ serverproven/を参照してください。

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。本書の図は、ご使用のハードウェアと多 少異なる場合があります。構造部品のリストについては、93ページの「構成部品」を参照してください。



下表にはサーバー交換可能コンポーネントの部品番号が記載されています。

索引	説明	CRU の部品番 号 (Tier 1)	CRU の部品番 号 (Tier 2)
3	ヒートシンク		00YJ784
4	メモリー、4 GB dual-rank 1.2 V、DDR4、2133 MHz、ECC UDIMM	46W0811	
4	メモリー、8 GB dual-rank 1.2 V、DDR4、2133 MHz、ECC UDIMM	46W0815	
4	メモリー、8 GB single-rank 1.2 V、DDR4、2400 MHz、ECC UDIMM (Kabylake)	01KN323	
4	メモリー、8 GB single-rank 1.2 V、DDR4、2400 MHz、ECC UDIMM	01KN344	
4	メモリー、16 GB dual-rank 1.2 V、DDR4、2400 MHz、ECC UDIMM	01KN346	
4	メモリー、16 GB dual-rank 1.2 V、DDR4、2133 MHz、ECC UDIMM	46W0819	
4	メモリー、16 GB dual-rank 1.2 V、DDR4、2400 MHz、ECC UDIMM (Kabylake)	01KN327	
5	固定パワー・サプライ、300 ワット		00YD993

索引	説明	CRU の部品番 号 (Tier 1)	CRU の部品番 号 (Tier 2)
6	ホット・スワップ・パワー・サプライ、460 ワット	69Y5939	
6	AcBel パワー・サプライ、460 ワット	00YJ944	
6	AcBel パワー・サプライ、460 ワット	00MX952	
9	分電盤		00YJ453
10	バックプレート・アセンブリー、4 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ ハードディスク・ドライブ、ソフトウェア RAID		00YE174
10	バックプレート・アセンブリー、4 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ ハードディスク・ドライブ、ハードウェア RAID		00YE172
10	バックプレート・アセンブリー、8 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ ハードディスク・ドライブ、ハードウェア RAID		00YE173
11	バックプレート・アセンブリー、4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ ハードディスク・ドライブ、ソフトウェア RAID		00YE171
10	バックプレート・アセンブリー、4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ ハードディスク・ドライブ、ハードウェア RAID		00YE170
12	バックプレーン、4 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハードディス ク・ドライブ	00FJ755	
13	バックプレーン、4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハードディス ク・ドライブ	00FJ752	
16	ウルトラ・スリム SATA DVD-ROM、9.5 mm	00FL352	
16	ウルトラ・スリム SATA マルチ・バーナー、9.5 mm	00FL353	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、500 GB、7.2 K	81Y9787	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、2 TB、7.2 K	00FN114	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、4 TB、7.2 K	00FN144	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、6 TB、7.2 K	00FN174	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、8 TB、7.2 K	00WH127	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、2 TB、7.2 K	00FN189	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、2 TB、7.2 K	00YK001	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、4 TB、7.2 K	00FN209	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、4 TB、7.2 K	00YK006	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、6 TB、7.2 K	00FN229	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、8 TB、7.2 K	00WH122	

索引	説明	CRU の部品番 号 (Tier 1)	CRU の部品番 号 (Tier 2)
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、10 TB、7.2 K	00YK337	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、300 GB、15 K	00WG676	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、600 GB、15 K	00WG681	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、1 TB、7.2 K	81Y9791	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 480 GB	00YK238	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 800 GB	00YK243	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 1.2 GB	00YK248	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 1.6 GB	00YK253	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、 240 GB	01GV869	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、 480 GB	01GV874	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、 960 GB	01GV879	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 1.92 TB	01GV884	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、 480 GB	01KR517	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、 960 GB	01KR522	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 1.92 TB	01KR527	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 3.84 TB	01KR532	
19	ハードディスク・ドライブ、3.5 型シンプル・スワップ、SATA、 500 GB、7.2 K	81Y9803	
19	ハードディスク・ドライブ、3.5 型シンプル・スワップ、SATA、2 TB、7.2 K	00FN119	
19	ハードディスク・ドライブ、3.5 型シンプル・スワップ、SATA、4 TB、7.2 K	00FN149	
19	ハードディスク・ドライブ、3.5 型シンプル・スワップ、SATA、10 TB、7.2 K	00YK342	
19	ハードディスク・ドライブ、3.5 型シンプル・スワップ、SATA、1 TB、7.2 K	81Y9807	
19	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、12 TB、7.2 K	01GV056	

索引	説明	CRU の部品番 号 (Tier 1)	CRU の部品番 号 (Tier 2)
19	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、12 TB、7.2 K	01GV061	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 1.2 TB S3520	01GR808	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 1.6 TB S3520	01GR823	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 800 GB、S3520	01KR472	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 240 GB	01GR900	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 480 GB	01GR852	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 960 GB	01GR857	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、 3.84 TB	01GR792	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 3.84 TB	01GV091	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、 240 GB	01GT771	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、 480 GB	01GT772	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 960 GB	01GT773	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、 480 GB	01KR449	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 960 GB	01KR450	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 1.92 TB	01KR451	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 1.92 TB	01KR483	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、 3.84 TB	01KR484	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、 240 GB	01KR488	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、900 GB	01GV041	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、2.4 TB、10 K	01GV071	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、1 TB、7.2 K	00AJ142	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、2 TB、7.2 K	00NA527	

索引	説明	CRU の部品番 号 (Tier 1)	CRU の部品番 号 (Tier 2)
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、1 TB、7.2 K	00NA492	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、2 TB、7.2 K	00NA497	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、300 GB、15 K	00WG661	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、600 GB、15 K	00WG666	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、900 GB、15 K	01GV036	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、300 GB、10 K	00WG686	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、600 GB、10 K	00WG691	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、900 GB、10 K	00WG696	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、1.2 TB、10 K	00WG701	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、1.8 TB、10 K	00NA272	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 120 GB	00WG621	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 200 GB	00YC321	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 240 GB	00WG626	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 240 GB	00YC391	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 240 GB	01GR837	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 400 GB	00YC326	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 480 GB	00WG631	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 480 GB	00YC396	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 480 GB	00YK213	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 480 GB	01GR842	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 800 GB	00WG636	
20	ソリッ ^ド ・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 800 GB	00YC331	

索引	説明	CRU の部品番 号 (Tier 1)	CRU の部品番 号 (Tier 2)
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 800 GB	00YK218	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 960 GB	00YC401	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 960 GB	01GR847	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、 3.84 TB	01GR787	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 1.2 TB、S3520 シリーズ	01GR803	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 1.6 TB S3520	01GR818	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 240 GB	01GV844	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 480 GB	01GV849	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 960 GB	01GV854	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 1.92 TB	01GV859	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 3.84 TB	01GV864	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 800 GB、S3520	01KR467	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 480 GB	01KR497	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 960 GB	01KR502	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 1.92 TB	01KR507	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 3.84 TB	01KR512	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、 1.2 TB、10 K	00WG721	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 240 GB	01GT768	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 480 GB	01GT769	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 960 GB	01GT770	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 480 GB	01KR446	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 960 GB	01KR447	

索引	説明	CRU の部品番 号 (Tier 1)	CRU の部品番 号 (Tier 2)
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 1.92 TB	01KR448	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 1.92 TB	01KR481	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 3.84 TB	01KR482	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、 240 GB	01KR487	
21	ハードディスク・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、 1.2 TB	00YK223	
21	ハードディスク・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、 1.6 TB	00YK228	
21	ハードディスク・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、1 TB、7.2 K	00NA627	
21	ハードディスク・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、2 TB、7.2 K	00NA537	
23	ハードディスク・ドライブ・フィラー、2.5 型ハードディスク・ ドライブ1台	00FW856	
24	前面 I/O 部品	00AL324	
25	システム・ボード (Skylake)		00YJ451
25	システム・ボード (Kabylake)		01GT311
27	システム・ファン	00YJ785	
28	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G4620、3.7 GHz、2400 MHz、 51 W (2 コア、Kabylake)		01GT303
28	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G4520、3.6 GHz、3 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE094
28	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G4600、3.6 GHz、2400 MHz、 51 W (2 コア、Kabylake)		01GT304
28	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G4500、3.5 GHz、3 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE095
28	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G4600T、3.0 GHz、2400 MHz、 35 W (2 コア、Kabylake)		01GT305
28	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G4500T、3.0 GHz、3 MB、 2133 MHz、35 W (2 コア)		00YE096
28	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G4560、3.5 GHz、2400 MHz、 54 W (2 コア、Kabylake)		01GT306
28	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G4400、3.3 GHz、3 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE097
28	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G4560T、2.9 GHz、2400 MHz、 35 W (2 コア、Kabylake)		01GT307
28	マイクロプロセッサー、Intel Pentium G4400T、2.9 GHz、3 MB、 2133 MHz、35 W (2 コア)		00YE098

索引	説明	CRU の部品番 号 (Tier 1)	CRU の部品番 号 (Tier 2)
28	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 7320、4.1 GHz、2400 MHz、51W (2 コア、Kabylake)		01GT298
28	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 7300、4.0 GHz、2400 MHz、 51 W (2 コア、Kabylake)		01GT299
28	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 6320、3.9 GHz、4 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE089
28	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 6300、3.8 GHz、4 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE090
28	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 7300T、3.5 GHz、2400 MHz、 35 W (2 コア、Kabylake)		01GT300
28	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 6300T、3.3 GHz、4 MB、2133 MHz、35 W (2 コア)		00YE091
28	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 7100、3.9 GHz、2400 MHz、 51 W (2 コア、Kabylake)		01GT301
28	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 6100、3.7 GHz、3 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE092
28	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 7100T、3.4 GHz、2400 MHz、 35 W (2 コア、Kabylake)		01GT302
28	マイクロプロセッサー、Intel Core-i3 6100T、3.2 GHz、3 MB、2133 MHz、35 W (2 コア)		00YE093
28	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1280 v6、3.9 GHz、2400 MHz、 72 W (4 コア、Kabylake)		01GT292
28	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1280 v5、3.7 GHz、8 MB キャッシュ、2133 MHz、80 W (4 コア)		00YE086
28	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1270 v6、3.8 GHz、2400 MHz、 72 W (4 コア、Kabylake)		01GT293
28	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1270 v5、3.6 GHz、8 MB キャッシュ、2133 MHz、80 W (4 コア)		00YE082
28	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1260L v5、2.9 GHz、8 MB キャッシュ、2133 MHz、45 W (4 コア)		00YE087
28	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1240L v5、2.1 GHz、8 MB キャッシュ、2133 MHz、25 W (4 コア)		00YE088
28	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1240 v6、3.7 GHz、2400 MHz、 72 W (4 コア、Kabylake)		01GT294
28	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1240 v5、3.5 GHz、8 MB キャッシュ、2133 MHz、80 W (4 コア)		00YE083
28	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1230 v6、3.5 GHz、2400 MHz、 72 W (4 コア、Kabylake)		01GT295
28	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1230 v5、3.4 GHz、8 MB キャッシュ、2133 MHz、80 W (4 コア)		00YE084
28	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1225 v6、3.3 GHz、2400 MHz、 73 W (4 コア、Kabylake)		01GT297
28	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1220 v6、3.0 GHz、2400 MHz、 72 W (4 コア、Kabylake)		01GT296

索引	説明	CRU の部品番 号 (Tier 1)	CRU の部品番 号 (Tier 2)
28	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E3-1220 v5、3.0 GHz、8 MB キャッシュ、2133 MHz、80 W (4 コア)		00YE085
28	マイクロプロセッサー、Intel Celeron G3950、3.0 GHz、2400 MHz、 51 W (2 コア、Kabylake)		01GT308
28	マイクロプロセッサー、Intel Celeron G3930、2.9 GHz、2400 MHz、 51 W (2 コア、Kabylake)		01GT309
28	マイクロプロセッサー、Intel Celeron G3920、2.9 GHz、2 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE099
28	マイクロプロセッサー、Intel Celeron G3900、2.8 GHz、2 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE100
28	マイクロプロセッサー、Intel Celeron G3930T、2.7 GHz、2400 MHz、 35 W (2 コア、Kabylake)		01GT310
28	マイクロプロセッサー、Intel Celeron G3900T、2.6 GHz、2 MB、2133 MHz、35 W (2 コア)		00YE101
30	ServeRAID M1210 SAS/SATA コントローラー	00JY196	
30	ServeRAID M1215 SAS/SATA コントローラー	46C9115	
30	ServeRAID M5225 SAS/SATA コントローラー	00AE939	
30	ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラー	46C9111	
30	ServeRAID M5200 シリーズ 1GB キャッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8657	
30	ServeRAID M5200 シリーズ 1GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8661	
30	ServeRAID M5200 シリーズ 2GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8665	
30	ServeRAID M5200 シリーズ 4GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8669	
30	N2215 SAS/SATA HBA	47C8676	
30	N2225 SAS/SATA HBA	00AE914	
30	QLogic 8 Gb FC シングル・ポート HBA	00Y5628	
30	QLogic 8 Gb FC デュアル・ポート HBA	00Y5629	
30	Emulex 8 Gb FC シングル・ポート HBA	42D0491	
30	Emulex 8 Gb FC デュアル・ポート HBA	00JY848	
30	Intel X710 2x10GbE SFP+ アダプター	81Y3522	
30	Intel X710-DA2 2x10GbE SFP+ アダプター	01DA902	
30	Broadcom NetXtreme I デュアル・ポート GbE アダプター	90Y9373	
30	Intel I350-T2 2xGbE BaseT アダプター	00AG512	
30	Intel I350-T4 4xGbE BaseT アダプター	00AG522	
30	Intel X710-T4 4x10 Gb BaseT アダプター	01GR282	
30	Emulex VFA5.2 2x10 GbE SFP+ PCIe アダプター	01KR603	
30	Emulex VFA5.2 2x10 GbE SFP+ PCIe アダプター	00AG573	
30	Intel X550-T2 デュアル・ポート 10GBase-T アダプター	00MM862	
	作動温度の機能拡張キット	46W9221	

索引	説明	CRU の部品番 号 (Tier 1)	CRU の部品番 号 (Tier 2)
	バッテリー、3.0 V	33F8354	
	ラベル、シャーシ	00YE179	
	シリアル・ポート・アップグレード・キット	00KC965	
	PCI ライザー・カード	00YJ452	
	Silicom x540 NIC カード	01PG489	
	光学式ブランク・フィラー	00KF416	
	4 個の 2.5 型 BP ブラケット	00KF692	
	4G USB メモリー・キー	00WH143	
	2.8 m、10A/250 V、C13 to IRAM 2073 (アルゼンチン) 回線コード	39M5068	
	4.3 m、10A/125 V、C13 to NEMA 5-15P (米国) 回線コード	39M5076	
	回線コード - 2.8m、10A/250V、C13 to AS/NZ 3112 (オーストラリア/ ニュージーランド)	39M5102	
	2.8 m、10A/230 V、C13 to CEE7-VII (ヨーロッパ)回線コード	39M5123	
	2.8 m、10A/250 V、C13 to DK2-5a (デンマーク) 回線コード	39M5130	
	2.8 m、10A/250 V、C13 to SABS 164 (南アフリカ)回線コード	39M5144	
	2.8 m、10A/250 V、C13 to BS 1363/A (英国)回線コード	39M5151	
	2.8 m、10A/250 V、C13 to SEV 1011-S24507 (スイス) 回線コード	39M5158	
	2.8 m、220-240 V、C13 to CEI 23-16 (イタリア/チリ)回線コード	39M5165	
	2.8 m、10A/250 V、C13 to SI 32 (イスラエル) 回線コード	39M5172	
	2.8 m、12A/125 V、C13 to JIS C-8303 (日本)回線コード	39M5199	
	4.3 m、12A/100 V、C13 to JIS C-8303 (日本)回線コード	39M5200	
	2.8 m、220-240 V、C13 to GB 2099.1 (中国) 回線コード	39M5206	
	2.8 m、220-240 V、C13 to KETI (韓国)回線コード	39M5219	
	2.8 m、250 V、C13 to NBR 14136 (ブラジル) 回線コード	39M5240	
	2.8 m、10 A/240 V、C13 to CN 10917-3 (台湾)回線コード	39M5254	
	1.5 m、10 A/100-250 V、C13 to IEC 320-C14 ラック電源ケーブル	39M5375	
	4.3 m、10 A/100-250 V、C13 to IEC 320-C14 ラック電源ケーブル	39M5378	
	2.8 m、10 A/100-250 V、C13 to IEC 320-C20 ラック電源ケーブル	39M5392	
	2.8 m、10 A/125 V、C13 to CN 10917 (台湾)回線コード	39M5463	
	QLogic 10 Gb SFP+ SR 光トランシーバー	42C1816	
	SFP+SR トランシーバー	46C3449	
	Brocade 10 Gb SFP+ SR 光トランシーバー	46C9297	
	425 mm & 925 mm ServeRAID M5200 シリーズ・フラッシュ電源モ ジュール	46C9793	
	ServeRAID M5200 シリーズ 1 GB キャッシュ/RAID 5 アップグレード	44W3392	
	ServeRAID M5200 シリーズ 1 GB フラッシュ/RAID 5 アップグレード	44W3393	

索引	説明	CRU の部品番 号 (Tier 1)	CRU の部品番 号 (Tier 2)
	ServeRAID M5200 シリーズ 2 GB フラッシュ/RAID 5 アップグレード	44W3394	
	ServeRAID M5200 シリーズ 4 GB フラッシュ/RAID 5 アップグレード	44W3395	
	RDX 3.0 外付けテープ・ドライブ	00MW718	
	キーボード、プロフェッショナル、米国英語 103P RoHS v2	00AL883	
	キーボード、ポインティング・デバイス、米国英語 103P RoHS v2	00MW364	
	マウス、2ボタン光学式ホイール	00MW370	
	RDX 3.0 外付け TD	00MW718	
	ケーブル、3 メーター外部 USB 3.0	00MW395	
	ケーブル、Mini-SAS、4 台の 3.5 型ハードディスク・ドライブ・バッ クプレート、ソフトウェア RAID	00YJ410	
	ケーブル、Mini-SAS、4 台の 2.5 型ハードディスク・ドライブ・バッ クプレート、ソフトウェア RAID	00YJ411	
	ケーブル、Mini-SAS、4台の3.5型ハードディスク・ドライブ・バッ クプレート、ハードウェア RAID	00YJ412	
	ケーブル、Mini-SAS、4台の2.5型ハードディスク・ドライブ・バッ クプレート (第 1)、ハードウェア RAID	00YJ413	
	ケーブル、Mini-SAS、4 台の 2.5 型ハードディスク・ドライブ・バッ クプレート (第 2)、ハードウェア RAID	00YJ414	
	ケーブル、Mini-SAS、3.5 型 4 台または 2.5 型最初の 4 台のハード ディスク・ドライブ・バックプレーン	00YJ415	
	ケーブル、Mini-SAS、4 台の 2.5 型ハードディスク・ドライブ・ バックプレーン (第 2)	00YJ416	
	電源ケーブル、バックプレーン、4 台の 2.5 型ホット・スワップ・ ハードディスク・ドライブ	00YJ417	
	電源ケーブル、バックプレーン、4 台の 3.5 型ホット・スワップ・ ハードディスク・ドライブ	00YJ418	
	電源ケーブル、システム・ボード	00YJ419	
	電源ケーブル、マイクロプロセッサー	00YJ420	
	信号ケーブル、システム・ボードへの分電盤	00YJ421	
	ケーブル、SATA スリムライン	81Y6774	
	ケーブル、Mini-SAS 1 m、6 Gbps、SFF-8644 - SFF-8088	00YE304	
	ケーブル、Mini-SAS 2 m、6 Gbps、SFF-8644 - SFF-8088	00YE305	
	ケーブル、Mini-SAS 4 m、6 Gbps、SFF-8644 - SFF-8088	00YE306	
	ケーブル、Mini-SAS 6 m、6 Gbps、SFF-8644 - SFF-8088	00YE307	
	ServeRAID M5100/M5200 シリーズ・フラッシュ電源モジュール	00JY023	
	ケーブル、構成 (8 つの HDD)		
	ケーブル、電源 (4 つのホット・スワップ HDD 用)		
	ケーブル、SATA スリムライン		
	ケーブル、SAS 信号 (840 mm)		

索引	説明	部品番号
1	サーバー・カバー、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載モデル用	00YE167
1	サーバー・カバー、固定パワー・サプライ搭載モデル用	00YE168
2	エアー・バッフル	00AL326
7	シャーシ・アセンブリー、3.5 型 HDD (ホット・スワップ・パワー・ サプライ・モデル)	00YE164
15	シャーシ・アセンブリー、2.5 型 HDD (固定パワー・サプライ・モデル)	00YE165
	シャーシ・アセンブリー、2.5 型 HDD (ホット・スワップ・パワー・ サプライ・モデル)	00YE166
	シャーシ・アセンブリー、3.5 型 HDD (固定パワー・サプライ・モデル)	00YE163
8	分電盤カバー	00YE169
17	ハードディスク・ドライブ・フィラー、3.5 型ホット・スワップ	69Y5364
17	ハードディスク・ドライブ・フィラー、3.5 型シンプル・スワップ	69Y5368
26	RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダー	00Y8545
	光学式ドライブ・フィラー	00YE175
	ラック・リリース・ラッチ(左)	00YE176
	ラック・リリース・ラッチ(右)	00YE177
	PCI ライザー・カード・ケージ	00YE192
	ラベル、システム・サービス、FRU/CRU	00YE353
	レール・キット	00MV390
	パワー・サプライ・フィラー	49Y4821

消耗部品 (別売り部品)は「Lenovo 保証の内容と制限」の対象外です。以下の消耗部品は、小売店で購入可能です。

構成部品

構造部品は、Lenovoの「保証の内容と制限」の対象外です。構造部品はLenovo小売店で注文できます。

以下の構成部品は、小売店で購入できます。

表 25. 構造部品、タイプ 3633 および 3943

索引	説明	部品番号
14	セキュリティー・ベゼル	00KF695
22	2.5 型ハードディスク・ドライブ・フィラー (ハードディスク・ド ライブ 2 台用)	00KF683

構成部品を注文するには、以下を行います。

注:Lenovo Web サイトは定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

- 1. http://www.ibm.com に進みます。
- 2. 「Products (製品)」メニューから、「Upgrades, accessories & parts (アップグレード、アクセサ リー、および部品)」を選択します。

3. 「Obtain maintenance parts (保守部品の入手)」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注 文します。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの Lenovo 担当員にお問い合わせください。

電源コード

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用される Lenovo 電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) にリストされており、Canadian Standards Association (CSA)の認証を受けています。

115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルト (米国における) 用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用く ださい。最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、タンデム・ ブレード型、15 アンペア 250 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。

電源コードの部品番号	使用される国または地域
39M5206	中国
39M5102	オーストラリア、フィジー、キリバス、ナウル、ニュージーランド、パプア ニューギニア
39M5123	アフガニスタン、アルバニア、アルジェリア、アンドラ、アンゴラ、アルメニア、 オーストリア、アゼルバイジャン、ベラルーシ、ベルギー、ベニン、ボスニア・ヘ ルツェゴヴィナ、ブルガリア、ブルキナ・ファソ、ブルンジ、カンボジア、カメ ルーン、カーボベルデ、中央アフリカ共和国、チャド、コモロ、コンゴ共和国、コ ンゴ民主共和国、コートジボアール、クロアチア共和国、チェコ共和国、ダオ メー、ジブチ、エジプト、赤道ギニア、エリトリア、エストニア、エチオピア、 フィンランド、フランス、仏領ガイアナ、仏領ポリネシア、ドイツ、ギリシャ、グ アドループ島、ギニア、ギニアビサウ、ハンガリー、アイスランド、インドネシ ア、イラン、カザフスタン、キルギスタン、ラオス、ラトビア、レバノン、リトア ニア、ルクセンブルグ、マケドニア(旧ユーゴスラビア共和国)、マダガスカル、マ リ、マルチニーク島、モーリタニア、モーリシャス、マヨット島、モルドバ共和 国、モナコ、モンゴル、モロッコ、モザンビーク、オランダ、ニューカレドニア、 ニジェール、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、レユニオン島、ルーマニア、 ロシア連邦、ルワンダ、サントメプリンシペ、サウジアラビア、セネガル、セルビ ア、スロバキア、スロベニア共和国、ソマリア、スペイン、スリナム、スウェーデ ン、シリアアラブ共和国、タジキスタン、タヒチ、トーゴ、チュニジア、トルコ、 トルクメニスタン、ウクライナ、上ボルタ、ウズベキスタン、バヌアツ、ベトナ ム、ウォリス・フテュナ、ユーゴスラビア、ザイール
39M5130 39M5179	デンマーク
39M5144	バングラデシュ、レソト、マカオ、モルジブ、ナミビア、ネパール、パキスタン、 西サモア、南アフリカ、スリランカ、スワジランド、ウガンダ

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお求めいただけます。
電源コードの部品番号	使用される国または地域	
39M5151	アブダビ、バーレーン、ボツワナ、ブルネイ・ダルサラーム、チャネル諸島、中国 (香港)、キプロス、ドミニカ、ガンビア、ガーナ、グレナダ、イラク、アイルラン ド、ヨルダン、ケニヤ、クウェート、リベリア、マラウィ、マレーシア、マルタ、 ミャンマー(ビルマ)、ナイジェリア、オマーン、ポリネシア、カタール、セントク リストファー・ネイビス、サンタルチア、セントビンセント・グレナディーン、セ イシェル、シエラ・レオネ、シンガポール、スーダン、タンザニア(共和国)、トリ ニダード・トバゴ、UAE(ドバイ)、英国、イエメン、ザンビア、ジンバブエ	
39M5158	リヒテンシュタイン、スイス	
39M5165	チリ、イタリア、社会主義人民リビア・アラブ国	
39M5172	イスラエル	
39M5095	220 - 240 V アンティグア・バーブーダ、アルバ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、バーミュー ダ、ボリビア、カイコス諸島、カナダ、ケイマン諸島、コロンビア、コスタリカ、 キューバ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアム島、グアテマ ラ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、メキシコ、ミクロネシア(連邦)、オラ ンダ領アンティル諸島、ニカラグア、パナマ、ペルー、フィリピン、サウジア ラビア、タイ、台湾、アメリカ合衆国、ベネズエラ	
39M5076 39M5081	110-120 V アンティグア・バーブーダ、アルバ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、バーミュー ダ、ボリビア、カイコス諸島、カナダ、ケイマン諸島、コロンビア、コスタリカ、 キューバ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアム島、グアテマ ラ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、メキシコ、ミクロネシア(連邦)、オラ ンダ領アンティル諸島、ニカラグア、パナマ、ペルー、フィリピン、サウジア ラビア、タイ、台湾、アメリカ合衆国、ベネズエラ	
39M5463	台湾	
39M5087	タイ	
39M5219	北朝鮮、韓国	
39M5199	日本	
39M5068	アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイ	
39M5226	インド	
39M5240 39M5241	ブラジル	
39M5375 39M5377 39M5378 39M5509 39M5512	カナダ、米国	

第7章 サーバー・コンポーネントの取り外しと取り付け

この章では、サーバーのハードウェアの取り外しおよび取り付けを行う方法について説明します。メモ リー・モジュール、PCIeカード、他のサーバー・オプションなどの新しいハードウェア・デバイスを増設 することによって、サーバーの機能を拡張することができます。また、障害のあるハードウェア・デバイ スを交換することによって、サーバーを保守することができます。サーバー・オプションの扱い方につい ては、このトピックに記載されている正しい取り付けまたは取り外しの方法と併せて、そのオプション に添付されている説明書を参照してください。

保証条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「*保証情報*」を参照してください。サービ スと支援を受ける方法について詳しくは、683 ページの付録 D「ヘルプおよび技術サポートの入手」 を参照してください。

サーバー・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に

注意:電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、システムは停止することが あり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないよう、デバイ スの取り付けまたは取り外しを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、 またはその他の接地対策を採用してください。

システムの信頼性に関するガイドライン

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- 各ドライブ・ベイにドライブが取り付けられていること。ドライブがない場合は、フィラーと電磁 適合性 (EMC) シールドが取り付けられている必要があります。
- サーバーにリダンダント電源が備わっている場合は、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが 取り付けられていること。
- サーバー冷却システムが正しく機能できるように、サーバーの回りに十分なスペースを確保してある こと。約50mmの空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。ファン の前には物を置かないでください。冷却と通気を確保するため、サーバーの電源を入れる前にサー バー・カバーを取り付けます。サーバーのカバーを取り外して長時間(30分以上)サーバーを操作する と、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。
- オプションのアダプターに付属する配線手順に従っている。
- 障害の起きたファンは早急に交換している。
- ホット・スワップ・ドライブは、取り外してから2分以内に元どおりに取り付けること。
- エアー・バッフルを取り付けた状態でサーバーを作動させること。エアー・バッフルを取り付けずに サーバーを作動させると、マイクロプロセッサーが過熱する原因となります。

電源オンされているサーバーの内部での作業

電源オンされているサーバー内部での作業のガイドライン

注意:サーバーの電源がオンになっているときにサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電される と、サーバーが停止するおそれがあり、それによってデータが失われる可能性があります。このような問 題が起きないように、電源をオンにしたサーバー内部の作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ ストラップを着用するか、またはその他の静電気防止対策を採用してください。

システム・ボード LED を見る、あるいはホット・スワップ・コンポーネントを交換するためには、カ バーを外したままサーバーの電源をオンにしておく必要がある場合があります。電源をオンにしたサー バーの内部で作業する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 腕の部分がゆったりした衣服を着用しないでください。サーバー内部の作業をする前に、長袖シャツの ボタンを留めてください。サーバー内部の作業中はカフス・ボタンを着けないでください。
- サーバー内部にネクタイやスカーフが垂れ下がらないようにしてください。
- ブレスレット、ネックレス、リング、緩みのある腕時計などの装身具は外してください。
- サーバーの上に身体を乗り出したときに、シャツのポケットから落下する可能性があるペンや鉛筆などを取り出してください。
- クリップや、ヘアピン、ねじなどの金属製品がサーバー内部に落ちないように注意してください。

静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い

注意:静電気は、サーバーやその他の電子デバイスを損傷します。損傷を避けるために、静電気の影響を 受けやすいデバイスは、取り付ける準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気の放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。たとえば、静電気放電用リスト・ストラップがある場合は、これ を利用してください。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリス ト・ストラップまたはその他の接地システムを使用してください。
- デバイスは、端またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだの接合部、ピン、または露出した回路には触れないでください。
- 他の人が手で触ったり、デバイスに損傷を与える可能性のある場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に2秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。
- 部品をそのパッケージから取り出して、それを下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。 デバイスを下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに入れます。部品をサーバーのカ バーや金属面の上には置かないでください。
- 寒い天候では、部品の取り扱いには特に注意してください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるためです。

サーバー・コンポーネントの取り外しと取り付け

このセクションでは、サーバー・コンポーネントの取り外しと取り付けについて説明します。

構成部品の取り外しと取り付け

構成部品の取り付けはお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が構成部品の導入を行った場合は、料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

サーバー・カバーの取り外し

サーバー・カバーを取り外す場合は、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーをラックに取り付け済みの場合、サーバーをラックから取り外します。サーバーに 付属の「*ラック搭載手順*」を参照してください。
- ステップ3. サーバーからサーバー・コンポーネントを取り外す前に、サーバーを作業場所に置きます。

ステップ4. 親指をそれぞれ青色のカバー・リリース・ボタン 1 および 2 の上に置きます。ボタン 1 をしっかりと押し、サーバー・カバーがシャーシから外れるまでサーバー背面の方に スライドさせます。



図15. サーバー・カバーの取り外し

ステップ5. サーバー・カバーを持ち上げてサーバーから外し、横に置きます。

注意:冷却と通気を確保するため、サーバーの電源を入れる前にサーバー・カバーを取り付けます。

サーバー・カバーの取り付け

サーバー・カバーを取り付けるには、以下を行います。

注:すべての構成部品が正しく再配置されており、サーバーの内部に工具が残されていたり、ねじが 緩んだままになっていないことを確認します。

- ステップ1. サーバー・カバーをサーバー上部に置きます。
- ステップ2. サーバー・カバーをサーバー前面方向にスライドさせます。サーバー・カバーがサーバー上のすべての差し込みタブときちんとかみ合っているかどうかを確認します。



図16. サーバー・カバーの取り付け

ステップ3. サーバーをラックに取り付けます。サーバーに付属の「*ラック搭載手順*」を参照してく ださい。 ステップ4. すべての外部ケーブルを取り付け直します。次に、サーバーおよび周辺機器の電源をオンにします。

エアー・バッフルの取り外し

エアー・バッフルを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. エアー・バッフルをつかんで、サーバーから持ち上げて取り外します。



図17. エアー・バッフルの取り外し

注意:冷却と通気を確保するため、サーバーの電源をオンにする前にエアー・バッフルを取り付けてください。エアー・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

エアー・バッフルの取り付け

エアー・バッフルを取り外した場合、それを取り付け直すか、古いエアー・バッフルが故障している場合は新しいものを取り付ける必要があります。

エアー・バッフルを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. エアー・バッフルのタブ 1 を、サーバー・ファン・ケージの切り欠きに合わせます。次 に、エアー・バッフルをサーバー内に収め、しっかり固定されるまでエアー・バッフル を押します。



図18. エアー・バッフルの取り付け

ステップ2. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

セキュリティー・ベゼルの取り外し

セキュリティー・ベゼルを取り外すには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。

ステップ2. セキュリティー・ベゼルのロックを解除して開放位置にするには、鍵を使用します。



図 19. セキュリティー・ベゼルのロック解除

ステップ3. リリース・ラッチ **1** を押して、セキュリティー・ベゼルを外側に回転させてシャーシ から取り外します。



図20. セキュリティー・ベゼルの取り外し

セキュリティー・ベゼルの取り付け

セキュリティー・ベゼルを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。

ステップ2. セキュリティー・ベゼルのタブを、シャーシ右サイドのスロットに慎重に挿入します。次 に、リリース・ラッチを押し続けながら、セキュリティー・ベゼルの反対側が所定の位置に カチッと音を立てて収まるまで、セキュリティー・ベゼルを内側に回転させます。



図21. セキュリティー・ベゼルの取り付け

ステップ3. セキュリティー・ベゼルをロックして閉位置にするには、鍵を使用します。



図22. セキュリティー・ベゼルのロック

PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

- PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外すには、以下を行います。
- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. PCI ライザー・カード・アセンブリーの青色のタブをつかみ、PCI ライザー・カード・アセン ブリーを持ち上げてシャーシから外します。



図23. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

ステップ4. PCI ライザー・カード・アセンブリーのアダプターからケーブルをすべて取り外します。

- ステップ 5. アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーから取り外します。122 ページの「アダ プターの取り外し」を参照してください。
- ステップ 6. PCI ライザー・カード・アセンブリーを、平らな帯電防止面に置きます。
- ステップ7. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます。104 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け」を参照してください。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外した場合は、サーバーの電源をオンにする前に取り付けます。PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ1. 適切なアダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーに取り付けます。123 ページの 「アダプターの取り付け」を参照してください。
- ステップ2. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外したときに切り離したアダプター・ケーブル をすべて再接続します。
- ステップ3. PCI ライザー・カード・アセンブリーをサーバー背面のガイドおよびシステム・ボードの PCI ライザー・カード・コネクターに注意深く位置合わせします。次に、青いタブに指を置き、 PCI ライザー・カード・アセンブリーを押し下げます。ライザー・カード・アセンブリーが システム・ボードのコネクターに完全に収まったか確認してください。



図 24. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

ステップ4. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

フラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外し

注:フラッシュ電源モジュール・ホルダーは、2.5型ドライブ・サーバー・モデルでのみサポート されています。

フラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り外すには、以下を実行します。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。

ステップ3. フラッシュ電源モジュールを取り外します。126ページの「RAID アダプターのバッテリーま たはフラッシュ電源モジュールの取り外し」を参照してください。

ステップ4. ホルダーを固定している2本のねじを取り外して、ホルダーを取り外します。



図25. フラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外し

ステップ 5. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

フラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り付け

注:RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーは、2.5型ドライブ・ サーバー・モデルでのみサポートされています。

フラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り付けるには、以下を実行します。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。

ステップ3. ホルダーをシャーシ上に図のように配置し、ホルダーのねじ穴をシャーシのねじ穴と合わ せます。次に、2本のねじを取り付けて、ホルダーがシャーシにしっかりと固定されて いることを確認します。



図26. フラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り付け

ステップ4. フラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り付けます。127ページの「RAID アダプターの バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け」を参照してください。

ステップ5. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

Tier 1 CRU の取り外しと取り付け

Lenovoが Tier 1 と指定する CRU の取り付けは、お客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovoが Tier 1 CRU の導入を行った場合は、料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

DIMM の取り外し

DIMM を取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. エアー・バッフルを取り外します。100ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照し てください。

ステップ4. 慎重に DIMM スロットの各端にある保持クリップ 1 を開き、DIMM を取り外します。

注意:保持クリップの破損や DIMM スロットの損傷を防止するために、クリップは慎重 に取り扱ってください。



図27. DIMM の取り外し

ステップ 5. DIMM を1 個のみ取り付けている場合は、新しい DIMM を取り付けます。109 ページの 「DIMM の取り付け」を参照してください。

DIMM 取り付けのガイドライン

以下のヒントは、サーバーがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付ける際に考慮すべき その他の情報についての説明です。

- 取り付ける DIMM をサーバーがサポートしていることを確認します。以下に進みます: http://www.lenovo.com/ serverproven/
- DIMM を取り付けまたは取り外すと、サーバー構成情報が変更されます。サーバーを再起動すると、シ ステムにより、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージが表示されます。サーバー構成情報の 表示は、Setup Utility プログラムを使用して行うことができます。29 ページの「Setup Utility プログ ラムの使用」を参照してください。
- このサーバーは、業界標準の DDR4、2133 MHz、PC4-17000 (single-rank または dual-rank)、unbuffered DIMM (エラー修正コード (ECC) 付き)のみをサポートします。
- サーバーは、最大4つの single-rank または dual-rank Unbuffered DIMM をサポートします。
- サーバーの最大作動速度は、サーバーに取り付けられた最も遅い DIMM により決まります。
- DIMM のペアを DIMM スロット3 および1 に取り付ける場合は、DIMM スロット1 および3 に取り付ける DIMM のサイズと速度が相互に一致している必要があります。ただし、DIMM スロット4 と2 に取り付けた DIMM とサイズおよび速度が同じである必要はありません。
- 互換性があれば、さまざまなメーカーの DIMM を同じペアに使用することができます。
- DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを見てください。ラベル上の情報は、x GB nRxx PC4-xxxxx-xx-xxという形式です。「nRxx」は、DIMM が single-rank (n=1) または dual-rank (n=2) で あることを示しています。
- 使用できるメモリー容量は、システム構成に応じて少なくなります。メモリーの一定容量はシステム・ リソース用に予約されます。取り付けられているメモリーの合計容量および構成済みのメモリー容

量を表示するには、Setup Utility を実行します。追加情報については、26ページの「サーバーの構成」を参照してください。

 DDR4 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。 gggGBpheRxffPC4-wwwwaa-mccd-bb

ここで、それぞれ以下の意味があります。

- gggGBはDIMMの合計容量です(たとえば1GB、2GB、または4GB)。
- *pheR*は、パッケージ・ランクの数およびパッケージ・ランクごとの論理ランクの数です。
 *p*には以下の変数が入ります。
 - 1=1パッケージ・ランクの SDRAM が取り付けられています
 - 2=2 パッケージ・ランクの SDRAM が取り付けられています
 - 3=3パッケージ・ランクの SDRAM が取り付けられています
 - 4=4 パッケージ・ランクの SDRAM が取り付けられています
- *he*: スタック DRAM を使用するモジュール用のモノリシック DRAM のためのスペースです。. *h*は DRAM パッケージ・タイプです。以下の変数が入ります。
 - D=マルチロード DRAM スタック (DDP)
 - Q=マルチロード DRAM スタック (QDP)
 - D=シングルロード DRAM スタック (3DS)

e. SDP、DDP および QDP では空白、3DS スタックを使用するモジュールではパッケージ・ランク当たりの論理ランクです。

以下の変数が入ります。

- 2=各パッケージ・ランクに2論理ランク
- 4=各パッケージ・ランクに4論理ランク
- 8=各パッケージ・ランクに8論理ランク
- xffは SDRAM のデバイス編成またはビット幅です (x4、x8、x16 など)
 - x4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 本の DQ 線)
 - x8 = x8 編成
 - x16 = x16 編成
- wwwwはDIMM 速度 (MBps) です (たとえば、2133、2400、2666、2933、または3200) aa は、SDRAM のスピード・グレードです。
- mは、DIMM のタイプです。
 - E = ECC (x8 ビット・モジュール・データ・バス) 付き Unbuffered DIMM (UDIMM) (x64 ビット 基本データ・バス)
 - L=ECC (x8 ビット・モジュール・データ・バス) 付き Load Reduced DIMM (LRDIMM) (x64 ビット 基本データ・バス)
 - E = ECC (x8 ビット・モジュール・データ・バス) 付き Registered DIMM (RDIMM) (x64 ビット 基本データ・バス)
 - U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)

ccは、DIMM 設計のリファレンス設計ファイルです。

- dは、使用された参照設計の改訂番号です。
- bbは、JEDEC SPD 改訂のエンコードおよび追加レベルです。

システム・ボード上の DIMM スロットを見つけるには、21 ページの「システム・ボード・コネク ター」を参照してください。

次のセクションでは、ユーザーが考慮する必要がある unbuffered DIMM に固有の追加情報について説 明しています。

Unbuffered DIMM (UDIMM)

以下のヒントでは、UDIMM の取り付け時に考慮すべき事項について説明します。

- メモリー・チャネルは、取り付け済みの DIMM 間に共通する最低周波数で作動します。
- サーバーで使用可能な UDIMM オプションは、4 GB、8 GB、および 16 GB DIMM です。
- このサーバーは、チャネル当たり最大2つの single-rank または dual-rank UDIMM をサポートします。
- 各チャネルに同じランクの DIMM を取り付けることをお勧めします。
- 次の表は、サポートされる UDIMM 装着構成のリストです。

表 26. チャネルごとのサポートされる UDIMM 装着構成

チャネルごとの DIMM スロット	各チャネルに取り付 けられた DIMM	DIMM のタイプ	DIMM 速度	DIMM ごとのランク (任意の組み合わせ)
2	1	Unbuffered DDR4 ECC	2133/2400	Dual-rank
2	2	Unbuffered DDR4 ECC	2133/2400	Dual-rank

次の表は、rank UDIMM を使用した DIMM の最大装着数です。

表 27. ランク付き UDIMM を使用した最大メモリー装着構成 (モデルにより異なる)

UDIMM の数	DIMM のタイプ	サイズ	メモリー合計
4	dual-rank UDIMM	16 GB	64 GB

次の表は、システム・パフォーマンスを最適化するための、UDIMMメモリーの取り付け順序を示しています。

表 28. DIMM の取り付け順序

DIMM の数	取り付け順序 (DIMM スロット)
最初の DIMM ペア	3, 1
2 番目の DIMM ペア	4, 2

DIMM の取り付け

DIMM を取り付けるには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. エアー・バッフルを取り外します。100ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照し てください。
- ステップ4.システム・ボード上の DIMM スロットを確認します。次に、109ページの「Unbuffered DIMM (UDIMM)」を参照し、取り付けの規則と順序を確認します。

- ステップ 5. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。次に DIMM をパッケージから取り出します。
- ステップ6. DIMM スロットの両端にある保持クリップ 1 を開きます。次に、DIMM をスロットに取り付けます。

注意:保持クリップを破損したり、DIMM スロットを損傷しないように、クリップは丁 寧に開閉してください。



図28. DIMM の取り付け

ステップ7. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり 押し込みます。DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップがカチッという 音を立て、ロック位置に固定されます。

注:DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

ステップ8. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し

各ドライブに割り当てられたドライブ ID は、サーバーの前面に印刷されています。この ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。詳しくは、15 ページの「前面図」を参照してください。

注意:

- ハードディスク・ドライブ・コネクターを損傷しないように、ハードディスク・ドライブを取り付ける か取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにハードディスク・ドライブまたはフィラーを取り付けない状態で、2分を超えてサーバーを動作させないでください。
- ハードディスク・ドライブ、HDD コントローラー(システム・ボードに組み込まれたコントローラーを 含む)、HDD バックプレーン、または HDD ケーブルを変更する前に、ハードディスク・ドライブに保 存されているすべての重要なデータをバックアップしてください。
- RAID アレイのいずれかのコンポーネントを取り外す前には、すべての RAID 構成情報とドライ ブ内のデータをバックアップしてください。

ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. セキュリティー・ベゼルを取り外します。101ページの「セキュリティー・ベゼルの取り外し」を参照してください。
- ステップ2. 解放ボタン 1 を押して、ドライブのハンドル 2 を開きます。次に、ハンドルをつかんで、 ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブをドライブ・ベイから引き抜きます。



図 29. 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し



図 30. 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し

- ステップ3. ベイに新しいホット・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り付けるか、フィラーを取り付けます。
- ステップ4. セキュリティー・ベゼルを再度取り付けます。102 ページの「セキュリティー・ベゼルの取り付け」を参照してください。

ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け

各ドライブに割り当てられたドライブ ID は、サーバーの前面に印刷されています。この ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。詳しくは、15ページの「前面図」を参照してください。

注意:ハードディスク・ドライブ・コネクターを損傷しないように、ハードディスク・ドライブを取り付けるか取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。

以下のヒントには、このサーバーがサポートするハードディスク・ドライブのタイプと、ハードディス ク・ドライブの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

- このトピックの説明のほかに、ハードディスク・ドライブに付属の資料に記載されている説明 に従ってください。
- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。

- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要がある かどうか判別してください。SAS または SATA ハードディスク・ドライブを取り付けている場合、 そのデバイスの SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- サーバーには、最大8個の2.5型または4個の3.5型ホット・スワップSASまたはSATAハードディスク・ドライブを取り付けることができます。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイと PCI および PCI Express スロットを カバーするか、占拠することによって保護されます。ドライブを取り付けるときは、後でデバイスを取り外す場合に備えて、ベイから外した EMC シールドとフィラーを保存しておきます。
- サーバーでサポートされているオプション・デバイスの完全なリストについては、以下を参照してください。

http://www.lenovo.com/ serverproven/

ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ1. セキュリティー・ベゼルを取り外します。101ページの「セキュリティー・ベゼルの取り外し」を参照してください。
- ステップ2. ドライブが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触さ せます。次に、ドライブを帯電防止パッケージから取り出し、帯電防止面の上に置きます。

ステップ3. ドライブ・ベイの中ハードディスク・ドライブを取り付けます。

- a. ハードディスク・ドライブ・フィラー 1 を取り外します。フィラーは安全な場所に保管 してください。必ず、トレイ・ハンドル 2 を「開 (ロック解除)」位置にします。
- b. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
- c. トレイ・ハンドルをロック位置に閉じます。



図31. 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け



図 32. 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け

ステップ4. ハードディスク・ドライブ状況 LED を調べ、ハードディスク・ドライブが正常に動作してい るかどうかを確認します。ドライブの黄色のハードディスク・ドライブ状況 LED が継続的に 点灯している場合、そのドライブには障害があるため、再取り付けの必要があります。緑色の ハードディスク・ドライブ活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

> 注:ServeRAID アダプターを使用してサーバーを RAID 操作用に構成する場合、ハードディス ク・ドライブの取り付け後にディスク・アレイを再構成する必要が生じる可能性がありま す。RAID 操作の追加情報、および ServeRAID アダプターの使用に関する完全な説明につ いては、ServeRAID アダプター資料を参照してください。

ステップ 5. セキュリティー・ベゼルを再度取り付けます。102 ページの「セキュリティー・ベゼルの取り付け」を参照してください。

シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し

各ドライブに割り当てられたドライブ ID は、サーバーの前面に印刷されています。この ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。詳しくは、15 ページの「前面図」を参照してください。

注意:

- ハードディスク・ドライブ・コネクターを損傷しないように、ハードディスク・ドライブを取り付ける か取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにハードディスク・ドライブまたはフィラーを取り付けない状態で、2分を超えてサーバーを動作させないでください。

シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. セキュリティー・ベゼルを取り外します。101ページの「セキュリティー・ベゼルの取り外し」を参照してください。

ステップ3. シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り外します。

• 2.5型ドライブの場合は、リリース・ラッチ 1 を左にスライドさせながら、同時にハード ディスク・ドライブをドライブ・ベイから引き出します。



図 33. 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し

3.5型ドライブの場合は、サーバーからドライブ・ベイ・フィラー1を取り外します。次に、リリース・ラッチ2を右にスライドさせながら、同時にハードディスク・ドライブをドライブ・ベイから引き出します。



図 34. 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し

- ステップ4. 必要に応じて、新しいドライブを取り付けてからフィラーを再度取り付けるか、直接フィ ラーを取り付けます。
- ステップ 5. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。
- ステップ6. セキュリティー・ベゼルを再度取り付けます。102 ページの「セキュリティー・ベゼルの取り付け」を参照してください。

シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け

各ドライブに割り当てられたドライブ ID は、サーバーの前面に印刷されています。この ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。詳細情報については、15ページの「前面図」を参照してください。

シンプル・スワップ SAS または SATA ハードディスク・ドライブを取り付ける前に、次の情報をお読み ください。サポートされているハードディスク・ドライブのリストについては、http://www.lenovo.com/ serverproven/ を参照してください。

- このトピックの説明のほかに、ハードディスク・ドライブに付属の資料に記載されている説明 に従ってください。
- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS または SATA デバイスを取り付ける場合は、そのデバイスの SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- サーバーには、最大8個の2.5型または4個の3.5型シンプル・スワップSASまたはSATAハードディスク・ドライブを取り付けることができます。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイと PCI および PCI Express スロットを カバーするか、占拠することによって保護されます。ドライブを取り付けるときは、後でデバイスを取 り外す場合に備えて、ベイから外した EMC シールドとフィラーを保存しておきます。
- サーバーでサポートされているオプション・デバイスの完全なリストについては、以下を参照してください。

http://www.lenovo.com/ serverproven/

シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. セキュリティー・ベゼルを取り外します。101ページの「セキュリティー・ベゼルの取り外し」を参照してください。
- ステップ3. 空のドライブ・ベイからフィラーを取り外します。
- ステップ4. ドライブが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブを帯電防止パッケージから取り出し、帯電防止面の上に置きます。

ステップ5. ドライブ・ベイの中ハードディスク・ドライブを取り付けます。

• 2.5型ドライブの場合は、リリース・ラッチ 1 を左にスライドさせます。次に、ドライブ がベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。



図 35. 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け

• 3.5型ドライブの場合は、リリース・ラッチ 2 を右にスライドさせ、ドライブが止まるま で静かにベイ内に押し込みます。次に、フィラーを再び取り付けます。



図 36. 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け

ステップ6. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ステップ7. セキュリティー・ベゼルを再度取り付けます。102 ページの「セキュリティー・ベゼルの取り付け」を参照してください。

光学式ドライブの取り外し

光学式ドライブを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. セキュリティー・ベゼルを取り外します。101ページの「セキュリティー・ベゼルの取り外し」を参照してください。
- ステップ3. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。

ステップ4. リリース・タブ **1** を図のように押すと同時に、光学式ドライブをつかんでドライブを背面から押して、ベイからスライドさせて取り出します。



図37. 光学式ドライブの取り外し

ステップ5. 光学式ドライブ・ケーブルを取り外します。

- a. システム・ボードから光学式ドライブ・ケーブルを切り離します。
- b. コネクター・ラッチ(ケーブル・コネクターの左側)を図のように押し、ケーブル・コネクターをつかんで右にスライドさせます。次に、光学式ドライブ・ケーブルをシャーシのコネクター・ブラケットから取り外します。

注意:光学式ドライブ・ケーブルを切り離すときは力を入れすぎないようにしてください。



図38. 光学式ドライブ・ケーブル切り離し

ステップ6. 光学式ドライブから取り外したドライブの保持クリップを光学式ドライブ・フィラーの側 面に取り付けます。120ページの「光学式ドライブの取り付け」を参照してください。次 に、光学式ドライブ・フィラーを光学式ドライブ・ベイに差し込み、カチッと音がして所定 の位置に収まるまでスライドさせます。



図39. 光学式ドライブ・フィラーの取り付け

ステップ7. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ステップ8. セキュリティー・ベゼルを再度取り付けます。102ページの「セキュリティー・ベゼルの取り付け」を参照してください。

光学式ドライブの取り付け

以下のヒントでは、サーバーがサポートする光学式ドライブのタイプの説明と、光学式ドライブを取り付 けるときに考慮すべき事項について説明します。サポートされる光学式ドライブのリストについては、以 下を参照してください。

http://www.lenovo.com/ serverproven/

- このトピックの説明のほかに、光学式ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- すべてのケーブル、および光学式ドライブに付属する資料で指定されている他の装置があること を確認します。
- このサーバーは、1つのウルトラ・スリム SATA 光学式ドライブをサポートします。

光学式ドライブを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. セキュリティー・ベゼルを取り外します。101ページの「セキュリティー・ベゼルの取り外し」を参照してください。
- ステップ3. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ4. 光学式ドライブ・フィラーを取り外します。
- ステップ5. 光学式ドライブ・ケーブルを接続します。このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケー ブルがどのコネクターも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコ ンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。
 - a. コネクターとシャーシのコネクター・ブラケットを位置合わせし、ケーブル・コネクター をブラケットに挿入して、しっかり取り付けられるまで右にスライドさせます。
 - b. ケーブルのもう一方の端をシステム・ボードに接続します。



図40. 光学式ドライブのケーブル接続

- ステップ6. 新しい光学式ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金 属面に触れさせます。次に、光学式ドライブを帯電防止パッケージから取り出し、帯電 防止面の上に置きます。
- ステップ7. 光学式ドライブに付属の説明書に従い、ジャンパーまたはスイッチを設定します。
- ステップ8. 光学式ドライブ・フィラーから取り外したドライブの保持クリップを新しい光学式ドライブ の側面に取り付けます。保持クリップの位置合わせピン 1 の位置が光学式ドライブの対応 する穴と合っていることを確認します。



図41. 光学式ドライブ保持クリップの取り付け

ステップ9. 光学式ドライブをドライブ・ベイに位置合わせします。光学式ドライブをベイに差し込み、 カチッと音がして所定の位置に収まるまでスライドさせます。



図42. 光学式ドライブの取り付け

ステップ10.部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ステップ11.セキュリティー・ベゼルを再度取り付けます。102ページの「セキュリティー・ベゼルの取り付け」を参照してください。

アダプターの取り外し

アダプターを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. アダプターからケーブルを切り離します。
- ステップ 5. アダプターの上端を慎重につかみ、アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリー から取り外します。



図43. アダプターの取り外し

ステップ6. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

アダプターの取り付け

以下のヒントは、サーバーがサポートするアダプターのタイプと、アダプターを取り付けるときに 考慮すべきその他の情報について説明します。

- 取り付けるアダプターをサーバーがサポートしていることを確認するには、以下を参照してください。 http://www.lenovo.com/ serverproven/
- このトピックの説明に追加して、アダプターに付属の資料に記載の説明にも従ってください。
- アダプターが UEFI ベース・サーバーで適切に機能するように、アダプター・ファームウェアおよびサポートするデバイス・ドライバーが最新バージョンに更新されていることを確認してください。
- アダプター・スロットは PCI ライザー・カード・アセンブリーにあります。アダプター・スロット1 および2 にアクセスするためには、まず PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外す必要があります。
 - 1 ServeRAID M1210 SAS/SATA コントローラー専用
 - 21つの PCI Express Gen3 x8 ハーフサイズ、フルハイトのアダプターをサポート



図 44. PCI ライザー・カード・アセンブリー

注:

- アダプターが既に構成されている場合は、可能な場合はアダプターを交換する前に構成情報をバック アップまたは記録します。詳しい手順については、ご使用のアダプターの資料を参照してください。
- ServeRAIDアダプターを交換する場合は、交換が終了したら外部構成として交換用アダプターにRAID構成 をインポートします。詳しくは、https://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=migr-5086126 を参照してください。

アダプターを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ 3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
- ステップ 5. アダプターを、コンポーネントが上を向くようにして平らで帯電防止された面に置き、必要 であればアダプター・メーカーの説明に従いジャンパーまたはスイッチをセットします。
- ステップ6. アダプターにケーブルを接続します。

ステップ 7. PCI ライザー・カード・アセンブリーのスロットのそばにアダプターを配置します。次に、 アダプターをライザー・カード・アセンブリーにしっかり押し込みます。アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリーにしっかり取り付けられていることを確認します。

> **重要:**金属製のアダプター・ブラケットのU字の形の開口部が、PCIライザー・カード・ ケージ **1** のタブ **2** に噛み合っていることを確認してください。



図45. アダプターの取り付け

- ステップ8. アダプター・ケーブルを配線します。173 ページの「内部ケーブルの配線」を参照してく ださい。
- ステップ9. PCI ライザー・カード・アセンブリーを再び取り付けます。104 ページの「PCI ライザー・ カード・アセンブリーの取り付け」を参照してください。

注意:アダプターの取り付け時に、アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリーに正 しく収まっていること、および PCI ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上 のライザー・カード・コネクターにしっかり取り付けられていることを確認してから、サー バーの電源をオンにします。アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボード、PCI ライザー・カード・アセンブリー、またはアダプターが損傷するおそれがあります。

ステップ10.部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

注:

- オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID 操作用に構成されている場合、アダプ ターを取り付けた後にディスク・アレイの再構成が必要になる場合があります。RAID 操作に関する 追加情報および ServeRAID マネージャーの使用に関する詳しい説明については、Lenovo ServeRAID Support CD に収録されている ServeRAID の資料を参照してください。.
- サーバーの再起動時、既存の RAID 構成を新規の ServeRAID SAS/SATA コントローラーにインポートするようにプロンプトが出されます。

ServeRAID SAS/SATA コントローラー・メモリー・モジュールの取り外し

注:本書では、Lenovo ServeRAID SAS/SATA コントローラーを略して SAS/SATA アダプターまたは ServeRAID アダプターと記載することがあります。

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り外すには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ 3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. ServeRAID アダプターを取り外します。122 ページの「アダプターの取り外し」を参照してください。
- ステップ 5. メモリー・モジュールをつかみ、持ち上げて ServeRAID アダプターから取り外します。



図46. ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し

ステップ6. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ServeRAID SAS/SATA コントローラー・メモリー・モジュールの取り付け

注:本書では、Lenovo ServeRAID SAS/SATA コントローラーを略して SAS/SATA アダプターまたは ServeRAID アダプターと記載することがあります。

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ 3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. ServeRAID アダプターを取り外します。122 ページの「アダプターの取り外し」を参照してください。
- ステップ 5. メモリー・モジュールが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属 面に接触させた後、パッケージからメモリー・モジュールを取り出します。

ステップ6. メモリー・モジュールの下部にあるボード間コネクター 1 を、ServeRAID アダプターの コネクター 2 と位置合わせします。ServeRAID アダプター3つの取り付けスタッドが、 メモリー・モジュールの対応する穴と合っていることを確認します。2つのコネクター (1 と 2)がしっかり結合されるまで、メモリー・モジュールを ServeRAID アダプター に慎重に押し込みます。



図47. ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り付け

- ステップ7. ServeRAID アダプターを再取り付けします。123 ページの「アダプターの取り付け」を 参照してください。
- ステップ8. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し

注:RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールは、2.5型ドライブ・サーバー・モ デルでのみサポートされています。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。

ステップ3. RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り外します。

- a. 保持器具を取り外します。
- b. 保持クリップを開きます。
- c. リリース・タブを外側に引きます。
- d. バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを持ち上げて、ホルダーから取り外します。



図 48. RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し

ステップ4. バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールからケーブルを切り離します。 ステップ5. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け

バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールが付属している RAID アダプターを取り付ける場合、 バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリーまた はフラッシュ電源モジュールをサーバー内の別の場所に取り付ける必要がある場合があります。ご使 用のサーバー・モデルによっては、バッテリーはリモート側で光学式ドライブ・ケージまたはバック プレーンの近くに取り付ける必要があります。

注:RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールは、2.5型ドライブ・サーバー・モ デルでのみサポートされています。

RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサーバーに取り付けるには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ 3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。

- ステップ4. PCI ライザー・カード・アセンブリーに RAID アダプターを取り付けます。123 ページの「ア ダプターの取り付け」を参照してください。
- ステップ 5. ケーブルの一方の端を RAID アダプターのコネクターに接続します。該当のケーブルがケー ブル・クリップを通り、バッテリー・ホルダーに被さったり邪魔になるケーブルがないこ とを確認してください。



図 49. RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのケーブル接続

注意:このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。

ステップ6. ケーブルのもう一方の端を、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールに接続します。 次に、保持器具を取り外し、バッテリー・ホルダーまたはモジュールホルダーの保持ク リップを開きます。 ステップ7. バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り付けます。

- a. リリース・タブを外側に引きます。
- b. バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをホルダー内に配置し、ホルダーがバッテ リーまたはフラッシュ電源モジュールをしっかりと固定していることを確認します。
- c. 保持クリップがカチッと音がして所定の位置に収まり、バッテリーまたはフラッシュ電源 モジュールが所定の位置にしっかりと保持されるまで、保持クリップを押し下げます。
- d. 保持器具を取り付けます。



図 50. RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け

注:リモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの位置は、取り付けるリモー ト・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのタイプによって異なります。

ステップ8. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. エアー・バッフルを取り外します。100ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照し てください。
- ステップ4. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ 5. システム・ボード上で USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクター を見付けます。21 ページの「システム・ボード・コネクター」を参照してください。

ステップ 6. フラッシュ・デバイス・コネクター上のロック・バーをスライドさせてロック解除位置に し、USB フラッシュ・デバイスをコネクターから引き出します。



図 51. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

ステップ7. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. エアー・バッフルを取り外します。100ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照し てください。
- ステップ4. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ 5. システム・ボード上で USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクター を見付けます。21 ページの「システム・ボード・コネクター」を参照してください。
ステップ6. USB フラッシュ・デバイスをシステム・ボード上のコネクターと位置合わせし、しっかりと 装着されるまでコネクターに押し込みます。次に、フラッシュ・デバイス・コネクターの ロック・バーをロック位置までスライドさせます。



図 52. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

ステップ7. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

前面 I/O 部品の取り外し

前面 I/O 部品には、オペレーター情報パネルおよび2本のケーブルがあります。

前面 I/O 部品を取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。

- ステップ3. USB ケーブルおよびオペレーター情報パネル・ケーブルをシステム・ボードから切り離します。
 - USBケーブルを外すには、USBケーブル・コネクターの上部にあるリリース・ラッチ1
 を押します。次に、USBケーブル・コネクターを引き出してシステム・ボードのUSB コネクターから取り外します。
 - オペレーター情報パネル・ケーブル・コネクターを外すには、ケーブル・コネクターの両 側にあるリリース・ラッチ 2 押します。次に、システム・ボードのオペレーター情報パ ネル・コネクターからケーブル・コネクターを引き出し、取り外します。



図 53. USB ケーブルおよびオペレーター情報パネル・ケーブルの取り外し

ステップ4. 前面 I/O 部品の後部にあるリリース・タブを見つけます。次に、リリース・タブを持ち上げ、前面 I/O 部品を慎重に引き抜きます。



図54. 前面 I/O 部品の取り外し

ステップ 5. 新しい前面 I/O 部品を取り付けます。133 ページの「前面 I/O 部品の取り付け」を参照し てください。

前面 I/O 部品の取り付け

前面 I/O 部品には、オペレーター情報パネルおよび2本のケーブルがあります。分電盤を前面 I/O 部品から取り外した場合、サーバーの電源を入れる前に新しいものを取り付けます。

前面 I/O 部品を取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. 図のように、前面 I/O 部品を、カチッと音がして所定の位置に収まるまで慎重にサーバー 内に押し込みます。



図55. 前面 I/O 部品の取り付け

- ステップ 2. USB ケーブルおよびオペレーター情報パネル・ケーブルをシステム・ボード上のコネクターに 再接続します。適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。
- ステップ3. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

作動温度の機能拡張キットの取り外し

作動温度の機能拡張キットを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ4.システム・ボードから作動温度の機能拡張キット・コネクターを切り離します。



図 56. 2.5 型ドライブ・モデルでの作動温度の機能拡張キットのケーブルの切り離し



図 57. 3.5 型ドライブ・モデルでの作動温度の機能拡張キットのケーブルの切り離し

ステップ 5. ハードディスク・ドライブ・ケージのスロット 2 から作動温度の機能拡張キット 1 を切 り離します。



図58. 作動温度の機能拡張キットの取り外し

ステップ6. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

作動温度の機能拡張キットの取り付け

作動温度の機能拡張キットを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ 3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。

ステップ4.システム・ボードに作動温度の機能拡張キット・コネクターを接続します。

ステップ5. ケーブルをシャーシに沿って配線します。適切なケーブルがケーブル・クリップを通って いることを確認してください。



図 59. 2.5 型ドライブ・モデルでの作動温度の機能拡張キットのケーブル接続



図 60. 3.5 型ドライブ・モデルでの作動温度の機能拡張キットのケーブル接続

注意:このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。

ステップ6. 作動温度の機能拡張キット 1 を、カチッと音がして所定の位置にロックされるまでハード ディスク・ドライブ・ケージのスロット 2 に差し込みます。



図61. 作動温度の機能拡張キットの取り付け

ステップ7. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

システム・ファンの取り外し

システム・ファンを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. IMM2.1 イベント・ログを調べて、交換が必要なファンを判別します。エラー・メッセージに ついては、193 ページの 付録 A 「Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッ セージ」を参照してください。
- ステップ2. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ3. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ4. エアー・バッフルを取り外します。100ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照し てください。
- ステップ5. システム・ボードからファン・ケーブルを切り離します。コネクターへのファン・ケーブル の引き回しを記録します。ファンを取り付けるときに、ファン・ケーブルを同じ経路で配 線する必要があります。

ステップ6.ファンの上部を人差し指と親指でつまみ、サーバーからファンを取り出します。



図 62. システム・ファンの取り外し

ステップ7. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

システム・ファンの取り付け

システム・ファンを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. エアー・バッフルを取り外します。100ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照し てください。
- ステップ4.ファンの排気方向を示す矢印がサーバーの背面を指すように、新しいファンの向きを定めます。

注:正しい排気は、サーバーの前面から背面への向きです。

ステップ 5. ファンをブラケットに挿入します。次に、ファン・ケーブルをファン・ブラケットのファ ン・ケーブル・スロット内に配線します。ファンの2つのグレーで柔らかなタブが、ファ ン・ブラケットの対応するスロットにしっかりと収まっていることを確認します。



図63. システム・ファンの取り付け

ステップ6. 新しいファン・ケーブルをシステム・ボードに接続します。システム・ボード上のファン・ コネクターの位置を確認するには、21 ページの「システム・ボード・コネクター」を 参照してください。

ステップ7. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

コイン型電池の取り外し

以下のヒントでは、コイン型電池の取り外し時に考慮すべき事項について説明します。

• Lenovo は安全性を考慮してこの製品を設計しました。リチウムコイン型電池は適切に取り扱い、危険 を避ける必要があります。コイン型電池を交換するときは、以下の指示に従ってください。

注:米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。

- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では1-800-IBM-SERVに、カナダでは1-800-465-7999または 1-800-465-6666に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定 のビジネス・パートナーにご連絡ください。

注:コイン型電池の交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻を再設定する必要があり ます。



警告:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイ

プのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールが ある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してくだ さい。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発する おそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212°F) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

注:コイン型電池を取り外した後は、新しいものを取り付ける必要があります。140ページの「コ イン型電池の取り付け」を参照してください。

コイン型電池を取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. 必要に応じて、エアー・バッフルを取り外します。100ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. コイン型電池の位置を確認します。21 ページの「システム・ボード・コネクター」を 参照してください。
- ステップ5. コイン型電池を取り外します。

注意:

- 正しくコイン型電池を取り外さないと、システム・ボード上のソケットが損傷する可能性が あります。ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
- 過度の力でコイン型電池を傾けたり押したりしないでください。



図 64. コイン型電池の取り外し

ステップ6. コイン型電池を廃棄する場合は地方自治体の条例または規則に従ってください。

コイン型電池の取り付け

以下のヒントでは、コイン型電池の取り付け時に考慮すべき事項について説明します。

- コイン型電池に付属している取扱説明書や手順書に従ってください。
- Lenovo は安全性を考慮してこの製品を設計しました。リチウム・バッテリーは適切に取り扱い、危険 を避ける必要があります。コイン型電池を取り付けるときは、以下の指示に従ってください。

注:米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。

- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では1-800-IBM-SERVに、カナダでは1-800-465-7999または 1-800-465-6666に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定 のビジネス・パートナーにご連絡ください。

注:コイン型電池の取り付け後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなけれ ばなりません。



警告:

リチウム・バッテリーを取り付ける場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タ イプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュール がある場合、そのモジュールの取り付けには同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用し てください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆 発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212°F) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

コイン型電池を取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. 新しいコイン型電池を取り付けます。コイン型電池保持器具にバッテリーがしっかり収 まっているか確認します。



図65. コイン型電池の取り付け

- ステップ2. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。
- ステップ3. Setup Utility を起動して、構成をリセットします。
 - a. システムの日付と時刻を設定します。
 - b. 始動パスワードを設定します。

c. サーバーを再構成します。

詳しくは、29ページの「Setup Utility プログラムの開始」を参照してください。

固定パワー・サプライの取り外し

固定パワー・サプライの取り外しを行うときは、次の注意事項をお読みください。



警告:

パワー・サプライまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これら のコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われ る場合はサービス技術員に連絡してください。

注:固定パワー・サプライを取り外した後は、新しいものを取り付ける必要があります。143 ページの 「固定パワー・サプライの取り付け」を参照してください。

固定パワー・サプライを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3.システムボードおよび内部デバイスのコネクターからパワー・サプライ・ケーブルを切り離します。次に、ケーブルを保持クリップから取り外します。

注:パワー・サプライ・ケーブルのすべての配線を記録して、パワー・サプライを取り付け るときパワー・サプライ・ケーブルを同じ経路で配線できるように備えます。

- ステップ4. 固定パワー・サプライを取り外します。
 - a. パワー・サプライをシャーシの後部に固定しているねじを取り外します。
 - b. パワー・サプライをサーバーの前面方向に押して、パワーサプライをシャーシから外します。
 - c. パワー・サプライをシャーシから持ち上げて取り出します。



図66. 固定パワー・サプライの取り外し

固定パワー・サプライの取り付け

固定パワー・サプライの取り付けを行うときは、次の注意事項をお読みください。



警告:

パワー・サプライまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これら のコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われ る場合はサービス技術員に連絡してください。

固定パワー・サプライを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. 固定パワー・サプライを取り付けます。

- a. シャーシ上にパワー・サプライを配置します。
- b. パワー・サプライがシャーシにはまるまで、パワー・サプライをサーバーの背面方向 に押します。
- c. パワー・サプライをシャーシに固定するねじを取り付けます。



図67. 固定パワー・サプライの取り付け

- ステップ2. 内部パワー・サプライ・ケーブルをパワー・サプライからシステム・ボード上のパワー・サ プライ・コネクターおよび CPU 電源コネクターに接続します。システム・ボード上の電 源コネクターの位置を確認するには、21 ページの「システム・ボード・コネクター」を 参照してください。
- ステップ3. 内部のパワー・サプライ・ケーブルを配線し、保持クリップで固定します。
- ステップ4. 以下のようにして、パワー・サプライをテストします。
 - a. 新しいパワー・サプライ用の AC 電源コードの一方の端をパワー・サプライ・コネク ターに接続し、電源コードの他方の端を適切に接地された電源コンセントに接続しま す。システム・ボードのスタンバイ電源 LED が点灯していることを確認します。24 ペー ジの「システム・ボード LED」を参照してください。
 - b. スタンバイ電源 LED が点灯していない場合は、この手順を中止して新しいパワー・ サプライを入手します。
 - c. 電源制御ボタンを押します。サーバー前面のパワーオン LED が点灯するのを確認します。
 - サーバーが起動する場合は、次のステップに進みます。サーバーが起動しない場合は、AC電源コードを切り離してサービスを依頼してください。
- ステップ 5. サーバーの電源をオフにし、AC 電源コードを切り離します。
- ステップ6. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。
- ステップ7. 電源制御ボタンを押します。サーバー前面のパワーオン LED が点灯するのを確認します。

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し

パワー・サプライを取り外す場合は、以下の予防措置を守ってください。



警告:

デバイスの電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、デバイスに供給されている電流を オフにするものではありません。デバイスには2本以上の電源コードが使われている場合があります。デ バイスから完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。





警告:

パワー・サプライまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これら のコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われ る場合はサービス技術員に連絡してください。



図 68. カバー上のホット・スワップ・パワー・サプライのラベル

ホット・スワップ・パワー・サプライを取り外すには、以下を行います。

注意:冗長性を得るために2つのパワー・サプライが取り付けられている場合、このタイプのパワー・サ プライはホット・スワップ専用です。パワー・サプライが1台しか取り付けられていない場合は、パ ワー・サプライを取り外す前に、まずサーバーの電源をオフにする必要があります。

ステップ1. サーバーがラックに取り付けられている場合は、ケーブル管理アームを後ろに引いて、サーバー背面およびパワー・サプライにアクセスできるようにします。

ステップ2. ホット・スワップ・パワー・サプライから電源コードを抜きます。

ステップ3. ハンドルの方向に解放タブを押すと同時にハンドルを慎重に引いて、ホット・スワップ・パ ワー・サプライをスライドさせシャーシから取り出します。



図 69. ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し

ステップ4. パワー・サプライ・フィラーまたは新しいパワー・サプライを取り付けてパワー・サプラ イ・ベイを覆います。146ページの「ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け」を 参照してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

以下のヒントでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプラ イを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 460 ワット・パワー・サプライ・サーバー・モデルの場合、標準的な出荷形態では、460 ワット・パワー・サプライが1つのみサーバーに取り付けられています。冗長性およびホット・スワップをサポートするには、追加の460 ワット・ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける必要があります。特定のカスタマイズされたモデルでは、出荷時に2つのパワー・サプライが取り付けられている場合もあります。
- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされるオプションの デバイスのリストについては、http://www.lenovo.com/ serverproven/ を参照してください。





警告:

パワー・サプライまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これら のコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われ る場合はサービス技術員に連絡してください。



図 70. カバー上のホット・スワップ・パワー・サプライのラベル

ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. パワー・サプライ・フィラーを取り外します。次に、ホット・スワップ・パワー・サプラ イを、リリース・ラッチがカチッと音がして所定の位置に収まるまでベイ内にスライドさ せます。

> **重要**:サーバーの通常動作時に適正な冷却を確保するために、パワー・サプライ・ベイが両 方とも占拠されている必要があります。つまり、それぞれのベイにパワー・サプライが取 り付けられているか、片方にパワー・サプライ、もう片方にパワー・サプライ・フィラー が取り付けられている必要があります。



図71. ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

ステップ2. 電源コードの片方の端を新しいパワー・サプライのコネクターに接続し、次に電源コードの もう片方の端を正しく接地された電源コンセントに接続します。 ステップ3. サーバーの電源がオフの場合は、サーバーの電源をオンにします。パワー・サプライ上の AC 電源 LED が点灯して、パワー・サプライが正しく動作していることを示していることを確 認します。サーバーの電源がオンになったら、パワー・サプライ上の DC 電源 LED も点 灯していることを確認します。

PCI ライザー・カード・アセンブリーからの PCI ライザー・カードの取り外し

- PCI ライザー・カード・アセンブリーから PCI ライザー・カードを取り外すには、以下を行います。
- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. PCI ライザー・カードをライザー・カード・ブラケットに固定しているねじを取り外しま す。次に、PCI ライザー・カードを取り外します。



図72. PCI ライザー・カードの取り外し

ステップ 5. ライザー・カード・アセンブリーに新しい PCI ライザー・カードを取り付けます。148 ページの「ライザー・カード・アセンブリーへの PCI ライザー・カードの取り付け」を 参照してください。

ライザー・カード・アセンブリーへの PCI ライザー・カードの取り付け

PCI ライザー・カード・アセンブリーから PCI ライザー・カードを取り外した場合は、サーバーの電源を オンにする前に新しい PCI ライザー・カードを PCI ライザー・カード・アセンブリーに取り付けます。

- PCI ライザー・カード・アセンブリーに PCI ライザー・カードを取り付けるには、以下を行います。
- ステップ1. PCI ライザー・カードの穴をライザー・カード・ブラケットの穴に合わせます。次に、ねじ を取り付けて PCI ライザー・カードをライザー・カード・ブラケットに固定します。



図73. PCI ライザー・カード・ブラケットの取り付け

- ステップ2. 必要な場合は、アダプターを取り付けます。123 ページの「アダプターの取り付け」を参照 してください。次に、アダプター用のケーブルを接続します。
- ステップ 3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを再び取り付けます。104 ページの「PCI ライザー・ カード・アセンブリーの取り付け」を参照してください。

ステップ4. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し

注:2.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り外した後は、新しいものを取り付ける必要があります。150ページの「2.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け」を参照してください。

2.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. ハードディスク・ドライブまたはフィラーをサーバーから取り出します。110ページの 「ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. すべてのケーブルをハードディスク・ドライブ・バックプレーンから切り離します。

ステップ5. バックプレーン上の青色のタブを持ち上げ、バックプレーンをシャーシから取り外します。



図74.2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し

2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け 次の図は、2つ目の 2.5 型ハードディスク・ドライブ・バックプレーンのアップグレード・キットの

内容を示しています。



図 75. 2 つ目の 2.5 型ハードディスク・ドライブ・バックプレーンのアップグレード・キット

1 Mini-SAS 信号ケーブル・コネクター

2 電源コネクター

2.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付けるには、以下を 行います。 ステップ1. バックプレーンの位置をシャーシ内のバックプレーン位置合わせスロットに合わせます。 次に、ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを、シャーシ内に完全に収まるまで 慎重に下ろします。



図76. 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け

- ステップ2. ハードディスク・ドライブ・バックプレーンから取り外したすべてのケーブルを再接続 します。
- ステップ3.2つ目のバックプレーンを取り付ける必要がある場合はステップ4を繰り返してください。
- ステップ4. RAID アダプターを取り付けます。123 ページの「アダプターの取り付け」を参照してく ださい。
- ステップ 5. 電源ケーブルおよび信号ケーブルを接続します。以下のトピックを参照してください。
 - 184 ページの「ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントロー ラーおよびホット・スワップ・パワー・サプライ」
 - 179 ページの「ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コント ローラーおよび固定パワー・サプライ」
- ステップ6. ハードディスク・ドライブとフィラーを再取り付けします。111 ページの「ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け」を参照してください。

ステップ7. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセン ブリーの取り外し

注:2.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーを取り外した後は、新しいものを取り付ける必要があります。152ページの「2.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取り付け」を参照してください。

2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーを取り外 すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。

- ステップ3. PCI ライザー・カード・アセンブリーが取り付けられている場合は、これを取り外しま す。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. RAID アダプターあるいはシステム・ボードからケーブルを切り離します。173 ページ の「内部ケーブルの配線」を参照してください。次に、ケーブル・クリップから対応 するケーブルを取り外します。
- ステップ 5. 取り付けられているハードディスク・ドライブまたはフィラーをドライブ・ベイから取り外します。114 ページの「シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し」を 参照してください。
- ステップ6. バックプレート・アセンブリー上の青色のタブをつかんで、バックプレート・アセンブリー をシャーシから持ち上げます。



図77.2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取 り外し

2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセン ブリーの取り付け

2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーには、以下の3つのタイプがあります。以下の図で、タイプaおよびbは、RAIDアダプターを搭載したサーバー・モデル用です。タイプcは、オンボード・ソフトウェア RAID構成を持つサーバー・モデル用です。



図 78. 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリー

1 電源コネクター

2 Mini-SAS 信号コネクター

2.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. バックプレート・アセンブリーを、シャーシのバックプレート・アセンブリー位置合わせス ロットと位置合わせします。次に、バックプレート・アセンブリーを、しっかりとシャー シ内に装着されるように慎重にシャーシ内に下ろします。



図 79. 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取 り付け

ステップ2.

ケーブルを RAID アダプターまたはシステム・ボードに接続します。以下のトピックを 参照してください。

- 177 ページの「シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: オンボード RAID」
- 181 ページの「シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コント ローラーおよび固定パワー・サプライ」
- 186 ページの「シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コント ローラーおよび冗長パワー・サプライ」
- ステップ3. ハードディスク・ドライブまたはフィラーを再取り付けします。115ページの「シンプル・ スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け」を参照してください。

ステップ4. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し 注:3.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り外した後は、新しいも のを取り付ける必要があります。155ページの「3.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ バックプレーンの取り付け」を参照してください。

3.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り外すには、以下を実行します。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ 3. PCI ライザー・カード・アセンブリーが取り付けられている場合は、これを取り外しま す。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. 取り付けられているハードディスク・ドライブまたはフィラーをドライブ・ベイから取り 外します。110ページの「ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し」を 参照してください。

ステップ 5. 次の図に示すように、シャーシの保持ラッチを回転させます。次に、バックプレーン・アセンブリーを慎重に外側に引いて持ち上げ、シャーシから取り出します。



図80.3.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し

ステップ6. すべてのケーブルをハードディスク・ドライブ・バックプレーンから切り離します。

3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付けるには、以下を 行います。

ステップ1. ハードディスク・ドライブ・バックプレーンにケーブルを接続します。

ステップ2. バックプレーン・アセンブリーをシャーシの位置合わせスロット内に慎重に下ろします。次 に、保持ラッチを閉じてバックプレーンをシャーシに固定します。



図81. 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け

- ステップ3. すべてのケーブルをシステム・ボードまたは RAID アダプターに接続します。179 ページの 「ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよび固定 パワー・サプライ」を参照してください。
- ステップ4. ハードディスク・ドライブとフィラーを取り付けます。111ページの「ホット・スワップ・ ハードディスク・ドライブの取り付け」を参照してください。
- ステップ5. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセン ブリーの取り外し

注:3.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーを取り外した後は、新しいものを取り付ける必要があります。158ページの「3.5型シンプル・スワップ・ハード ディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取り付け」を参照してください。

3.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーを取り外す には、以下を実行します。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. PCI ライザー・カード・アセンブリーが取り付けられている場合は、これを取り外しま す。103ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. RAID アダプターあるいはシステム・ボードからケーブルを切り離します。173 ページ の「内部ケーブルの配線」を参照してください。次に、ケーブル・クリップから対応 するケーブルを取り外します。

- ステップ 5. 取り付けられているハードディスク・ドライブまたはフィラーをドライブ・ベイから取り外します。114 ページの「シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し」を 参照してください。
- ステップ 6. シャーシの保持ラッチを上に回転させます。次に、バックプレート・アセンブリーを慎重に 外側に引いて持ち上げ、シャーシから取り出します。



図 82. 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取 り外し

3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセン ブリーの取り付け

3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーには、以下の2つのタイプがあります。以下の図で、タイプbはオンボード・ソフトウェア RAID 構成を持つ サーバー・モデル用です。



図83. 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリー

1 電源コネクター

2 Mini-SAS 信号コネクター

3.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. バックプレート・アセンブリーをシャーシの位置合わせスロット内に慎重に下ろします。次 に、保持ラッチを閉じてバックプレート・アセンブリーをシャーシに固定します。



図 84. 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取 り付け

ステップ 2.

ケーブルを RAID アダプターまたはシステム・ボードに接続します。以下のトピックを 参照してください。

- 177 ページの「シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: オンボード RAID」
- 186 ページの「シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コント ローラーおよび冗長パワー・サプライ」
- 181 ページの「シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コント ローラーおよび固定パワー・サプライ」
- ステップ3. ハードディスク・ドライブとフィラーを取り付けます。115 ページの「シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け」を参照してください。

ステップ4. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

Tier 2 CRU の取り外しと取り付け

このセクションでは、Tier 2 CRUの取り外しと取り付けについて説明します。

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付けを依頼することもできます。本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し(トレーニングを受けた技術員のみ)

以下の注記には、このサーバーがサポートするマイクロプロセッサーのタイプと、マイクロプロセッサー とヒートシンクの取り付けまたは取り外し時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

- サーバーは、1つの Intel land grid array (LGA) 1151 デュアルコアまたはクアッドコア・マイクロプロ セッサーをサポートします。マイクロプロセッサーのタイプ、速度、およびL3 キャッシュはサー バーのモデルに依存します。
- マイクロプロセッサーに付属の資料を読み、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどう か判断してください。最新レベルのサーバー・ファームウェアをダウンロードするには、 http://www.lenovo.com/support および https://datacentersupport.lenovo.com にアクセスしてください。
- マイクロプロセッサーはシステム・ボード上のオンボード電圧調節装置を使用します。

注意:

- マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにして ください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサー・ソケットが劣 化するおそれがあります。
- 取り付けあるいは取り外し中にマイクロプロセッサーを落とすと接点を傷つけます。
- マイクロプロセッサーの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサーは、必ずエッジ 部分を持つようにしてください。マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点 とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- ソケットのピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
- マイクロプロセッサーからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、 アルコール・ワイプを使用して熱伝導グリースを拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度塗布する必要があります。164ページの「熱伝導グリース」を参照してください。
- 新しいマイクロプロセッサーまたは新しいヒートシンクを取り外した後は、新規のものを取り付ける必要があります。162ページの「マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け(トレーニングを受けた技術員のみ)」を参照してください。
- マイクロプロセッサーとヒートシンクを取り外すには、以下を行います。
- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. エアー・バッフルを取り外します。100ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照し てください。

ステップ4. ヒートシンクを取り外します。

警告:





ヒートシンクは、通常の運用中は非常に熱くなります。ヒートシンクに触れる前に、冷 却する時間をとってください。

- a. ドライバーを使用して、拘束ねじ 1 を緩めます。それぞれのねじが緩むまでねじを回転 させてください。
- b. マイクロプロセッサーとの密着状態が解除されるまで、すべてのねじを交互に緩めます。
- c. ヒートシンクを慎重にひねってマイクロプロセッサーから取り外してから、ヒートシンクを持ち上げてシステム・ボードから取り外します。



図85. ヒートシンクの取り外し

ステップ5. 取り外し後は、ヒートシンクを清潔で平らな面に置きます。

ステップ6. マイクロプロセッサーを取り外します。

- a. ハンドルを慎重に少しだけ押し下げ、次にハンドルを外側に押して、マイクロプロ セッサー保持ラッチを開きます。
- b. マイクロプロセッサー・ブラケットを開放します。ブラケットをオープン位置で保持 します。
- c. マイクロプロセッサーの端を持って、慎重にマイクロプロセッサーを真っすぐ上に 持ち上げ、ソケットから取り出します。

注意:マイクロプロセッサーの取り扱いは慎重に行ってください。取り外し中にマイクロプロセッサーを落とすと、接触部分を損傷する可能性があります。また、マイクロプロセッサーの接点が皮膚からの油脂などによって汚れると、接点とソケット間の接触不良の原因になる場合があります。



図86. マイクロプロセッサーの取り外し

ステップ7. マイクロプロセッサーを帯電防止面に置きます。

注意:ソケットのピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換 が必要になる場合があります。

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け(トレーニングを受けた技術員のみ)

以下の注記には、このサーバーがサポートするマイクロプロセッサーのタイプと、マイクロプロセッサー とヒートシンクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

- サーバーは、1つの Intel land grid array (LGA) 1151 デュアルコアまたはクアッドコア・マイクロプロ セッサーをサポートします。マイクロプロセッサーのタイプ、速度、およびL3 キャッシュはサー バーのモデルに依存します。
- マイクロプロセッサーに付属の資料を読み、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどう か判断してください。最新レベルのサーバー・ファームウェアをダウンロードするには、 http://www.lenovo.com/support および https://datacentersupport.lenovo.com にアクセスしてください。
- マイクロプロセッサーはシステム・ボード上のオンボード電圧調節装置を使用します。
- このサーバーでは、マイクロプロセッサー速度が自動的に設定されます。したがって、マイクロプロセッサー周波数選択ジャンパーまたはスイッチを設定する必要はありません。
- 熱伝導グリース保護カバー(たとえば、プラスチック・キャップやテープ裏打ちシール)がヒートシンクから外れている場合は、ヒートシンクの下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを

下に置いたりしないでください。熱伝導グリースの塗布や取り扱いについての詳細は、164ページ の「熱伝導グリース」を参照してください。

注:マイクロプロセッサーからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、熱伝導グリースの再塗布が必要になります。

注意:

- マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにして ください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサー・ソケットが劣 化するおそれがあります。
- 取り付けあるいは取り外し中にマイクロプロセッサーを落とすと接点を傷つけます。
- マイクロプロセッサー接点は繊細です。マイクロプロセッサーの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサーは、必ずエッジ部分を持つようにしてください。マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- ソケットのピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
- 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合、静電気により損傷を受けないように注意してください。これらの部品の取り扱い方法については、98ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」を参照してください。
- マイクロプロセッサーがソケットにはまる方向は1つしかありません。
- マイクロプロセッサーからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、 アルコール・ワイプを使用して熱伝導グリースを拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度塗布する必要があります。164ページの「熱伝導グリース」を参照してください。

マイクロプロセッサーとヒートシンクを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. マイクロプロセッサーを取り付けます。

- a. マイクロプロセッサーをソケットと位置合わせし(位置合わせマーク 1 と切り欠きの位置 に注意)、マイクロプロセッサーをソケットの上に注意深く置きます。
- b. マイクロプロセッサー・ブラケット・フレームを閉じます。
- c. マイクロプロセッサー保持ラッチのハンドルを所定の位置に固定してラッチを閉じます。



図87. マイクロプロセッサーの取り付け

ステップ2. マイクロプロセッサーにヒートシンクを取り付けます。

注意:ヒートシンクの下部にある熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに 触ると、品質が劣化します。マイクロプロセッサーあるいはヒートシンクの熱伝導グリー スが汚れた場合は、アルコール・ワイプを使用して、マイクロプロセッサーまたはヒート シンク上の汚れた熱伝導グリースを拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度ヒートシン クに塗布してください。

- a. ラベルの矢印が DIMM の方向を向くようにヒートシンクの位置を合わせ、熱伝導グリース 側を下にしてヒートシンクをマイクロプロセッサーの上に配置します。
- b. ヒートシンクのねじをシステム・ボードのねじ穴と位置合わせします。
- c. ドライバーを使用して、それぞれのねじ 1 を交互にきつくなるまで締めます。可能で あれば、それぞれのねじを1回につき完全に2回転させてください。ねじがきつく締 まるまで繰り返します。

注意:サーバー背面に近い方の2本のねじが締められると、ねじ頭がヒートシンクの面と 平らにならなくなります。過度の力でねじを締めすぎないようにしてください。



図88. ヒートシンクの取り付け

ステップ3. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

熱伝導グリース

ヒートシンクをマイクロプロセッサー上部から取り外した場合は、必ず熱伝導グリースを交換してく ださい。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサーおよびヒートシンク上の黒ずんだり汚れて いる熱伝導グリースを交換します。

98ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」をお読みください。

マイクロプロセッサーとヒートシンクの黒ずんだり汚れている熱伝導グリースを交換するには、以下を行います。

ステップ1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。

- ステップ2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。
- ステップ3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

注:すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。

ステップ4. クリーニング・パッドのきれいな部分で、マイクロプロセッサーの底に付いた熱伝導グ リースをふき取ります。クリーニング・パッドは、熱伝導グリースをすべて拭き取ったら 廃棄してください。 ステップ 5. 熱伝導グリース用の注射器を使用して、マイクロプロセッサーの上部またはヒートシンク の底部に 0.02 ml の点を等間隔に 9つ 1 配置します。最も外側のドットをマイクロプロ セッサーの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これを行うのは、グリースを均等に 配置するためです。



図89. マイクロプロセッサーの熱伝導グリース



図90. 熱伝導グリースの注射器

注:注射器の1目盛りは0.01 ml です。グリースが適切に塗布されると、注射器には約半分 (0.22 ml) のグリースが残ります。

ステップ 6. ヒートシンクをマイクロプロセッサーの上に取り付けます。162 ページの「マイクロプロ セッサーおよびヒートシンクの取り付け (トレーニングを受けた技術員のみ)」を参照し てください。

分電盤カバーの取り外し

分電盤カバーを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. すべての SAS/SATA 信号ケーブルおよび分電盤カバーを通して接続されているその他のすべてのケーブルを取り外します。173ページの「内部ケーブルの配線」を参照してください。

ステップ4. 分電盤カバーからねじを取り外します。次に、分電盤カバーを持ち上げてサーバーから取り外します。



図91. 分電盤カバーの取り外し

ステップ 5. 分電盤カバーを取り付け直すか、新しいものを取り付けます。166ページの「分電盤カバーの取り付け」を参照してください。

分電盤カバーの取り付け

分電盤カバーを移動した場合は、それを取り付け直すか、古いものが故障している場合は新しいものを 取り付けます。

分電盤カバーを取り付けるには、以下を行います。
ステップ1. 分電盤カバーを取り付けます。

- a. 分電盤カバーのねじ穴を、シャーシ上の取り付けスタッドに合わせます。
- b. 分電盤カバーを分電盤の上に下ろします。
- c. ねじを取り付けて、分電盤カバーを所定の位置に固定します。



図92. 分電盤カバーの取り付け

ステップ2. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

分電盤の取り外し

分電盤を取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. 分電盤カバーを取り外します。165ページの「分電盤カバーの取り外し」を参照してください。次に、ケーブルをケーブル・タイから緩めます。
- ステップ4. 分電盤ケーブルをシステム・ボードから切り離します。次に、分電盤の取り外しに邪魔な すべてのケーブルをシステム・ボードから切り離します。

ステップ5. ねじを取り外します。次に、分電盤を持ち上げてサーバーから取り外します。



図93. 分電盤の取り外し

ステップ6.新しい分電盤を取り付けます。168ページの「分電盤の取り付け」を参照してください。

分電盤の取り付け

分電盤を移動した場合、サーバーの電源を入れる前に新しいものを取り付けます。

分電盤を取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. 分電盤のねじ穴をシャーシの取り付けスタッドに位置合わせし、分電盤をシャーシの上に下ろします。次に、ねじを取り付けて、分電盤を所定の位置に固定します。



図94. 分電盤の取り付け

ステップ2. ケーブルを分電盤に接続します。

- ステップ3. 分電盤カバーを取り付けます。166ページの「分電盤カバーの取り付け」を参照してく ださい。
- ステップ4. ケーブルをシステム・ボードのパワー・サプライ・コネクター、マイクロプロセッサー電 源コネクター、分電盤コネクターに接続します。21 ページの「システム・ボード・コネ クター」を参照してください。

注意:ケーブルをシステム・ボードに接続する際に、ワイヤー部分をつかまないでください。コネクターをつかみ、ケーブルをシステム・ボードに垂直に接続してください。



図95. 電源ケーブル・コネクターのシステム・ボード上への接続

ステップ5. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

システム・ボードの取り外し

始める前に、以下の情報に注意してください。

- システム・ボードの交換後は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様がCDイメージで用意する、既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。
- システム・ボードを交換する場合は、必ず、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) 拡張アップグレードを取り外し、新しいシステム・ボードにそれを取り付けてください。
- システム・ボードを交換する前に、有効化した Features on Demand (FoD) キーのバックアップを必ず 取ってください。システム・ボードを交換した後、FoD 機能を再アクティブ化します。FoD のア クティベーションおよびアクティベーション・キーのインストールを自動化するには、「Lenovo Features on Demand ユーザーズ・ガイド」の説明を参照してください。資料をダウンロードするには、 https://fod.lenovo.com/lkms にアクセスしてログインし、「Help (ヘルプ)」をクリックします。

注:システム・ボードを取り外した後は、新しいものを取り付ける必要があります。171ページの「システム・ボードの取り付け」を参照してください。

システム・ボードを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照し てください。
- ステップ3. エアー・バッフルを取り外します。100ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照し てください。
- ステップ4. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。

ステップ 5. 各ケーブルがシステム・ボードのどこに接続されているかを記録してから、それらのケーブ ルを切り離します。

> 注意:事前にケーブル・コネクターのすべてのラッチ、ケーブル・クリップ、リリース・タ ブ、またはロックを外しておきます。173ページの「内部ケーブルの配線」を参照してくだ さい。ケーブルを取り外す前にそれらを解除しないと、システム・ボード上のケーブル・ コネクターが損傷します。ケーブル・コネクターが損傷すると、システム・ボードの交換 が必要になる場合があります。

- ステップ6. システム・ボードに取り付けられている以下のコンポーネントをすべて取り外し、帯電防止 された安全な場所に置きます。
 - アダプター(122ページの「アダプターの取り外し」を参照)
 - DIMM (106 ページの「DIMM の取り外し」を参照)
 - マイクロプロセッサーおよびヒートシンク(159ページの「マイクロプロセッサーおよび ヒートシンクの取り外し(トレーニングを受けた技術員のみ)」を参照)

- 熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に 接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサー・ソケットが劣化するお それがあります。
- 各ヒートシンクとマイクロプロセッサーの組み合わせを維持して再取り付けしてください。マイクロプロセッサーと元のヒートシンクが一致しない場合、新しいヒートシンクの取り付けが必要になる場合があります。
- リモート RAID バッテリー・ホルダー (104 ページの「フラッシュ電源モジュール・ホル ダーの取り外し」を参照)

ステップ7.システム・ボードを取り外します。

- a. システム・ボードをシャーシに固定している9本のねじを取り外し、ねじを安全な 場所に置きます。
- b. システム・ボードの端の2か所 **1** を慎重に持ちます。システム・ボード上のコネクター に触れないでください。
- c. システム・ボードを持ち上げて傾け、サーバー前面方向に少し引きます。
- d. サーバーからシステム・ボードを慎重に持ち上げて取り外します。

注:サーバーからシステム・ボードを取り外す場合は、シャーシの側面にあるケーブル・ク リップおよびシステム・ボード上のコネクターに触れないでください。シャーシ内部の周 辺コンポーネントに損傷を与えないようにしてください。



図96. システム・ボードの取り外し

サーバー・コンポーネントまたはオプション・デバイスの返却を求められた場合は、梱包方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用の梱包材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

障害のあるシステム・ボードを返却する前に、必ず新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケット・カバーを取り外して、障害のあるシステム・ボードに取り付けてください。

システム・ボードの取り付け

始める前に、以下の情報に注意してください。

- サーバー内でコンポーネントを再組み立てた後は、すべてのケーブルを注意深く配線して、ケーブルに 過度の力がかからないようにしてください。
- システム・ボードを取り付ける場合は、必ず、障害が発生したシステム・ボードから Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) 拡張アップグレードを取り外し、それを新規のシステム・ボードに取 り付けてください。拡張アップグレードについて詳しくは、37ページの「リモート・プレゼンス機能 およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用」を参照してください。

一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

システム・ボードを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1.システム・ボードが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に 接触させた後、パッケージからシステム・ボードを取り出します。

> 注:サーバー内のシステム・ボードを持ったり取り付けたりする場合は、シャーシの側面に あるケーブル・クリップおよびシステム・ボード上のコネクターに触れないでください。 シャーシ内部の周辺コンポーネントに損傷を与えないようにしてください。

ステップ2. システム・ボードの隅2か所 **1** を注意深く持ち、システム・ボードのねじ穴をシャーシの対応する取り付けスタッドと位置合わせして、取り外した9本のねじを取り付けます。



図97. システム・ボードの取り付け

ステップ3. 障害が発生したシステム・ボードから取り外していた以下のコンポーネントをすべて取り付けます。

注:サーバー・ケーブルがシステム・ボードの下に引っ掛からないように気を付けてく ださい。

- 1. マイクロプロセッサーおよびヒートシンク (162 ページの「マイクロプロセッサーおよび ヒートシンクの取り付け (トレーニングを受けた技術員のみ)」を参照)
- 2. DIMM (109 ページの「DIMM の取り付け」を参照)
- 3. アダプター(123 ページの「アダプターの取り付け」を参照)
- 4. リモート RAID バッテリー・ホルダー (105 ページの「フラッシュ電源モジュール・ ホルダーの取り付け」を参照)

ステップ4. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ステップ 5. 新しいシステム・ボードからマイクロプロセッサー・ソケット・カバーを取り外して、それ を障害のあるシステム・ボードに取り付けます。

- ステップ 6. Setup Utility を起動して、構成をリセットします。
 - a. システムの日付と時刻を設定します。
 - b. 始動パスワードを設定します。
 - c. サーバーを再構成します。

詳しくは、29ページの「Setup Utility プログラムの使用」を参照してください。

- ステップ 7. 最新の RAID ファームウェアを使用してサーバーを更新するか、または CD イメージから 事前設定済みのファームウェアを復元してください。25 ページの「ファームウェアの更 新」を参照してください。
- ステップ 8. UUID を更新します。41 ページの「汎用固有 ID (UUID)の更新」を参照してください。
- ステップ 9. DMI/SMBIOS を更新します。42 ページの「DMI/SMBIOS データの更新」を参照してください。
- ステップ 10.FoD を再アクティブ化します。FoD のアクティベーションおよびアクティベーション・キー のインストールを自動化するには、「*Features on Demand* ユーザーズ・ガイド」の説明を参照 してください。資料をダウンロードするには、https://fod.lenovo.com/lkms にアクセスしてログイ ンし、「Help (ヘルプ)」をクリックします。

内部ケーブルの配線

このセクションでは、サーバーに一部のコンポーネントを取り付ける際のケーブルの配線について説 明します。

ケーブルを接続するには、以下の手順に従います。

- 内部ケーブルを接続または切り離す前に、サーバーの電源をオフにします。
- その他の配線の手順については、外部デバイスに付属の説明書を参照してください。先にケーブルを配線してから、デバイスをサーバーに接続した方が楽な場合があります。
- 一部のケーブルのケーブル ID は、サーバーおよびオプション・デバイスに付属のケーブルに印刷されています。この ID を使用して、ケーブルを正しいコネクターに接続します。

光学式ドライブのケーブル接続

このトピックでは、光学式ドライブの内部ケーブルの配線について説明します。

- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、また はケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認して ください。
- 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

光学式ドライブをシステム・ボードに接続するには、以下を行います。

- 光学式ドライブ・ケーブルの一方の端をコネクター・ブラケットのスロットに挿入します。次に、図のようにコネクターを左にスライドさせて、ブラケットにしっかり装着します。
- 2. 光学式ドライブ・ケーブルのもう一方の端を、システム・ボードに接続します。



図98. 光学式ドライブのケーブル接続

作動温度の機能拡張キットのケーブル接続

このトピックでは、作動温度の機能拡張キットのケーブルの配線について説明します。

- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、また はケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認して ください。
- 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。



図 99. 2.5 型ハードディスク・ドライブ・モデルでの作動温度の機能拡張キットのケーブル接続



図100.3.5型ハードディスク・ドライブ・モデルでの作動温度の機能拡張キットのケーブル接続

固定パワー・サプライのケーブル接続

このトピックでは、固定パワー・サプライのケーブルの配線について説明します。

注:

- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、また はケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認して ください。
- 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。
- 1:システム・ボード上の電源コネクターに接続します。
- 2: システム・ボード上マイクロプロセッサーの電源コネクターに接続します。

21ページの「システム・ボード・コネクター」を参照してください。



図 101. 固定パワー・サプライのケーブル接続

前面 USB モジュールおよびオペレーター情報パネルのケーブル接続

このトピックでは、前面 USB モジュールおよびオペレーター情報パネルの内部ケーブルの配線について説明します。

- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、また はケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認して ください。
- 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

- 1: リリース・ラッチを押してシステム・ボード上の前面 USB コネクターに接続します。
- 2: リリース・ラッチを均等に押し込み、システム・ボードのオペレーター情報パネル・コネクターに接続します。



図102. オペレーター情報パネルのケーブル接続

シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: オンボード RAID

このトピックでは、シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブとオンボード RAID の内部ケーブル の接続について説明します。

- 1:システム・ボードのバックプレーン電源コネクターと、ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの電源コネクターに接続します。
- 2:システム・ボードの Mini-SAS コネクターに接続し、Mini-SAS ケーブルの4つのコネクターはハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーに接続します。

- Mini-SAS ケーブルは、デフォルトでハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリー に取り付けられています。
- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、また はケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認して ください。
- 電源コードおよび Mini-SAS ケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認します。



図 103. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 3.5 型、オンボード RAID、および固定パワー・サプライ



図 104. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 2.5 型、オンボード RAID、および固定パワー・サプライ



図 105. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 2.5 型、オンボード RAID、およびホット・スワップ・パワー・サ プライ

ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよび 固定パワー・サプライ

- 1: システム・ボードのバックプレーン電源コネクターと、ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの電源コネクターに接続します。
- **2**: ServeRAID SAS/SATA コントローラーのコネクター0とハードディスク・ドライブ・バックプレーンの Mini-SAS コネクターに接続します。

- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、また はケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認して ください。
- 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。



図 106. ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: 2.5 型、右側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー



図 107. ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: 2.5 型、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー



図 108. ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: 3.5 型、右側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー



図 109. ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: 3.5 型、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよび 固定パワー・サプライ

- 1:システム・ボードのバックプレーン電源コネクターと、ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの電源コネクターに接続します。
- 2: ServeRAID SAS/SATA コントローラーのコネクター0とハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの4つのコネクターに接続します。

注:

- Mini-SAS ケーブルは、デフォルトでハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリー に取り付けられています。
- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、また はケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認して ください。
- 電源コードおよび Mini-SAS ケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認します。



図 110. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 2.5 型、右側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コン トローラー



図 111. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 2.5 型、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コン トローラー



図 112. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 3.5 型、右側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コン トローラー



図 113. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 3.5 型、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コン トローラー

ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよび ホット・スワップ・パワー・サプライ

- 1: システム・ボードのバックプレーン電源コネクターと、ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの電源コネクターに接続します。
- 2: ServeRAID SAS/SATA コントローラーのコネクター0とハードディスク・ドライブ・バックプレーンの Mini-SAS コネクターに接続します。

- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、また はケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認して ください。
- 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。



図 114. ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: 4 つの HDD、右側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コン トローラー



図 115. ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: 4 つの HDD、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コン トローラー ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ8台を装備したサーバー・モデルのケーブルを接続す るには、以下を行います。



図116. 2.5 型ハードディスク・ドライブ・バックプレーンのケーブル

- 1. 0いうラベルが付いているケーブルを、ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよびホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーン1のコネクター0に接続します。
- 2.1いうラベルが付いているケーブルを、ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよびホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーン2のコネクター1に接続します。
- 3. 電源ケーブル 1 の一方の端のコネクター1 つをシステム・ボードのバックプレーン電源コネクター に接続します。次に、電源ケーブルの他方の端にある2 つのコネクターを、ハードディスク・ドライ ブ・バックプレーン1 および2 の電源コネクターに接続します。



図 117. ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: 8 つの HDD、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コン トローラー

シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよび 冗長パワー・サプライ

- 1:システム・ボードのバックプレーン電源コネクターと、ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの電源コネクターに接続します。
- 2: ServeRAID SAS/SATA コントローラーのコネクター0とハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの4つのコネクターに接続します。

注:

- Mini-SAS ケーブルは、デフォルトでハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリー に取り付けられています。
- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、また はケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認して ください。
- 電源コードおよび Mini-SAS ケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認します。



図 118. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 4 つの HDD、右側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コン トローラー



図119. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 4 つの HDD、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コン トローラー

シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ8台を装備したサーバー・モデルのケーブルを接続するには、以下を行います。



図 120. 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリー

- 1 システム・ボード上のバックプレーン電源コネクターに接続します。
- 3 ServeRAID SAS/SATA コントローラーのコネクター0に接続します。
- 4:電源コネクター 2 に接続します。
- 5 ServeRAID SAS/SATA コントローラーのコネクター1に接続します。



図 121. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 8 つの HDD、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コン トローラー

部品交換の完了

部品交換を完了させるには、以下を行います。

注:すべての構成部品が正しく再配置されており、サーバーの内部に工具が残されていたり、ねじが 緩んだままになっていないことを確認します。

1. サーバーのケーブルを正しく配線し、固定します。各コンポーネントのケーブルの接続と配線情報を 参照してください。173ページの「内部ケーブルの配線」を参照してください。

- 2. サーバー・カバーを取り外した場合は、再取り付けします。99ページの「サーバー・カバー の取り付け」を参照してください。
- 3. サーバーをラックに取り付けます。サーバーに付属の「ラック搭載手順」を参照してください。
- 4. 電源コードを再接続します。
- 5. サーバー構成を更新します。
 - a. デバイスを追加または取り外した後で初めてサーバーを起動したときは、新しい構成設定を保存 します。Setup Utility プログラムは自動的に起動します。
 - b. 一部のオプション・デバイスのデバイス・ドライバーをインストールします。各デバイスに付属 の資料をお読みください。
 - c. HDD および RAID アダプターを取り付けまたは取り外した場合は、ディスク・アレイを再構成 します。RAID アダプターに付属の資料をお読みください。
 - d. イーサネット・コントローラーを構成します。39 ページの「イーサネット・コントローラーの情報」を参照してください。
- 6. サーバーを起動します。サーバーが正常に起動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認します。
- 7. ビジネス・パートナーのみ: 190 ページの「ビジネス・パートナー用の手順」の追加ステップ を実行します。

ビジネス・パートナー用の手順

このトピックでは、Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行することによる、新たに取り 付けられたデバイスの検証に関するビジネス・パートナー用の手順を説明します。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、ビジネス・パートナーは以下も行う必 要があります。

- 1. サーバーが正常に起動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認した後、DSA ストレス・テストを実行します。DSA の使用については、59 ページの「Dynamic System Analysis」を参照してください。
- 2. サーバーを複数回シャットダウンおよび再起動し、サーバーが正しく構成され、新しく取り付けたデ バイスが正しく機能していることを確認します。
- 3. DSA ログをファイルとして保存し、そのファイルを Lenovo に送信します。190 ページの「Lenovo への DSA データの送信」を参照してください。
- 4. サーバーを出荷する場合は、損傷を受けていないオリジナルの配送用資材で再梱包し、Lenovoの配送手順に従ってください。

ビジネス・パートナー用のサポート情報は、http://www.ibm.com/partnerworld で入手できます。

Lenovo への DSA データの送信

DSA データを Lenovo に送信する前に、以下の利用条件をお読みください。 http://www.ibm.com/de/support/ ecurep/terms.html

以下のいずれかの方式を使用して、DSA 診断データを Lenovo に送信できます。

• 標準アップロード:

http://www.ibm.com/de/support/ ecurep/send_http.html

- システム・シリアル番号を指定した標準アップロード: http://www.ecurep.ibm.com/app/ upload_hw
- ・ セキュア・アップロード:

http://www.ibm.com/de/support/ ecurep/send_http.html#secure

• システム・シリアル番号を指定したセキュア・アップロード:

https://www.ecurep.ibm.com/ app/upload_hw

デバイスまたはコンポーネントの返却

デバイスまたはコンポーネントの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお 手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

付録 A Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエ ラー・メッセージ

このセクションでは、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージについて詳し く説明します。

ハードウェア・イベントがサーバー上の IMM2.1 によって検出されると、IMM2.1 はそのイベントをサー バー内のシステム・イベント・ログに記録します。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、この追加情報を変数で示します ([arg1]、[arg2] など)。

説明

追加情報でそのイベントが発生した理由を説明します。

重大度

状態の懸念度が示されます。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されていま す。以下の重大度が表示されることがあります。

通知:

イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザー操作または正常に動作する状態の変 更です。

警告:

このイベントは、エラーほど重大ではありませんが、可能であれば、エラーになる前に状態を修 正する必要があります。追加の監視や保守が必要な場合もあります。

エラー:

このイベントは、サービスや正常な機能が損なわれる障害状態またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー

同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

severity - device

*重大度*は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- クリティカル: サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- 警告: イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- システム: イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

デバイスは、イベント生成の原因となったサーバー内の特定のデバイスです。

保守可能

問題を修正するためにユーザー操作が必要かどうかを指定します。

CIM 情報

CIM メッセージ・レジストリーによって使用されるメッセージ ID のプレフィックスとシーケンス 番号を提供します。

SNMP Trap ID

SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP trap ID。

自動的にサービスに連絡

このフィールドを「はい」に設定すると、Electronic Service Agent (ESA) が有効になり、イベント生成時には IBM サポートに自動的に通知されます。

IBM サポートからの連絡を待つ間に、そのイベントに対する推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答

イベントを解決するために実行すべき処置を示します。

問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。このフィールドに説明 されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問 い合わせください。

注:このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・ コードとメッセージも含まれます。

以下に、IMM2.1 エラー・メッセージ、および検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アク ションをリストします。IMM2.1 についての詳細は、「*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイ* ド」(http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/ product_page.html) を参照してください。

自動的にサポートに通知する IMM イベント

特定タイプのエラーが検出された場合に自動的にサポートに通知する (*コール・ホーム* とも呼ばれます) ように、Integrated Management Module II (IMM2) を構成することができます。この機能を構成してある場 合、自動的にサポートに通知されるイベントのリストについては、表を参照してください。

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポー トに通知
40000086-0000000	ユーザー [arg1] によって、テスト用のコールホームが生 成されました。	はい
40000087-00000000	ユーザー [arg1] による手動コールホーム : [arg2]。	はい
400000cb-00000000	RAID コントローラーはバッテリーに問題があります。 この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡 してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	はい
400000cc-00000000	RAID コントローラーは、リカバリー不能エラーを検出 しました。コントローラーを取り替える必要がありま す。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	はい
400000d5-00000000	1つ以上の仮想ドライブに問題が発生しています。この 問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡して ください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	はい
400000d6-0000000	RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出 されました。この問題を解決するには、テクニカル・ サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、 [arg4]、[arg5])	はい

表 29. 自動的にサポートに通知されるイベント

表 29. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポー トに通知
80010202-0701ffff	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティ カルな状態の下限を下回ったことが検出されました。 (CMOS バッテリー)	はい
80010902-0701ffff	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティ カルな状態の上限を上回ったことが検出されました。 (SysBrd 12V)	はい
806f0021-2201ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しま した。(Op ROM スペースなし)	はい
806f0021-2582ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しま した。(すべての PCI エラー)	はい
806f0021-3001ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生し ました。(PCI 1)	はい
806f0021-3002ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生し ました。(PCI 2)	はい
806f0108-0a01ffff	[PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。(パ ワー・サプライ 1)	はい
806f0108-0a02ffff	[PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。(パワー・サプライ 2)	はい
806f010c-2001ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラー が検出されました。(DIMM 1)	はい
806f010c-2002ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラー が検出されました。(DIMM 2)	はい
806f010c-2003ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラー が検出されました。(DIMM 3)	はい
806f010c-2004ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラー が検出されました。(DIMM 4)	はい
806f010c-2581ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラー が検出されました。(すべての DIMM)	はい
806f010d-0400ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出され たため無効にされました。(ドライブ 0)	はい
806f010d-0401ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出され たため無効にされました。(ドライブ 1)	はい
806f010d-0402ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出され たため無効にされました。(ドライブ 2)	はい
806f010d-0403ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出され たため無効にされました。(ドライブ 3)	はい

表 29. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポー トに通知
806f010d-0404ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出され たため無効にされました。(ドライブ 4)	はい
806f010d-0405ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出され たため無効にされました。(ドライブ 5)	はい
806f010d-0406ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出され たため無効にされました。(ドライブ 6)	はい
806f010d-0407ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出され たため無効にされました。(ドライブ 7)	はい
806f010d-0410ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出され たため無効にされました。(Ext ドライブ)	はい
806f0207-0301ffff	[ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発 生しました。(CPU 1)	はい
806f020d-0400ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されまし た。(ドライブ 0)	はい
806f020d-0401ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されまし た。(ドライブ 1)	はい
806f020d-0402ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されまし た。(ドライブ 2)	はい
806f020d-0403ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されまし た。(ドライブ 3)	はい
806f020d-0404ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されまし た。(ドライブ 4)	はい
806f020d-0405ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されまし た。(ドライブ 5)	はい
806f020d-0406ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されまし た。(ドライブ 6)	はい
806f020d-0407ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されまし た。(ドライブ 7)	はい
806f020d-0410ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されまし た。(Ext ドライブ)	はい
806f050c-2001ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギ ング限度に到達しました。(DIMM 1)	はい

表 29. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポー トに通知
806f050c-2002ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギ ング限度に到達しました。(DIMM 2)	はい
806f050c-2003ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギ ング限度に到達しました。(DIMM 3)	はい
806f050c-2004ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギ ング限度に到達しました。(DIMM 4)	はい
806f050c-2581ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギ ング限度に到達しました。(すべての DIMM)	はい
806f060d-0400ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 0)	はい
806f060d-0401ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しま した。(ドライブ 1)	はい
806f060d-0402ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 2)	はい
806f060d-0403ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 3)	はい
806f060d-0404ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 4)	はい
806f060d-0405ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 5)	はい
806f060d-0406ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しま した。(ドライブ 6)	はい
806f060d-0407ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 7)	はい
806f060d-0410ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(Ext ドライブ)	はい
806f0813-2582ffff	システム [ComputerSystemElementName] で訂正不能なバ ス・エラーが発生しました。(PCI)	はい
806f0813-2584ffff	システム [ComputerSystemElementName] で訂正不能なバ ス・エラーが発生しました。(CPU)	はい

IMM イベントのリスト

このセクションでは、IMM から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

• 40000001-00000000: 管理コントローラー [arg1] でネットワークの初期化が完了しました。

このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了したユース・ケースに使用 されます。 4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID 37
CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0001
ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

 40000002-00000000: 証明機関 [arg1] が [arg2] 証明書エラーを検出しました。
このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラステッド CA 証明書のエ ラーがあるユース・ケースに使用されます。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー システム - SSL 認証
SNMP Trap ID 22
CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0002
ユーザー応答 インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

 40000003-00000000:ユーザー [arg3] によってイーサネット・データ転送速度が [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000300000000 または 0x400000300000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0003 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

40000004-00000000:ユーザー [arg3] によってイーサネット二重化設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0004

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000005-00000000:ユーザー [arg3] によってイーサネット MTU 設定が [arg1] から [arg2] に変 更されました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更したユース・ケースに使用 されます。 4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0005 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

 40000006-00000000:ユーザー [arg3] によってイーサネットのローカル管理 MAC アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0006

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000007-00000000: ユーザー [arg2] によってイーサネット・インターフェースが [arg1] になりました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを有効または無効にした場合に 使用されます。 4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0007 ユーザー応答

ーリール谷 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000008-00000000: ユーザー [arg2] によってホスト名が [arg1] に設定されました。
このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更するユース・ケースに使用 されます。

4000000800000000 または 0x400000800000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID 37
CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0008
ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000009-00000000:ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更するユース・ケースに 使用されます。 4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー システム - IMM ネットワーク・イベント
SNMP Trap ID 37
CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0009
ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

4000000a-00000000:ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP サブネット・マスクが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更するユース・ケースに使用されます。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0010

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 4000000b-00000000: ユーザー [arg3] によってデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルト・ゲートウェイ IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。
4000000b00000000 または 0x400000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0011 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

 4000000c-00000000: [arg2] によって OS ウォッチドッグ応答が [arg1] になりました。
 このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが有効または無効にされた場合に使用 されます。

4000000c000000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度 警告 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0012

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

4000000d-00000000: DHCP [[arg1]] でエラーがありました。IP アドレスが割り当てられていません。
 このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができな
 いユース・ケースに使用されます。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度
警告
 保守可能
いいえ
 自動的にサポートに通知
いいえ
 アラート・カテゴリー
なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0013

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- 1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
- 2. IMM に IP アドレスを割り当てることができるネットワーク上に DHCP サーバーがある ことを確認します。
- 4000000e-00000000: リモート・ログインに成功しました。IP アドレス [arg3] の [arg2] からの ログイン ID: [arg1] です。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインするユース・ケースに使用 されます。

4000000e00000000 または 0x400000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー システム - リモート・ログイン
SNMP Trap ID 30
CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0014
ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 4000000f-00000000: ユーザー [arg3] がサーバー [arg2] を [arg1] にしようとしています。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行しているユース・ケースに使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0015

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000010-00000000: セキュリティー: ユーザー ID: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の Web クライ アントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。
 このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗し たユース・ケースに使用されます。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 いいえ

 自動的にサポートに通知
 いいえ

 アラート・カテゴリー
 システム - リモート・ログイン

 SNMP Trap ID
 30

 CIM 情報
 Prefix: IMM ID: 0016

 ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- 1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
- 2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

 40000011-00000000: セキュリティー: ログイン ID: [arg1] によって [arg3] の CLI から [arg2] 回のロ グイン障害が発生しました。

このメッセージは、ユーザーが Legacy CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 いいえ

 自動的にサポートに通知
 いいえ

 アラート・カテゴリー
 システム - リモート・ログイン

 SNMP Trap ID
 30

 CIM 情報
 Prefix: IMM ID: 0017

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- 1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
- 2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。
- 40000012-00000000: リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワード が無効です。IP アドレス [arg2] の Web ブラウザーからの Userid は [arg1] です。

このメッセージは、リモート・ユーザーがWebブラウザー・セッションからリモート制御セッション を確立できなかったユース・ケースに使用されます。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - リモート・ログイン SNMP Trap ID 30 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0018

正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

 40000013-00000000: リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワード が無効です。IP アドレス [arg2] の TELNET クライアントからの Userid は [arg1] です。

このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

- **アラート・カテゴリー** システム - リモート・ログイン
- SNMP Trap ID 30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0019

ユーザー応答

正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

• 40000014-00000000 : システム [arg2] の [arg1] はユーザー [arg3] によってクリアされました。

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去されたユース・ケースに使用されます。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0020

通知メッセージ。操作は不要です。

40000015-00000000:ユーザー [arg2] によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。

このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始されたユース・ケースに使用されます。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0021

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 40000016-00000000 : ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], SN=[arg5], GW@=[arg6], DNS1@=[arg7].

このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられ たユース・ケースに使用されます。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0022

通知メッセージ。操作は不要です。

 40000017-00000000: ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@=[arg3], NetMsk=[arg4], GW@=[arg5].
 このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割 り当てられたユース・ケースに使用されます。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0023

- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 40000018-00000000: LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースはアクティブではなくなりました。
 このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなったユース・ケースに使用されます。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

40000019-00000000: LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースがアクティブになりました。
 このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになったユース・ケースに使用されます。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0025

- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 4000001a-00000000: ユーザー [arg2] によって DHCP 設定が [arg1] に変更されました。
 このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更したユース・ケースに使用されます。
 4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0026

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

4000001b-00000000:管理コントローラー [arg1]:ユーザー [arg2] によって構成がファイルから復元されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元したユース・ケースに 使用されます。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0027

- **ユーザー応答** 通知メッセージ。操作は不要です。
- 4000001c-00000000: ウォッチドッグ [arg1] のスクリーン・キャプチャーが発生しました。
 このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされたユース・ケースに使用されます。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0028
 ユーザー応答 オペレーティング・システム・エラーがない場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行 します。

- 1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
- 2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
- 3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
- 4. ウォッチドッグを無効にします。

オペレーティング・システム・エラーがあった場合は、インストールされたオペレーティング・ システムの整合性を検査します。

• 4000001d-00000000: ウォッチドッグ [arg1] がスクリーン・キャプチャーに失敗しました。

このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、スクリーン・キャプチャーが失敗したユース・ケースに使用されます。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

- いいえ
- 自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0029

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- 1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
- 2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
- 3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
- ウォッチドッグを無効にします。インストールされたオペレーティング・システムの整 合性を検査します。
- 5. IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定の コード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの 一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューショ ンでサポートされていることを確認してください。
- 4000001e-00000000:バックアップ管理コントローラー [arg1]のメイン・アプリケーションを実行中です。

このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手 段を用いたユース・ケースに使用されます。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0030

ユーザー応答

IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

 4000001f-00000000:管理コントローラー [arg1]が正しいファームウェアでフラッシュされている ことを確認してください。管理コントローラーがファームウェアをサーバーと一致させることがで きません。

このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しないユース・ケースに使用されます。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0031

ユーザー応答

IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。重要: 一部のクラス ター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスが クラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルが クラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 40000020-000000000: デフォルト値を復元するため、管理コントローラー [arg1] のリセットが 発生しました。

このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされたユース・ケースに使用されます。

4000002000000000 または 0x400000200000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0032

- **ユーザー応答** 通知メッセージ。操作は不要です。
- 40000021-00000000:管理コントローラー [arg1]の時計がNTP サーバー [arg2] から設定されています。

このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定され たユース・ケースに使用されます。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0033

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。 40000022-00000000:管理コントローラー [arg1] 構成データの SSL データは無効です。構成データ 領域をクリアし、SSL を無効にしています。

このメッセージは、管理コントローラーが構成データに無効な SSL データを検出し、構成データ領域 をクリアし、SSL を無効にしている場合に使用されます。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

- いいえ
- 自動的にサポートに通知 いいえ
- アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0034

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- 1. インポートしている証明書が正しいことを確認します。
- 2. 証明書のインポートを再試行します。
- 40000023-00000000: ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに成功しました。

このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレス(%d)からファームウェア・コン ポーネント(MCメイン・アプリケーション、MCブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプ レーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサー、またはリモー ト拡張ユニットのプロセッサー)を正常にフラッシュしたユース・ケースに使用されます。

4000002300000000 または 0x4000002300000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0035

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000024-00000000: ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに失敗しました。
 このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかったユース・ケースに使用されます。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0036
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 40000025-00000000 : システム [arg2] の [arg1] は 75% 使用中です。

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルであるユース・ケースに使用されます。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - イベント・ログ 75% フル
 SNMP Trap ID 35
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0037

通知メッセージ。操作は不要です。

40000026-00000000: システム [arg2] の [arg1] は 100% 使用中です。
 このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルであるユース・ケースに使用されます。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

V • V • /L

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - イベント・ログの満杯率

SNMP Trap ID

35

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0038

ユーザー応答 古いログ項目がなくならないようにするには、古いログをテキスト・ファイルとして保存し、その ログを消去します。

40000027-00000000: [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。
 このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出され
 たユース・ケースに表示されます。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - OS タイムアウト
 SNMP Trap ID 21
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0039

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- 1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
- 2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
- 3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
- 4. ウォッチドッグを無効にします。
- 5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
- 40000028-00000000: [arg1] によって管理コントローラーのテスト・アラートが生成されました。
 このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成したユース・ケースに使用されます。
 4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0040
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000029-00000000: セキュリティー: ユーザー ID: [arg1] によってアドレス [arg3] の SSH クライア ントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。
 スのパート ごけ スーザー が agg から等 四コントローニー のログインにためします。

このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム-リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0041

- ユーザー応答
 - 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。
 - 1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
 - 2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。
- 4000002a-00000000: [arg1] ファームウェアがシステム [arg2] と内部で一致しません。[arg3] ファームウェアのフラッシュを試みてください。

このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID 22 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0042 ユーザー応答 IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

• 4000002b-00000000:ドメイン名が [arg1] に設定されました。

ユーザーによってドメイン名が設定されました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0043 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

• 4000002c-00000000: ユーザー [arg2] によってドメイン・ソースが [arg1] に変更されました。 ドメイン・ソースがユーザーによって変更されました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0044
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

4000002d-00000000: ユーザー [arg2] によって DDNS 設定が [arg1] に変更されました。
 DDNS 設定がユーザーによって変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0045

- **ユーザー応答** 通知メッセージ。操作は不要です。
- 4000002e-00000000: DDNS の登録が正常に完了しました。ドメイン名は [arg1] です。
 DDNS 登録および値

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0046

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 4000002f-00000000: ユーザー [arg1] によって IPv6 が有効にされました。 ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

通知メッセージ。操作は不要です。

40000030-00000000:ユーザー [arg1] によって IPv6 が無効にされました。
 ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

4000003000000000 または 0x400000300000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0048

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000031-00000000: ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が有効にされました。
 ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0049

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

40000032-00000000: ユーザー [arg1] にいよって IPv6 DHCP が有効にされました。
 ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0050
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 40000033-00000000: ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が有効化されました。 ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0051

- **ユーザー応答** 通知メッセージ。操作は不要です。
- 40000034-00000000: ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が無効化されました。 ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0052 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 40000035-00000000: ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が無効にされました。

ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0053
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 40000036-00000000: ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が無効化されました。 ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0054 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

40000037-00000000: ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4].
 IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0055

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000038-00000000: ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4], GW@=[arg5].
 IPv6 静的アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度通知保守可能

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0056 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000039-00000000: ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], Pref=[arg5].
 IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0057

- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 4000003a-00000000: ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IPv6 静的アド レスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 静的アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0058 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

 4000003b-00000000: DHCPv6 エラーです。IP アドレスが割り当てられていません。 DHCP6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。
 4000003b000000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 いいえ
 自動的にサポートに通知
 いいえ
 アラート・カテゴリー
 なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0059

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- 1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
- 2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在 することを確認します。
- 4000003c-00000000: [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。
 実装環境で OS ローダー・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。

4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 いいえ

```
自動的にサポートに通知
いいえ
アラート・カテゴリー
System - ローダー・タイムアウト
SNMP Trap ID
26
CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0060
```

- 1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
- 2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
- 3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
- 4. ウォッチドッグを無効にします。
- 5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
- 4000003d-00000000:ユーザー [arg3] によって Telnet ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0061

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

4000003e-00000000:ユーザー [arg3] によって SSH ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0062

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 4000003f-00000000:ユーザー [arg3] によって Web-HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変 更されました。

ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0063

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000040-00000000: ユーザー [arg3] によって Web-HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変 更されました。

ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0064

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000041-00000000: ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0065

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000042-00000000: ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

Prefix: IMM ID: 0066

- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 40000043-00000000:ユーザー [arg3] によって SNMP エージェント・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知 **保守可能**

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0067

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000044-00000000:ユーザー [arg3] によって SNMP トラップのポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0068 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

40000045-00000000:ユーザー [arg3] によって Syslog ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0069

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000046-00000000:ユーザー [arg3] によってリモート・プレゼンス・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0070

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 40000047-00000000: [arg3] によって LED の [arg1] 状態が [arg2] に変更されました。 ユーザーが LED の状態を変更しました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0071

- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 40000048-00000000: デバイス [arg1] のインベントリー・データが変更されました。新しいデバイス・データ・ハッシュ=[arg2]、新しいマスター・データ・ハッシュ=[arg3] です。
 何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0072 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

• 40000049-00000000: ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が有効にされました。 ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0073

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 4000004a-00000000: ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が無効にされました。 ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0074

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 4000004b-00000000: ユーザー [arg2] によって SNMPv1 [arg1] が設定されました。Name=[arg3]、 AccessType=[arg4]、Address=[arg5] です。

ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0075

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

4000004c-00000000:ユーザー [arg1] によって LDAP サーバー構成が設定されました。
 SelectionMethod=[arg2]、DomainName=[arg3]、Server1=[arg4]、Server2=[arg5]、Server3=[arg6]、
 Server4=[arg7] です。

ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0076

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 4000004d-00000000:ユーザー [arg1] によって LDAP が設定されました。RootDN=[arg2]、 UIDSearchAttribute=[arg3]、BindingMethod=[arg4]、EnhancedRBS=[arg5]、TargetName=[arg6]、 GroupFilter=[arg7]、GroupAttribute=[arg8]、LoginAttribute=[arg9] です。 ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー なし
SNMP Trap ID
CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0077
ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

 4000004e-00000000:ユーザー [arg1] によってシリアル・リダイレクトが設定されました。 Mode=[arg2]、BaudRate=[arg3]、StopBits=[arg4]、Parity=[arg5]、SessionTerminateSequence=[arg6] です。

ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0078

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 4000004f-00000000:ユーザー [arg1] によって日付と時刻が設定されました。Date=[arg2]、 Time-[arg3]、DST Auto-adjust=[arg4]、Timezone=[arg5] です。

ユーザーが日時設定を構成しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0079

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000050-00000000: ユーザー [arg1] によってサーバー全般設定が設定されました。Name=[arg2]、 Contact=[arg3]、Location=[arg4]、Room=[arg5]、RackID=[arg6]、Rack U-position=[arg7] です。 ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0080

• 40000051-00000000: ユーザー [arg2] によってサーバーの電源オフ遅延が [arg1] に設定されました。 ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0081

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000052-00000000:ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が [arg2] 日の [arg3] 時にスケ ジュールされました。

ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0082

- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 40000053-00000000:ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が毎週 [arg2] の [arg3] 時にスケ ジュールされました。

ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0083

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 40000054-00000000: ユーザー [arg3] によってサーバーの [arg1] [arg2] がクリアされました。 ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0084

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

 40000055-00000000:ユーザー [arg1] によって同期時刻が設定されました。Mode=[arg2]、 NTPServerHost1=[arg3]:[arg4]、NTPServerHost2=[arg5]:[arg6]、NTPServerHost3=[arg7]:[arg8]、 NTPServerHost4=[arg9]:[arg10]、NTPUpdateFrequency=[arg11] です。 ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0085

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000056-00000000: ユーザー [arg1] によって SMTP サーバーが [arg2]:[arg3] に設定されました。
 ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0086

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。 40000057-00000000: ユーザー [arg2] による Telnet [arg1] です。
 ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。
 4000005700000000 または 0x40000057000000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0087
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000058-00000000: ユーザー [arg1] によって DNS サーバーが設定されました。
 UseAdditionalServers=[arg2]、PreferredDNStype=[arg3]、IPv4Server1=[arg4]、IPv4Server2=[arg5]、IPv4Server3=[arg6]、IPv6Server1=[arg7]、IPv6Server2=[arg8]、IPv6Server3=[arg9] です。
 ユーザーが DNS サーバーを構成します。

4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0088

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。 40000059-00000000: ユーザー [arg2] による LAN over USB [arg1] です。
 ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

4000005900000000 または 0x4000005900000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0089 **ユーザー応答** 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005a-00000000: ユーザー [arg1] によって LAN over USB ポート転送設定が設定されました。
 ExternalPort=[arg2]、USB-LAN port=[arg3] です。
 ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0090

- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 4000005b-00000000: ユーザー [arg2] によるセキュア Web サービス (HTTPS) [arg1] です。 ユーザーが、セキュア Web サービスを有効または無効にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0091 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

• 4000005c-00000000: ユーザー [arg2] によるセキュアな CIM/XML(HTTPS) [arg1] です。 ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0092
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005d-00000000: ユーザー [arg2] によるセキュアな LDAP [arg1] です。
 ユーザーが、セキュア LDAP サービスを有効または無効にしました。

4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0093 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

• 4000005e-00000000: ユーザー [arg2] によって SSH [arg1] が無効にされました。 ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0094

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005f-00000000:ユーザー [arg1] によってサーバーのタイムアウトが設定されました。
 EnableOSWatchdog=[arg2]、OSWatchdogTimout=[arg3]、EnableLoaderWatchdog=[arg4]、
 LoaderTimeout=[arg5] です。

ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

Prefix: IMM ID: 0095

- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 40000060-00000000: ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが追加されました。
 ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0096

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000061-00000000: ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが削除されました。
 ユーザーがライセンス・キーを削除します。

4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0097 ユーザー応答

ーリール各 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000062-00000000: ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインの全般設定が設定されました。 AuthenticationMethod=[arg2]、LockoutPeriod=[arg3]、SessionTimeout=[arg4] です。
 ユーザーが、グローバル・ログインの共通設定を変更しました。

4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0098

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000063-00000000: ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインのアカウント・セキュリティー が設定されました。PasswordRequired=[arg2]、PasswordExpirationPeriod=[arg3]、 MinimumPasswordReuseCycle=[arg4]、MinimumPasswordLength=[arg5]、 MinimumPasswordChangeInterval=[arg6]、MaxmumLoginFailures=[arg7]、 LockoutAfterMaxFailures=[arg8]、MinimumDifferentCharacters=[arg9]、DefaultIDExpired=[arg10]、 ChangePasswordFirstAccess=[arg11] です。 ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティー設定を「レガシー」に変更しま

した。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

Prefix: IMM ID: 0099

- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 40000064-00000000: ユーザー [arg1] が作成されました。
 ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0100

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000065-00000000: ユーザー [arg1] が削除されました。
 ユーザー・アカウントが削除されました。

4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0101 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

40000066-00000000:ユーザー [arg1]のパスワードが変更されました。
 ユーザー・アカウントが変更されました。

4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0102

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000067-00000000: ユーザー [arg1] の役割が [arg2] に設定されました。
 ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0103

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 40000068-00000000: ユーザー [arg1] のカスタム権限が設定されました: [arg2]。 ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0104

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000069-00000000: SNMPv3 セットにおけるユーザー [arg1]: AuthenticationProtocol=[arg2]、 PrivacyProtocol=[arg3]、AccessType=[arg4]、HostforTraps=[arg5] です。
 ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0105

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 4000006a-00000000: SSH クライアント・キーがユーザー [arg1] に追加されました。 ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0106 ユーザー応答

9 心日 通知メッセージ。操作は不要です。

• 4000006b-00000000: SSH クライアント・キーが [arg2] からユーザー [arg1] にインポートされました。 ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0107 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

4000006c-00000000: SSH クライアント・キーがユーザー [arg1] から削除されました。
 ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

- CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0108
- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 4000006d-00000000: 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルに保存されました。

ユーザーが管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0109

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。 4000006e-00000000: ユーザー [arg1] によってアラート構成のグローバル・イベント通知が設定され ました。RetryLimit=[arg2]、RetryInterval=[arg3]、EntryInterval=[arg4] です。
 ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0110
 ユーザー応答

- 通知メッセージ。操作は不要です。
- 4000006f-00000000:アラート受信者番号 [arg1] が更新されました。Name=[arg2]、 DeliveryMethod=[arg3]、Address=[arg4]、IncludeLog=[arg5]、Enabled=[arg6]、EnabledAlerts=[arg7]、 AllowedFilters=[arg8] です。

ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0111

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

 40000070-00000000: ユーザー [arg1] によって SNMP トラップが有効にされました。 EnabledAlerts=[arg2]、AllowedFilters=[arg3] です。
 ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0112

- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 40000071-00000000:ユーザー [arg3] によって電源キャップ値が [arg1] ワットから [arg2] ワット に変更されました。

電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0113

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。 40000072-00000000: 電源キャップの最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。
 電源キャップの最小値が変更されました。

4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0114
 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

40000073-00000000: 電源キャップの最大値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。
 電源キャップの最大値が変更されました。

4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0115

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000074-00000000:電源キャップ値のソフト最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。

ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0116 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

40000075-00000000:計測電力値が電源キャップ値を超えました。
 電力上限値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 いいえ

 自動的にサポートに通知
 いいえ

 アラート・カテゴリー
 警告 - 電源

 SNMP Trap ID
 164

 CIM 情報
 Prefix: IMM ID: 0117

 ユーザー応答
 通知メッセージ。操作は不要です。

40000076-00000000:新規の電源キャップの最小値が電源キャップ値を超えました。
 最小電源キャップが電源キャップを超えています。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 いいえ

 自動的にサポートに通知
 いいえ

 アラート・カテゴリー
 警告 - 電源

 SNMP Trap ID
 164

 CIM 情報
 Prefix: IMM ID: 0118

 ユーザー応答
 通知メッセージ。操作は不要です。

40000077-00000000:ユーザー [arg1] によって電源キャップがアクティブ化されました。
 電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0119

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000078-00000000:ユーザー [arg1] によって電源キャップが非アクティブ化されました。
 電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度通知保守可能

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0120

- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 40000079-00000000: ユーザー [arg1] によって静的電力節減モードがオンにされました。 ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0121

- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 4000007a-00000000: ユーザー [arg1] によって静的電力節減モードがオフにされました。 ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0122 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

• 4000007b-00000000: ユーザー [arg1] によって動的電力節減モードがオンにされました。 ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー なし
SNMP Trap ID
CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0123
ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

• 4000007c-00000000: ユーザー [arg1] によって動的電力節減モードがオフにされました。 ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0124

- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 4000007d-00000000:電源キャップ・スロットルと外部スロットルが発生しました。 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0125 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

4000007e-00000000:外部スロットルが発生しました。
 外部スロットルが生じました。

4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

Prefix: IMM ID: 0126

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

4000007f-00000000: 電源キャップ・スロットルが発生しました。
 電源キャップ・スロットルが生じました。

4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0127

- ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。
- 40000080-00000000:ユーザー [arg1] によってリモート制御セッションが [arg2] モードで開始されました。

リモート制御セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x400000800000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

Prefix: IMM ID: 0128

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。 • 40000081-00000000:ユーザー [arg1] によって PXE ブートが要求されました。 PXE ブートが要求されました。

4000008100000000 または 0x4000008100000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0129
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000082-00000000: 計測された電源値が電源キャップ値を下回りました。
 電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー 警告 - 電源
 SNMP Trap ID 164
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0130
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000083-00000000:新規最小電源キャップ値が電源キャップ値を下回りました。
 最小電力上限が、回復された電力上限を超えています。

4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー 警告 - 電源
 SNMP Trap ID 164
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0131
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000084-00000000: IMM ファームウェアがノード [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。

ノード間で IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

 車大度 エラー
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0132
 ユーザー応答 すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

• 40000085-00000000 : FPGA ファームウェアがノード [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべての ノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。

ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0133
 ユーザー応答

すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000086-00000000: ユーザー [arg1] によってテスト・コール・ホームが生成されました。
 ユーザーによって、テスト用のコール・ホームが生成されました。

4000008600000000 または 0x4000008600000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 はい
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0134
 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

40000087-00000000:ユーザー [arg1] による手動コール・ホーム: [arg2]。
 ユーザーによる手動コール・ホーム

4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 はい アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

Prefix: IMM ID: 0135

- **ユーザー応答** Lenovo サポートが問題に対応します。
- 40000088-00000000:管理コントローラー [arg1]:ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復 元が完了しました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0136

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000089-00000000: 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元 が完了できませんでした。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID 22 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0137

ユーザー応答

- 1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバー を AC 電源から切り離す必要があります。
- 2.45秒後にサーバーを電源に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
- 3. 操作を再試行します。
- 4000008a-00000000: 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元 を開始できませんでした。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始 が失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他

- SNMP Trap ID 22
- CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0138

- ユーザー応答
 - 1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバー を AC 電源から切り離す必要があります。
 - 2.45秒後にサーバーを電源に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
 - 3. 操作を再試行します。

• 4000008b-00000000:ストレージ [arg1] が変更されました。

このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更されたユース・ケースに使用されます。 4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - IMM ネットワーク・イベント
 SNMP Trap ID 37
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0139
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 4000008c-00000000: セキュリティー: ユーザー ID: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の CIM クライ アントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。
 このメッセージは、ユーザーが CIM から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケー スに使用されます。

4000008c00000000 または 0x4000008c00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - リモート・ログイン
 SNMP Trap ID 30
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0140
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。 4000008d-00000000: リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワード が無効です。IP アドレス [arg2] の CIM クライアントの Userid は [arg1] です。

このメッセージは、リモート・ユーザーが CIM からリモート制御セッションを確立できなかった場合に使用されます。

4000008d00000000 または 0x4000008d00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - リモート・ログイン
 SNMP Trap ID 30
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0141
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

4000008e-00000000:デバイス [arg1]の VPD が無効です。
 デバイスの VPD が無効です。

4000008e00000000 または 0x4000008e00000000 として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 いいえ

 自動的にサポートに通知
 いいえ

 アラート・カテゴリー
 システム - その他

 SNMP Trap ID
 22

 CIM 情報
 Prefix: IMM ID: 0142

 ユーザー応答
 Lenovo サポートが問題に対応します。

4000008f-00000000:ベア・メタル接続プロセスが開始されました。

ベア・メタル接続プロセスが開始されました。

4000008f00000000 または 0x4000008f00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0143
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000090-00000000:ベア・メタル更新アプリケーションがステータス [arg1] を報告しました。
 ベア・メタル更新アプリケーションのステータスです。

400000900000000000 または 0x4000009000000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0144
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000091-00000000: ユーザー [arg1] がアクティブ・コンソール・セッションを終了しました。
 ユーザーがアクティブ・コンソール・セッションを終了しました

4000009100000000 または 0x4000009100000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0145

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000092-00000000: TKLM サーバーがユーザー [arg1] によって設定されました。 TKLMServer1=[arg2] Port=[arg3]、TKLMServer2=[arg4] Port=[arg5]、TKLMServer3=[arg6] Port=[arg7]、TKLMServer4=[arg8] Port=[arg9] です。

ユーザーが TKLM サーバーを構成しました

4000009200000000 または 0x4000009200000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0146
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

40000093-00000000:ユーザー [arg1] によって TKLM サーバーのデバイス・グループが設定されました。TKLMServerDeviceGroup=[arg2] です。
 ユーザーが TKLM デバイス・グループを構成しました

4000009300000000 または 0x4000009300000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0147

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 40000094-00000000:ユーザー [arg1] が新規暗号鍵ペアを生成し、TKLM クライアントの自己署 名証明書をインストールしました。

ユーザーが新規暗号鍵ペアを生成し、TKLM クライアントの自己署名証明書をインストールしました 4000009400000000 または 0x4000009400000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID
 CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0148

- **ユーザー応答** 通知メッセージ。操作は不要です。
- 40000095-00000000: ユーザー [arg1] が新規暗号鍵と TKLM クライアントの証明書署名要求を 生成しました。

ユーザーが新規暗号鍵と、TKLM クライアントに対する証明書署名要求を生成しました

4000009500000000 または 0x4000009500000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0149 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

40000096-00000000:ユーザー [arg1] が [arg2] から TKLM クライアントの署名された証明書をインポートしました。

ユーザーが TKLM クライアントの署名済み証明書をインポートしました。

4000009600000000 または 0x4000009600000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0150

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 40000097-00000000: ユーザー [arg1] が TKLM サーバーのサーバー証明書をインポートしました。 ユーザーが TKLM サーバーのサーバー証明書をインポートしました

4000009700000000 または 0x4000009700000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0151 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 40000098-00000000: UEFI 定義が変更されました。

UEFI 定義変更が検出されました

4000009800000000 または 0x4000009800000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0152

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

 40000099-00000000: セキュリティー: ユーザー ID: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の IPMI クラ イアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

このメッセージは、ユーザーが IPMI から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

4000009900000000 または 0x4000009900000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能

 4000009a-00000000: セキュリティー: ユーザー ID: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の SNMP クラ イアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

このメッセージは、ユーザーが SNMP から管理コントローラーへのアクセスに失敗した場合に 使用されます。

4000009a00000000 または 0x4000009a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID 30

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0154

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

4000009b-00000000: セキュリティー: ユーザー ID: [arg1] によって IPMI シリアル・クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

このメッセージは、ユーザーが IPMI シリアル・クライアントから管理コントローラーへのログ インに失敗した場合に使用されます

4000009b00000000 または 0x4000009b00000000 として表示される場合もあります。

重**大度** 通知 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - リモート・ログイン
 SNMP Trap ID 30
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0155
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 4000009c-00000000: リモート・ログインに成功しました。[arg2] シリアル・インターフェー スからのログイン ID: [arg1] です。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインするユース・ケースに使用されます。

4000009c00000000 または 0x4000009c00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - リモート・ログイン
 SNMP Trap ID 30
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0156
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

4000009d-00000000: IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID [arg1] はログオフしています。
 このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーからログオフした場合に使用されます。

4000009d00000000 または 0x4000009d00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能
4000009e-00000000: IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID [arg1] はログオフしています。
 このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーからログオフ済みである場合に使用されます。
 4000009e00000000 または 0x4000009e00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - リモート・ログイン
 SNMP Trap ID 30
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0158
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 4000009f-00000000: ユーザー [arg1] がサーバー [arg2] との接続性を確認するために TKLM サーバー 接続テストを開始しました。

ユーザーが TKLM サーバー接続テストを開始しました。

4000009f00000000 または 0x4000009f00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0159 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

400000a0-00000000: ユーザー [arg1] が SMTP サーバー接続テストを開始しました。
 ユーザーが SMTP サーバー接続テストを開始しました。

400000a000000000 または 0x400000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー なし SNMP Trap ID CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0160

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 400000a1-00000000: UEFIの報告: [arg1]。

UEFI 監査イベントがログに記録されました。

400000a100000000 または 0x400000a100000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー なし **SNMP Trap ID**

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0161 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

400000a2-00000000: ユーザー [arg1] が [arg4] からのファイル [arg3] を [arg2] しました。
 ユーザーが URL またはサーバーからファイルをマウント/アンマウントしました
 400000a200000000 または 0x400000a200000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0162
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 400000a3-00000000: ユーザー [arg1] が SMTP サーバーのリバースパスを [arg2] に設定しました。 ユーザーが SMTP サーバーのリバースパス・アドレスを設定しました

400000a300000000 または 0x400000a300000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0163

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 400000a4-00000000:ユーザー [arg1] が証明書を削除しました。

ユーザーが証明書を削除しました

400000a400000000 または 0x400000a400000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0164
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 400000a5-00000000:証明書が取り消されました。

証明書が取り消されました

400000a500000000 または 0x400000a500000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0165
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。 • 400000a6-00000000: サーバーが不明の理由で再起動されました。 サーバーが不明の理由で再起動されました

400000a600000000 または 0x400000a600000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0166
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 400000a7-00000000: サーバーがシャーシ制御コマンドによって再起動されました。 サーバーがシャーシ制御コマンドによって再起動されました

400000a700000000 または 0x400000a700000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0167
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000a8-00000000: サーバーがプッシュボタンを介してリセットされました。
 サーバーがプッシュボタンを介してリセットされました

400000a800000000 または 0x400000a800000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0168
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000a9-00000000: 電源プッシュボタンを介してサーバーに電源が入りました。
 電源プッシュボタンを介してサーバーに電源が入りました

400000a900000000 または 0x400000a900000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0169
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 400000aa-00000000: ウォッチドッグが満了したときにサーバーが再起動されました。 ウォッチドッグが満了したときにサーバーが再起動されました。

400000aa00000000 または 0x400000aa00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0170
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000ab-00000000: サーバーが OEM の理由で再起動されました。
 サーバーが OEM の理由で再起動されました

400000ab00000000 または 0x400000ab00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知 **保守可能** いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID 22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0171

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 400000ac-00000000:電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが自動 的に電源オンされました。

電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされま した。

400000ac00000000 または 0x400000ac00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー システム - その他
SNMP Trap ID 22
CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0172
ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 400000ad-00000000: 電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。

電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電 源オンされました。

400000ad00000000 または 0x400000ad00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー システム - その他
SNMP Trap ID 22
CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0173
ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000ae-00000000:サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介してリセットされました。

サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介してリセットされました

400000ae00000000 または 0x400000ae00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー システム - その他
SNMP Trap ID 22
CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0174
ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 400000af-00000000: プラットフォーム・イベント・フィルターを介してサーバーの電源サイクル が実行されました。

プラットフォーム・イベント・フィルターを介してサーバーの電源サイクルが実行されました 400000af00000000 または 0x400000af00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID 22 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0175

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000b0-000000000: サーバーがソフト・リセットされました。
 サーバーがソフト・リセットされました

400000b000000000 または 0x400000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度通知保守可能

いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID 22 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0176 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 400000b1-00000000: リアルタイム・クロックを介してサーバーの電源が入りました (スケジュール電源投入)。

リアルタイム・クロックを介してサーバーの電源が入りました(スケジュール電源投入)

400000b100000000 または 0x400000b100000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0177
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 400000b2-00000000:サーバーが不明の理由で電源オフされました。

サーバーが不明の理由で電源オフされました

400000b200000000 または 0x400000b200000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ **アラート・カテゴリー** システム - その他 SNMP Trap ID 22 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0178 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000b3-00000000:サーバーがシャーシ制御コマンドによって電源オフされました。
 サーバーがシャーシ制御コマンドによって電源オフされました

400000b300000000 または 0x400000b300000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0179
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000b4-00000000:サーバーがプッシュボタンを介して電源オフされました。
 サーバーがプッシュボタンを介して電源オフされました

400000b400000000 または 0x400000b400000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID 22 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0180

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000b5-00000000:ウォッチドッグが満了したときにサーバーが電源オフされました。
 ウォッチドッグが満了したときにサーバーが電源オフされました。

400000b500000000 または 0x400000b500000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0181
 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

• 400000b6-00000000:電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。

電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。 400000b600000000 または 0x400000b600000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID 22 CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0182

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

 400000b7-00000000:電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、 サーバーが電源オフのままでした。

電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが電源オフ のままでした。

400000b700000000 または 0x400000b700000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー システム - その他
SNMP Trap ID 22
CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0183
ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000b8-00000000:サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介して電源オフされました。

サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介して電源オフされました

400000b800000000 または 0x400000b800000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22 CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0184

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

 400000b9-00000000:リアルタイム・クロックを介してサーバーが電源オフされました(スケジュー ルされた電源オフ)。

リアルタイム・クロックを介してサーバーが電源オフされました(スケジュールされた電源オフ)

400000b900000000 または 0x400000b900000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0185
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000ba-00000000: 電源オン・リセットによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。

電源オン・リセットによって管理コントローラーのリセットが開始されました

400000ba00000000 または 0x400000ba00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0186

ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 400000bb-00000000: PRESET によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。 PRESET によって管理コントローラーのリセットが開始されました

400000bb00000000 または 0x400000bb00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0187
 ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

400000bc-00000000: CMM ファームウェアによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。

CMM によって管理コントローラーのリセットが開始されました

400000bc00000000 または 0x400000bc00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0188
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000bd-00000000: IMM ファームウェアによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。

IMM ファームウェアによって管理コントローラーのリセットが開始されました

400000bd00000000 または 0x400000bd00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0189
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000be-00000000: [arg1] 証明書は有効期限切れで削除されました。
 有効期限が切れた証明書が削除されました

400000be00000000 または 0x400000be00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0190
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。 400000bf-00000000:オペレーティング・システムのステータスが [arg1] に変更されました。
 オペレーティング・システムのステータスが変更されました

400000bf00000000 または 0x400000bf00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー システム - その他
SNMP Trap ID 22
CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0191
ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000c1-00000000:システムがセットアップを実行中です。
 システムがセットアップを実行中です

400000c100000000 または 0x400000c100000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0193
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 400000c2-00000000:ユーザー [arg1] によって [arg2] モードで開始されたリモート制御セッション が終了されました。 リモート制御セッションが終了されました

400000c200000000 または 0x400000c200000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0194
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000c3-00000000: [arg1] へのコール・ホームを完了できませんでした。[arg2] です。
 コール・ホームを完了できませんでした。

400000c300000000 または 0x400000c300000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0195
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000c4-00000000: IMM は、前のイベント [arg1] を記録しませんでした。
 IMM は、前のイベントを記録しませんでした。

400000c400000000 または 0x400000c400000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0196
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000c5-00000000: UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextBoot のため有効になっています。
 UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextBoot のため有効になっています

400000c500000000 または 0x400000c500000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0197
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

• 400000c6-00000000: UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextAc のため有効になっています。 UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextAC のため有効になっています

400000c600000000 または 0x400000c600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知
 保守可能

 いいえ

 自動的にサポートに通知

 いいえ

 アラート・カテゴリー

 システム - その他

 SNMP Trap ID

 22

 CIM 情報

 Prefix: IMM ID: 0198
 ユーザー応答

 通知メッセージ。操作は不要です。

• 400000c7-00000000: UEFI デプロイメント・ブート・モードは無効にされました。 UEFI デプロイメント・ブート・モードは無効にされました

400000c700000000 または 0x400000c700000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0199
 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

400000c9-00000000: ユーザー [arg1] は、システム [arg2] を Encapsulation ライト・モードにしました。

Encapsulation ライト・モードのステータスの変更

400000c900000000 または 0x400000c900000000 として表示される場合もあります。

重大度通知保守可能

いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID 22 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0201 ユーザー応答 通知メッセージ。操作は不要です。

 400000ca-00000000: RAID コントローラーによってバッテリー・エラーが検出されました。バッテ リーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
 RAID コントローラーによってバッテリー・エラーが検出されました

400000ca00000000 または 0x400000ca00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0202
 ユーザー応答

LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

400000cb-00000000: RAID コントローラーはバッテリーに問題があります。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
 RAID コントローラーはバッテリーに問題があります

400000cb00000000 または 0x400000cb00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 はい
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0203
 ユーザー応答 LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

 400000cc-00000000: RAID コントローラーは、リカバリー不能エラーを検出しました。コントロー ラーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
 RAID コントローラーは、リカバリー不能エラーを検出しました

400000cc00000000 または 0x400000cc00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 はい
アラート・カテゴリー システム - その他
SNMP Trap ID 22
CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0204
ユーザー応答 LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

400000cd-00000000: RAID コントローラーは、1 つ以上の問題を検出しました。追加のサポートが必要な場合は、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
 RAID コントローラーは、1 つ以上の問題を検出しました。

400000cd00000000 または 0x400000cd00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID 22 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0205 ユーザー応答 LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

400000ce-00000000: RAID コントローラーは、サブシステム内に1つ以上の構成の変更が行われた可能性を検出しました。ドライブ LED のステータスを確認してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
 RAID コントローラーは、サブシステム内に1つ以上の構成の変更が行われた可能性を検出しました
 400000ce00000000 または 0x400000ce00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー システム - その他
SNMP Trap ID 22
CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0206
ユーザー応答

LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

400000cf-00000000:1つ以上のユニットで筐体の問題が検出されました。格納装置を確認して問題を修復してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
 1つ以上のユニットで筐体の問題が検出されました

400000cf00000000 または 0x400000cf00000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID 22

CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0207

ユーザー応答 Lenovo サポートが問題に対応します。

 400000d0-00000000: 筐体で接続の問題が検出されました。ケーブル構成を確認して問題を修復して ください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
 筐体で接続の問題が検出されました

400000d000000000 または 0x400000d00000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0208
 ユーザー応答 Lenovo サポートが問題に対応します。

400000d1-00000000: 筐体でファンの問題が検出されました。格納装置のファンが正常に動作しているか確認してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
 筐体でファンの問題が検出されました

400000d100000000 または 0x400000d100000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ **アラート・カテゴリー** システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0209

ユーザー応答

Lenovo サポートが問題に対応します。

 400000d2-00000000: 筐体のパワー・サプライに問題が発生しています。格納装置のパワー・サプラ イが正常に動作しているか確認してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
 筐体のパワー・サプライに問題が発生しています

400000d200000000 または 0x400000d200000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0210

ユーザー応答

Lenovo サポートが問題に対応します。

400000d3-00000000:1つ以上の仮想ドライブが異常な状態で、この状態が原因で仮想ドライブが使用できなくなる可能性があります。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

1つ以上の仮想ドライブが異常な状態で、この状態が原因で仮想ドライブが使用できなくなる可 能性があります

400000d300000000 または 0x400000d300000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID 22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0211

- **ユーザー応答** LSIイベント ID により、ストレージの資料を確認してください。
- 400000d4-00000000: RAID コントローラーは、サブシステム内に1つ以上の構成の問題が発生した可能性を検出しました。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーは、サブシステム内に1つ以上の構成の問題が発生した可能性を検出しました

400000d400000000 または 0x400000d400000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** システム - その他
- SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0212

ユーザー応答

LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

 400000d5-00000000:1つ以上の仮想ドライブに問題が発生しています。この問題を解決するには、 テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
 1つ以上の仮想ドライブに問題が発生しています

400000d500000000 または 0x400000d500000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 はい
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0213
 ユーザー応答 LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

 400000d6-00000000: RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。この問題を 解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5]) RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました

400000d600000000 または 0x400000d600000000 として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 はい
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0214
 ユーザー応答

LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

400000d7-00000000: RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])
 RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました

400000d700000000 または 0x400000d700000000 として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: IMM ID: 0215
 ユーザー応答 LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

80010002-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(CMOS バッテリー)

このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出され たユース・ケースに使用されます。

800100020701ffff または 0x800100020701ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 はい
 自動的にサポートに通知
 いいえ
 アラート・カテゴリー
 警告 - 電圧

 SNMP Trap ID
 13
 CIM 情報
 Prefix: PLAT ID: 0476

 ユーザー応答

 システム・バッテリーを交換します。

80010202-0701ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(CMOS バッテリー)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800102020701ffff または 0x800102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい

- アラート・カテゴリー
- クリティカル 電圧

SNMP Trap ID

1 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

指定されたセンサーが CMOS バッテリーの場合は、システム・バッテリーを交換してください。 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V の場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決す るまで以下のステップを実行してください。

- 1. パワー・サプライ n LED を確認します。
- 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
- 3. 「電源問題および電源問題の解決」の処置に従ってください。
- 4. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。(n=パワー・サプ ライ番号)

SysBrd 12V : SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

80010204-1d01ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(ファン1速度計)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800102041d01ffff または 0x800102041d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

- 11
- CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

- 1. 障害を起こしているファンnを取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファ ン・コネクターの近くで点灯している LED によって示されています。
- 2. 障害のあるファンを交換します。(n=ファン番号)

80010204-1d02ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(ファン2速度計)
 このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800102041d02ffff または 0x800102041d02ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ファン障害
 SNMP Trap ID 11
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

- 1. 障害を起こしているファンnを取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファ ン・コネクターの近くで点灯している LED によって示されています。
- 2. 障害のあるファンを交換します。(n=ファン番号)
- 80010204-1d03ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(ファン3速度計)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800102041d03ffff または 0x800102041d03ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ファン障害
 SNMP Trap ID 11
 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

- 1. 障害を起こしているファンnを取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファ ン・コネクターの近くで点灯している LED によって示されています。
- 2. 障害のあるファンを交換します。(n=ファン番号)
- 80010204-1d04ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(ファン4速度計)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800102041d04ffff または 0x800102041d04ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

- 1. 障害を起こしているファンnを取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファ ン・コネクターの近くで点灯している LED によって示されています。
- 2. 障害のあるファンを交換します。(n=ファン番号)
- 80010701-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(周辺温度1温度計)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107010701ffff または 0x800107010701ffff として表示される場合もあります。

重大度 警告 保守可能 はい

- 1. 周囲の温度を下げます。
- 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
- 3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排 出が妨害されていないことを確認します。
- 80010701-0704ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を 上回ったことが検出されました。(PCIE 温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107010704ffff または 0x800107010704ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 はい

 自動的にサポートに通知
 いいえ
 アラート・カテゴリー
 警告 - 温度

 SNMP Trap ID
 12
 CIM 情報
 Prefix: PLAT ID: 0490

 ユーザー応答

 1. 周囲の温度を下げます。

- 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
- 3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排 出が妨害されていないことを確認します。
- 80010701-0705ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(CPU VRM 温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107010705ffff または 0x800107010705ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- アラート・カテゴリー 警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

- 1. 周囲の温度を下げます。
- 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
- 3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排 出が妨害されていないことを確認します。
- 80010701-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(周辺温度2温度計)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107012701ffff または 0x800107012701ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 はい
 自動的にサポートに通知
 いいえ
 アラート・カテゴリー
 警告 - 温度
 SNMP Trap ID
 12
 CIM 情報
 Prefix: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

- 1. 周囲の温度を下げます。
- 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
- 3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

 80010701-2d01ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を 上回ったことが検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107012d01ffff または 0x800107012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告

 保守可能
 はい

 自動的にサポートに通知
 いいえ

 アラート・カテゴリー
 警告 - 温度

 SNMP Trap ID
 12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

- 1. 周囲の温度を下げます。
- 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
- 3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排 出が妨害されていないことを確認します。

80010901-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(周辺温度1温度計)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800109010701ffff または 0x800109010701ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

- 1. 周囲の温度を下げます。
- 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
- 3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。
- 80010901-0704ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を 上回ったことが検出されました。(PCIE 温度)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800109010704ffff または 0x800109010704ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

CIM 情報

0

Prefix: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

- 1. 周囲の温度を下げます。
- 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
- 3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-0705ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(CPU VRM 温度)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800109010705ffff または 0x800109010705ffff として表示される場合もあります。

重**大度** エラー

- 保守可能
 - はい
- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

- 1. 周囲の温度を下げます。
- 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
- 3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排 出が妨害されていないことを確認します。
- 80010901-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(周辺温度2温度計)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800109012701ffff または 0x800109012701ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
 SNMP Trap ID 0
 CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

- 1. 周囲の温度を下げます。
- 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
- 3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排 出が妨害されていないことを確認します。
- 80010901-2d01ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を 上回ったことが検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800109012d01ffff または 0x800109012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

- 1. 周囲の温度を下げます。
- 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
- 3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排 出が妨害されていないことを確認します。
- 80010902-0701ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を 上回ったことが検出されました。(SysBrd 12V)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800109020701ffff または 0x800109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知
 - はい
- アラート・カテゴリー クリティカル - 電圧
- SNMP Trap ID
 - 1
- CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合、(トレーニングを受けた技術員の み) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解 決するまで以下のステップを実行してください。

- 1. パワー・サプライ n LED を確認します。
- 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
- 3. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。(n=パワー・サプ ライ番号)

SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

• 80010b01-0701ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上 回ったことが検出されました。(周辺温度1温度計)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユー ス・ケースに使用されます。

80010b010701ffff または 0x80010b010701ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
- **SNMP Trap ID**

0 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと(サーバーの前面と背面)、エアー・ バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取 り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。

- 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります(詳しくは、「サー バーの機能および仕様」を参照)。
- 3. マイクロプロセッサーnのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
- 4. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。
- 80010b01-0704ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を 上回ったことが検出されました。(PCIE 温度)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

80010b010704ffff または 0x80010b010704ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

- 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと(サーバーの前面と背面)、エアー・ バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取 り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
- 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります(詳しくは、「サーバーの機能および仕様」を参照)。
- 3. マイクロプロセッサーnのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
- 4. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。
- 80010b01-0705ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(CPU VRM 温度)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

80010b010705ffff または 0x80010b010705ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
 - V-V-/L
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

- 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと(サーバーの前面と背面)、エアー・ バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取 り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
- 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります(詳しくは、「サーバーの機能および仕様」を参照)。
- 3. マイクロプロセッサーnのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
- 4. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。
- 80010b01-2701ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(周辺温度2温度計)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

80010b012701ffff または 0x80010b012701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

- はい
- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - 温度
- SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと(サーバーの前面と背面)、エアー・ バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取 り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。

- 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります(詳しくは、「サー バーの機能および仕様」を参照)。
- 3. マイクロプロセッサーnのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
- 4. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。
- 80010b01-2d01ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を 上回ったことが検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

80010b012d01ffff または 0x80010b012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

- 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと(サーバーの前面と背面)、エアー・ バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取 り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
- 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります(詳しくは、「サーバーの機能および仕様」を参照)。
- 3. マイクロプロセッサーnのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
- 4. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。
- 80030006-2101ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(署名検査の失敗)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。 800300062101ffff または 0x800300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度通知保守可能

いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0509 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 80030012-2301ffff:センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(OS リアル タイム・モジュール)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。 800300122301ffff または 0x800300122301ffff として表示される場合もあります。

 重知
 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

80030021-0782ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(PCIe Dev LK ダウン)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。 800300210782ffff または 0x800300210782ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0509

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 8003010c-2581ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(純正以外の DIMM) このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。
 8003010c2581ffff または 0x8003010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

- 1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。
- 2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション(ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。
- 8003010f-2101ffff:センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(IMM FW の破損) このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。
 8003010f2101ffff または 0x8003010f2101ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

- 1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。
- 2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション(ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。
- 80030112-0601ffff:センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(SMM モード) このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。
 800301120601ffff または 0x800301120601ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

- 1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。
- 2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション(ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

SMM モニター:

80030121-0782ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(PCIe Dev LK ダウン)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800301210782ffff または 0x800301210782ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

- 1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。
- 2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション(ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。
- 8007000d-2582ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態に遷移しました。(RAID ボリュームの状態)

このメッセージは、センサーが通常の状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007000d2582ffff または 0x8007000d2582ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー 警告 - その他
 SNMP Trap ID 60
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0518
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

8007010d-2582ffff:センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態に遷移しました。(RAID ボリュームの状態)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

8007010d2582ffff または 0x8007010d2582ffff として表示される場合もあります。

 8007010f-2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移し ました。(GPT ステータス)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

8007010f2201ffff または 0x8007010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度 警告 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー 警告 - その他 **SNMP Trap ID** 60 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0520 ユーザー応答 PCI I/O リソース・エラーを解決するために、以下のステップを実行してください。 1. 「F1 Setup」->「System Settings」->「Device and I/O ports」->「PCI 64 bit Resource」に進み、 「enable」を選択します。

8007010f-2582ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態に遷移しました。(I/O リソース)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

8007010f2582ffff または 0x8007010f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー 警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

PCI I/O リソース・エラーを解決するために、以下のステップを実行してください。

- 1. 「F1 Setup」->「System Settings」->「Device and I/O ports」->「PCI 64 bit Resource」に進み、「enable」を選択します。
- 80070114-2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態 に遷移しました。(TPM 物理プレゼンス設定)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

800701142201ffff または 0x800701142201ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 はい
 自動的にサポートに通知
 いいえ

 アラート・カテゴリー
 警告 - その他

 SNMP Trap ID
 60

 CIM 情報
 Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

- 1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とする管理用タスクを 実行します。
- 2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元します。
- 3. システムをリブートします。
- 4. (トレーニングを受けた技術員のみ)エラーが解決しない場合は、プレーナーを交換します。
- 80070128-2e01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態 に遷移しました。(ME リカバリー)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

800701282e01ffff または 0x800701282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

- はい
- 自動的にサポートに通知 いいえ

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

- 1. IMM を再起動します。エラーが解決しない場合は、ステップ2に進みます。
- 2. 最新レベルの iMM/uEFI コードに更新し、ステップ3 に進みます。
- 3. ノードを交換します。

 80070201-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態 に遷移しました。(CPU 1 温度過熱)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

800702010301ffff または 0x800702010301ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

- 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと(サーバーの前部と後部)、エアー・ バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取 り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
- 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります(詳しくは、「機能および仕様」を参照)。
- 3. マイクロプロセッサーnのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
- 4. (トレーニングを受けた技術員のみ)マイクロプロセッサーnを交換します。(n=マイクロ プロセッサー番号)
- 80070202-0701ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態 に遷移しました。(SysBrd 電圧障害)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

800702020701ffff または 0x800702020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能 はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

- 1. システム・イベント・ログを確認します。
- 2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
- 3. 障害のあるデバイスをすべて交換します。

- 4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
- 5. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。
- 80070204-0a01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態 に遷移しました。(PS1ファン障害)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

800702040a01ffff または 0x800702040a01ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能

はい

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
 パワー・サプライ n を交換します。(n=パワー・サプライ番号)

 80070204-0a02ffff:センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態 に遷移しました。(PS 2 ファン障害)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

800702040a02ffff または 0x800702040a02ffff として表示される場合もあります。

重大度
 エラー
 保守可能
 はい
 自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

- 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
- 2. パワー・サプライnを交換します。(n=パワー・サプライ番号)
- 80070208-0a01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(PS 1 温度障害)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

800702080a01ffff または 0x800702080a01ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 電源
 SNMP Trap ID 4
 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

- 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
- 2. Lenovo Power Configurator ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限 未満であることを確認します。これらのユーティリティーの詳細およびダウンロードに ついては、https://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?Indocid=LNVO-PWRCONF に アクセスしてください。
- 3. パワー・サプライnを交換します。(n=パワー・サプライ番号)
- 80070208-0a02ffff:センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(PS 2 温度障害)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。 800702080a02ffff または 0x800702080a02ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 電源
 SNMP Trap ID 4
 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

- 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの(ケーブルの束など)がないことを確認します。
- 2. Lenovo Power Configurator ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限 未満であることを確認します。これらのユーティリティーの詳細およびダウンロードに ついては、https://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?Indocid=LNVO-PWRCONF に アクセスしてください。
- 3. パワー・サプライnを交換します。(n=パワー・サプライ番号)
- 8007020d-2582ffff:センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(RAID ボリュームの状態)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

8007020d2582ffff または 0x8007020d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - その他 SNMP Trap ID 50 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0522 ユーザー応答 なし

 8007020f-2201ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな 状態に遷移しました。(TXT ACM モジュール)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

8007020f2201ffff または 0x8007020f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

- SNMP Trap ID 50
- CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

- 1. TXT を有効化する必要がない場合は、Setup Utility から TXT を無効にします。
- 2. TXT を有効化する必要がある場合は、Setup Utility から TPM が有効でアクティブ化されて いることを確認します。
- 3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。
- 8007020f-2582ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(I/O リソース)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

8007020f2582ffff または 0x8007020f2582ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

- 1. TXT を有効化する必要がない場合は、Setup Utility から TXT を無効にします。
- 2. TXT を有効化する必要がある場合は、Setup Utility から TPM が有効でアクティブ化されて いることを確認します。
- 3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。
- 80070214-2201ffff:センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな 状態に遷移しました。(TPM ロック)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

800702142201ffff または 0x800702142201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

- いいえ
- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - その他
- SNMP Trap ID 50

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

- 1. サーバー・ファームウェアを更新します(「サーバー・ファームウェアのリカバリー」を参照)。
- 2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します(「シ ステム・ボードの取り外し」および「システム・ボードの取り付け」を参照)。
- 80070219-0701ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな 状態に遷移しました。(SysBrd 障害)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

800702190701ffff または 0x800702190701ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - その他
 SNMP Trap ID 50
 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

- 1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
- 2. システム・イベント・ログを確認します。
- システム・ファームウェア・バージョンを確認し、最新バージョンに更新します。重要:一部の クラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コード の最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
- 4. AC 電源コードのプラグをいったん抜いてから元に戻し、ステップ1と2を再度実行します。
- 5. 引き続き問題が発生する場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを 交換します。
- 80070228-2e01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな 状態に遷移しました。(ME エラー)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

800702282e01ffff または 0x800702282e01ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - その他
 SNMP Trap ID 50
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0522
 ユーザー応答 特定のセンサーが IPMB IO エラー、Me エラー、または ME フラッシュ・エラーである場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。

- 1. IMM を再起動します。エラーが解決しない場合は、ステップ2に進みます。
- 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します。エラーが解決しない場合は、 ステップ3に進みます。
- 3. ノードを交換します。

ME フラッシュ・エラー:

80070301-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(CPU 1 温度過熱)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境 で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703010301ffff または 0x800703010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

- 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと(サーバーの前面と背面)、エアー・ バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取 り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
- 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります(詳しくは、「サーバーの機能および仕様」を参照)。
- 3. マイクロプロセッサーnのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
- 4. (トレーニングを受けた技術員のみ)マイクロプロセッサー n を交換します。(n=マイクロ プロセッサー番号)
- 8007030d-2582ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(RAID ボリュームの状態)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境 で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007030d2582ffff または 0x8007030d2582ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - その他
 SNMP Trap ID 50
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0524
 ユーザー応答 なし

 80070608-0a01ffff:センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。 (PS1 12V OC 障害)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800706080a01ffff または 0x800706080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度
 エラー
 保守可能
 はい
 自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

- Lenovo Power Configurator ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。これらのユーティリティーの詳細およびダウンロードについては、 https://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?Indocid=LNVO-PWRCONF にアクセスしてください。
- 2. 「電源問題および電源問題の解決」の処置に従ってください。

指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

- 1. パワー・サプライ n LED を確認します。
- 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
- 3. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。(n=パワー・サプ ライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行 してください。

- 1. パワー・サプライ n LED を確認します。
- 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
- 3. 「電源問題および電源問題の解決」の処置に従ってください。
- 4. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。(n=パワー・サプ ライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

- 1. パワー・サプライ n LED を確認します。
- 2. パワー・サプライ n を交換します。(n=パワー・サプライ番号)
- PS1 12V OV 障害: PS1 12V UV 障害: PS1 12Vaux 障害:
- 80070608-0a02ffff:センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。 (PS2 12V OC 障害)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800706080a02ffff または 0x800706080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- アラート・カテゴリー

クリティカル - 電源

- SNMP Trap ID
 - 4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

- 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。
 - Lenovo Power Configurator ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。これらのユーティリティーの詳細およびダウンロードについては、 https://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?Indocid=LNVO-PWRCONF にアクセスしてください。

2. 「電源問題および電源問題の解決」の処置に従ってください。

指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

- 1. パワー・サプライ n LED を確認します。
- 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
- 3. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。(n=パワー・サプ ライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行 してください。

- 1. パワー・サプライ n LED を確認します。
- 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
- 3. 「電源問題および電源問題の解決」の処置に従ってください。
- 4. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。(n=パワー・サプ ライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行 してください。

- 1. パワー・サプライ n LED を確認します。
- 2. パワー・サプライnを交換します。(n=パワー・サプライ番号)

PS2 12V OV 障害: PS2 12V UV 障害: PS2 12Vaux 障害:

 80070614-2201ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。 (TPM 物理プレゼンス設定)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800706142201ffff または 0x800706142201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

- 1. サーバー・ファームウェアを更新します(「サーバー・ファームウェアのリカバリー」を参照)。
- 2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します(「シ ステム・ボードの取り外し」および「システム・ボードの取り付け」を参照)。

80080025-3701ffff:デバイス [LogicalDeviceElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(サーマル・ボード)
 このメッセージは、デバイスが取り外されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用

anter a state of the state of t

800800253701ffff または 0x800800253701ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0537

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 80080125-3701ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。(サーマル・ボード) このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用され ます。

800801253701ffff または 0x800801253701ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0536

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

80080128-2101ffff:デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。(低セキュリティー・ジャンパー)
 このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用され

このメリビーンは、アバイスが弾入されたことが突破壊し後田されたエース・サースに使用され ます。

800801282101ffff または 0x800801282101ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0536

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 800b0008-1301ffff: 冗長性 [RedundancySetElementName] が復元されました。(電源装置) このメッセージは、冗長性が復元されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。
 800b00081301ffff または 0x800b00081301ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー 警告 - 冗長パワー・サプライ
 SNMP Trap ID 10
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0561
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。 800b0108-1301ffff: [RedundancySetElementName]の冗長性消失が検出されました。(電源装置) このメッセージは、冗長性が失われたことが表明されたユース・ケースに使用されます
 800b01081301ffff または 0x800b01081301ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 冗長パワー・サプライ
 SNMP Trap ID 9
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0802
 ユーザー応答

- 1. 両方のパワー・サプライの LED を確認します。
- 2. パワー・サプライ LED の処置に従います。
- 806f0007-0301ffff: [ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。(CPU 1)
 このメッセージは、「プロセッサー障害 IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

806f00070301ffff または 0x806f00070301ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - CPU
 SNMP Trap ID 40
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0042

ユーザー応答

- イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、 最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを 確認します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調 整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、 コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサ ポートされていることを確認してください。
- 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (「ファームウェアの更新」)。
- 3. DSA プログラムを実行します。
- 4. アダプターを取り付け直します。
- 5. アダプターを交換します。
- 6. (トレーニングを受けた技術員のみ)マイクロプロセッサーnを交換します。
- 7. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。(n=マイクロプロ セッサー番号)
- 806f0008-0a01ffff: [PowerSupplyElementName] がコンテナー [PhysicalPackageElementName] に追加 されました。(パワー・サプライ 1)

このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに 使用されます。

806f00080a01ffff または 0x806f00080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0084

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 806f0008-0a02ffff: [PowerSupplyElementName] がコンテナー [PhysicalPackageElementName] に追加 されました。(パワー・サプライ 2)

このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに 使用されます。

806f00080a02ffff または 0x806f00080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知
 保守可能

 いいえ

 自動的にサポートに通知

 いいえ

 アラート・カテゴリー

 システム - その他

 SNMP Trap ID
 CIM 情報

 Prefix: PLAT ID: 0084
 ユーザー応答

 アクションは不要です。通知用のみです。

• 806f0009-1301ffff: [PowerSupplyElementName] が電源オフになっています。(ホスト電源) このメッセージは、実装環境で無効にされた電源装置が検出された場合に表示されます。

806f00091301ffff または 0x806f00091301ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - 電源オフ
 SNMP Trap ID 23
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0106
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 806f000d-0400ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 0) このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用され ます。

806f000d0400ffff または 0x806f000d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID 22 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0162 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 806f000d-0401ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 1) このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用され ます。

806f000d0401ffff または 0x806f000d0401ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0162
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 806f000d-0402ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 2) このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用され ます。

806f000d0402ffff または 0x806f000d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0162
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 806f000d-0403ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ3) このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用され ます。

806f000d0403ffff または 0x806f000d0403ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0162
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 806f000d-0404ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 4) このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用され ます。

806f000d0404ffff または 0x806f000d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ **アラート・カテゴリー** システム - その他 SNMP Trap ID 22 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0162 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 806f000d-0405ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 5) このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用され ます。

806f000d0405ffff または 0x806f000d0405ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0162
 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 806f000d-0406ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 6) このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用され ます。

806f000d0406ffff または 0x806f000d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他
SNMP Trap ID 22
CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0162
ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 806f000d-0407ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 7) このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用され ます。

806f000d0407ffff または 0x806f000d0407ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0162
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

• 806f000d-0410ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(Ext ドライブ) このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用され ます。

806f000d0410ffff または 0x806f000d0410ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 806f000f-220101ff: システム [ComputerSystemElementName] は、システムにメモリーがないこと を検出しました。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220101ff または 0x806f000f220101ff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能

はい

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0794

ユーザー応答

- 1. サーバーが、起動に必要な最小構成を満たしていることを確認します(「パワー・サプライLED」を参照)。
- 以下のようにして、サーバーのファームウェアをバックアップ・ページからリカバリーします: a. サーバーを再起動します。b.プロンプトが出されたら、F3を押してファームウェアをリカバリーします。
- 3.1次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
- 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に1つずつ取り外し、そのたびに サーバーを再起動します。

5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。 ファームウェア・エラー:システム・ブート状況:

806f000f-220102ff: サブシステム [MemoryElementName] に、操作に十分なメモリーがありません。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で使用可能メモリーが動作には不十分であることが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220102ff または 0x806f000f220102ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0132

ユーザー応答

- 1. サーバーが、起動に必要な最小構成を満たしていることを確認します(「パワー・サプラ イ LED」を参照)。
- 1次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
- 3. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。
- ファームウェア・エラー:システム・ブート状況:
- 806f000f-220103ff:システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しました。リカバリー不能なブート・デバイスの障害です。(ABR ステータス)
 このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラーのリカバリー不能なブート・デバ

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームワェア・エラーのリカバリー不能なフート・テバ イス障害の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220103ff または 0x806f000f220103ff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0770

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラーは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメー ション・センターの「UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)」セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー:システム・ブート状況:

• 806f000f-220104ff: システム [ComputerSystemElementName] でマザーボードの障害が発生しました。 (ABR ステータス)

このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

806f000f220104ff または 0x806f000f220104ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能 はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0795

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラーは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメー ション・センターの「UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)」セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー:システム・ブート状況:

• 806f000f-220107ff:システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しました。リカバリー不能なキーボード・エラーです。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラーのリカバリー不能なキーボード障害の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220107ff または 0x806f000f220107ff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0764

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラーは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメー ション・センターの「UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)」セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー:システム・ブート状況:

• 806f000f-22010aff:システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しました。ビデオ・デバイスが検出されませんでした。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラー(ビデオ・デバイスが見つかりません)の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f22010aff または 0x806f000f22010aff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能 はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0766

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラーは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメー ション・センターの「UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)」セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー:システム・ブート状況:

806f000f-22010bff: POST 中にシステム [ComputerSystemElementName] でファームウェア BIOS (ROM) の破損が検出されました。(ABR ステータス)

POST 中に、システム上でファームウェア BIOS (ROM) の破損が検出されました。

806f000f22010bff または 0x806f000f22010bff として表示される場合もあります。
重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0850

ユーザー応答

- 1. サーバーが、起動に必要な最小構成を満たしていることを確認します(「パワー・サプラ イ LED」を参照)。
- 2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再起 動します。b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。
- サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します(「ファームウェアの更新」を参照)。
 重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード
 更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを アップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされ ていることを確認してください。
- 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に1つずつ取り外し、そのたびに サーバーを再起動します。
- 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)システム・ボードを 交換します。
- ファームウェア・エラー:システム・ブート状況:
- 806f000f-22010cff: [ProcessorElementName] で CPU 電圧不一致が検出されました。(ABR ステータス) このメッセージは、実装環境で CPU 電圧とソケット電圧のミスマッチが検出されたユース・ケー スに表示されます。

806f000f22010cff または 0x806f000f22010cff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - CPU SNMP Trap ID 40 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0050

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメー ション・センターの「UEFI diagnostic code」セクションにある UEFI 診断コードを参照してくださ い。ファームウェア・エラー:システム・ブート状況:

 806f000f-2201ffff:システム [ComputerSystemElementName] で POST エラーが発生しました。 (ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0184

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録 された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォ メーション・センターの「UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)」セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー:システム・ブート状況:

 806f0013-1701ffff:システム [ComputerSystemElementName] で診断割り込みが発生しました。 (NMI 状態)

このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f00131701ffff または 0x806f00131701ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0222

ユーザー応答

NMI ボタンを押していない場合は、以下の手順を実行してください。

- 1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。
- 2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。
- 3. オペレーター情報パネルを交換します。
- 806f001e-2201ffff:システム [ComputerSystemElementName] に使用可能なブート可能メディアがありません。(ブート・デバイスなし)

このメッセージは、ブート可能メディアがないシステムが実装環境で検出されたユース・ケースに 使用されます。

806f001e2201ffff または 0x806f001e2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0286

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 806f0021-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(Op ROM スペースなし)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00212201ffff または 0x806f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー

/

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知はい
- アラート・カテゴリー
- クリティカル その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

- ユーザー応答
 - 1. PCI LED を確認します。
 - 2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
 - サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新 します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調 整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、 コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサ ポートされていることを確認してください。
 - 4. 対象のアダプターを交換します。
 - 5. ライザー・カードを交換します。
 - 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)システム・ボードを交換します。
- 806f0021-2582ffff:システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(すべての PCI エ ラー)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。 806f00212582ffff または 0x806f00212582ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 はい
 アラート・カテゴリー クリティカル - その他
 SNMP Trap ID 50
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0330
 ユーザー応答

- 1. PCI LED を確認します。
- 2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
- サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新 します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調 整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、 コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサ ポートされていることを確認してください。
- 4. 対象のアダプターを交換します。
- 5. ライザー・カードを交換します。
- 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)システム・ボードを交換します。
 1つの PCI エラー・
- 806f0021-3001ffff:システム [ComputerSystemElementName]のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(PCI 1)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00213001ffff または 0x806f00213001ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

- はい
- 自動的にサポートに通知はい
- アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

- 1. PCI LED を確認します。
- 2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
- サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新 します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調 整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、 コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサ ポートされていることを確認してください。
- 4. 対象のアダプターを交換します。
- 5. ライザー・カードを交換します。
- 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)システム・ボードを交換します。

 806f0021-3002ffff:システム [ComputerSystemElementName]のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(PCI 2) このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。 806f00213002ffff または 0x806f00213002ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 はい
 アラート・カテゴリー クリティカル - その他
 SNMP Trap ID 50
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0330
 ユーザー応答

- 1. PCI LED を確認します。
- 2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
- サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新 します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調 整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、 コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサ ポートされていることを確認してください。
- 4. 対象のアダプターを交換します。
- 5. ライザー・カードを交換します。
- 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)システム・ボードを交換します。
- 806f0023-2101ffff: [WatchdogElementName] のウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。 (IPMI ウォッチドッグ)

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00232101ffff または 0x806f00232101ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ **アラート・カテゴリー** システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0368 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

806f0107-0301ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が検出されました。(CPU 1)
 このメッセージは、プロセッサーの温度過熱状態が検出されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01070301ffff または 0x806f01070301ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0036

ユーザー応答

- ファンが作動していること、通気を行うための障害物がないこと(サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
- 2. マイクロプロセッサーnのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
- 3. (トレーニングを受けた技術員のみ)マイクロプロセッサーnを交換します。(n=マイクロ プロセッサー番号)
- 806f0108-0a01ffff: [PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。(パワー・サプライ 1) このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出されたユース・ケー スに使用されます。

806f01080a01ffff または 0x806f01080a01ffff として表示される場合もあります。

重**大度** エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい アラート・カテゴリー クリティカル - 電源 SNMP Trap ID 4 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0086 ユーザー応答

- 1. パワー・サプライnを取り付け直します。
- 2. 電源オン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パ ワー・サプライ n を交換します。
- パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、「電源 問題」を参照して詳細を確認してください。(n=パワー・サプライ番号)
- 806f0108-0a02ffff: [PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。(パワー・サプライ 2) このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出されたユース・ケー スに使用されます。

806f01080a02ffff または 0x806f01080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい アラート・カテゴリー クリティカル - 電源 SNMP Trap ID 4 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0086 ユーザー応答 1. パワー・サプライnを取り付け直します。 2. 電源オン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パ ワー・サプライnを交換します。

3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、「電源 問題」を参照して詳細を確認してください。(n=パワー・サプライ番号) • 806f0109-1301ffff: [PowerSupplyElementName] が電源再投入されました。(ホスト電源)

このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01091301ffff または 0x806f01091301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0108

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 806f010c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不 能エラーが検出されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2001ffff または 0x806f010c2001ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 はい
 アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー
 SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

- 1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異 なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
- 4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- 7. (トレーニングを受けた技術員のみ)該当するマイクロプロセッサーを交換します。
- サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
- 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。
- 806f010c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不 能エラーが検出されました。(DIMM 2)

806f010c2002ffff または 0x806f010c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 はい
- アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

- 1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異 なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。

- 4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
- 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- 7. (トレーニングを受けた技術員のみ)該当するマイクロプロセッサーを交換します。
- サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
- 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。
- 806f010c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不 能エラーが検出されました。(DIMM 3)

806f010c2003ffff または 0x806f010c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 はい
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - メモリー
- SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

- 1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異 なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
- 4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。

- (トレーニングを受けた技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- 7. (トレーニングを受けた技術員のみ)該当するマイクロプロセッサーを交換します。
- サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
- 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。
- 806f010c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不 能エラーが検出されました。(DIMM 4)

806f010c2004ffff または 0x806f010c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 はい
- アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

- 1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異 なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
- 4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
- 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- 7. (トレーニングを受けた技術員のみ)該当するマイクロプロセッサーを交換します。

- サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
- 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。
- 806f010c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不 能エラーが検出されました。(すべての DIMM)

806f010c2581ffff または 0x806f010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知 はい

- **アラート・カテゴリー** クリティカル - メモリー
- SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があ ります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

- 1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異 なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
- 4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
- 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- 7. (トレーニングを受けた技術員のみ)該当するマイクロプロセッサーを交換します。
- サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。

9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

1つの DIMM:

806f010d-0400ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 0)
 このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0400ffff または 0x806f010d0400ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 はい
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID 5
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0164
 ユーザー応答

 ドライブ n にハードディスク・ドライ

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起 動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブ ルc. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン(n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f010d-0401ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 1)
 このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用

このメッセーンは、実装環境でトライノか障害によって無効になったことか検出された場合に使用されます。

806f010d0401ffff または 0x806f010d0401ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 はい
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ **SNMP Trap ID**

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f010d-0402ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用 されます。

806f010d0402ffff または 0x806f010d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能はい

- 自動的にサポートに通知 はい
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - ハードディスク・ドライブ
- SNMP Trap ID 5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f010d-0403ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用 されます。

806f010d0403ffff または 0x806f010d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0164 ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f010d-0404ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になり ました。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用 されます。

806f010d0404ffff または 0x806f010d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f010d-0405ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になり ました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0405ffff または 0x806f010d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

- 保守可能はい
- 自動的にサポートに通知はい
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - ハードディスク・ドライブ
- SNMP Trap ID
 - 5

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f010d-0406ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になり ました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用 されます。

806f010d0406ffff または 0x806f010d0406ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 はい
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID 5
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0164
 ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f010d-0407ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になり ました。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用 されます。

806f010d0407ffff または 0x806f010d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0164 ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f010d-0410ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(Ext ドライブ)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用 されます。

806f010d0410ffff または 0x806f010d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f010f-2201ffff:システム [ComputerSystemElementName] でファームウェア・ハングが発生しました。(ファームウェア・エラー)
 このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。
 806f010f2201ffff または 0x806f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー **保守可能** はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- アラート・カテゴリー
 - システム ブート障害

SNMP Trap ID

25

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0186

ユーザー応答

- 1. サーバーが、起動に必要な最小構成を満たしていることを確認します(「パワー・サプラ イ LED」を参照)。
- 1次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
- 3. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。
- 806f0123-2101ffff: [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] のリ ブートが開始されました。(IPMI ウォッチドッグ)

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリブートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01232101ffff または 0x806f01232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0370

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

• 806f0125-1001ffff: [ManagedElementName] が存在していないと検出されました。(PCI ライザー 1)

このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01251001ffff または 0x806f01251001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

- **自動的にサポートに通知** いいえ
- **アラート・カテゴリー** システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0392

ユーザー応答

システムに GPU/ストレージ・トレイを取り付けていない場合、ログ・イベントは正常な状態です。システムに GPU/ストレージ・トレイを取り付けている場合は、以下の2つの部分をチェックします。

- 1. PDB (分電盤) ケーブルがライザー・カードから PDB に正しく接続されていることを確認 します。
- 2. 別の PDB ケーブルに交換します。
- 806f0207-0301ffff: [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。(CPU 1) このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出されたユース・ケー スに使用されます。

806f02070301ffff または 0x806f02070301ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 はい
 アラート・カテゴリー クリティカル - CPU
 SNMP Trap ID 40
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0044
 ユーザー応答

- イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、 最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを 確認します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調 整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、 コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサ ポートされていることを確認してください。
- 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (「ファームウェアの更新」)。
- 3. DSA プログラムを実行します。
- 4. アダプターを取り付け直します。
- 5. アダプターを交換します。
- 6. (トレーニングを受けた技術員のみ)マイクロプロセッサーnを交換します。
- 7. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。(n=マイクロプロ セッサー番号)
- 806f020d-0400ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 0)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0400ffff または 0x806f020d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 はい
 自動的にサポートに通知
 はい

アラート・カテゴリー システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起 動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブ ルc. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン(n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f020d-0401ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 1)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。 806f020d0401ffff または 0x806f020d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 はい

 自動的にサポートに通知
 はい
 アラート・カテゴリー
 なステム - 障害予知
 SNMP Trap ID
 27
 CIM 情報
 Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f020d-0402ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 2)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0402ffff または 0x806f020d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告
 保守可能
はい
 自動的にサポートに通知
はい
 アラート・カテゴリー
システム - 障害予知
 SNMP Trap ID
27
 CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f020d-0403ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 3)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0403ffff または 0x806f020d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 はい

 自動的にサポートに通知
 はい
 アラート・カテゴリー
 システム - 障害予知
 SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f020d-0404ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 4)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。 806f020d0404ffff または 0x806f020d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度 警告

保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい アラート・カテゴリー システム - 障害予知 SNMP Trap ID 27 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0168 ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f020d-0405ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 5)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0405ffff または 0x806f020d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 はい

 自動的にサポートに通知
 はい

 アラート・カテゴリー
 システム - 障害予知
 SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル

- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f020d-0406ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 6)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0406ffff または 0x806f020d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 はい
 自動的にサポートに通知
 はい

 アラート・カテゴリー
 とステム - 障害予知
 SNMP Trap ID
 27
 CIM 情報
 Prefix: PLAT ID: 0168

 ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起 動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブ ルc. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン(n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f020d-0407ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 7)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0407ffff または 0x806f020d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度 警告 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい **アラート・カテゴリー** システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン(n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f020d-0410ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(Ext ドライブ)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。 806f020d0410ffff または 0x806f020d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度 警告 保守可能 はい 自動的にせま

自動的にサポートに通知 はい

アラート・カテゴリー システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

- 1. ドライブnにハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)
- 806f0223-2101ffff: [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電 源オフが開始されました。(IPMI ウォッチドッグ)

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f02232101ffff または 0x806f02232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0372

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

• 806f0308-0a01ffff: [PowerSupplyElementName] の入力が失われました。(パワー・サプライ 1) このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出されたユース・ケー スに使用されます。

806f03080a01ffff または 0x806f03080a01ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0100

ユーザー応答

1. 電源コードを再接続します。

2. パワー・サプライ n LED を確認します。

3. 詳しくは、「パワー・サプライ LED」を参照してください。(n=パワー・サプライ番号)

806f0308-0a02ffff: [PowerSupplyElementName]の入力が失われました。(パワー・サプライ 2)
 このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f03080a02ffff または 0x806f03080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0100

ユーザー応答

- 1. 電源コードを再接続します。
- 2. パワー・サプライ n LED を確認します。
- 3. 詳しくは、「パワー・サプライ LED」を参照してください。(n=パワー・サプライ番号)
- 806f030c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における スクラブ障害です。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2001ffff または 0x806f030c2001ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー
 SNMP Trap ID 41
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があ ります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

- 1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
- 4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を 交換します。
- 5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロ プロセッサーにスワップします。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。
- 806f030c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における スクラブ障害です。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2002ffff または 0x806f030c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID 41

4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があ ります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
- 4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を 交換します。
- 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロ プロセッサーにスワップします。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。
- 806f030c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における スクラブ障害です。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2003ffff または 0x806f030c2003ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー
 SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

- 1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。

- 4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を 交換します。
- 5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロ プロセッサーにスワップします。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。
- 806f030c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における スクラブ障害です。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2004ffff または 0x806f030c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

- 1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
- 4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を 交換します。
- 5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロ プロセッサーにスワップします。

- (トレーニングを受けた技術員のみ)同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。
- 806f030c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における スクラブ障害です。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2581ffff または 0x806f030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

- はい
- 自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

- 1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
- 4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を 交換します。
- 5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロ プロセッサーにスワップします。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030d-0400ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 0)
 このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。
 806f030d0400ffff または 0x806f030d0400ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0170 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0401ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ1)
 このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0401ffff または 0x806f030d0401ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0170

¹つの DIMM :

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 806f030d-0402ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ド ライブ 2)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。 806f030d0402ffff または 0x806f030d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 806f030d-0403ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ド ライブ 3)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。 806f030d0403ffff または 0x806f030d0403ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 806f030d-0404ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ド ライブ 4)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。 806f030d0404ffff または 0x806f030d0404ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID

- CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0170
- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 806f030d-0405ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ド ライブ 5)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。 806f030d0405ffff または 0x806f030d0405ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。
806f030d-0406ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ド ライブ 6)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。 806f030d0406ffff または 0x806f030d0406ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 806f030d-0407ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ド ライブ 7)
 このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0407ffff または 0x806f030d0407ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID
 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。 806f030d-0410ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(Ext ドライブ)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。 806f030d0410ffff または 0x806f030d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

806f0313-1701ffff:システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェア NMI が発生しました。(NMI 状態)

このメッセージは、実装環境でソフトウェア NMI が検出されたユース・ケースに使用されます。 806f03131701ffff または 0x806f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - その他 SNMP Trap ID 50 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0228 ユーザー応答 1. デバイス・ドライバーを検査します。 2. デバイス・ドライバーを再インストールします。 3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。

4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

 806f0323-2101ffff:ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源サイクルが開始されました。(IPMI ウォッチドッグ) このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出されたユー ス・ケースに使用されます。

806f03232101ffff または 0x806f03232101ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0374

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

806f040c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2001ffff または 0x806f040c2001ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

- 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
- メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
- 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新に ついては、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。イベント・ログにメモリー障害 が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility を使用して、DIMM を再び有効にします。
- 806f040c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2002ffff または 0x806f040c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

- 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
- 2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
- 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新に ついては、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。イベント・ログにメモリー障害 が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility を使用して、DIMM を再び有効にします。
- 806f040c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2003ffff または 0x806f040c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

- 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
- 2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
- 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新に ついては、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。イベント・ログにメモリー障害 が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility を使用して、DIMM を再び有効にします。
- 806f040c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2004ffff または 0x806f040c2004ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

- 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
- メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
- このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新に ついては、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。イベント・ログにメモリー障害 が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility を使用して、DIMM を再び有効にします。
- 806f040c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無 効になりました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2581ffff または 0x806f040c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

- 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
- 2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
- 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新に ついては、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。イベント・ログにメモリー障害 が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility を使用して、DIMM を再び有効にします。

1つの DIMM :

• 806f0413-2582ffff: システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR が発生しました。(PCI) このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f04132582ffff または 0x806f04132582ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - その他
 SNMP Trap ID 50
 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0232

ユーザー応答

- 1. PCI LED を確認します。
- 2. 該当するアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
- サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新 します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調 整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、 コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサ ポートされていることを確認してください。
- 4. 両方のアダプターを取り外します。
- 5. PCIe アダプターを交換します。
- 6. ライザー・カードを交換します。
- 806f0507-0301ffff: [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。(CPU 1)
 このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f05070301ffff または 0x806f05070301ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - CPU
 SNMP Trap ID 40
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0062
 ユーザー応答

- 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、「light path 診断」を参照してください。
- サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
- 3. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。
- 4. (トレーニングを受けた技術員のみ)マイクロプロセッサーnを取り付け直します。
- 5. (トレーニングを受けた技術員のみ)マイクロプロセッサーnを交換します。(n=マイクロ プロセッサー番号)
- 806f050c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモ リー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2001ffff または 0x806f050c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 はい
- **アラート・カテゴリー** 警告 - メモリー
- **SNMP Trap ID**

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があ ります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

- 1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異 なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
- 4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
- 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けた技術員のみ)該当するマイクロプロセッサーを交換します。

 806f050c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモ リー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用され ます。

806f050c2002ffff または 0x806f050c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

- アラート・カテゴリー
 - 警告 メモリー
- SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

- 1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異 なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
- 4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
- 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- 7. (トレーニングを受けた技術員のみ)該当するマイクロプロセッサーを交換します。
- 806f050c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモ リー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2003ffff または 0x806f050c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

- 1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異 なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
- 4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- 7. (トレーニングを受けた技術員のみ)該当するマイクロプロセッサーを交換します。
- 806f050c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモ リー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2004ffff または 0x806f050c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 はい
 自動的にサポートに通知
 はい
 アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

- 1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異 なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
- 4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
- 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- 7. (トレーニングを受けた技術員のみ)該当するマイクロプロセッサーを交換します。
- 806f050c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモ リー・ロギング限度に到達しました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2581ffff または 0x806f050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 はい

 自動的にサポートに通知
 はい

 アラート・カテゴリー
 登告 - メモリー

 SNMP Trap ID
 43

 CIM 情報
 Prefix: PLAT ID: 0144

 ユーザー応答
 注: DIMM の取り付けある

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があ ります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

- 2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
- 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異 なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
- 4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
- 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コ ネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている 場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ)対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けた技術員のみ)該当するマイクロプロセッサーを交換します。 1 つの DIMM:

 806f050d-0400ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 0) このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに 使用されます。

806f050d0400ffff または 0x806f050d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ **SNMP Trap ID** 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0174 ユーザー応答 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。

- 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
- 5. RAID アダプターを交換します。

6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

• 806f050d-0401ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに 使用されます。

806f050d0401ffff または 0x806f050d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
- 5. RAID アダプターを交換します。
- 6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- 806f050d-0402ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ2) このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに 使用されます。

806f050d0402ffff または 0x806f050d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
- 5. RAID アダプターを交換します。
- 6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- 806f050d-0403ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 3) このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに 使用されます。

806f050d0403ffff または 0x806f050d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
- 5. RAID アダプターを交換します。
- 6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- 806f050d-0404ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに 使用されます。

806f050d0404ffff または 0x806f050d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

- エラー
- 保守可能
 - はい
- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - ハードディスク・ドライブ
- SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
- 5. RAID アダプターを交換します。
- 6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- 806f050d-0405ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 5) このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに 使用されます。

806f050d0405ffff または 0x806f050d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
- 5. RAID アダプターを交換します。
- 6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- 806f050d-0406ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 6) このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに 使用されます。

806f050d0406ffff または 0x806f050d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
- 5. RAID アダプターを交換します。
- 6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- 806f050d-0407ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに 使用されます。

806f050d0407ffff または 0x806f050d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

- エラー
- 保守可能
 - はい
- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - ハードディスク・ドライブ
- SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
- 5. RAID アダプターを交換します。
- 6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- 806f050d-0410ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(Ext ドライブ) このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに 使用されます。

806f050d0410ffff または 0x806f050d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
- 5. RAID アダプターを交換します。
- 6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- 806f0513-2582ffff: システム [ComputerSystemElementName] で PCI SERR が発生しました。(PCI) このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f05132582ffff または 0x806f05132582ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

- はい
- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0234

ユーザー応答

- 1. PCI LED を確認します。
- 2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
- サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新 します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調 整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、 コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサ ポートされていることを確認してください。
- 4. アダプターがサポートされていることを確認します。サポートされるオプションのデバイスの リストについては、http://www.lenovo.com/serverproven/を参照してください。
- 5. 両方のアダプターを取り外します。
- 6. PCIe アダプターを交換します。
- 7. ライザー・カードを交換します。

 806f052b-2101ffff:システム [ComputerSystemElementName] で無効またはサポートされていない ファームウェアまたはソフトウェアが検出されました。(IMM2 FW フェイルオーバー)
 このメッセージは、無効(サポートされないファームウェアル)フトウェア・バージョンが実装環境プレム

このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

806f052b2101ffff または 0x806f052b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

- はい
- 自動的にサポートに通知 いいえ
- アラート・カテゴリー
- クリティカル その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0446

ユーザー応答

- 1. サーバーが、起動に必要な最小構成を満たしていることを確認します(「パワー・サプラ イ LED」を参照)。
- 2. サーバーを再起動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。
- サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します(「ファームウェアの更新」を参照)。
 重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード
 更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを
 アップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされ
 ていることを確認してください。
- 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に1つずつ取り外し、そのたびに サーバーを再起動します。
- 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)システム・ボードを 交換します。
- 806f0607-0301ffff: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーが検出されました。(CPU 1)

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明されたユース・ケースに使用されます 806f06070301ffff または 0x806f06070301ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能

はい 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - CPU SNMP Trap ID 40 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0816 ユーザー応答

- 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します(マイクロプロセッ サーの要件については、「マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け」を参照)。
 サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します(「ファームウェアの更新」を参照)。
- 3. (トレーニングを受けた技術員のみ)互換性のないマイクロプロセッサーを交換します。
- 806f060d-0400ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 0) このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
 806f060d0400ffff または 0x806f060d0400ffff として表示される場合もあります。

```
    重大度
エラー
    保守可能
はい
    自動的にサポートに通知
はい
    アラート・カテゴリー
クリティカル - ハードディスク・ドライブ
    SNMP Trap ID
```

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. RAID アダプターを交換します。
- 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

 806f060d-0401ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ1) このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
 806f060d0401ffff または 0x806f060d0401ffff として表示される場合もあります。

```
重大度
エラー
保守可能
はい
自動的にサポートに通知
はい
アラート・カテゴリー
クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID
5
CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0176
```

- ユーザー応答
 - 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
 - 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 - 3. SAS ケーブルを交換します。
 - 4. RAID アダプターを交換します。
 - 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- 806f060d-0402ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 2) このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
 806f060d0402ffff または 0x806f060d0402ffff として表示される場合もあります。

```
重大度
エラー
保守可能
はい
自動的にサポートに通知
はい
アラート・カテゴリー
クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID
5
CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0176
```

ユーザー応答

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. RAID アダプターを交換します。
- 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

 806f060d-0403ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 3) このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
 806f060d0403ffff または 0x806f060d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0176 ユーザー応答 1 RAID アダプターのファームウェアおよ

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. RAID アダプターを交換します。
- 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

 806f060d-0404ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 4) このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
 806f060d0404ffff または 0x806f060d0404ffff として表示される場合もあります。

重**大度** エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. RAID アダプターを交換します。
- 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- 806f060d-0405ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 5) このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
 806f060d0405ffff または 0x806f060d0405ffff として表示される場合もあります。
 - 重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0176
 - ユーザー応答
 - 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
 - 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 - 3. SAS ケーブルを交換します。
 - 4. RAID アダプターを交換します。

5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

 806f060d-0406ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 6) このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
 806f060d0406ffff または 0x806f060d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. RAID アダプターを交換します。
- 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

 806f060d-0407ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ7) このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
 806f060d0407ffff または 0x806f060d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. RAID アダプターを交換します。
- 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- 806f060d-0410ffff:アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(Ext ドライブ) このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
 806f060d0410ffff または 0x806f060d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度

- エラー
- 保守可能
- はい
- 自動的にサポートに通知 はい
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最 新レベルのものであることを確認します。
- 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 3. SAS ケーブルを交換します。
- 4. RAID アダプターを交換します。
- 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- 806f070c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エ ラーです。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070c2001ffff または 0x806f070c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー SNMP Trap ID 41 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ ロジーであることを確認します。

 806f070c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エ ラーです。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070c2002ffff または 0x806f070c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - メモリー
- SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ ロジーであることを確認します。

 806f070c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エ ラーです。(DIMM 3) このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070c2003ffff または 0x806f070c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー SNMP Trap ID 41 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0126 ユーザー応答

DIMMが正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

 806f070c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エ ラーです。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070c2004ffff または 0x806f070c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー SNMP Trap ID 41 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0126 ユーザー応答 DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ ロジーであることを確認します。 806f070c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エ ラーです。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070c2581ffff または 0x806f070c2581ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー
 SNMP Trap ID 41
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0126
 ユーザー応答 DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ ロジーであることを確認します。1 つの DIMM:

 806f070d-0400ffff:システム [ComputerSystemElementName]のアレイで再構築が進行中です。(ド ライブ 0)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケー スに使用されます。

806f070d0400ffff または 0x806f070d0400ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。 806f070d-0401ffff:システム [ComputerSystemElementName]のアレイで再構築が進行中です。 (ドライブ 1)
 このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケー

このスツゼージは、実装環境でアレイの再ビルトが進行中であることが検出されたエース・ケースに使用されます。

806f070d0401ffff または 0x806f070d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0178

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 806f070d-0402ffff:システム [ComputerSystemElementName]のアレイで再構築が進行中です。(ド ライブ 2)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケー スに使用されます。

806f070d0402ffff または 0x806f070d0402ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID
 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 806f070d-0403ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ド ライブ 3)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0403ffff または 0x806f070d0403ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0178

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 806f070d-0404ffff:システム [ComputerSystemElementName]のアレイで再構築が進行中です。(ド ライブ 4)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケー スに使用されます。

806f070d0404ffff または 0x806f070d0404ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。 806f070d-0405ffff:システム [ComputerSystemElementName]のアレイで再構築が進行中です。(ド ライブ 5)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0405ffff または 0x806f070d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0178

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 806f070d-0406ffff:システム [ComputerSystemElementName]のアレイで再構築が進行中です。(ド ライブ 6)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケー スに使用されます。

806f070d0406ffff または 0x806f070d0406ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID
 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 806f070d-0407ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ド ライブ 7)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケー スに使用されます。

806f070d0407ffff または 0x806f070d0407ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0178

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 806f070d-0410ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(Ext ドライブ)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケー スに使用されます。

806f070d0410ffff または 0x806f070d0410ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。 806f072b-2101ffff:システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェアまたはファームウェアの 正常な変更が検出されました。(IMM プロモーション)

このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f072b2101ffff または 0x806f072b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0450

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。IMM リカバリー:

 806f072b-2201ffff:システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェアまたはファームウェアの 正常な変更が検出されました。(バックアップ自動更新)

このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

806f072b2201ffff または 0x806f072b2201ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0450

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。ROM リカバリー:

806f0807-0301ffff: [ProcessorElementName] が無効になりました。(CPU 1) このメッセージは、実装環境でプロセッサーが無効となったことが検出された場合に使用されます。 806f08070301ffff または 0x806f08070301ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0061

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

806f0813-2582ffff:システム [ComputerSystemElementName] で訂正不能なバス・エラーが発生しました。(PCI)
 このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。
 806f08132582ffff または 0x806f08132582ffff として表示される場合もあります。

重大度 エラー 保守可能 はい 自動的にサポートに通知 はい アラート・カテゴリー クリティカル - その他 SNMP Trap ID 50 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0240 ユーザー応答 1. システム・イベント・ログを確認します。

2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから 取り外します(「マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し」を参照)。

- サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
- 4. 2つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。
- 5. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。
- 806f0813-2584ffff:システム [ComputerSystemElementName] で訂正不能なバス・エラーが発生しました。(CPU)

このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。 806f08132584ffff または 0x806f08132584ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 はい
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0240

ユーザー応答

- 1. システム・イベント・ログを確認します。
- 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから 取り外します(「マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し」を参照)。
- サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
- 4. 2つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。
- 5. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボードを交換します。
- 806f0823-2101ffff: [WatchdogElementName] でウォッチドッグ・タイマーの割り込みが発生しました。(IPMI ウォッチドッグ)

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f08232101ffff または 0x806f08232101ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0376

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 806f090c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でス ロットルが発生しました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2001ffff または 0x806f090c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 はい
 自動的にサポートに通知
 いいえ

 アラート・カテゴリー
 システム - その他
 SNMP Trap ID
 22
 CIM 情報
 Prefix: PLAT ID: 0142
 ユーザー応答

- 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
- 2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- 806f090c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でス ロットルが発生しました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f090c2002ffff または 0x806f090c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告

 保守可能
 はい

 自動的にサポートに通知
 いいえ

 アラート・カテゴリー
 システム - その他

 SNMP Trap ID
 22

 CIM 情報
 Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

- 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
- 2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- 806f090c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でス ロットルが発生しました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2003ffff または 0x806f090c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度 警告
保守可能 はい
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー システム - その他
SNMP Trap ID 22
CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0142
ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。

2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2004ffff:サブシステム [MemoryElementName]の [PhysicalMemoryElementName]でスロットルが発生しました。(DIMM 4)
 このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2004ffff または 0x806f090c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 はい
 自動的にサポートに通知
 いいえ

 アラート・カテゴリー
 システム - その他
 SNMP Trap ID
 22
 CIM 情報
 Prefix: PLAT ID: 0142

 ユーザー応答

- 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
- 2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- 806f0a07-0301ffff: [ProcessorElementName] が機能低下状態で動作しています。(CPU 1)
 このメッセージは、プロセッサーが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a070301ffff または 0x806f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度
 警告
 保守可能
 はい

 自動的にサポートに通知
 いいえ
 アラート・カテゴリー
 警告 - CPU

 SNMP Trap ID
 42
 CIM 情報
 Prefix: PLAT ID: 0038

ユーザー応答

- 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと(サーバーの前部と後部)、エアー・ バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取 り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
- 2. 周辺温度を確認します。仕様内で運用する必要があります。
- 3. マイクロプロセッサーnのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
- 4. (トレーニングを受けた技術員のみ)マイクロプロセッサーnを交換します。(n=マイクロ プロセッサー番号)
- 806f0a0c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過 熱状態が検出されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2001ffff または 0x806f0a0c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

- 保守可能
 - はい
- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - 温度
- SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

- ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正し く取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉 じられていることを確認します。
- 2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
- 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
- 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- 806f0a0c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過 熱状態が検出されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2002ffff または 0x806f0a0c2002ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
 SNMP Trap ID 0
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0146
 ユーザー応答

- ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正し く取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉 じられていることを確認します。
- 2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
- 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
- 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- 806f0a0c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過 熱状態が検出されました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2003ffff または 0x806f0a0c2003ffff として表示される場合もあります。

 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
 SNMP Trap ID 0
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0146
 ユーザー応答

- 1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正し く取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉 じられていることを確認します。
- 2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
- 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
- 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- 806f0a0c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過 熱状態が検出されました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2004ffff または 0x806f0a0c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

- はい
- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

- 1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正し く取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉 じられていることを確認します。
- 2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
- 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
- 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- 81010002-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(CMOS バッテリー)

このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出され たユース・ケースに使用されます。

810100020701ffff または 0x810100020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知 **保守可能** いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ **アラート・カテゴリー** 警告 - 電圧 SNMP Trap ID 13 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0477 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

81010202-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(CMOS バッテリー)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810102020701ffff または 0x810102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。SysBrd 12V: SysBrd 3.3V: SysBrd 5V:

81010204-1d01ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(ファン1速度計)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出され たユース・ケースに使用されます。

810102041d01ffff または 0x810102041d01ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ファン障害
 SNMP Trap ID 11
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0481
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d02ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(ファン2速度計)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810102041d02ffff または 0x810102041d02ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ファン障害
 SNMP Trap ID 11
 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d03ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(ファン3速度計)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出され たユース・ケースに使用されます。

810102041d03ffff または 0x810102041d03ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー クリティカル - ファン障害
SNMP Trap ID 11
CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0481
ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。
81010204-1d04ffff:数値センサー [NumericSen]

81010204-1d04ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(ファン4速度計)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出され たユース・ケースに使用されます。

810102041d04ffff または 0x810102041d04ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ファン障害
 SNMP Trap ID 11
 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 81010701-0701ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周辺温度1温度計)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810107010701ffff または 0x810107010701ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー 警告 - 温度
 SNMP Trap ID 12
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0491
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0704ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCIE 温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810107010704ffff または 0x810107010704ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー 警告 - 温度
 SNMP Trap ID 12
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0491
 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0705ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(CPU VRM 温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810107010705ffff または 0x810107010705ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー 警告 - 温度
 SNMP Trap ID 12
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0491
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周辺温度2温度計)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810107012701ffff または 0x810107012701ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー 警告 - 温度
 SNMP Trap ID 12
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0491
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2d01ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810107012d01ffff または 0x810107012d01ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー 警告 - 温度
 SNMP Trap ID 12
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0491
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周辺温度1温度計)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109010701ffff または 0x810109010701ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
 SNMP Trap ID 0
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0495

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0704ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCIE 温度)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出され たユース・ケースに使用されます。

810109010704ffff または 0x810109010704ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
SNMP Trap ID 0
CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0495
ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0705ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(CPU VRM 温度)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109010705ffff または 0x810109010705ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
 SNMP Trap ID 0
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0495
 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2701ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周辺温度2温度計)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109012701ffff または 0x810109012701ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
 SNMP Trap ID 0
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0495
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109012d01ffff または 0x810109012d01ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
 SNMP Trap ID 0
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0495

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

81010902-0701ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(SysBrd 12V)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出され たユース・ケースに使用されます。

810109020701ffff または 0x810109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー クリティカル - 電圧
SNMP Trap ID 1
CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0495
ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :
81010b01-0701ffff : 数値センサー [NumericSensorElementName] がりた

81010b01-0701ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周辺温度1温度計)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b010701ffff または 0x81010b010701ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
 SNMP Trap ID 0
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0499
 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-0704ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCIE 温度)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出され たユース・ケースに使用されます。

81010b010704ffff または 0x81010b010704ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
 SNMP Trap ID 0
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0499
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-0705ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(CPU VRM 温度)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出され たユース・ケースに使用されます。

81010b010705ffff または 0x81010b010705ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
 SNMP Trap ID 0
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0499

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2701ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周辺温度2温度計)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出され たユース・ケースに使用されます。

81010b012701ffff または 0x81010b012701ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
SNMP Trap ID 0
CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0499
ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2d01ffff:数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b012d01ffff または 0x81010b012d01ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
 SNMP Trap ID 0
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0499
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 81030006-2101ffff:センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(署名検査の失敗) このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。
 810300062101ffff または 0x810300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0508

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 81030012-2301ffff:センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(OS リアルタイム・モジュール)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。 810300122301ffff または 0x810300122301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

81030021-0782ffff:センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(PCIe Dev LK ダウン)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。 810300210782ffff または 0x810300210782ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

8103010c-2581ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(純正以外の DIMM)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。 8103010c2581ffff または 0x8103010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 81030112-0601ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(SMM モード) このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。
 810301120601ffff または 0x810301120601ffff として表示される場合もあります。

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0509

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。SMM モニター:
- 81030121-0782ffff:センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(PCIe Dev LK ダウン)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。 810301210782ffff または 0x810301210782ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 8107010d-2582ffff:センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態への 遷移の解消を検出しました。(RAID ボリュームの状態)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実 装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

8107010d2582ffff または 0x8107010d2582ffff として表示される場合もあります。

自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー 警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0521

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 8107010f-2201ffff:センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。(GPT ステータス)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実 装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

8107010f2201ffff または 0x8107010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** 警告 - その他
- SNMP Trap ID

60

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2582ffff:センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態への遷移の解消を検出しました。(I/O リソース)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

8107010f2582ffff または 0x8107010f2582ffff として表示される場合もあります。

自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー 警告 - その他 SNMP Trap ID 60 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0521 ユーザー応答

- アクションは不要です。通知用のみです。
- 81070128-2e01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への 遷移の解消を検出しました。(ME リカバリー)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実 装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

810701282e01ffff または 0x810701282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー 警告 - その他

SNMP Trap ID 60

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0301ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(CPU 1 温度過熱)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが 検出されたユース・ケースに使用されます。

810702010301ffff または 0x810702010301ffff として表示される場合もあります。

自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0523

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 81070202-0701ffff:センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(SysBrd 電圧障害)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702020701ffff または 0x810702020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

• 81070204-0a01ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大では ない状態に遷移しました。(PS 1 ファン障害)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702040a01ffff または 0x810702040a01ffff として表示される場合もあります。

自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - ファン障害 SNMP Trap ID 11 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0523

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 81070204-0a02ffff:センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大では ない状態に遷移しました。(PS 2 ファン障害)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが 検出されたユース・ケースに使用されます。

810702040a02ffff または 0x810702040a02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

V • V • 7L

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a01ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(PS 1 温度障害)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが 検出されたユース・ケースに使用されます。

810702080a01ffff または 0x810702080a01ffff として表示される場合もあります。

自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - 電源 SNMP Trap ID 4 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0523 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a02ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(PS 2 温度障害)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが 検出されたユース・ケースに使用されます。

810702080a02ffff または 0x810702080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

• 8107020d-2582ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(RAID ボリュームの状態)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107020d2582ffff または 0x8107020d2582ffff として表示される場合もあります。

自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - その他 SNMP Trap ID 50 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0523

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 8107020f-2201ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない 状態に遷移しました。(TXT ACM モジュール)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが 検出されたユース・ケースに使用されます。

8107020f2201ffff または 0x8107020f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2582ffff:センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(I/O リソース)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが 検出されたユース・ケースに使用されます。

8107020f2582ffff または 0x8107020f2582ffff として表示される場合もあります。

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0523

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 81070214-2201ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない 状態に遷移しました。(TPM ロック)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが 検出されたユース・ケースに使用されます。

810702142201ffff または 0x810702142201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 81070219-0701ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない 状態に遷移しました。(SysBrd 障害)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702190701ffff または 0x810702190701ffff として表示される場合もあります。

自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - その他 SNMP Trap ID 50 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0523

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 81070228-2e01ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない 状態に遷移しました。(ME エラー)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが 検出されたユース・ケースに使用されます。

810702282e01ffff または 0x810702282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。ME フラッシュ・エラー:

81070301-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。(CPU 1 温度過熱)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810703010301ffff または 0x810703010301ffff として表示される場合もあります。

自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0525

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 8107030d-2582ffff:センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な 状態への遷移の解消を検出しました。(RAID ボリュームの状態)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8107030d2582ffff または 0x8107030d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

81070608-0a01ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。(PS1 12V OC 障害)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810706080a01ffff または 0x810706080a01ffff として表示される場合もあります。

自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - 電源 SNMP Trap ID 4 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0531 ユーザー応答 アクションは不要です。通

アクションは不要です。通知用のみです。PS1 12V OV 障害: PS1 12V UV 障害: PS1 12Vaux 障害:

81070608-0a02ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。(PS2 12V OC 障害)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

810706080a02ffff または 0x810706080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。PS2 12V OV 障害: PS2 12V UV 障害: PS2 12Vaux 障害:

• 81080025-3701ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。(サーマル・ボード) このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用され ます。

810800253701ffff または 0x810800253701ffff として表示される場合もあります。

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0536

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 81080125-3701ffff:デバイス [LogicalDeviceElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(サーマル・ボード)

このメッセージは、デバイスが取り外されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810801253701ffff または 0x810801253701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0537

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

• 816f0007-0301ffff: [ProcessorElementName] が IERR からリカバリーしました。(CPU 1) このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00070301ffff または 0x816f00070301ffff として表示される場合もあります。

自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - CPU SNMP Trap ID 40 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0043 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f0008-0a01ffff: [PowerSupplyElementName] がコンテナー [PhysicalPackageElementName] から取 り外されました。(パワー・サプライ 1)

このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00080a01ffff または 0x816f00080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0085

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f0008-0a02ffff: [PowerSupplyElementName] がコンテナー [PhysicalPackageElementName] から取 り外されました。(パワー・サプライ 2)

このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00080a02ffff または 0x816f00080a02ffff として表示される場合もあります。

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0085

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f0009-1301ffff: [PowerSupplyElementName] が電源オンになっています。(ホスト電源) このメッセージは、電源装置が有効にされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。
 816f00091301ffff または 0x816f00091301ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - 電源オン
 SNMP Trap ID 24
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0107
 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f000d-0400ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用 されます。

816f000d0400ffff または 0x816f000d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

- **アラート・カテゴリー** システム - その他
 - 2X) 4-201
- SNMP Trap ID 22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

- 1. ハードディスク・ドライブnを取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドラ イブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
- 2. ハードディスク・ドライブを交換します。
- 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新で あることを確認します。
- 4. SAS ケーブルを確認します。
- 816f000d-0401ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用 されます。

816f000d0401ffff または 0x816f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

- 1. ハードディスク・ドライブnを取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドラ イブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
- 2. ハードディスク・ドライブを交換します。
- 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新で あることを確認します。
- 4. SAS ケーブルを確認します。

 816f000d-0402ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0402ffff または 0x816f000d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー システム - その他
SNMP Trap ID 22
CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0163
ユーザー応答

- 1. ハードディスク・ドライブnを取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドラ イブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
- 2. ハードディスク・ドライブを交換します。
- 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新で あることを確認します。
- 4. SAS ケーブルを確認します。
- 816f000d-0403ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0403ffff または 0x816f000d0403ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

- 1. ハードディスク・ドライブnを取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドラ イブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
- 2. ハードディスク・ドライブを交換します。
- 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新で あることを確認します。
- 4. SAS ケーブルを確認します。
- 816f000d-0404ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0404ffff または 0x816f000d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

- 1. ハードディスク・ドライブnを取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドラ イブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
- 2. ハードディスク・ドライブを交換します。
- 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新で あることを確認します。
- 4. SAS ケーブルを確認します。
- 816f000d-0405ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用 されます。

816f000d0405ffff または 0x816f000d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** システム - その他

SNMP Trap ID

22

- CIM 情報
 - Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

- 1. ハードディスク・ドライブnを取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドラ イブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
- 2. ハードディスク・ドライブを交換します。
- 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新で あることを確認します。
- 4. SAS ケーブルを確認します。
- 816f000d-0406ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0406ffff または 0x816f000d0406ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

- 1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドラ イブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
- 2. ハードディスク・ドライブを交換します。
- 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新で あることを確認します。
- 4. SAS ケーブルを確認します。
- 816f000d-0407ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0407ffff または 0x816f000d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

- 保守可能
 - いいえ
- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** システム - その他
- SNMP Trap ID 22
- CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

- 1. ハードディスク・ドライブnを取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドラ イブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
- 2. ハードディスク・ドライブを交換します。
- 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新で あることを確認します。
- 4. SAS ケーブルを確認します。
- 816f000d-0410ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(Ext ドライブ)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0410ffff または 0x816f000d0410ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID 22
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0163
 ユーザー応答

- 1. ハードディスク・ドライブnを取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドラ イブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
- 2. ハードディスク・ドライブを交換します。
- 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新で あることを確認します。
- 4. SAS ケーブルを確認します。
- 816f000f-2201ffff:システム [ComputerSystemElementName] が POST エラーの解消を検出しました。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - その他
 SNMP Trap ID

19 1 rap 50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0185

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。ファームウェア・エラー:システム・ブート状況:

816f0013-1701ffff:システム [ComputerSystemElementName] が診断割り込みからリカバリーしました。(NMI 状態)

このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00131701ffff または 0x816f00131701ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - その他
 SNMP Trap ID 50
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0223
 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f0021-2201ffff:システム [ComputerSystemElementName]のスロット [PhysicalConnectorElementName]の障害状態が取り除かれました。(Op ROM スペース なし)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00212201ffff または 0x816f00212201ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - その他
 SNMP Trap ID 50
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0331
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f0021-2582ffff:システム [ComputerSystemElementName]のスロット [PhysicalConnectorElementName]の障害状態が取り除かれました。(すべての PCI エ ラー)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00212582ffff または 0x816f00212582ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー クリティカル - その他
SNMP Trap ID 50
CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0331
ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。1つの PCI エラー:

 816f0021-3001ffff:システム [ComputerSystemElementName]のスロット [PhysicalConnectorElementName]の障害状態が取り除かれました。(PCI 1)
 スのメット ごは ま状環境でスロットの障害状態が除まされたていが冷却された。

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケー スに使用されます。

816f00213001ffff または 0x816f00213001ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - その他
 SNMP Trap ID 50
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f0021-3002ffff:システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(PCI 2) このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケー スに使用されます。 816f00213002ffff または 0x816f00213002ffff として表示される場合もあります。 重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - その他 **SNMP** Trap ID 50 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0301ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が解消されました。(CPU 1)
 このメッセージは、プロセッサーの温度過熱状態が除去されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f01070301ffff または 0x816f01070301ffff として表示される場合もあります。

重知
 通知
 保守可能
 いいえ
 自動的にサポートに通知
 いいえ

 アラート・カテゴリー
 クリティカル - 温度

 SNMP Trap ID
 0

 CIM 情報
 Prefix: PLAT ID: 0037

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f0108-0a01ffff: [PowerSupplyElementName] が OK 状態に戻りました。(パワー・サプライ 1) このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出されたユー ス・ケースに使用されます。

816f01080a01ffff または 0x816f01080a01ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 電源
 SNMP Trap ID 4
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0087
 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f0108-0a02ffff: [PowerSupplyElementName] が OK 状態に戻りました。(パワー・サプライ 2) このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出されたユー ス・ケースに使用されます。

816f01080a02ffff または 0x816f01080a02ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 電源
 SNMP Trap ID 4
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0087
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f010c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において 訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2001ffff または 0x816f010c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID 41

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f010c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において 訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2002ffff または 0x816f010c2002ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー
 SNMP Trap ID 41
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f010c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において 訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2003ffff または 0x816f010c2003ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー
 SNMP Trap ID 41
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0139
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f010c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において 訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2004ffff または 0x816f010c2004ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー
 SNMP Trap ID 41
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f010c-2581ffff:サブシステム [MemoryElementName]の [PhysicalMemoryElementName] において 訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(すべての DIMM) このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケー スに使用されます。
 816f010c2581ffff または 0x816f010c2581ffff として表示される場合もあります。
 重大度

通知
 保守可能

 いいえ

 自動的にサポートに通知

 いいえ

 アラート・カテゴリー

 クリティカル - メモリー

 SNMP Trap ID

 41

 CIM 情報

 Prefix: PLAT ID: 0139

 ユーザー応答

 アクションは不要です。通知用のみです。1つの DIMM :

 816f010d-0400ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ0) このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
 816f010d0400ffff または 0x816f010d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0167 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f010d-0401ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ1) このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
 816f010d0401ffff または 0x816f010d0401ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID 5
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0167
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f010d-0402ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ2) このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
 816f010d0402ffff または 0x816f010d0402ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID 5
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0167
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。 816f010d-0403ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ3) このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
 816f010d0403ffff または 0x816f010d0403ffff として表示される場合もあります。

```
    重大度
通知
    保守可能
いいえ
    自動的にサポートに通知
いいえ
    アラート・カテゴリー
クリティカル - ハードディスク・ドライブ
    SNMP Trap ID
5
    CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0167
    ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。
```

 816f010d-0404ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ4) このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
 816f010d0404ffff または 0x816f010d0404ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル・ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID 5
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0167
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

• 816f010d-0405ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 5) このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。 816f010d0405ffff または 0x816f010d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル・ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0167 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f010d-0406ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 6) このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
 816f010d0406ffff または 0x816f010d0406ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID 5
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0167
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f010d-0407ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ7) このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
 816f010d0407ffff または 0x816f010d0407ffff として表示される場合もあります。 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID 5
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0167
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f010d-0410ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(Ext ドライブ) このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。
 816f010d0410ffff または 0x816f010d0410ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID 5
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f010f-2201ffff:システム [ComputerSystemElementName] がファームウェア・ハングからリ カバリーしました。(ファームウェア・エラー)
 このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされ たユース・ケースに使用されます。

816f010f2201ffff または 0x816f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - その他
 SNMP Trap ID 50
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0187
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1001ffff: [ManagedElementName] が存在していると検出されました。(PCI ライザー 1)
 このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f01251001ffff または 0x816f01251001ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0390

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

• 816f0207-0301ffff: [ProcessorElementName] が FRB1/BIST 状態からリカバリーしました。(CPU 1) このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で 検出されたユース・ケースに使用されます。

816f02070301ffff または 0x816f02070301ffff として表示される場合もあります。

 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - CPU
 SNMP Trap ID 40
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0045
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f020d-0400ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0400ffff または 0x816f020d0400ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - 障害予知
 SNMP Trap ID 27
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0169
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f020d-0401ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ1)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケー スに使用されます。

816f020d0401ffff または 0x816f020d0401ffff として表示される場合もあります。

 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - 障害予知
 SNMP Trap ID 27
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0169
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f020d-0402ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0402ffff または 0x816f020d0402ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - 障害予知
 SNMP Trap ID 27
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0169
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f020d-0403ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0403ffff または 0x816f020d0403ffff として表示される場合もあります。

保守可能 いいえ	
自動的にサポートに通知 いいえ	
アラート・カテゴリー システム - 障害予知	
SNMP Trap ID 27	
CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0169	
ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです	0

 816f020d-0404ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0404ffff または 0x816f020d0404ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - 障害予知
 SNMP Trap ID 27
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0169
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f020d-0405ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0405ffff または 0x816f020d0405ffff として表示される場合もあります。

 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - 障害予知
 SNMP Trap ID 27
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0169
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f020d-0406ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0406ffff または 0x816f020d0406ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - 障害予知
 SNMP Trap ID 27
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0169
 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f020d-0407ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケー スに使用されます。

816f020d0407ffff または 0x816f020d0407ffff として表示される場合もあります。

保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
アラート・カテゴリー システム - 障害予知
SNMP Trap ID 27
CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0169
ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f020d-0410ffff:ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(Ext ドライブ)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0410ffff または 0x816f020d0410ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - 障害予知
 SNMP Trap ID 27
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0169
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

• 816f0308-0a01ffff: [PowerSupplyElementName] が正常入力状態に戻りました。(パワー・サプライ 1) このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出されたユース・ケー スに使用されます。

816f03080a01ffff または 0x816f03080a01ffff として表示される場合もあります。

保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0099

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

• 816f0308-0a02ffff: [PowerSupplyElementName] が正常入力状態に戻りました。(パワー・サプライ 2) このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出されたユース・ケー スに使用されます。

816f03080a02ffff または 0x816f03080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0099

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f030c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における スクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2001ffff または 0x816f030c2001ffff として表示される場合もあります。

 816f030c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における スクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2002ffff または 0x816f030c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー SNMP Trap ID 41 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0137 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f030c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における スクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケー スに使用されます。

816f030c2003ffff または 0x816f030c2003ffff として表示される場合もあります。

 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー
 SNMP Trap ID 41
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0137
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f030c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における スクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2004ffff または 0x816f030c2004ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー
 SNMP Trap ID 41
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0137
 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f030c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における スクラブ障害がリカバリーされました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2581ffff または 0x816f030c2581ffff として表示される場合もあります。

 816f030d-0400ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ド ライブ 0)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。 816f030d0400ffff または 0x816f030d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0401ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ドライブ1)
 このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。
 816f030d0401ffff または 0x816f030d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度通知保守可能

いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他 SNMP Trap ID CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f030d-0402ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ド ライブ 2)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。 816f030d0402ffff または 0x816f030d0402ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f030d-0403ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ド ライブ 3)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。 816f030d0403ffff または 0x816f030d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0171

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 816f030d-0404ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ド ライブ 4)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。 816f030d0404ffff または 0x816f030d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知

- **保守可能** いいえ
- 自動的にサポートに通知 いいえ
- **アラート・カテゴリー** システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f030d-0405ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ド ライブ 5)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。 816f030d0405ffff または 0x816f030d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f030d-0406ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ド ライブ 6)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。 816f030d0406ffff または 0x816f030d0406ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f030d-0407ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ド ライブ 7)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。 816f030d0407ffff または 0x816f030d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f030d-0410ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(Ext ドライブ)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。 816f030d0410ffff または 0x816f030d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f0313-1701ffff:システム [ComputerSystemElementName] が NMI からリカバリーしました。 (NMI 状態)

このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f03131701ffff または 0x816f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0230

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f040c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有 効になりました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2001ffff または 0x816f040c2001ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0130

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 816f040c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有 効になりました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2002ffff または 0x816f040c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f040c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有 効になりました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2003ffff または 0x816f040c2003ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID
 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f040c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有 効になりました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2004ffff または 0x816f040c2004ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f040c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有 効になりました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2581ffff または 0x816f040c2581ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM:

816f0413-2582ffff:システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR リカバリーが発生しました。(PCI)

このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f04132582ffff または 0x816f04132582ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - その他

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0233

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

• 816f0507-0301ffff: [ProcessorElementName] が構成不一致からリカバリーしました。(CPU 1) このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされたユース・ケー スに使用されます。

816f05070301ffff または 0x816f05070301ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - CPU
 SNMP Trap ID 40
 CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0063

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f050c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモ リー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2001ffff または 0x816f050c2001ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー 警告 - メモリー

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f050c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモ リー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2002ffff または 0x816f050c2002ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー 警告 - メモリー
 SNMP Trap ID 43
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0145
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f050c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモ リー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2003ffff または 0x816f050c2003ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー 警告 - メモリー

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f050c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモ リー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2004ffff または 0x816f050c2004ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー 警告 - メモリー
 SNMP Trap ID 43
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0145
 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f050c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモ リー・ロギング限度が取り除かれました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2581ffff または 0x816f050c2581ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー 警告 - メモリー

43

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つの DIMM:

 816f050d-0400ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検 出されました。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0400ffff または 0x816f050d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル・ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0175 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f050d-0401ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検 出されました。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0401ffff または 0x816f050d0401ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f050d-0402ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検 出されました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0402ffff または 0x816f050d0402ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID 5
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0175
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f050d-0403ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検 出されました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0403ffff または 0x816f050d0403ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f050d-0404ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検 出されました。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0404ffff または 0x816f050d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル・ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0175 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f050d-0405ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検 出されました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0405ffff または 0x816f050d0405ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ
SNMP Trap ID 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f050d-0406ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検 出されました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0406ffff または 0x816f050d0406ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID 5
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0175
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f050d-0407ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検 出されました。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0407ffff または 0x816f050d0407ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f050d-0410ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消 が検出されました。(Ext ドライブ)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0410ffff または 0x816f050d0410ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID 5
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0175
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

816f0513-2582ffff:システム [ComputerSystemElementName] で PCI SERR の解消が検出されました。(PCI)

このメッセージは、PCI SERR の解消が実装環境で検出された場合に使用されます。

816f05132582ffff または 0x816f05132582ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - その他 SNMP Trap ID 50 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0235 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

• 816f0607-0301ffff: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出 されました。(CPU 1)

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除されたユース・ケースに使用 されます。

816f06070301ffff または 0x816f06070301ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - CPU
 SNMP Trap ID 40
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0817
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

• 816f060d-0400ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 0) このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f060d0400ffff または 0x816f060d0400ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0177 ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f060d-0401ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ1) このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f060d0401ffff または 0x816f060d0401ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID 5
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0177
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f060d-0402ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ2) このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f060d0402ffff または 0x816f060d0402ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0177

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 816f060d-0403ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ3) このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f060d0403ffff または 0x816f060d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f060d-0404ffff:システム [ComputerSystemElementName]のアレイが復元されました。(ドライブ 4) このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f060d0404ffff または 0x816f060d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

• 816f060d-0405ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ5) このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f060d0405ffff または 0x816f060d0405ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID 5
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0177
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f060d-0406ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ6) このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f060d0406ffff または 0x816f060d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ SNMP Trap ID 5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f060d-0407ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ7) このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f060d0407ffff または 0x816f060d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID 5

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f060d-0410ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(Ext ドライブ)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f060d0410ffff または 0x816f060d0410ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - ハードディスク・ドライブ
 SNMP Trap ID 5
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070c2001ffff または 0x816f070c2001ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー
 SNMP Trap ID 41
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070c2002ffff または 0x816f070c2002ffff として表示される場合もあります。

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070c2003ffff または 0x816f070c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID 41

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070c2004ffff または 0x816f070c2004ffff として表示される場合もあります。

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f070c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エ ラーの解消が検出されました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070c2581ffff または 0x816f070c2581ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - メモリー
 SNMP Trap ID 41
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0127
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。1つの DIMM :

 816f070d-0400ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ド ライブ 0)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0400ffff または 0x816f070d0400ffff として表示される場合もあります。

Prefix: PLAT ID: 0179

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 816f070d-0401ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。 (ドライブ 1)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f070d0401ffff または 0x816f070d0401ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f070d-0402ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ド ライブ 2)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f070d0402ffff または 0x816f070d0402ffff として表示される場合もあります。

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f070d-0403ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ド ライブ 3)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0403ffff または 0x816f070d0403ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f070d-0404ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ド ライブ 4)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f070d0404ffff または 0x816f070d0404ffff として表示される場合もあります。

Prefix: PLAT ID: 0179

- **ユーザー応答** アクションは不要です。通知用のみです。
- 816f070d-0405ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ド ライブ 5)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f070d0405ffff または 0x816f070d0405ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f070d-0406ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ド ライブ 6)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f070d0406ffff または 0x816f070d0406ffff として表示される場合もあります。

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f070d-0407ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ド ライブ 7)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0407ffff または 0x816f070d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f070d-0410ffff:システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(Ext ドライブ)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに 使用されます。

816f070d0410ffff または 0x816f070d0410ffff として表示される場合もあります。

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

• 816f0807-0301ffff: [ProcessorElementName] が有効になりました。(CPU 1)

このメッセージは、実装環境でプロセッサーが有効となったことが検出された場合に使用されます。 816f08070301ffff または 0x816f08070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0060

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2582ffff:システム [ComputerSystemElementName] が訂正不能なバス・エラーからリカバリーしました。(PCI)

このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出され たユース・ケースに使用されます。

816f08132582ffff または 0x816f08132582ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - その他
 SNMP Trap ID 50
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0241

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

• 816f0813-2584ffff: システム [ComputerSystemElementName] が訂正不能なバス・エラーからリカバ リーしました。(CPU)

このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出され たユース・ケースに使用されます。

816f08132584ffff または 0x816f08132584ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

アラート・カテゴリー クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0241

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f090c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でス ロットルが発生しなくなりました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2001ffff または 0x816f090c2001ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他

SNMP Trap ID

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f090c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でス ロットルが発生しなくなりました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2002ffff または 0x816f090c2002ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f090c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でス ロットルが発生しなくなりました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2003ffff または 0x816f090c2003ffff として表示される場合もあります。

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f090c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でス ロットルが発生しなくなりました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2004ffff または 0x816f090c2004ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー システム - その他
 SNMP Trap ID

CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0301ffff: プロセッサー [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。(CPU 1)

このメッセージは、プロセッサーがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出され たユース・ケースに使用されます。

816f0a070301ffff または 0x816f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度 通知 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ アラート・カテゴリー 警告 - CPU SNMP Trap ID 42

Prefix: PLAT ID: 0039

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f0a0c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過 熱状態が解消されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2001ffff または 0x816f0a0c2001ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
 SNMP Trap ID 0
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0147
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f0a0c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過 熱状態が解消されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2002ffff または 0x816f0a0c2002ffff として表示される場合もあります。

Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

 816f0a0c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過 熱状態が解消されました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2003ffff または 0x816f0a0c2003ffff として表示される場合もあります。

 重大度 通知
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 アラート・カテゴリー クリティカル - 温度
 SNMP Trap ID 0
 CIM 情報 Prefix: PLAT ID: 0147
 ユーザー応答 アクションは不要です。通知用のみです。

 816f0a0c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過 熱状態が解消されました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2004ffff または 0x816f0a0c2004ffff として表示される場合もあります。

Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

付録 B UEFI (POST) エラー・コード

このセクションでは、UEFI (POST) エラー・コードについて詳しく説明します。

UEFI (POST) 診断エラー・コードは、サーバーの起動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI (POST) コードは、サーバー内の IMM2.1 イベント・ログに記録されます。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントを一意的に識別する ID。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。

説明

イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度

状態の懸念度が示されます。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下 の重大度が表示されます。

表法	30. I	ベン	トの	重大	度レ	ベル
----	-------	----	----	----	----	----

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユー ザー操作あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を 修正することが推奨されます。追加の監視や保守が必要な場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害また はクリティカルな状態を示します。

ユーザー応答

イベントを解決するためにとるべき処置を示します。

問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。このフィールドに説明 されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問 い合わせください。

以下に、UEFI (POST) エラー・コードおよび検出された問題を修正するための推奨操作をリストします。

UEFI イベントのリスト

このセクションでは、UEFIから送信されるすべてのメッセージをリストしています。

• I.2018002 [I.2018002]

説明: リソース制約のために、バス%、デバイス%、機能%で検出されたデバイスを構成できませんでした。デバイスのベンダー ID は%で、デバイス ID は%です。OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、または アップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブ ルを取り付け直します。
- IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダ プター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを 更新するために、UEFI F1 セットアップ、Lenovo XClarity Essentials OneCLI、またはアダプ ター製造元のユーティリティーを使用して、未使用のオプション ROM を無効にする必要 がある場合があります。
- 3. アダプターを別のスロットに移動します。スロットが利用不能であるか、エラーが再発する場合は、アダプターを交換します。
- 4. アダプターを別のスロットに移動させてエラーが再発生しなかった場合は、この問題がシステムの制限事項ではないことを確認します。次にシステム・ボードを交換します。また、これが初回のインストールではなく、アダプターの交換後もエラーが解決しない場合も、システム・ボードを交換します。
- I.2018003 [I.2018003]

説明: バス%、デバイス%、機能%でデバイスの不正なオプションの ROM チェックサムが検出されました。デバイスのベンダー ID は%で、デバイス ID は%です。ROM チェックサム・エラー

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、または アップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブ ルを取り付け直します。
- 2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します(使用可能な場合)。
- 3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダ プター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアをアッ プグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティー・ソフト ウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、F1 セットアップ -> 「シ ステム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」、または Lenovo XClarity Essentials OneCLI ユーティリティーを使用して構成できます。
- 4. アダプターを交換します。
- I.3818001 [I.3818001]

説明: 現在ブートされているフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効で す。現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。プライマリー UEFI イメージを更新します。
- 2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。

3. エラーが解決しない場合、またはブートが失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

• I.3818002 [I.3818002]

説明: ブートされていないフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効で す。対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. バックアップ UEFI イメージを更新します。
- 2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
- 3. エラーが解決しない場合、またはブートが失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

• I.3818003 [I.3818003]

説明: CRTM フラッシュ・ドライバーは、セキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。 CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. システムが正常にブートしない場合は、システムのDCサイクルを実行します。
- システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを更新し、バンクをプライマ リーにリセットします (必要な場合)。システムがエラーなくブートする場合は、リカバリー は完了です。追加アクションは不要です。
- 3. システムがブートに失敗する場合、またはファームウェア更新が失敗する場合は、システ ム・ボードを交換します。
- I.580A4 [I.580A4]

説明:メモリー装着の変化が検出されました。DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. システムで DIMM の追加または取り外しを行い、追加のエラーが検出されなかった場合 は、このメッセージを無視してください。
- 2. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を 交換します。

• S.2018001 [S.2018001]

説明: 訂正不能 PCIe エラーがバス % デバイス % 機能 % で発生しました。デバイスのベンダー ID は % で、デバイス ID は % です。PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- このコンピューター・ノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合: a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。b.デバイス・ドライバーを再ロードします。c.デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2の設定は、F1 セットアップ->「システム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」、または Lenovo XClarity Essentials OneCLI ユーティリティーを使用して構成できます。
- 2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更 新、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバーをロードし、 必要なファームウェア更新をすべてインストールします。
- 3. 問題が続く場合は、アダプターを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリ ブートする場合は、アダプターを交換します。
- 4. プロセッサーを交換します。
- S.3020007 [S.3020007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファーム ウェア更新がないかを確認します。
- 2. UEFIイメージを更新します。
- 3. システム・ボードを交換します。

• S.3028002 [S.3028002]

説明: ブート許可のタイムアウトが検出されました。ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. CMM/IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。

2. システムを取り付け直します。

3. 問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

• S.3030007 [S.3030007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファーム ウェア更新がないかを確認します。
 - 2. UEFI イメージを更新します。
 - 3. システム・ボードを交換します。
- S.3040007 [S.3040007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファーム ウェア更新がないかを確認します。
- 2. UEFIイメージを更新します。
- 3. システム・ボードを交換します。
- S.3050007 [S.3050007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. IBM サポート サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファーム ウェア更新がないかを確認します。
- 2. UEFI イメージを更新します。
- 3. システム・ボードを交換します。
- S.3060007 [S.3060007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファーム ウェア更新がないかを確認します。
- 2. UEFI イメージを更新します。
- 3. システム・ボードを交換します。
- S.3070007 [S.3070007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファーム ウェア更新がないかを確認します。
- 2. UEFI イメージを更新します。
- 3. システム・ボードを交換します。
- S.3108007 [S.3108007]

説明: デフォルトのシステム設定が復元されました。システム構成がデフォルトに復元されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファーム ウェア更新がないかを確認します。

• S.3818004 [S.3818004]

説明: CRTM フラッシュ・ドライバーがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。障害が 発生しました。CRTM 更新が失敗しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

- 次の手順を実行してください。
 - 1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリ セットします。

- 2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー・アクションは必要 ありません。
- 3. エラーが解決しない場合は、システムのブートおよび UEFI イメージの更新を続行します。
- 4. システム・ボードを交換します。
- S.3818007 [S.3818007]

説明: 両方のフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセルを検査できませんでした。 CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
- システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを更新し、バンクをプライマ リーにリセットします(必要な場合)。システムがエラーなくブートする場合は、リカバリー は完了です。追加アクションは不要です。
- 3. システムがブートに失敗する場合、またはファームウェア更新が失敗する場合は、システム・ボードを交換します。
- S.51003 [S.51003]

説明: 訂正不能メモリー・エラーがランク%の DIMM スロット% で検出されました。[S.51003] プロ セッサー%チャネル%で、訂正不能なメモリー・エラーが検出されました。チャネル内の障害の ある DIMM を判別できませんでした。[S.51003] 訂正不能なメモリー・エラーが検出されました。 致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- この計算ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上のDIMMコネクターに異 物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された 場合は、その状態を修正し、同じDIMMを使用して再試行します。(注:イベント・ログに は、この問題に関連している可能性があるDIMM装着の変更が検出されたことを示す最近 の00580A4イベントが記録されている場合があります。)
- 2. DIMM コネクター上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、light path あるいはイベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
- 3. 同じ DIMM コネクターで問題が再発生した場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を交換します。
- 4. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin または ファームウェア更新がないかを確認します。
- 5. 同じ DIMM コネクターで問題が再発生した場合は、コネクターに損傷がないか調べます。損 傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
- 6. エラーが生じたプロセッサーを交換します。
- 7. システム・ボードを交換します。

• S.51006 [S.51006]

説明:メモリーの不一致が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性がありま す。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいはアクションに よって無効になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
- 2. DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
- 3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを無効にします。この処置によってミスマッ チがなくなる場合には、IBM サポート・サイトにこの問題に関連する情報がないか確認し てください。
- 4. UEFIファームウェアを更新します。
- 5. DIMM を交換します。
- 6. プロセッサーを交換します。
- S.51009 [S.51009]

説明:システム・メモリーが検出されませんでした。メモリーが検出されませんでした。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. これ以外にログに記録されているメモリー・エラーがある場合は、それらのコードで示されているアクションを最初に実行してください。
- 2. 他のメモリー診断コードがログに表示されていない場合は、Setup Utility または Lenovo XClarity Essentials OneCLI ユーティリティーを使用して、すべての DIMM コネクターが有効になって いることを確認します。
- 3. 問題が解決しない場合は、ノードをシャットダウンしてシャーシから取り外し、1 つ以上の DIMM が取り付けられていること、およびすべての DIMM が正しい装着順序で取り付けられ ていることを物理的に確認してください。
- 4. DIMM が存在しており、適切に取り付けられている場合は、点灯している DIMM コネクター LED がないかを確認し、ある場合は、その DIMM を取り付け直します。
- 5. ノードをシャーシに再取り付けして電源をオンにし、ログでメモリー診断コードを確認 します。
- 6. 問題が解決しない場合は、プロセッサーを交換してください。
- 7. 問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。
- S.58008 [S.58008]

説明: DIMM が POST メモリー・テストに失敗しました。DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. システムのACサイクルを実行して、対象のDIMMコネクターを再度有効にするか、あるいは Setup Utility を使用して、手動で対象のDIMMコネクターを再度有効にします。
- 2. この計算ノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物が入っていないことを確 認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して 再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着 の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
- 3. 問題が解決しない場合は、light path あるいはイベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
- 4. 同じ DIMM コネクターで問題が繰り返す場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を 一度に1つずつ異なるメモリー・チャネルまたはプロセッサーに入れ替えます。異なるメモ リー・チャネルに移動した DIMM で問題が続く場合は、その DIMM を交換します。
- 5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin または ファームウェア更新がないかを確認します。
- 6. 元の DIMM コネクターで問題が解決しない場合は、DIMM コネクターに異物がないかを再 検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ ボードを交換します。
- エラーが生じたプロセッサーを取り外し、そのプロセッサーのソケット・ピンに損傷したピン や位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレー ド・プロセッサーの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサーがある場 合は、それらのプロセッサーをスワップし、対象のプロセッサーを別のプロセッサー・ソケッ トに移動して再試行します。問題が対象のプロセッサーに付随する場合(あるいは、プロセッ サーが1つしかない場合)は、対象のプロセッサーを交換します。
- 8. システム・ボードを交換します。

• S.68005 [S.68005]

説明: バス % で IIO コア・ロジックによってエラーが検出されました。グローバルな致命的エラー・ス テータス・レジスターには % が含まれています。グローバルな非致命的エラー・ステータス・レジス ターには % が含まれています。その他のダウンストリーム・デバイス・エラーのデータがないか、 エラー・ログを調べてください。クリティカル IOH-PCI エラー

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決 します。
- 2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
- 3. システム・ボードを交換します。
- W.11004 [W.11004]

説明: システム内のプロセッサーが BIST に失敗しました。プロセッサー自己診断テストの失敗 が検出されました。 重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- プロセッサーまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
- 複数のプロセッサーがある場合は、プロセッサーを交換し、影響を受けているプロセッサーを 別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサー に付随する場合、あるいは、これが単一プロセッサーのシステムである場合は、そのプロ セッサーを交換します。プロセッサーを取り外すたびに、プロセッサー・ソケットを検査 し、プロセッサー・ソケットが損傷している場合や位置がずれているピンが見つかった場合 は、まずシステム・ボードを交換します。
- 3. システム・ボードを交換します。
- W.3818005 [W.3818005]

説明: CRTM フラッシュ・ドライバーがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。更新が 異常終了しました。CRTM 更新が異常終了しました。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリ セットします。
- 2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー・アクションは必要 ありません。
- 3. イベントが解決しない場合は、システムのブートおよび UEFI イメージの更新を続行します。
- 4. システム・ボードを交換します。

• W.381800D [W.381800D]

説明: TPM 物理プレゼンスが検出された状態です。

重大度

警告

- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とするすべての管理用タ スクを実行します。
 - 2. 物理プレゼンス・スイッチを「オフ」位置に復元して、システムをリブートします。
 - 3. システム・ボードを交換します。

• W.50001 [W.50001]

説明: POST 時にエラーが検出されたため、DIMM が無効になりました。DIMM が無効です。

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. メモリー障害によって DIMM が無効にされている場合は、そのイベントに対する手順に従 います。
- 2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していな い場合は、Setup Utility または Lenovo XClarity Essentials OneCLI ユーティリティーを使用し て DIMM を再度有効にします。
- 3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールから計算ノードの電源サイクルを実行します。
- 4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
- 5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
- 6. IMM および UEFI ファームウェアを更新します。
- 7. システム・ボードを交換します。

• W.58001 [W.58001]

説明: PFA しきい値限界 (訂正可能エラー・ロギング限界) を、アドレス % の DIMM 番号 % で超えました。MC5 Status に % が含まれ、MC5 Misc に % が含まれます。DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- この計算ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上のDIMMコネクターに異 物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された 場合は、その状態を修正し、同じDIMMを使用して再試行します。(注:イベント・ログに は、この問題に関連している可能性があるDIMM装着の変更が検出されたことを示す最近 の00580A4イベントが記録されている場合があります。)
- 2. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新 がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリ ストされています。
- 3. 上記のステップで問題が解決されない場合は、次に保守を行う機会に対象の DIMM (light path や障害ログ項目で示されたもの)を交換します。
- 同じ DIMM コネクターで PFA が再発生した場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を、別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに一度に1つずつスワップします。PFA が別のメモリー・チャネルの DIMM コネクターに移動した DIMM に付随する場合は、その 移動した DIMM を交換します。
- 5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin がないか を確認します。(IBM サポート の Service Bulletin へのリンク)
- 同じ DIMM コネクターで問題が継続的に再発する場合は、DIMM コネクターに異物がない かを検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システ ム・ボードを交換します。
- エラーが生じたプロセッサーを取り外し、そのプロセッサーのソケット・ピンに損傷したピン や位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、あるいはプロセッサー がアップグレード部品である場合は、システム・ボードを交換します。
- 8. 対象のプロセッサーを交換します。

9. システム・ボードを交換します。

• W.68002 [W.68002]

説明: CMOS バッテリー・エラーが検出されました。CMOS バッテリー障害。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
- 2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファーム ウェア更新がないかを確認します。
- 3. CMOS バッテリーを交換します。
- 4. システム・ボードを交換します。

付録 C DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Broadcom ネットワーク・テストのテスト結果

DSA Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

 405-000-000: BRCM:TestControlRegistersのテストに合格しました テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

イベント

- **保守可能** いいえ
- 自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-001-000: BRCM:TestMIIRegisters のテストに合格しました
 テストに合格しました。
 - リカバリー可能 いいえ
 重大度 イベント
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

 Lenovo サポート Web サイト
 最新レベルの DSA
 最新レベルの BMC/IMM

• 405-002-000 : BRCM:TestEEPROM のテストに合格しました テストに合格しました。

```
リカバリー可能
いいえ
重大度
イベント
保守可能
いいえ
自動的にサポートに通知
いいえ
関連リンク
Lenovo サポート Web サイト
最新レベルの DSA
最新レベルの BMC/IMM
```

• **405-003-000**: BRCM:TestInternalMemory のテストに合格しました テストに合格しました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 イベント
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-004-000: BRCM:TestInterrupt のテストに合格しました
 テストに合格しました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 イベント
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知

いいえ
関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-005-000 : BRCM:TestLoopbackMAC のテストに合格しました

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-006-000: BRCM:TestLoopbackPhysical のテストに合格しました
 テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-007-000: BRCM:TestLEDs のテストに合格しました テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

イベント 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ 関連リンク - Lenovo サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

• 405-800-000: BRCM:TestControlRegisters のテストが異常終了しました 制御レジスター・テストは取り消されました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

 Lenovo サポート Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-801-000: BRCM:TestMIIRegisters のテストが異常終了しました MII レジスター・テストは取り消されました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

 Lenovo サポート Web サイト
 最新レベルの DSA
 最新レベルの BMC/IMM

405-802-000: BRCM:TestEEPROM のテストが異常終了しました

EEPROM テストは取り消されました。

リカバリー可能 いいえ
重大度 警告
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-803-000: BRCM:TestInternalMemory のテストが異常終了しました 内部メモリー・テストは取り消されました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-804-000: BRCM:TestInterrupt テストが異常終了しました 割り込みテストは取り消されました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-805-000: BRCM:TestLoopbackMAC のテストが異常終了しました MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

 Lenovo サポート Web サイト
 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-806-000: BRCM:TestLoopbackPhysical のテストが異常終了しました 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 警告

保守可能 いいえ

1111

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-807-000: BRCM:TestLEDs のテストが異常終了しました ステータス LED の確認は取り消されました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 警告 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-900-000: BRCM:TestControlRegisters のテストが失敗しました
 内部 MAC レジスターのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
 - 2. テストを再実行します。
 - 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-901-000: BRCM:TestMIIRegistersのテストが失敗しました

内部 PHY レジスターのテスト中に障害が検出されました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 2. テストを再実行します。
- 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-902-000 : BRCM:TestEEPROM のテストが失敗しました

不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 2. テストを再実行します。
- 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-903-000: BRCM:TestInternalMemory のテストが失敗しました 内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 エラー 保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
 - 2. テストを再実行します。
 - 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-904-000 : BRCM:TestInterrupt のテストが失敗しました

割り込みのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
 - 2. テストを再実行します。
 - 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-905-000 : BRCM:TestLoopbackMAC のテストが失敗しました

BRCM:TestLoopbackMAC のテストが失敗しました。

リカバリー可能

- いいえ
- 重大度

エラー

保守可能 はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 2. テストを再実行します。
- 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 405-906-000: BRCM:TestLoopbackPhysical のテストが失敗しました

物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 2. テストを再実行します。
- 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-907-000 : BRCM:TestLEDs のテストが失敗しました

状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 2. テストを再実行します。
- 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Brocade テストのテスト結果

DSA Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

• 218-000-000 : Brocade:MemoryTest に合格しました

テストに合格しました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 イベント
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-001-000: Brocade:ExternalLoopbackTest に合格しました

テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-002-000: Brocade:SerdesLoopbackTest に合格しました テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-003-000 : Brocade:PCILoopbackTest に合格しました

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度 イベント 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ 関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-004-000 : Brocade:ExternalEthLoopbackTest に合格しました

テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

イベント

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-005-000 : Brocade:SerdesEthLoopbackTest に合格しました

テストに合格しました。

```
    リカバリー可能
いいえ
    重大度
イベント
    保守可能
いいえ
    自動的にサポートに通知
いいえ
    関連リンク
    Lenovo サポート W
```

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

 218-006-000: Brocade:InternalLoopbackTest に合格しました テストに合格しました。

```
リカバリー可能
    いいえ
 重大度
    イベント
 保守可能
    いいえ
 自動的にサポートに通知
    いいえ
 関連リンク
    - Lenovo \forall \pi - h Web \forall f h
    - 最新レベルの DSA
    - 最新レベルの BMC/IMM
• 218-800-000: Brocade:MemoryTest が異常終了しました
 テストは取り消されました。
 リカバリー可能
    いいえ
 重大度
    警告
 保守可能
    いいえ
 自動的にサポートに通知
    いいえ
 関連リンク
    - Lenovo サポート Web サイト
```

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-801-000: Brocade:ExternalLoopbackTest が異常終了しました テストは取り消されました。

```
    リカバリー可能
いいえ
    重大度
警告
    保守可能
いいえ
    自動的にサポートに通知
いいえ
    関連リンク
```

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-802-000: Brocade:SerdesLoopbackTest が異常終了しました テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度 警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- - Lenovo サポート Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
- 218-803-000: Brocade:PCILoopbackTest が異常終了しました

テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-804-000: Brocade:ExternalEthLoopbackTest が異常終了しました テストは取り消されました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 警告 保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-805-000: Brocade:SerdesEthLoopbackTest が異常終了しました テストは取り消されました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク
 Lenovo サポート Web サイト
 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-806-000: Brocade:InternalLoopbackTest が異常終了しました テストは取り消されました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

 Lenovo サポート Web サイト
 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-900-000: Brocade:MemoryTest が失敗しました
 アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

- はい
- 自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. テストを再実行します。
- 2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
- 3. テストを再実行します。
- 4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-901-000: Brocade:ExternalLoopbackTest が失敗しました

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. ケーブルの接続を確認します。
- 2. テストを再実行します。
- 3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
- 4. テストを再実行します。
- 5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- 218-902-000: Brocade:SerdesLoopbackTest が失敗しました ループバック・テスト中に障害が検出されました。
 - リカバリー可能 いいえ
 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 ユーザー応答 次の手順を実行してください。
 1. テストを再実行します。
 - 2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
 - 3. テストを再実行します。
 - 4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-903-000: Brocade:PCILoopbackTest が失敗しました

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. テストを再実行します。
- 2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
- 3. テストを再実行します。
- 4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 218-904-000 : Brocade:ExternalEthLoopbackTest が失敗しました

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
- 2. テストを再実行します。
- 3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
- 4. テストを再実行します。
- 5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-905-000 : Brocade:SerdesEthLoopbackTest が失敗しました

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. テストを再実行します。
- 2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
- 3. テストを再実行します。
- 4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 218-906-000: Brocade:InternalLoopbackTest が失敗しました

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. テストを再実行します。
- 2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
- 3. テストを再実行します。
- 4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA チェックポイント・パネル・テストのテスト結果

DSA チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

180-000-000: チェックポイント・パネル・テストに合格しました
 チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重**大度** イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 180-801-000: チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました

チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMCは、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
- 2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
- 3. テストを再実行します。
- 4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 180-901-000: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました

チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという 報告がありました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていない か、またケーブルに損傷がないか確認します。
- 2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
- 3. テストを再実行します。
- 4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
- 5. テストを再実行します。
- 6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPUストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA CPU ストレス・テストのテスト結果

DSA CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

• 089-000-000: CPU ストレス・テストに合格しました

CPUストレス・テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- 関連リンク
 - Lenovo サポート Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM

• 089-801-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、再起動してください。
- 2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
- 3. テストを再実行します。
- システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レ ベルのファームウェアは、IBM サポート Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検 索できます。
- 5. テストを再実行します。
- 6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テスト を再実行してください。
- 7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 089-802-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPUストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、再起動してください。
- 2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
- 3. テストを再実行します。

- システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 5. テストを再実行します。
- 6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テスト を再実行してください。
- 7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 089-803-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも1GB は必要です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

- 関連リンク
 - Lenovo サポート Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM

• 089-804-000: CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 089-901-000 : CPU ストレス・テストが失敗しました CPU ストレス・テストが失敗しました。
 - リカバリー可能
 - いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テストを再実行してください。
- 2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
- 3. テストを再実行します。
- システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 5. テストを再実行します。
- 6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テスト を再実行してください。
- 7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Emulex アダプター・テストのテスト結果

DSA Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

• 516-000-000: ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest にパスしました テストに合格しました。 リカバリー可能 いいえ
重大度 イベント
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
関連リンク

Lenovo サポート Web サイト
最新レベルの DSA
最新レベルの BMC/IMM

 516-001-000: ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest にパスしました テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度 イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 516-002-000: ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test にパスしました テストに合格しました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 イベント
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

リカバリー可能

 516-800-000: ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest が異常終了しました MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

いいえ 重大度 警告 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ 関連リンク - Lenovo サポート Web サイト - 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM
- 516-801-000: ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest が異常終了しました 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 516-802-000: ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test が異常終了しました ステータス LED の確認は取り消されました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 警告 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 516-900-000: ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest が失敗しました

MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
 - 2. テストを再実行します。
 - 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 516-901-000 : ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest が失敗しました

物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知

動的にう

ユーザー応答 次の手順を実行してください。

- 1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 2. テストを再実行します。
- 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 516-902-000: ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test が失敗しました 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

- はい
- 自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 2. テストを再実行します。
- 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA EXA ポート ping テストのテスト結果

DSA EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 401-000-000: EXA ポート ping テストに合格しました
 EXA ポート ping テストに合格しました。
 - リカバリー可能 いいえ
 重大度 イベント
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

 Lenovo サポート Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
- 401-801-000: EXA ポート ping テストが異常終了しました
 EXA ポート ping テストが異常終了しました。デバイス基底アドレスを取得できません。

リカバリー可能 いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 電源ケーブルを取り外して45秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
- 2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
- 3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
- 4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 401-802-000: EXA ポート ping テストが異常終了しました

EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

リカバリー可能 いいえ 重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

- いいえ
- ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 電源ケーブルを取り外して45秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
- 2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
- 3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
- 4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

401-901-001: EXA ポート ping テストが失敗しました

EXA ポート ping テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

- 保守可能
 - はい
- 自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 電源ケーブルを取り外して45秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
- 2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
- 3. スケーラビリティー・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
- 4. 指定されたポート (複数の場合もあり)のスケーラビリティー・ケーブル (複数の場合もあ り)を取り付け直します。
- 5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA ハードディスク・ドライブ・テスト結果

ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA ハードディスク・ドライブ・テストのテスト結果

DSA ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

• 217-000-000: HDD テストに合格しました

HDD ストレス・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

.....

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 217-800-000: HDD テストが異常終了しました

HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. ケーブルの接続を確認します。
- 2. テストを再実行します。
- 3. ハードディスク・ドライブが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートして いることを確認します。
- 4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 217-900-000: HDD テストが失敗しました

HDD テストが失敗しました。ハードディスク・ドライブ自己診断テストで障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

- はい
- 自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. ケーブルの接続を確認します。
- 2. テストを再実行します。
- 3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
- 4. テストを再実行します。
- 5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Intel ネットワーク・テストのテスト結果

DSA Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

406-000-000: IANet:Registers のテストに合格しました
 テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 イベント 保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

V • V • /L

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 406-001-000: IANet:EEPROM のテストに合格しました テストに合格しました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 イベント
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 406-002-000 : IANet:FIFO のテストに合格しました テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 406-003-000: IANet:Interrupts のテストに合格しました テストに合格しました。

558 Lenovo System x3250 M6 インストールとサービスのガイド

リカバリー可能 いいえ 重大度 イベント 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ 関連リンク - Lenovo サポート Web サイト

- 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM
- 406-004-000 : IANet:Loopback のテストに合格しました テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

イベント

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo $\forall \pi h$ Web $\forall f h$
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 406-800-000 : IANet:Registers のテストが異常終了しました レジスター・テストは取り消されました。
 - リカバリー可能 いいえ 重大度 警告
 - 保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

- 関連リンク
 - Lenovo サポート Web サイト
 - 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

• 406-801-000 : IANet:EEPROM のテストが異常終了しました EEPROM テストは取り消されました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 406-802-000: IANet:FIFO のテストが異常終了しました FIFO テストは取り消されました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 警告 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 406-803-000: IANet:Interrupts のテストが異常終了しました 割り込みテストは取り消されました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 警告 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 406-804-000 : IANet:Loopback のテストが異常終了しました

ループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 406-900-000 : IANet:Registers のテストが失敗しました

レジスター・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 2. テストを再実行します。
- 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 406-901-000: IANet:EEPROM のテストが失敗しました
 EEPROM テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 2. テストを再実行します。
- 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 406-902-000 : IANet:FIFO のテストが失敗しました

FIFO テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 406-903-000: IANet:Interrupts のテストが失敗しました

割り込みテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 2. テストを再実行します。
- 3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネットデバイスが割り込みを共用している場合は、可能であれば、F1 セットアップを使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをそのデバイスに割り当てます。
- 4. テストを再実行します。
- 5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 406-904-000: IANet:Loopback のテストが失敗しました ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 エラー 保守可能 はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを 確認します。
- コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。 インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セク ションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 3. テストを再実行します。
- 4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA LSI ハードディスク・ドライブ・テスト結果

LSIハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA LSI ハードディスク・ドライブ・テストのテスト結果

DSA LSI ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

 407-000-000: LSIESG:DiskDefaultDiagnostic のテストに合格しました テストに合格しました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 イベント
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

 Lenovo サポート Web サイト - 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM
- 407-800-000: LSIESG:DiskDefaultDiagnostic のテストが異常終了しました

テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 407-900-000 : LSIESG:DiskDefaultDiagnostic のテストが失敗しました

ハードディスク・ドライブ自己診断テストで障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知 いいえ
- ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. ケーブルの接続を確認します。
- 2. テストを再実行します。
- 3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
- 4. テストを再実行します。
- 5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Mellanox アダプター・テストのテスト結果

DSA Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

 408-000-000: MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort のテストに合格しました ポート・テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 408-001-000: MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort のテストに合格しました ポート・テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ
重大度 イベント
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
関連リンク
Lenovo サポート Web サイト
最新レベルの DSA
最新レベルの BMC/IMM

 408-800-000: MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort のテストが異常終了しました ポート・テストは取り消されました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 警告 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 408-801-000: MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPortのテストが異常終了しました ポート・テストは取り消されました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 警告 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ 関連リンク - Lenovo $\forall \pi - h$ Web $\forall f h$

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 408-900-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort のテストが失敗しました

ポート・テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
- 2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害が ある可能性があります。
- アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 408-901-000: MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort のテストが失敗しました ポート・テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポート の接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
- 2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
- 3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA メモリー分離テストのテスト結果

DSA メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

201-000-000:スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました

すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重**大度** イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-000-001:スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました CPU1のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度 イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-000-002:スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました

CPU2のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-000-003:スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 イベント 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ 関連リンク - Lenovo サポート Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-000-004:スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました CPU4のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度 イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-811-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました SMBIOS キー「 SM 」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-811-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-811-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 ユーザー応答 次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-811-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました SMBIOS キー「SM」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-812-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
 メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能 いいえ 重大度 警告 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-812-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-812-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能 いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 - 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
 - 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-812-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。
 - リカバリー可能
 - いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-813-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU内でのECCエラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-813-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

- 次の手順を実行してください。
- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-813-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-813-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-814-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-814-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-814-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-814-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-815-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-815-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告 保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-815-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-815-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-816-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-816-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能 いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-816-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-816-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

- 次の手順を実行してください。
- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-818-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

 201-818-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました SMBIOS キー「SM」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

- 重大度
 - 警告
- 保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

 201-818-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-818-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

- 次の手順を実行してください。
 - 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-819-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-819-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 - 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
 - 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-819-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 ユーザー応答 次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-819-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-820-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告 保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-820-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-820-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能 いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 - 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
 - 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-820-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-821-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能

- いいえ
- 重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-821-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-821-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-821-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-822-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-822-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo $\forall \vec{x} \mathbf{b}$ Web $\forall \vec{1} \mathbf{b}$
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-822-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告 保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-822-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

- いいえ
- 自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-824-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インター リーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-824-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インター リーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能

いいえ

重大度 警告

ヨロ

保守可能

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-824-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インター リーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-824-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インター リーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-826-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コント ローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-826-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コント ローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-826-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コント ローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-826-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コント ローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-827-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-827-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-827-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

 リカバリー可能 いいえ
重大度 警告
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-827-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

- いいえ
- 自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-844-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング 中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 - 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
 - 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-844-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング 中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-844-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング 中に問題が発生しました。

リカバリー可能

- いいえ
- 重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-844-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング 中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-845-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-845-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-845-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-845-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-859-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました 無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-859-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました 無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

- いいえ
- 自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-859-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました 無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 - 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け 直します。電源に再接続します。
 - 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-859-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました 無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能 いいえ 重大度 警告 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-860-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM0 タイプ1が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-860-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM0 タイプ1が見つかりません。

リカバリー可能 いいえ 重大度 警告 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-860-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM0 タイプ1が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-860-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM0 タイプ1が見つかりません。

リカバリー可能 いいえ 重大度

警告

保守可能

- いいえ
- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-861-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

SRAT タイプ1が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度 警告

ВЦ

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-861-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

SRAT タイプ1が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 - 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
 - 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-861-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました SRAT タイプ1が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

 201-861-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました SRAT タイプ1が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

- 警告
- 保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-862-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM1構造が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-862-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM1 構造が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

- 次の手順を実行してください。
- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-862-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM1構造が見つかりません。
 - リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-862-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM1構造が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-863-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

 リカバリー可能 いいえ
重大度 警告
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
ユーザー応答 次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-863-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-863-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能 いいえ 重大度 警告 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-863-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-864-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能 いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 - 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
 - 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-864-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM1 に GAS が見つかりません。
 - リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-864-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-864-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM1にGASが見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

- 次の手順を実行してください。
- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- 201-865-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM0構造にXSECSRAT キーがありません。
 - リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-865-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM0構造にXSECSRATキーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-865-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM0 構造にXSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

- いいえ
- 自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-865-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-866-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-866-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

 リカバリー可能 いいえ
重大度 警告
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
ユーザー応答 次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-866-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-866-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能 いいえ 重大度 警告 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-867-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました EFI/SAL:バッファーが割り振られていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

- いいえ
- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-867-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました EFI/SAL:バッファーが割り振られていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度 警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-867-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-867-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました EFI/SAL:バッファーが割り振られていません。

リカバリー可能

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

- 次の手順を実行してください。
- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-868-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-868-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

- 次の手順を実行してください。
- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-868-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-868-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-869-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-869-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

- 次の手順を実行してください。
 - 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-869-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

```
リカバリー可能
```

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-869-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 - 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
 - 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-870-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました ACPI内の CPU ドメインが無効です。

 リカバリー可能 いいえ
重大度 警告
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
ユーザー応答 次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-870-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-870-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告 保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-870-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました ACPI内のCPUドメインが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

- いいえ
- 自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-871-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 - 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
 - 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-871-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-871-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能

- いいえ
- 重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-871-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-877-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-877-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-877-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-877-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-878-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフ にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-878-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフ にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-878-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフ にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-878-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフ にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ **ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-885-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-885-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書 き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

- 重大度
 - 警告
- 保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-885-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書 き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-885-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-886-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-886-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 - 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
 - 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-886-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能 いいえ 重大度

警告

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-886-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-899-000:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-899-001:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

警告

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-899-002:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-899-003:スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ

- 関連リンク
 - Lenovo サポート Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
- 201-901-000:スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました

メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
- 5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
- 6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認 します。
- 7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-901-001:スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました

メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

- いいえ
- 重大度

エラー

保守可能 はい

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
- 5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
- 6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認 します。
- 7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 201-901-002:スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました

メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
- 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
- 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
- 5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。

- 6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認 します。
- 7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-901-003:スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました
 メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 - 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け 直します。電源に再接続します。
 - 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
 - 5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
 - 6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認 します。
 - 7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA メモリー・ストレス・テストのテスト結果

DSA メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

 202-000-000: MemStr テストに合格しました テストに合格しました。
 リカバリー可能 いいえ
 重大度 イベント
 保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 202-801-000: MemStr テストが異常終了しました
 内部プログラム・エラー

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、再起動してください。
- 2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
- 3. テストを再実行します。
- 4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再起動します。
- 5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
- 6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
- 7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 202-802-000 : MemStr テストが異常終了しました

テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも1GBは必要です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 202-803-000 : MemStr テストが異常終了しました

ユーザーが Ctrl-C を押しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度 警告

保守可能 はい

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 202-901-000: MemStr テストが失敗しました
 テストが失敗しました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 エラー 保守可能 はい

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
 - 2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
 - 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。
 - 4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
 - 5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
 - 6. テストを再実行します。
 - 7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
 - 8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 202-902-000 : MemStr テストが失敗しました

テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

リカバリー可能

いいえ

- 重大度
 - エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を 調べて、すべてのメモリーが有効であることを確認します。
- 2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup Utility プログラムにアク セスし、すべてのメモリーを有効にします。
- 3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
- 4. テストを再実行します。
- 5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
- 6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト

- 最新レベルの DSA- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Nvidia GPU テストのテスト結果

DSA Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

 409-000-000: NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

イベント

- **保守可能** いいえ
- 自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 409-003-000: Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth のテストに合格しました Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。
 - リカバリー可能 いいえ
 重大度 イベント
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

 Lenovo サポート Web サイト
 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM

 409-004-000: Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query のテストに合格しました Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

```
    リカバリー可能
いいえ
    重大度
イベント
    保守可能
いいえ
    自動的にサポートに通知
いいえ
    関連リンク

            Lenovo サポート Web サイト
            最新レベルの DSA
            最新レベルの BMC/IMM
```

 409-005-000: Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix のテストに合格しました Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 イベント
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

 Lenovo サポート Web サイト

- Lenovo リホート web リ²
 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 409-006-000: Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial のテストに合格しました Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 イベント
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 409-800-000: NVIDIA ユーザー診断テストが異常終了しました

NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 409-803-000: Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth のテストが異常終了しました Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 409-804-000: Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query のテストが異常終了しました Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

警告 保守可能 いいえ 自動的にサポートに通知 いいえ 関連リンク - Lenovo サポート Web サイト - 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM
- 409-805-000: Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix のテストが異常終了しました Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 いいえ
 自動的にサポートに通知 いいえ
 関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 409-806-000: Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial のテストが異常終了しました Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

リカバリー可能 いいえ
重大度 警告
保守可能 いいえ
自動的にサポートに通知 いいえ
関連リンク
Lenovo サポート Web サイト
最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

• 409-900-000: NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました

NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

- 次の手順を実行してください。
- 1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認しま す。次にシステムの電源サイクルを実行します。
- 2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
- 3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告 される場合があります。
- 4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。 システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
- 5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 409-903-000: Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth のテストが失敗しました Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認しま す。次にシステムの電源サイクルを実行します。
- 2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
- 3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告 される場合があります。

- 4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。 システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
- 5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 409-904-000: Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query のテストが失敗しました Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. GPUを取り付け直して、GPUが PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認しま す。次にシステムの電源サイクルを実行します。
 - 2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
 - 3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告 される場合があります。
 - 4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。 システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
 - 5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 409-905-000: Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix のテストが失敗しました Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 エラー 保守可能 はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. GPUを取り付け直して、GPUが PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認しま す。次にシステムの電源サイクルを実行します。
- 2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
- 3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告 される場合があります。
- 4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。 システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
- 5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 409-906-000: Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial のテストが失敗しました Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

リカバリー可能 いいえ 重大度 エラー

エノ

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. GPUを取り付け直して、GPUが PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認しま す。次にシステムの電源サイクルを実行します。
- 2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
- 3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告 される場合があります。
- 4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。 システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
- 5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト

- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA 光学式ドライブ・テストのテスト結果

DSA 光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

• 215-000-000:光学式ドライブ・テストに合格しました

光学式ドライブ・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 215-801-000:光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバーと通信できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
- 2. テストを再実行します。

- 3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブル に破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
- 4. テストを再実行します。
- 5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インス トール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションに ある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 6. テストを再実行します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 215-802-000: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

- はい
- 自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。 テストを再実行します。
- 2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブル に破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
- 3. テストを再実行します。
- 4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 215-803-000:光学式ドライブ・テストが失敗しました

光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中 である可能性があります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

- 次の手順を実行してください。
- 1. システム・アクティビティーが停止するのを待ちます。
- 2. テストを再実行します。
- 3. システムの電源をオフにして、再起動してください。
- 4. テストを再実行します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 215-804-000:光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行 します。
- 2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。 テストを再実行します。
- 3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブル に破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
- 4. テストを再実行します。
- 5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 215-901-000:光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。 テストを再実行します。
- 2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブル に破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
- 3. テストを再実行します。
- 6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 215-902-000:光学式ドライブ・テストが失敗しました

光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。 テストを再実行します。
- 2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブル に破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
- 3. テストを再実行します。

4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 215-903-000: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。デバイスにアクセスできませんでした。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。 テストを再実行します。
- 2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブル に破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
- 3. テストを再実行します。
- 4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インス トール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションに ある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- 5. テストを再実行します。
- 6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA システム管理テストのテスト結果

DSA システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

• 166-000-001: IMM I2C テストに合格しました IMM I2C テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

- 関連リンク
 - Lenovo サポート Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
- 166-801-001: IMM I2C テストが異常終了しました IMM が誤った応答長を返しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-802-001: IMM I2C テストが異常終了しました 不明な理由によりテストが完了できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-803-001: IMM I2C テストが異常終了しました

ノードは使用中です。後で試行してください。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-804-001: IMM I2C テストが異常終了しました 無効なコマンド。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知
- いいえ **ユーザー応答**
 - 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
 - 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-805-001: IMM I2C テストが異常終了しました 指定された LUN に無効なコマンドです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-806-001: IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

- いいえ
- ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-807-001: IMM I2C テストが異常終了しました

スペース不足。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-808-001: IMM I2C テストが異常終了しました
 予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

リカバリー可能 いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答
 - 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
 - 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-809-001: IMM I2C テストが異常終了しました

リクエスト・データが切り捨てられました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
 - 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-810-001: IMM I2C テストが異常終了しました

リクエスト・データの長さが無効です。

リカバリー可能 いいえ

V+V+/

重大度 警告 保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-811-001: IMM I2C テストが異常終了しました

リクエスト・データ・フィールド長の限度を超えています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-812-001: IMM I2C テストが異常終了しました 範囲外のパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-813-001: IMM I2C テストが異常終了しました

要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-814-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

リカバリー可能 いいえ

重大度 警告

保守可能

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。電源に再接続 します。
 - 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-815-001: IMM I2C テストが異常終了しました

要求のデータ・フィールドが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-816-001: IMM I2C テストが異常終了しました

指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能 はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続 します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-817-001: IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドに対する応答を提供できませんでした。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知
- いいえ
- ユーザー応答
 - 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
 - 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-818-001: IMM I2C テストが異常終了しました

重複した要求は実行できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度 警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-819-001: IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリーは更新モードです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続 します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-820-001: IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドに対する応答を提供できませんでした。デバイスはファームウェア更新モードです。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 警告
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ

ユーザー応答
挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-821-001: IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドに対する応答を提供できませんでした。BMCの初期化が進行中です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続 します。
 - 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-822-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

宛先が使用不可です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能 はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-823-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。電源に再接続 します。
 - 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-824-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドを実行できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-901-001: IMM I2C テストが失敗しました

IMM が RTMM バス (BUS 0) での障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
 - 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
 - 3. テストを再実行します。
 - 4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-902-001: IMM I2C テストが失敗しました

IMM が TPM バス (BUS 1) での障害を示しています。

 リカバリー可能 いいえ
 重大度 エラー
 保守可能 はい
 自動的にサポートに通知 いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
- 3. テストを再実行します。
- 4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-903-001: IMM I2C テストが失敗しました

IMM がクロック・バス (BUS 2) に障害があることを示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
- 3. テストを再実行します。
- 4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-904-001: IMM I2C テストが失敗しました
 IMM が LED バス (BUS 3) での障害を示しています。

リカバリー可能 いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答
 - 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
 - 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
 - 3. テストを再実行します。
 - 4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-905-001: IMM I2C テストが失敗しました

IMM がパワー・サプライ・バス (BUS 4) に障害があることを示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
- 3. テストを再実行します。
- 4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-906-001: IMM I2C テストが失敗しました

IMM が PCIe バス (BUS 5) での障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

- ユーザー応答
 - 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 - 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
 - 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
 - 3. テストを再実行します。
 - 4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-907-001: IMM I2C テストが失敗しました

IMM がオプションの Mezz カード・バス (BUS 6) に障害があることを示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
- 3. テストを再実行します。
- 4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 166-908-001: IMM I2C テストが失敗しました

IMM は DASD バス (BUS 7) における障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

- 1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
- 2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
- 3. テストを再実行します。
- 4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA テープ・ドライブ・テストのテスト結果

DSA テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

264-000-000:テープ・テストに合格しました
 テープ・テストに合格しました。

リカバリー可能 いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 264-901-000:テープ・テストが失敗しました

テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しい メディアをインストールします。
- 2. テストを再実行します。
- 3. エラー・ログを消去します。
- 4. テストを再実行します。
- 5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
- 6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
- 7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 264-902-000:テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答
 - 次の手順を実行してください。
 - 1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しい メディアをインストールします。
 - 2. テストを再実行します。
 - 3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
 - 4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
 - 5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 264-903-000:テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しい メディアをインストールします。
- 2. テストを再実行します。
- 3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
- 4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
- 5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-904-000:テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに 損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
- 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しい メディアをインストールします。
- 3. テストを再実行します。
- 4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
- 5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
- 6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 264-905-000:テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。ソフトウェア・エラー。要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再起動します。
- 2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インス トール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションに ある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。

- 3. テストを再実行します。
- 4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再起動します。
- 5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
- 6. テストを再実行します。
- 7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 264-906-000:テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。認識不能なエラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しい メディアをインストールします。
- 2. テストを再実行します。
- 3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
- 4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
- 5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
- 6. テストを再実行します。
- 7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
- 8. テストを再実行します。
- 9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービス のガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 264-907-000:テープ・テストが失敗しました

ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

リカバリー可能

- いいえ
- 重大度

エラー

保守可能

はい

- 自動的にサポートに通知
 - いいえ
- ユーザー応答

次の手順を実行してください。

 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しい メディアをインストールします。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM
- 264-908-000:テープ・テストが失敗しました

テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

- 1. メディアが存在していることを確認します。
- 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しい メディアをインストールします。

関連リンク

- Lenovo サポート Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

付録 D ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または Lenovo 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、Lenovo がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

この情報を使用して、LenovoおよびLenovo製品に関する追加情報の入手、ご使用のLenovoシステムまたはオプションのデバイスで問題が発生した場合の対処方法の判別を行います。

注:このセクションには、IBM Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれています。IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用のLenovo製品に保証サービスが必要であると思われる場合は、連絡される前に準備をしていただけると、サービス技術員がより効果的にお客様を支援することができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション・デバイスの電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用のLenovo製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバーがないかを確認します。Lenovo保証条件は、Lenovo製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることを明記しています(追加の保守契約によって保証されていない場合)。お客様のサービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、 http://www.lenovo.com/ serverproven/ でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の製品によってサポートされていることを確認してください。
- http://www.lenovo.com/support にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- サービス技術員に提供するために、次の情報を収集します。このデータは、サービス技術員が問題の 解決策を迅速に提供する上で役立ち、お客様が契約された可能性があるレベルのサービスを確実に 受けられるようにします。
 - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号(該当する場合)
 - マシン・タイプ番号 (Lenovo の4桁のマシン識別番号)
 - 型式番号
 - シリアル番号
 - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
 - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報
- http://www.ibm.com/support/ entry/portal/Open_service_request にアクセスして、Electronic Service Request を送信 してください。Electronic Service Request を送信すると、お客様の問題に関する情報をサービス技術員が 迅速に入手できるようになり、問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。IBM サービス技術 員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、Lenovo がオンライン・ヘルプまたは Lenovo 製品資料で提供するトラブルシューティン グ手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。Lenovo 製品資料にも、お客様 が実行できる診断テストについての説明が記載されています。ほとんどのシステム、オペレーティン グ・システムおよびプログラムの資料には、トラブルシューティングの手順とエラー・メッセージやエ ラー・コードに関する説明が記載されています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレー ティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

ご使用の Lenovo システム、およびプリインストール・ソフトウェア (ある場合)、あるいはオプションの デバイスに関する情報は、製品資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン 資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照 してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライ バーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。Lenovoは、お客様が最新の 技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーや更新をダウンロードできるページを Web サイト上に設 けています。これらのページにアクセスするには、http://www.lenovo.com/support に進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

Lenovo 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手することができます。

WWW 上の http://www.lenovo.com/support では、Lenovo システム、オプション・デバイス、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。最新バージョンの製品資料は、次の製品固有のインフォメーション・センターにあります。

• Flex System 製品:

http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/ flexsys/information/index.jsp

- System x 製品: http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/ systemx/documentation/index.jsp
- NeXtScale System 製品:

http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/ nxtscale/documentation/index.jsp

DSA データの送信方法

Enhanced Customer Data Repository を使用して、IBM へ診断データを送信できます。

診断データを IBM に送信する前に、http://www.ibm.com/de/support/ ecurep/terms.html の利用条件をお読み ください。

以下のいずれの方法でも、診断データを送信できます。

• 標準アップロード:

http://www.ibm.com/de/support/ ecurep/send_http.html

- システム・シリアル番号を指定した標準アップロード: http://www.ecurep.ibm.com/app/ upload hw
- セキュア・アップロード: http://www.ibm.com/de/support/ ecurep/send http.html#secure
- システム・シリアル番号を指定したセキュア・アップロード: https://www.ecurep.ibm.com/ app/upload hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の Lenovo 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、http://www.ibm.com/support/mynotifications にアクセスします。この個別設定したページから、最新の技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報やダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

Lenovo サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の使用法、構成、およびソフトウェアの問題 について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、http://www.ibm.com/services をご覧になるか、あるいは http://www.ibm.com/planetwide でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

ハードウェアの保守は、Lenovo 販売店を通じて、あるいは IBM から受けることができます。保証 サービスを提供する Lenovo 認定販売店を見つけるには、http://www.ibm.com/partnerworld にアクセスし、 「Business Partner Locator</uicontrol> (ビジネス・パートナー・ロケーター)」をクリックします。IBM サポートの電話番号については、http://www.ibm.com/planetwide を参照してください。米国およびカナダの 場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1日24時間、週7日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前9時から午後6時までご利用いただけます。

台湾の製品サービス

この情報を使用して台湾の製品サービスに連絡します。

委製商/進口商名稱:荷蘭商聯想股份有限公司台灣分公司 進口商地址:台北市內湖區堤頂大道2段89號5樓 進口商電話:0800-000-702 (代表號)

付録 E 注記

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利 用可能な製品、サービス、および機能については、Lenovoの営業担当員にお尋ねください。

本書でLenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、そのLenovo 製品、プログラム、ま たはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知 的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用すること ができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責 任で行っていただきます。

Lenovoは、本書に記載されている内容に関して特許権(特許出願中のものを含む)を保有している場合が あります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではあ りません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

Lenovo (United States), Inc. 1009 Think Place - Building One Morrisville, NC 27560 U.S.A. Attention: Lenovo Director of Licensing

LENOVOは、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証 および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。 国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制 限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変 更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品また はプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生 命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕 様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo または サード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するも のではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示 されるものです。他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

Lenovoは、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と 信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであ り、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、こ の Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、 他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行わ れた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありませ ん。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性がありま す。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

LENOVO、FLEX SYSTEM、SYSTEM X、NEXTSCALE SYSTEM および X ARCHITECTURE は Lenovo の 商標です。

インテル、および Intel Xeon は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標 または登録商標です。

Internet Explorer、Microsoft、および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国にお ける商標です。

Linux は、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の知的財産です。© 2018 Lenovo

重要事項

プロセッサーの速度とは、マイクロプロセッサーの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があり、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KBは1,024 バイト、MBは1,048,576 バイト、GBは1,073,741,824 バイトを意味します。

ハードディスク・ドライブの容量、または通信ボリュームを表すとき、MBは1,000,000バイトを意味し、 GBは1,000,000,000バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境 によって異なる可能性があります。

内蔵ハードディスク・ドライブの最大容量は、Lenovoから入手可能な現在サポートされている最 大のドライブを標準ハードディスク・ドライブの代わりに使用し、すべてのハードディスク・ドライ ブ・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることも あります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクル があります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が 決められています。これをtotal bytes written (TBW) と呼びます。この制限を超えたデバイスは、シ ステム生成コマンドに応答できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。 Lenovo は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を 超えたデバイスについては責任を負いません。

Lenovoは、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、Lenovoではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版(利用可能である場合)とは異なる場合があり、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

リサイクル情報

Lenovoでは、情報技術(IT)機器の所有者に、機器が必要でなくなったときに責任を持って機器のリサイクルを行うことをお勧めしています。また、機器の所有者によるIT製品のリサイクルを支援するため、さ

まざまなプログラムとサービスを提供しています。Lenovo 製品のリサイクルについて詳しくは、以下を 参照してください。http://www.lenovo.com/recycling

粒子汚染

重要: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む)や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境 要因と組み合わされることで、本書に記載されているデバイスにリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、デバイスの誤動作や完全な 機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設 定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限として見なした り、あるいは使用したりしてはなりません。温度や大気中の湿気など他の多くの要因が、粒子や環境 腐食性およびガス状の汚染物質移動のインパクトに影響することがあるからです。本書で説明されて いる特定の制限が無い場合は、人体の健康と安全の保護に合致するよう、微粒子やガスのレベル維持 のための慣例を実施する必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルがデバイス損 傷の原因であると Lenovo が判断した場合、Lenovo は、デバイスまたは部品の修理あるいは交換の条 件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措 置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 31. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2¹に従い、大気塵埃が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠)。
	 データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。
	 粒子汚染の潮解相対湿度は、60%を超えていなければならない²。
	 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	• 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1 ³
	 銀:腐食率は 30 日間で 300 Å 未満
¹ ASHRAE 52.2-2 <i>方法。</i> アトラン	2008 - <i>一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする</i> タ: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

²粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

³ ANSI/ISA-71.04-1985。 プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

通信規制の注記

本製品は、お客様の国で、いかなる方法においても公衆通信ネットワークのインターフェースへの接続に ついて認定されていない可能性があります。このような接続を行う前に、法律による追加の認定が必要な 場合があります。ご不明な点がある場合は、Lenovo 担当員または販売店にお問い合わせください。

電波障害自主規制特記事項

このデバイスにモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害 抑制デバイスを使用してください。

連邦通信委員会 (FCC) 宣言書

以下の情報は、Lenovo ThinkServer のマシン・タイプ 70LU、70LV、70LW、70LX、70UA、70UB、70UC および 70UD を指します。

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits.Lenovo is not responsible for any radio or television interference caused by using other than specified or recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment.Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Responsible Party: Lenovo (United States) Incorporated 7001 Development Drive Morrisville, NC 27560 U.S.A. Email: FCC@lenovo.com

FC

カナダ工業規格クラス A 排出量適合性宣言

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

オーストラリアおよびニュージーランド Class A 宣言書

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

EU EMC 指令適合性宣言書

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2014/30/EU on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility.Lenovo cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the installation of option cards from other manufacturers.

This product has been tested and found to comply with the limits for Class A equipment according to European Standards harmonized in the Directives in compliance. The limits for Class A equipment were derived for commercial and industrial environments to provide reasonable protection against interference with licensed communication equipment.

Lenovo, Einsteinova 21, 851 01 Bratislava, Slovakia

CE

Warning: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

ドイツ Class A 宣言書

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2014/30/EU zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der Klasse A der Norm gemäß Richtlinie.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der Lenovo empfohlene Kabel angeschlossen werden. Lenovo übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der Lenovo verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der Lenovo gesteckt/eingebaut werden.

Deutschland:

Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmittein Dieses Produkt entspricht dem "Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln" EMVG (früher "Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten"). Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2014/30/EU in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln, EMVG vom 20. Juli 2007 (früher Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten), bzw. der EMV EU Richtlinie 2014/30/EU, für Geräte der Klasse A.

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen. Verantwortlich für die Konformitätserklärung nach Paragraf 5 des EMVG ist die Lenovo (Deutschland) GmbH, Meitnerstr. 9, D-70563 Stuttgart.

Informationen in Hinsicht EMVG Paragraf 4 Abs. (1) 4: Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55032 Klasse A.

Nach der EN 55032: "Dies ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen durchzuführen und dafür aufzukommen."

Nach dem EMVG: "Geräte dürfen an Orten, für die sie nicht ausreichend entstört sind, nur mit besonderer Genehmigung des Bundesministers für Post und Telekommunikation oder des Bundesamtes für Post und Telekommunikation betrieben werden. Die Genehmigung wird erteilt, wenn keine elektromagnetischen Störungen zu erwarten sind." (Auszug aus dem EMVG, Paragraph 3, Abs. 4). Dieses Genehmigungsverfahren ist nach Paragraph 9 EMVG in Verbindung mit der entsprechenden Kostenverordnung (Amtsblatt 14/93) kostenpflichtig.

Anmerkung: Um die Einhaltung des EMVG sicherzustellen sind die Geräte, wie in den Handbüchern angegeben, zu installieren und zu betreiben.

電磁適合性宣言(日本)

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

日本の電気製品安全法に基づく記述 (取り外し可能な AC 電源コード向け)

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、 それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

JEITA 高調波ガイドライン - AC 電力消費 (W) に関する日本向け宣言

定格入力電力表示 (社)電子情報技術參照委員会家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン 実行計画書に基づく定格入力電力値: W お手持ちのユニットの定格入力電力値(W)はユニットの電源装置に貼付 されている電源仕様ラベルをご参照下さい

JEITA 高調波ガイドライン - 1 相当たりの電流定格が 20 A 以下の製品の適合宣言 (日本)

JEITA 高調波電流抑制対策適合品表示 (JEITA harmonics statements- Japan) 定格電流が 20A/相以下の機器 (For products where input current is less than or equal to 20A per phase)

日本の定格電流が 20A/相 以下の機器に対する高調波電流規制高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

JEITA 高調波ガイドライン - 1 相当たりの電流定格が 20 A を超える製品の適合宣言 (日本)

定格電流が 20A/相を超える機器 (For products where input current is less than 20A/Phase of one PSU, but total system power is over 20A/Phase)

本製品は、1相当たり20Aを超える機器ですが、個々のユニットが「高調波電流 規格 JISC 61000-3-2適合品」であり、

本製品はその組み合わせであるため、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品 」としています

韓国通信委員会 (KCC) 宣言書

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로 서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목 적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

ロシア電磁妨害 (EMI) Class A 宣言書

ВНИМАНИЕ!

Настоящее изделие относится к оборудованию класса А. При использовании в бытовой обстановке это оборудование может нарушать функционирование других технических средств в результате создаваемых индустриальных радиопомех. В этом случае от пользователя может потребоваться принятие адекватных мер.

中華人民共和国 Class A 電子放出宣言書 声明 此为 A 级产品。在生活环境中, 该产品可能会造成无线电干扰。 在这种情况下,可能需要用户对其 干扰采取切实可行的措施。

台湾 Class A 適合性宣言書

警告使用者: 這是甲類的資訊產品,在 居住的環境中使用時,可 能會造成射頻干擾,在這 種情況下,使用者會被要 求採取某些適當的對策。

台湾 BSMI RoHS 宣言

	限用物質及其化學符號 Restricted substances and its chemical symbols						
單元 Unit	鉛Lead (PB)	汞 Mercury (Hg)	鎘Cadmium (Cd)	六價鉻 Hexavalent chromium (C ^{f⁶)}	多溴聯苯 Polybrominated biphenyls (PBB)	多溴二苯醚 Polybrominated diphenyl ethers (PBDE)	
機架	0	0	0	0	0	0	
外部蓋板	0	0	0	0	0	0	
機械組合件	—	0	0	0	0	0	
空氣傳動設備	—	0	0	0	0	0	
冷卻組合件	—	0	0	0	0	0	
內存模組	_	0	0	0	0	0	
處理器模組	—	0	0	0	0	0	
電纜組合件	_	0	0	0	0	0	
電源供應器	_	0	0	0	0	0	
儲備設備	_	0	0	0	0	0	
電路卡	_	0	0	0	0	0	
光碟機	-	0	0	0	0	0	
 備考1. [*]超出0.1 wt %″及 [*]超出0.01 wt %″ 係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。 Note1 : "exceeding 0.1 wt%" and "exceeding 0.01 wt%" indicate that the percentage content of the restricted substance exceeds the reference percentage value of presence condition. 備考2. [*]○ ″ 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。 Note2 : "○"indicates that the percentage content of the restricted substance does not exceed the percentage of reference value of presence. 							

備考3. "-″係指該項限用物質為排除項目。

Note3 : The "-" indicates that the restricted substance corresponds to the exemption.

索引

2個目のマイクロプロセッサー、取り付け 162 2個目のマイクロプロセッサー、取り外し 159 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライ ブ・バックプレート・アセンブリー、取り付け 152 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライ ブ・バックプレート・アセンブリー、取り外し 151 2.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ バックプレーン、取り付け 150 2.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ バックプレーン、取り外し 149 240 VA 分電盤カバー 取り外し 165 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライ ブ・バックプレート・アセンブリー、取り付け 158 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライ ブ・バックプレート・アセンブリー、取り外し 156 3.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ バックプレーン、取り付け 155 3.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ バックプレーン、取り外し 154

a

ABR、自動ブート・リカバリー 79 AC 電源 LED 17 ASM イベント・ログ 8,57

b

Boot Manager 35 Boot Manager プログラム 26

С

Class A 電磁波放出の注記 689 CPLD ハートビート LED 56

d

DC 電源 LED 17 DIMM Unbuffered 109 取り付け 107 取り外し 106 DIMM、取り付け 109 DSA 190 エディション 60 テキスト・メッセージ書式 61 テスト・ログ、表示 61 プログラム、概要 59 DSA Preboot 52,60 DSA Preboot 52,60 DSA Preboot 診断プログラム 8 DSA データ Lenovo への送信方法 190 DSA データの送信 Lenovo へ 190 DSA ログ 8,56 DSA、データの送信 684 DVD イジェクト・ボタン 15 ドライブ DVD LED 15 ドライブ活動 LED 15 Dynamic System Analysis 190 Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラム 8

e

Electronic Service Agent 62 EU EMC 指令適合性宣言書 690

f

FCC Class A の注記 689

i

IMM2 26 IMM2 ハートビート LED 56 IMM2.1 Web インターフェース 38 IMM2.1 イベント 193 IMM2.1 のエラー・メッセージ 193 IMM2.1用の IP アドレス 37 IMM2.1ホスト名 37 Integrated Management Module イベント・ログ 8 概要 8 Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) 使用 36 Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)の使用 36 Integrated Management Module II イベント・ログ 56 のイベント・ログ 57 プログラム 26 IPMI イベント・ログ 8,56-57 IPMItool 57

1

```
LED
AC電源 17
CPLDハートビート 56
DC電源 17
DVDドライブ活動 15
IMM2ハートビート 56
Light path 診断 53
パワー・サプライ 54-55
イーサネット活動 17, 19
イーサネット・リンク・ステータス 17
```

オペレーター情報パネル 19,53 サーバーの前面 15 システム情報 19 システム・エラー 19 システム・パルス 56 システム・ボード上の 24 システム・ロケーター 19 電源オン 19 パワー・サプライ 54-55 パワー・サプライ問題の検出 54-55 パワー・サプライ・エラー 17 ハードディスク・ドライブ活動 15 ハードディスク・ドライブのステータス 15 Lenovo XClarity Administrator 更新 40 Lenovo XClarity Essentials 40 Lenovo XClarity Essentials OneCLI ログ 57 Lenovo 次世代テクノロジー 8 Lenovo への DSA データの送信方法 190 Light path 診断 53 パネル 53 Light path 診断、電源なしでの表示 53 LXCE OneCLI 52

n

NMI ボタン 17 NOS の取り付け ServerGuide を使用しない 29 ServerGuide を使用する場合 29 Nx 回ブート失敗 79

0

Onboard SATA RAID の BIOS の構成 45

р

PCI スロット1 17 スロット2 17 PCI 拡張スロット 5 PCI ライザー・カード、取り外し 148 PCI ライザー・カード・アセンブリー、取り付け 104 PCI ライザー・カード・アセンブリー、取り外し 103 PCI ライザー・カード・ブラケット、取り外し 148 POST エラー・コード 513 のイベント・ログ 57 POST、概要 59 POST イベント・ログ 56 Preboot、DSA 診断プログラム 8

r

RAID アダプター バッテリー・ホルダー 取り付け 105 リモート・バッテリー 取り付け 127 取り外し 126 RAID アダプター・バッテリー 取り付け 127 取り外し 126 RAID アダプター・バッテリー・ホルダー 取り付け 105 RAID アレイ 構成 40 RAS 機能、サーバー 11

S

ServeRAID SAS/SATA コントローラー、固定パワー・サ プライ・モデル ケーブル配線 179.181 ServeRAID SAS/SATA コントローラー、冗長パワー・サ プライ・モデル ケーブル配線 186 ServeRAID SAS/SATA コントローラー、ホット・スワッ プ・パワー・サプライ・モデル ケーブル配線 184 ServeRAID SAS/SATA コントローラー・ケーブルの配 線、固定パワー・サプライ・モデル 179,181 ServeRAID SAS/SATA コントローラー・ケーブルの配 線、冗長パワー・サプライ・モデル 186 ServeRAID SAS/SATA コントローラー・ケーブルの配 線、ホット・スワップ・パワー・サプライ・モデル 184 ServeRAID SAS/SATA コントローラー・メモリー・モ ジュール、取り付け 125 ServeRAID SAS/SATA コントローラー・メモリー・モ ジュール、取り外し 124 ServeRAID サポート 8 ServerGuide NOSの取り付け 29 機能 28 使用 28 セットアップ 28 セットアップとインストール CD 25 ServerGuide CD 8 Service Bulletin 50 Setup Utility 25-26 開始 29 使用 29 メニュー選択 30 Systems Director 8

t

Tier 1 CRU、取り付け 106 Tier 2 CRU、交換 159 TOE 5 TPM スイッチ・ブロックの説明 22

u

UDIMM 考慮事項 109 要件 107, 109 UEFI エラー・コード 513 ブート・リカバリー・ジャンパー 77 Unbuffered DIMM 109 メモリー 109 Unbuffered DIMM 107,109 Universal Serial Bus (USB)の問題 73 UpdateXpress 25 USB コネクター 15,17 USB ケーブル、取り付け 133 USB ケーブル、取り外し 131

V

VGA コネクター 背面 17 VMware ハイパーバイザーのサポート 26

W

Wake on LAN 機能 13

Х

x3250 概要 3

あ

アウト・オブ・バンド 79 アダプター、取り付け 123 アダプター、取り外し 122 安全、点検 vi 安全について v,viii 安全情報 1

41

一般 問題 63 イベント、IMM2.1 193 イベント・ログ 56 消去 58 イベント・ログ、POST 56 イベント・ログ、システム 56 イベント・ログ、表示の方式 57 イベント・ログの表示 57 インバンド 自動ブート・リカバリー方式 79 手動リカバリー方式 78 インフォメーション・センター 684 イーサネット 8,17 コントローラー 74 リンク・ステータス LED 17 イーサネット活動 LED 17, 19 イーサネット・コネクター 17 イーサネット・コントローラー、構成 39 イーサネット・コントローラーの構成 26 イーサネット・サポート 8

え

エアー・バッフル、取り付け 100 エアー・バッフル、取り外し 100 エラー 書式、DSA コード 61 エラーの現象 68 ServerGuide 72 USB コネクター 73 USB デバイス 66 一般 63 オプション・デバイス 70 オペレーティング・システムのブート 70 キーボード 66 偶発的 66 光学式ドライブ 63 シリアル・ポート 72 ソフトウェア 73 電源 70 ネットワーク接続 69 ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス 66 ハードディスク・ドライブ 64 マウス 66 メモリー 67 モニター 68 エラー・コードとメッセージ IMM2.1 193 UEFI (POST) 513 エラー・メッセージ、IMM2.1 193

お

汚染、微粒子およびガス 5,689 オプション・デバイスの問題 70 オペレーター情報パネル LED 19, 53 ケーブル配線 176 コントロールおよび LED 19 オペレーター情報パネル、取り付け 133 オペレーター情報パネル、取り外し 131 オペレーター情報パネル・ケーブルの配線 176 オペレーティング・システムのイベント・ログ 8,56-57 音響放出ノイズ 5 温度 5 オンボード RAID ケーブル接続 177 オンボード RAID 信号ケーブルの接続 177 オンライン資料 1 オンライン・ドキュメント 3 オーストラリア Class A 宣言書 690

か

開始 Setup Utility 29 バックアップ・ファームウェア 35 解消検出イベント、システム・イベント・ログ 56

```
ガイドライン
 システム信頼性 97
 電気機器の保守 vii
 トレーニングを受けたサービス技術員 vi
概要 3
拡張ベイ 5
ガス汚染 5,689
カスタム・サポート Web ページ 685
カナダ Class A 電子放出宣言書 690
カバー、取り付け 99
カバー、取り外し 98
可用性、サーバー 11
環境 5
韓国 Class A 電子放出宣言書 692
管理、システム 8
管理者
 パスワード 35
完了
 部品交換 189
```

き

```
危険な状況の検査 vi
危険の注記 1
機能 5
ServerGuide 28
機能、リモート・プレゼンスおよびブルー・スクリーン 8
キャッシュ 5
```

<

偶発的
 問題 66
 組み込みハイパーバイザー
 使用 39
 グリース、熱伝導 164

け

現行ファームウェアの適用 ベスト・プラクティスの使用 97 検索 更新された資料 1 検出イベント、システム・イベント・ログ 56 ケーブル 内部配線 173 ケーブル配線 ServeRAID SAS/SATA コントローラー、固定パワー・ サプライ・モデル 179,181 ServeRAID SAS/SATA コントローラー、冗長パワー・ サプライ・モデル 186 ServeRAID SAS/SATA コントローラー、ホット・ス ワップ・パワー・サプライ・モデル 184 オペレーター情報パネル 176 オンボード RAID 177 光学式 173 作動温度の機能拡張キット 174 電源 176

2

```
コイン型電池
 取り付け 140
 取り外し 139
光学式
 ケーブル配線 173
光学式ドライブ
 問題 63
光学式ドライブ、取り付け 120
光学式ドライブ、取り外し 117
光学式ドライブ・ケーブルの配線 173
交換
 Tier 2 CRU 159
 サーバー・コンポーネント 97
更新
 DMI/SMBIOS 42
 Lenovo XClarity Administrator 40
 汎用固有 ID (UUID) 41
 ファームウェア 25
構成
 Nx 回ブート失敗 79
 RAID アレイ 40
 ServerGuide を使用する場合 28
 Setup Utility 25
 イーサネット・コントローラー 39
 情報 25
 手順 25
構成プログラム 26
構造部品 93
固定パワー・サプライ
 取り外し 142
固定パワー・サプライ、取り付け 143
コネクター 22
 USB 15, 17
 イーサネット 17
 サーバーの前面 15
 サーバー背面の 17
 シリアル 17
 背面 17
 パワー・サプライ 17
 ビデオ 17
個別設定したサポート Web ページの作成 685
コントロールおよび LED
 オペレーター情報パネル上の 19
コンポーネント
 サーバー 19,81
コンポーネントの位置 15
 コンポーネントの位置 15
コール・ホーム機能
 Electronic Service Agent 62
コール・ホーム・ツール 61
```

さ

サイズ 5 作動温度の機能拡張キット ケーブル配線 174 作動温度の機能拡張キットのケーブルの配線 174 作動温度の機能拡張キットのケーブル、取り付け 135 作動温度の機能拡張キットのケーブル、取り外し 134 作動温度の機能拡張キット、取り付け 135 作動温度の機能拡張キット、取り外し 134 サポート、入手 683 サポート Web ページ、カスタム 685 サーバー オフにする 13 オンにする 13 提供 8 電源オンのサーバー内部での作業 97 電源機能 12 サーバー、前面図 15 サーバーが提供する機能 8 サーバーの構成 25 サーバーのシャットダウン 13 サーバーの前面図 15 サーバーの電源をオフにする 13 内蔵ベースボード管理コントローラー 13 サーバーの電源をオンにする 13 サーバーの背面図 17 サーバー、バックアップ・ファームウェア 開始 35 サーバー・コンポーネント 19,81 サーバー・ファームウェアの回復 77 サーバー・ファームウェア、リカバリー 77 サービスおよびサポート 依頼する前に 683 ソフトウェア 685 ハードウェア 685

l

事項、重要 688 システム エラー LED (前面) 19 情報 LED 19 ロケーター LED、前面 19 システム管理 8 システムの信頼性に関するガイドライン 97 システム・イベント・ログ 56-57 システム・イベント・ログ、解消検出イベント 56 システム・イベント・ログ、検出イベント 56 システム・エラー LED 15 システム・パルス LED 56 システム・ボード LED 24 コネクター 22 始動パスワード・スイッチ 34 スイッチとジャンパー 22 システム・ボードの内部コネクター 22 システム・ボード、取り付け 171 システム・ボード、取り外し 169 次世代テクノロジー 8 湿度 5 質量 5 自動ブート・リカバリー(ABR) 79 ジャンパー UEFI ブート・リカバリー 77 システム・ボード 22 重要な注 1,688

取得 37 仕様 5 使用 Setup Utility 29 組み込みハイパーバイザー 39 リモート・プレゼンス機能 37 冗長 8 イーサネット接続 8 イーサネット機能 11 ホット・スワップ・パワー・サプライ 11 冷却 8 冗長性サポート パワー・サプライ 8 商標 688 シリアル番号 ロケーション 76 シリアル・コネクター 17 シリアル・ポートの問題 72 資料 使用 684 資料、更新された 検索 1 診断 オンボード・プログラム、開始 60 ツール、概要 52 プログラムの概要 59 診断データの送信 684 診断プログラム DSA Preboot 8 シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ 取り付け 115 取り外し 114 信頼性、サーバー 11

す

スイッチ システム・ボード 22 スイッチ・ブロック 22 スタンバイ状態 12 スロット PCI 拡張 5 寸法 5

せ

静電気の影響を受けやすいデバイス 取り扱いのガイドライン 98 静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い 98 製品サービス、台湾 685 セキュリティー・ベゼル、取り付け 102 前面 I/O 部品、取り付け 133 前面 I/O 部品、取り外し 131 前面図 LED の位置 15 コネクター 15

そ

ソフトウェアの問題 73

ソフトウェアのサービスおよびサポートの電話番号 685

た

台湾 BSMI RoHS 宣言 694 台湾 Class A 電子放出宣言書 693 台湾の製品サービス 685

ち

チェックアウト手順 50 実行 51
チェック・ログ LED 15
注 1
注意の注記 1
中華人民共和国 Class A 電子放出宣言書 693
注記 1,687 FCC、Class A 689 電磁波放出 689
中国 Class A 電子放出宣言書 693

つ

通信規制の注記 689 ツール、診断 52 ツール、コール・ホーム 61

τ

ディスプレイの問題 68 手順、チェックアウト 51 テスト・ログ、表示 61 デバイス、静電気の影響を受けやすい 取り扱いのガイドライン 98 電気機器、保守 vii 電気機器の保守 vii 電源 35 ケーブル配線 176 サプライ 5 仕様 5 電源制御ボタン 15 要件 5 電源オン・セルフテスト 59 電源オンのサーバー内部での作業 97 電源オンの状態でのサーバー内部での作業 97 電源ケーブルの配線 176 電源コード 94 電源機能 サーバー 12 電源制御ボタン 15 電源入力 5 電源問題 70,74 電磁適合性宣言(日本) 692 電磁波放出 Class A の注記 689 電話番号 685 データ収集 47 データの収集 47

と

ドイツ Class A 宣言書 691 ドライブ 5 トラブルシューティング 47 現象 62 取り付け 3 2個目のマイクロプロセッサー 162 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライ ブ・バックプレート・アセンブリー 152 2.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライ ブ・バックプレーン 150 3.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライ ブ・バックプレート・アセンブリー 158 3.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライ ブ・バックプレーン 155 DIMM 107, 109 PCI ライザー・カード・アセンブリー 104 PCI ライザー・カード・ブラケット 148 RAID アダプター・バッテリー 127 RAID アダプター・バッテリー・ホルダー 105 ServeRAID SAS/SATA コントローラー・メモリー・ モジュール 125 Tier 1 CRU 106 USB ケーブル 133 アダプター 123 エアー・バッフル 100 オペレーター情報パネル 133 カバー 99 コイン型電池 140 光学式ドライブ 120 構造部品 98 固定パワー・サプライ 143 作動温度の機能拡張キット 135 サーバー・コンポーネント 98 システム・ボード 171 シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ 115 セキュリティー・ベゼル 102 前面 I/O 部品 133 ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス 130 ヒートシンク 162 ファン 138 フラッシュ電源モジュール 127 フラッシュ電源モジュール・ホルダー 105 分電盤カバー 166,168 ホット・スワップ・パワー・サプライ 146 ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ 111 メモリー 107 取り外し 2個目のマイクロプロセッサー 159 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライ ブ・バックプレート・アセンブリー 151 2.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライ ブ・バックプレーン 149 3.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライ ブ・バックプレート・アセンブリー 156 3.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライ ブ・バックプレーン 154 PCI ライザー・カード 148 PCI ライザー・カード・アセンブリー 103 RAID アダプター・バッテリー 126

熱伝導グリース 164 の のイベント・ログ 表示 57 のエラー・メッセージ 62 **は** ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス

ServeRAID SAS/SATA コントローラー・メモリー・ モジュール 124 Tier 1 CRU 106 USB ケーブル 131 アダプター 122 エアー・バッフル 100 オペレーター情報パネル 131 カバー 98 コイン型電池 139 光学式ドライブ 117 固定パワー・サプライ 142 作動温度の機能拡張キットのケーブル 134 サーバー・コンポーネント 97-98 システム・ボード 169 シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ 114 前面 I/O 部品 131 ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス 129 ヒートシンク 159 ファン 137 フラッシュ電源モジュール 126 フラッシュ電源モジュール・ホルダー 104 分電盤カバー 165,167 ベゼル 101 ホット・スワップ・パワー・サプライ 144 ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ 110 メモリー・モジュール 106 取り外し、DIMM 106 取り外しおよび取り付け Tier 1 CRU 106 構造部品 98 サーバー・コンポーネント 98 取り外し 構造部品 98 トレーニングを受けたサービス技術員、ガイドライン vi

な

内蔵ベースボード管理コントローラー 13 内蔵機能 5 内部ケーブル配線 173 交換可能なサーバー・コンポーネント 81

に ニュージーランド Class A 宣言書 690

ね

問題 66 ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス、取り付け 130 ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス、取り外し 129 背面図 17 サーバー 17 パスワード 34 管理者 34 始動 34 パスワード、始動 システム・ボード上のスイッチ 34 バックアップ・ファームウェア 開始 35 発熱量(消費電力) 5 パワーオン LED 12,19 パワー・サプライ 5 LED 54-55 LED と検出される問題 54-55 冗長性サポート 8 パワー・サプライ LED 54-55 ハードウェア、構成 26 ハードウェアの構成 26 ハードウェアのサービスおよびサポートの電話番号 685 ハードディスク・ドライブ 活動 LED 15 状況 LED 15 問題 64

ひ

ビジネス・パートナーの手順 97,190 ビジネス・パートナー用の手順 97,190 ビデオ・コントローラー、内蔵 仕様 5 ヒートシンク、取り付け 162 ヒートシンク、取り外し 159

ふ

```
ファン 8
 シンプル・スワップ 5
ファン、取り付け 138
ファン、取り外し 137
ファームウェア、更新 25
ファームウェア更新 3
ファームウェア、サーバー、リカバリー 77
ファームウェア更新、ベスト・プラクティス 97
部品、構造 93
部品リスト 81
部品交換、完了 189
フラッシュ電源モジュール
 取り付け 127
 取り外し 126
フラッシュ電源モジュール・ホルダー
 取り付け 105
 取り外し 104
ブルー・スクリーン機能 37
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能 8
 概要 8,37
プレゼンス検出ボタン 19
文書化されていない問題 50
```

分電盤カバー 取り付け 166 分電盤、取り付け 168 分電盤、取り外し 167

$\boldsymbol{\wedge}$

ベイ 5
米国 FCC Class A の注記 689
ベスト・プラクティス
現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用するために使用 97
ベスト・プラクティスの使用
ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用 97
ベゼル、取り外し 101
ヘルプ
WWW から 684
診断データの送信 684
ジ断データの送信 684
ジレース 683
返却
コンポーネント 191
デバイス 191

ほ

方式、79
方式、イベント・ログの表示 57
放出音響ノイズ 5
保守容易性、サーバー 11
ボタン、プレゼンス検出 19
ホット・スワップ・パワー・サプライ
取り外し 144
ホット・スワップ・パワー・サプライ、取り付け 146
ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ
取り付け 111
取り外し 110
ポリシー・オプション 35

ま

マイクロプロセッサー 8 仕様 5

み

未解決問題 75

め

メッセージ、エラー POST 513 メニュー選択 Setup Utility 30 メモリー 8 UDIMM 107 Unbuffered 109 仕様 5 取り付け 107 メモリー・サポート 8 メモリー・モジュール 取り外し 106

も

```
モデル名
 ロケーション 76
問題 68
 ServerGuide 72
 USB コネクター 73
 一般 63
 イーサネット・コントローラー 74
 オプション・デバイス 70
 オペレーティング・システムのブート 70
 キーボード 66
 偶発的 66
 光学式ドライブ 63
 シリアル・ポート
            72
 ソフトウェア 73
 電源 70,74
 ネットワーク接続 69
 ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス 66
 ハードディスク・ドライブ 64
 マウス 66
 未解決 75
 メモリー 67
 モニター 68
```

Ф

```
有効化
Features on Demand
イーサネット・ソフトウェア 39
ユーティリティー、Setup 26
開始 29
使用 29
```

Ŋ

```
リセット・ボタン 15
リモート・プレゼンス機能
使用 37
粒子汚染 5,689
```

れ

```
冷却 8
レガシー・オペレーティング・システム
要件 28
レガシー・オペレーティング・システムをインストー
ルする前に 28
```

ろ

ロギング 38 ロケーター LED 15 ロシア Class A 電子放出宣言書 693 ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 8

